

帝都復興院事務經過

目次

- 第一 帝都復興院官制制定ニ至ル迄ノ經過……………一
(自大正十二年九月二日至同年九月二十六日)
- 第二 帝都復興院官制公布ヨリ參與會開催迄ノ經過……………二七
(自大正十二年九月二十七日至同年十月末日)
- 第三 參與會評議會及審議會經過……………五一
(自大正十二年十一月一日至同年十二月九日)
- 第四 臨時議會經過……………一三三
(自大正十二年十二月十日至同年十二月二十四日)
- 第五 臨時議會閉會後ヨリ復興局官制公布迄ノ經過……………一九七
(自大正十二年十二月二十四日至大正十三年二月二十五日)

第六 物資供給局關係事務經過

二二二

附 錄

二四九

帝都復興院評議會議案附屬書類

帝都復興審議會議案

第一 帝都復興院官制制定ニ至ル迄ノ經過

(自大正十二年九月二日至同年九月二十六日)

大正十二年九月一日正午突如トシテ起レル振古未曾有ノ大地震ハ其區域一府四縣ニ跨リ之ニ伴フ大火ハ東京横濱ノ地ヲシテ荒涼タル焦土ト化セシメタリ家財ヲ燒盡シ父母骨肉ヲ失ヒタル幾十萬ノ同胞ハ廢墟ノ間ニ彷徨シ焦髮爛身命且夕ニ迫リ慘狀其ノ極ニ達ス人心恟々流言蜚語夥マス遷都說サヘ傳ヘラル、ニ至リ民心ノ不安此ノ時ヨリ甚タシキハナシ乃チ大詔ハ機發セラレ攝政宮ヨリハ優渥ナル御沙汰ヲ賜ル告諭又發セラレ震災善後ノ諸法令公布セラル、所アリ

(一) 詔書

朕神聖ナル祖宗ノ洪範ヲ紹キ光輝アル國史ノ成跡ニ鑑ミ皇考中興ノ宏謨ヲ繼承シテ肯テ愆ヲサラムコトヲ庶幾シ夙夜兢兢トシテ治ヲ圖リ幸ニ祖宗ノ神佑ト國民ノ協力トニ賴リ世界空然ノ大戦ニ處シ尙克ク小康ヲ保ツヲ得タリ奚ソ圖ラム九月一日ノ激震ハ事咄嗟ニ起リ其ノ震動極メテ峻烈ニシテ家屋ノ潰倒男女ノ慘死幾萬ナルヲ知ラス剩ヘ火災四方ニ起リテ炎焰天ニ沖リ京濱ソノ他ノ市邑一夜ニシテ焦土ト化ス此ノ間交通機關杜絶シ爲メニ流言蜚語盛ニ傳ハリ人心恟々トシテ倍々其ノ慘害ヲ大ナラシム之ヲ安政當時ノ震災ニ較フレハ寧ロ凄慘ナルヲ想起セシム

朕深ク自ラ戒愼シテ已マサルモ惟フニ天災地變ハ人力ヲ以テ豫防シ難ク只速カニ人事ヲ盡シ

チ民心ヲ安定スルノ一途アルノミ凡ソ非常ノ秋ニ際シテ非常ノ果斷ナカルヘカラス若シ夫レ平時ノ條規ニ膠柱シテ活用スルコトヲ悟ラヌ緩急其ノ宜ヲ失シテ前後ヲ誤リ或ハ個人若クハ一會社ノ利益保障ノ爲ニ多衆災民ノ安固ヲ脅スカ如キコトアラハ人心動搖シテ底止スル處ヲ知ラス朕深ク之ヲ憂傷シ既ニ在朝有司ニ命シ臨機救濟ノ道ヲ講セシメ先ツ焦眉ノ急ヲ拯ウテ以テ惠撫慈養ノ實ヲ舉ケムト欲ス

抑モ東京ハ帝國ノ首都ニシテ政治經濟ノ樞軸トナリ國民文化ノ源泉トナリテ民衆一般ノ瞻仰スル所ナリ一朝不慮ノ災害ニ罹リテ今ヤ其ノ舊形ヲ留メスト雖依然トシテ我國都タルノ位置ヲ失ハス是ヲ以テ其ノ善後策ハ獨リ舊態ヲ回復スルニ止マラス進ンテ將來ノ發展ヲ闡リ巷衢ノ面目ヲ新ニセサルヘカラス惟フニ我忠良ナル國民ハ義勇奉公朕ト共ニ其慶ニ賴ラムコトヲ切望スヘシ之ヲ慮リテ朕ハ宰臣ニ命シ速ニ特殊ノ機關ヲ設定シテ帝都復興ノ事ヲ審議調査セシメ其ノ成案ハ或ハ之ヲ至高顧問ノ府ニ諮ヒ或ハ之ヲ立法ノ府ニ謀リ籌畫經營萬途算ナキヤ期セムトス在朝有司能ク朕カ心ヲ心トシ迅ニ災民ノ救護ニ從事シ嚴ニ流言ヲ禁遏シ民心ヲ安定シ一般國民亦能ク政府ノ施設ヲ冀ケテ奉公ノ誠悃ヲ致シ以テ興國ノ基ヲ固ムヘシ朕前古無比ノ天殃ニ際會シテ郵民ノ心愈々切ニ寢食爲ニ安カラス爾臣民其レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

御名 御璽

攝政名

大正十二年九月十二日

各大臣副署

(二) 攝政宮御沙汰

攝政宮殿下ハ三日午後六時三十分山本内閣總理大臣ヲ赤坂離宮ニ召サセラレ左ノ御沙汰ヲ賜ハリタリ

今回稀有ノ大地震東京及近縣ヲ襲ヒ之ニ加フルニ大火ヲ以テシテ其ノ慘害甚ク大ナルハ實ニ國家生民ノ不幸ナリ予ハ其ノ實況ヲ見聞シテ日夜憂戚シ殊ニ罹災者ノ境遇ニ對シテハ心深ク之ヲ傷ヘ茲ニ内帑ヲ頒チテ其ノ苦痛ノ情ヲ慰メント欲ス官民其レ協力シテ適宜應急ノ處置ヲ爲シ以テ遺憾ナキヲ期セヨ

(三) 内閣告諭

内閣告諭第一號

東京及近縣ニ亘レル今次ノ震災ハ伴フニ大火災ヲ以テシテ慘害ノ甚シキ言語ニ絶シ日常ノ設備蕩然一空ニ歸シ焦眉ノ措置最モ急ヲ要ス

政府ハ先ツ秩序ヲ保チ安定ヲ得シムルニ勉メ食糧物資ノ補給建築材料ノ準備其ノ他應急百般ノ施設ヲ爲スニ於テ最善ノ努力ヲ竭クシツ、アリ

攝政殿下深ク御憂慮アラセラレ親シク優渥ナル 御沙汰ヲ賜ヒ内帑ノ資ヲ發セララル、旨ヲ傳ヘラレ適宜應急ノ處置ヲ爲シ遺憾ナキヲ望マセラル生民ノ休戚ニ就キ御軫念アラセララル、ノ深キ同胞ト俱ニ本大臣ノ恐懼感激ニ堪ヘサル所ナリ茲ニ 聖旨ヲ奉シテ應急ノ處置ヲ執リ復舊ヲ圖ルハ政府ノ全力ヲ擧ケテ事ニ從フ所ナルモ亦舉國一致ノ奮發協力ニ待ツコト切ナリ冀クハ罹災者ハ固ヨリ一般ノ國民皆能ク聖旨ノ厚キヲ奉體シ官民戮力以テ仁慈ナル 御沙汰

ノ貫徹ヲ期シ各自相激勵シテ適應ノ處置ヲ誤ラス此ノ異常ノ災害ニ對シテ絶大ノ努力ヲ致サ
レムコトヲ是レ本大臣ノ切望ニ堪ヘサル所ナリ

大正十二年九月四日

四

内閣告諭第二號

内閣總理大臣伯爵 山本權兵衛

今次ノ震災ニ乘シ一部不逞鮮人ノ妄動アリトシテ鮮人ニ對シ頗フル不快ノ感ヲ抱ク者アリト
聞ク鮮人ノ所爲若シ不逞ニ亘ルニ於テハ速ニ取締ノ軍隊又ハ警察官ニ通告シテ其ノ處置ニ俟
ツヘキモノナルニ民衆自ラ濫ニ鮮人ニ迫害ヲ加フルカ如キコトハ固ヨリ日鮮同化ノ根本主義
ニ背戾スルノミナラス又諸外國ニ報セラレテ決シテ好マシキコトニ非ス事ハ今次ノ唐突ニシ
テ困難ナル事態ニ際會シタルニ基ニスト認メラル、モ刻下ノ非常時ニ當リ克ク平素ノ冷靜ヲ
失ハス慎重前後ノ處置ヲ誤ラス以テ我國民ノ節制ト平和ノ精神ヲ發揮セムトハ本大臣ノ此際
特ニ望ム所ニシテ民衆各自ノ切ニ自重ヲ求ムル次第ナリ

大正十二年九月五日

内閣總理大臣伯爵 山本權兵衛

内閣告諭號外

我至仁至慈ナル 天皇陛下ニハ今回震災ノ被害極メテ慘烈ナルヲ深ク軫念アラセラレ震ニ内
帑ノ資壹千萬圓ヲ下シ賜ヒ今亦 大詔ヲ煥發シテ惠撫慈養ノ道ヲ示シ給フ 尙就任後日尙淺
ク此ノ 風命ヲ拜シテ恐懼措ク所ヲ知ラス敢テ帝都復興ノ計ヲ立テ以テ上ハ 宸襟ヲ安シ奉
ヲ下ハ數百萬罹災者ヲシテ生活ノ安定ヲ得シメムコトヲ期ス今回ノ震災ハ其ノ區域一府四縣

ニ跨リ東京ヲ始メトシテ横濱其ノ他湘南房總ノ地特ニ被害ノ劇シキモノアリ家屋ヲ燒盡シ父
母骨肉ヲ喪ヒタル幾百萬ノ災民ハ殘壁燼瓦ノ間ニ佇ミテ食フニ糧ナク着ルニ衣ナク焦髮爛身
命且夕ニ迫ルモノ比々皆然リ在留外國官民ノ遭難者亦甚多シ是レ不肖ノ其ニ心痛已マサル所
ナリ此ノ時ニ際シ友邦ノ元首ヲ始メ各國官民ノ今次事變ニ對シ至大ナル救援ノ厚情ヲ表セラ
レタルハ不肖同胞ト共ニ感謝措ク能ハス但シ夫レ多數罹災民ハ概ネ能ク危急ヲ冒シ艱苦ニ耐
ヘ沈着ノ態度ヲ失ハサリシモ此ノ間多少ノ常軌ヲ逸シタルモノアルヲ免レス此ノ如キハ一時
ノ誤解ニ外ナラサリシヲ以テ今ヤ全ク其ノ跡ヲ絶テリ

固ヨリ今次ノ震災ニ方リ政府ハ夙ニ臨機ノ措置ヲ取り戒嚴令ヲ布キ糧食ノ供給假令ノ急策ニ
着手シ極力流言蜚語ヲ禁遏シ非違ヲ警メ民間亦政府ト相呼應シテ賑恤救護ノ義舉ニ出ツル者
多ク爲ニ焦眉ノ急ヲ拯フコトヲ得タリト雖一時ノ救恤ハ以テ災民持久ノ生活ヲ保障スルニ足
ラス是ヲ以テ政府ハ銳意水陸交通ノ復活ヲ圖リ財政ノ許ス限リニ於テ金融機關ノ開滑ヲ期シ
衣食住ニ關スル必需品ヲ調達シテ遭難地方ニ提供シツ、アリ此ノ場合ニ際シテハ官民俱ニ平
時ノ條規ニ膠柱セス公道ニ基キ人情ニ酌ミ便宜責任ヲ負ヒテ變通ノ道ヲ開カムコトヲ切望ス
要フル所ハ此ノ稀有ノ天災ヲ奇貨トシ個人又ハ會社ノ生活必需品ヲ運用シ機ヲ見テ暴利ヲ征
セムトスルニ在リ此ノ如キハ最モ戒飭セサルヘカラサル所ニシテ 聖慮ヲ注カセ給フ所亦此
ニ存ス各自能ク其ノ公德心ニ訴ヘテ私利ヲ後ニシ以テ多數同胞ト苦樂ヲ共ニスルノ覺悟アル
ヲ要ス例ヘハ保險事業ノ如キハ其ノ性質上社會公衆ノ安固ヲ目的トスルモノナルヲ以テ此ノ
重大ナル事變ニ顯ミ幾十萬ノ信賴ニ負カサルヤウ犧牲ノ精神ヲ發揮シテ慎重ノ考慮ヲ盡シ當
業者終局ノ利益ヲ期スヘク其ノ他米穀木材船舶等ノ當業者亦俱ニ營利ノ目的ヲ離レテ物資ノ

五

配給ニ勉メ以テ同胞共榮ノ美ヲ濟サ、ルヘカラス
 政府ハ今ヤ極力物資ヲ豊富ニシテ之ヲ震災地ニ急送セシメ都部ノ別ナク之カ公平ナル分配ニ
 勉メツ、アリ局ニ當ルノ所在官公吏ハ益々物資供給ノ敏活ヲ期シテ之カ普及ニ努力スヘク一
 般官公吏亦此ノ非常ノ場合ニ處シ心身ノ許ス限リ職務ニ映掌スヘシ殊ニ職ニ治安ノ任ニ在ル
 者ニ至リテハ懇切ニ民衆ヲ勞ハルト共ニ嚴密ニ非違ヲ警メ以テ其ノ責務ヲ完ウスヘシ願フニ
 東京ハ、先帝登極ノ初特ニ車駕東幸シテ親シク宮城ヲ定メサセ給ヒシ所爾來五十有六年ノ星
 霜ヲ閱シテ國都ノ規模既ニ備ハリ政治經濟ノ樞軸トナリ文教風化ノ淵藪トナリ中外ノ具ニ瞻
 望スル所ナリ之ヲ復興スルノ努力如何ハ世界列國ノ環視スル所我邦實力如何ヲ知ルノ試金石
 亦此ニ在リ是ノ故ニ帝都ノ復興ハ單ナル一市府ノ問題ニ非スシテ實ニ帝國ノ隆運ヲ進暢スル
 國家重要ノ事業タリ隨ツテソノ方策ハ、聖旨ヲ奉戴シ當ニ舊時ノ盛觀ヲ回復スルノミニ止マ
 ラス更ニ進テ將來ノ發展ヲ豫想シ之カ計畫ヲ立テサルヘカラス之カ爲政府ハ先ツ帝都復興審
 議會ヲ特設シ朝野ノ衆智ヲ集メテ重要ノ案件ヲ審議シ別ニ適當ノ機關ヲ設ケ緩急序ヲ逐フテ
 着々其ノ成案ヲ實施セシメ以テ國都タルノ實ヲ完ウセシムコトヲ期ス
 茲ニ恭シク、大詔ヲ奉讀シテ仁慈ノ渥キニ感激シ恐懼己ム無シ熟々考フルニ昌平日久シクシ
 テ人心漸ク浮華ニ流レ放縱ニ走り歷代ノ内閣累次ニ訓示策勵スレトモ積弊ノ馴致スル所容易
 ニ頽風ノ一轉ヲ見ス今ヤ非常ノ難局ニ際會シテ、宸襟ヲ惱シ奉ルコト此ノ如シ是レ朝野一般
 竦然トシテ大ニ覺醒スヘキノ秋ナリ願ミレハ罹災府縣數百萬ノ同胞ハ骨肉ニ別レ住家ニ離レ
 今尙短褐雨露ニ暴サレ一掬ノ玄米ニ縲命ヲ繫クノ情態ニ沈淪セリ苟モ之ニ同情セハ人々相戒
 メテ華ヲ去リ實ニ就キ質素勤儉依テ得ル所ノ餘力ヲ以テ罹災同胞ノ救護ニ應シ同心協力進テ

帝都復興ノ難事業ニ至大ノ援助ヲ與ヘ與國ノ基ヲ固ウシ以テ、聖慮ニ副ヒ奉ルハ不肖ノ切望
 シテ已マサル所ナリ
 大正十二年九月十六日

内閣總理大臣伯爵 山本權兵衛

(四) 文部省告諭臨第一號

今次未曾有ノ震災ニ因リ學校ノ破壊燒失セシモノ甚タ多ク當分罹災地學生生徒兒童等ノ修學
 上困難ナル事情尠カラサル洵ニ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ予ハ關係諸員ヲ督勵シテ出來得ル限リ
 之カ善後ノ方策ヲ講シツ、アリ諸子ハ自重自制其ノ健康ノ保全ニ留意シ平素ノ修養ヲ發揮シ
 テ或ハ罹災者救護ニ關スル事業ニ奉仕シ或ハ人心安定ニ必要ナル施設ニ助力シ以テ非常變災
 時ニ處スルノ途ヲ誤ラサル様努メラルヘシ震災地以外ノ學生生徒兒童ニ在リテハ災害ニ罹レ
 ル薄倖ナル學生生徒ニ對シテハ勿論一般罹災者ニ對シ深厚ナル同情ヲ注キ奉公博愛ノ美德ヲ
 實踐シ以テ其ノ本分ヲ全ウセラレムコトヲ切望ス

大正十二年九月九日

文部大臣 岡野敬次郎

(五) 東京市長告諭

永田市長ハ九月十五日夕刻市民ニ對シ左ノ告諭ヲ發セリ
 本市今回ノ凶災ハ大地震ニ加フルニ大火ヲ以テシ延焼十四區ニ亘リ四十一萬一千餘戸ヲ燒毀
 シ百五十四萬七千餘ノ死傷者ヲ出タシ本市面積ノ約五割ヲ焦土ニ歸セシメタリ恭クモ

天皇陛下ニハ災殃ヲ軫念アラセラルレ内帑ヲ發シテ贖救シ有司ニ命シテ濟恤惠撫到ラサル所無カラシメ更ニ大詔ヲ下シテ人心趨向ノ準規ヲ示シ臨機果斷以テ非常ノ時ニ處シ緩急愆ラス以テ善治ノ施設ヲ舉ゲ獨リ帝都ノ舊態ヲ回復スルニ止マラス進テ將來ノ發展ヲ圖リ以テ巷衢ノ面目ヲ新ニスルコトヲ望マセラレ特殊機關ノ設置ヲ命シ籌畫經營萬遠算無キヲ期セシメラル疊殺下ノ臣民タル者誰カ恐懼感激セテランヤ不肖市長ノ任ニ膺リ災害措置ノ重責ニ直面シ外名譽職員ノ犧牲的奉仕ニ倚リ内部下全員ノ必死の活動ニ依テ方ニ施設ノ遺漏無キニ勉ム幸ニ舉國官民ノ齊シク起テテ救援應護ノ客マサル有リ之カ爲メ食糧ソノ他ノ諸材料皆缺乏ヲ訴フルニ至ラス人心日ニ安定シ凡百ノ施爲今ヤ將ニ次ヲ以テソノ結ニ就カントスコレ本職ノ當カニ欣フ所ナリ然レトモ振古未曾有ノ慘害ニ遭フ之カ復興ノ業ニ至ツテハ決シテ容易ナラス聖旨ヲ奉體シ鞠躬盡力事ニ當ルト雖モ猶且及ハサランコトヲ恐ル市民諸氏亦共ニ天殃ヲ戒畏シ節制有ル行動ヲ採リ秩序安寧ヲ確保シ一面ニハ自重自信シテ大市民ノ意氣ヲ失ハス絶大ノ覺悟ヲ以テ奮然興起シ自治的精神ヲ發揮シテ公私一致能クコノ事業ヲ完成シ之ヲ後昆ニ垂レ以テ上優渥ナル雅旨ニ副ヒ奉ランコト定ニ本職ノ切望シテ已マサル所ナリ

(六) 震火災ニ伴フ諸法令

事起斯ノ如ク急迫ナルニヨリ政府ハ先ツ戒嚴令ヲ施行シ以テ秩序ノ維持ニ力メ同時ニ食糧其ノ他生活必需品ノ供給ヲ圓滑ナラシメンカ爲ニ非常徵發令ヲ公布シ且暴利取締令ヲ發シテ生活必需品ノ價格ノ昂騰其他賣價買占等ヲ取締ル所アリ又罹災民救護ノ爲臨時震災救護事務局官制ヲ定メタリ尙震災地ニ於ケル米穀以外ノ生活必需品並土木又ハ建築ノ用ニ供スル器具機

材及材料ノ供給ヲ圓滑ナラシムル目的ヲ以テ九月二十二日緊急勅令ヲ以テ臨時物資供給令及同特別會計令ヲ公布セリ
其ノ他或ハ財界ノ變動ヲ防止センカ爲ニ支拂猶豫令ヲ發シ或ハ生活必需品ニ對シ輸入稅ヲ減免シ或ハ震災被害者ニ對シ租稅ヲ減免スル等震災善後ノ爲ノ法令漸發セララル

如上各般ノ震災善後處分實行セララル、開帝都復興ノ議ハ着々畫策審議セララル、即チ九月六日午前開催ノ閣議ニ後藤內務大臣左ノ議ヲ提出セリ、(大正十二年九月四日後藤內務大臣起案九月五日淨寫六日午前閣議一覽ニ供ス)

帝都復興ノ議

東京ハ帝國ノ首都ニシテ國家政治ノ中心、國民文化ノ淵源タリ從テ其ノ復興ハ嘗ニ一都市ノ形體回復ノ問題ニ非スシテ實ニ帝國ノ發展國民生活改善ノ根基ヲ形成スルニ在リサレハ今次ノ震災ハ帝都ヲ化シテ焦土ト成シ其ノ慘害言フニ忍ヒサルモノアリト雖モ理想的帝都建設ノ爲眞ニ絶好ノ機會ナリ此ノ機ニ際シ宜シク一大英斷ヲ以テ帝都建設ノ大策ヲ確立シ之カ實現ヲ期セサルヘカラス躊躇逡巡此ノ好機ヲ逸セムカ國家永遠ノ悔ヲ遺スニ至ルヘシ因テ茲ニ臨時帝都復興調查會ヲ設ケ帝都復興ノ最高政策ヲ審議決定セシムトス
臨時帝都復興調查會ノ組織大要左ノ如シ

總裁 內閣總理大臣

委員 一 國務大臣

二 樞密院議長

- 三 内閣總理大臣若クハ國務大臣タル禮遇ヲ賜ハリタル者
- 四 國務大臣タリシ者又ハ親任官中ヨリ勅命セラレタル者
- 五 學識經驗アル者ヨリ勅命セラレタル者

帝都復興ノ大方針ヲ決定スルコト即

- イ 復興ニ關スル特設官廳ノ新設
- ロ 復興ニ關スル經費支辨ノ方法
- ハ 罹災地域ニ於ケル土地整理策等

此等ノ問題ニ對スル腹案左ノ如シ
 (一) 帝都復興ノ計畫及執行ノ事務ヲ掌ラシムル爲メ新タニ獨立ノ一機關ヲ設クルコト
 其ノ組織大要左ノ如シ

- イ 復興計畫局
 - 一 都市ノ復興計畫ニ關スル事務
 - 二 都市計畫法ノ施行ニ關スル事務
- ロ 建築事務局
 - 一 諸官廳舍ノ建築ニ關スル事務
- ハ 建築監督局
 - 一 建築物法ノ施行ニ關スル事務
- ニ 土地整理局

キ 救護局

- 一 震災地域ノ土地整理ニ關スル事務
- 一 罹災民ニ對スル衣食救護ニ關スル事務
- 二 家屋建築並ニ供給ニ關スル事務

ヘ 財務局

一 帝都建設ノ爲メニ要スル經費其ノ他財務ニ關スル事務
 右ノ外帝都復興計畫調査會ヲ設ケ復興計畫ニ關スル當局ノ諮問機關トスルコト
 其ノ組織大要左ノ如シ

會長

- (一) 關係各省官吏
- (二) 關係地方長官
- (三) 關係市長
- (四) 學識經驗者

- (二) 帝都復興ニ要スル經費ハ原則トシテ國費ヲ以テ支辨スルコト而シテ之ニ充當スル財源ハ長期ノ内外債ニ依ルコト
- (三) 罹災地域ノ土地ハ公債ヲ發行シテ此ノ際之ヲ買收シ以テ土地ノ整理ヲ實行シタル上必要ニ應シテ更ラニ適當公平ニ其ノ賣却又ハ貸付ヲ爲スコト

右第二項ニ付テハ大體異議ナカリシモ第三項ニ關シテハ閣議ニ於テ尙具體的ニ研究ヲナシ大體

當局ト交渉ヲ要スルコト、ナリ容易ニ決定ニ至ラス其ノ攻究ヲ進メ現今燒失區域全部ニ亘リ實行セントスル土地區劃整理案ハ第三項之カ基トナリ其後具體的研究ニ入り種々立案審議ノ結果確立セラレタルモノナリトス

右第三項ニシテ若シ第二項ノ如ク直ニ決定セハ蓋シ臨時議會ハ十一月中ニ之カ召集ヲ見ルコトヲ得ヘカリシナラン

更ラニ帝都復興事業ノ管掌ノ特設機關ニ付キテハ二案アリ其ノ一ハ凡テ帝都復興ニ關スル事業ハ國家事業トシ之ヲ直接特設機關ニ於テ管掌スルヲ可トスル案即チ帝都復興省案ニシテ其ノ二ハ計畫ノ決定機關ト其ノ執行機關トヲ分ツヲ可トスルモノ即チ帝都復興院案ナリ。

前者ハ後藤內務大臣ノ提案スル所ニシテ電信電話ノ回復三億八千萬圓帝國大學ノ復興一億圓及各官廳建築費其ノ他政治都市關係事業ノ一切ヲ合シ約三十五億圓トナルモノナリ後者ハ內閣側提案ニシテ復興ノ計畫考査ヲナスヘキ機關トシ其ノ執行ハ各省所管ニ任セントスルニ在リ
省院兩案ノ主張ノ要領ヲ左ニ掲ク

復興省設立ノ議

今回ノ震災ノ如ク國ノ首腦タル帝都ノ首要部分ヲ燒盡シ殆ント其ノ面目ヲ止メサルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ復興ハ單純ナル地方問題ニ非スシテ實ニ國運ノ消長ニモ影響スヘキ重要至大ノ國家問題ナリ又謹シテ詔勅ノ御趣旨ヲ拜察スルモ帝都復興事業ハ國家事業トシテ之ヲ執行シ之ニ要スル經費ハ之ヲ國庫ニ於テ負擔スヘク而シテ其ノ事務ハ之ヲ直接特設復興機關ニ於テ掌理スルヲ可トス斯クテコソ事務ノ統一ハ庶幾セラレ其ノ實踐ヲ舉クルヲ得ヘキナリ計畫ノ決定

機關ト其ノ執行機關トヲ分チ特設復興機關ノ權限ハ單ニ計畫ヲ定ムルニ限定セラレ其ノ定メタル計畫ハ之ヲ移シテ各省ヲシテ其ノ執行ニ當ラシメ自治團體ニ於テ執行ヲ要スルモノハ各省ヨリ更ニ之ヲ自治團體ニ移シテ其ノ執行ニ待ツト謂フ如キ緩慢繁雜ナル組織手續ヲ以テシテハ事務ノ敏活徹底ハ到底之ヲ期スヘカラス事毎ニ支拂滯滞ヲ來スヲ免レサルヘシ之ニ加フルニ計畫ヲ定ムルニ付キ原案機關タルヘキ特設復興機關ノ地位實力カ執行機關タル各省ニ及ハサル有様ニテハ其ノ計畫ヲ定ムルニ當リ各省ニ制肘セラレ特設機關ヲ設ケタルノ趣旨ヲ没却シ其ノ機能ヲ發揮スルコト能ハス遂ニ或ハ事務取次キ機關タルニ終リ徒ニ事務ヲ滯滞スルニ終ランコトヲ

模ル

之ヲ要スルニ復興機關ハ計畫ヲ定ムルト共ニ自ラ其ノ執行ニ當ル有力ナル機關タルコトヲ要シ其ノ地位實力ハ各省ト對立スルモノナラサルヘカラス論シテ茲ニ至リ此ノ特設復興機關ハ之ヲ

一省トシテ設置スルノ必要ナルヲ思ハスシハアラス

上述ノ如キ組織ト爲スノ結果ハ帝都ノ復興ニ關スル限リ

一 各省所管ニ屬スル事務ヲ此ノ特設機關ニ集中シ

二 自治團體ノ權限モ亦之ヲ此ノ機關ニ移スノ

必要アリ之事務ノ統一敏活徹底ヲ期スル上ニ於テ誠ニ至當ニシテ且ツ已ムヲ得サル所ナリト信ス各省府縣及自治團體ハ日常ノ事務ヲ處理スルコト從來ノ如ク而シテ復興ニ關スル事務ハ其ノ計畫タルト執行タルトヲ問ハス又國家事務ナルト自治事務ナルトニ拘ラス擧ゲテ之ヲ特設復興機關ノ權限ニ委スヘキナリ而シテ各省トノ關係ニ於テハ關係アル事務ニ就キ之ヲ協議スルニ依リテ其ノ聯絡ヲ保持スルヲ得ヘク重要ナル案件ハ閣議又ハ復興審議會ノ審議ヲ求ムヘキナリ之

ニ反シテ各省管掌事務ハ其ノ復興事務ニ屬スルモノト雖其ノ事務ニ精通熟練セル各省ヲシテ其ノ執行ニ當ラシムルヲ以テ便利トスト論スル者アリ此案モ一理ナキニ非スト雖之ヲ以テ一省統一制ヨリモ一院制ヲ優レリト爲スノ論據トハ爲ス能ハサルヘシ何トナレハ復興院案モ復興ノ計畫ニ就テハ復興院ヲシテ専ラ之ニ當ラシメントスルモノナレハ獨リ執行ニ就テ各省平時熟練ノ力ヲ借ルコトヲ必要トシ其ノ根本タルヘキ計畫ノ決定ニ就キテハ其ノ力ヲ借ルノ要ナシト爲スノ理由解シ難クレハナリ結局論理ノ徹底ヲ期スレハ各省練達ノ力ヲ借ラントスルノ論ハ遂ニ特設機關否認論ニ終ラサルヘカラス苟モ特設機關ヲ必要トシ之ヲ是認スル以上計畫ト執行ト共ニ統一スルヲ以テ得策トス

附言

横濱ハ帝都ノ關門トシテ其ノ復興ハ帝都復興特設機關ニ於テ併セ管掌スルヲ可トスヘシ

帝都復興省官制案

第一條 帝都復興大臣ハ帝都ノ都市計畫並其ノ執行、帝都ニ於ケル市街地建築物法ノ施行、諸官廳廳舎ノ建築其ノ他帝都ノ復興ニ關スル事務ヲ管理ス

第二條 帝都復興省專任參事官ハ三人專任書記官ハ八人ヲ以テ定員トス

第三條 帝都復興省ニ左ノ六局ヲ置ク

- 復興計畫局
- 建築事務局
- 建築監督局

- 土地整理局
- 材料局
- 會計局

第四條 復興計畫局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 帝都ノ復興計畫ニ關スル事項

二 帝都ニ於ケル都市計畫法ノ施行ニ關スル事項

第五條 建築事務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 諸官廳舎ノ建築ニ關スル事項

二 家屋ノ建築並供給ニ關スル事項

第六條 建築監督局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 帝都ニ於ケル建築物法ノ施行ニ關スル事項

第七條 土地整理局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 帝都ノ土地整理ニ關スル事項

第八條 材料局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 帝都復興ニ要スル諸材料ノ調達及供給ニ關スル事項

第九條 會計局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 本省所管ノ經費及諸收入ノ豫算並會計ニ關スル事項

二 本省所管ノ官有財産及物品ニ關スル事項

第十條 帝都復興省ニ省務ニ參與セシムル爲參與ヲ置ク

參與ハ帝都復興大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官警視總監東京府知事東京市長並學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第十一條 帝都復興省ニ專任帝都復興監察官二人ヲ置キ一人勅任一人奏任トス大臣ノ命ヲ承ケ事務ノ執行ヲ監察ス

第十二條 帝都復興省ニ專任事務官二十四人ヲ置ク奏任トス各局課ニ分屬シ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十三條 帝都復興省ニ專任技師百五人ヲ置ク内十人ヲ勅任ト爲スコトヲ得技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十四條 帝都復興省ニ專任屬及專任技手ヲ通シテ五百二十五人ヲ置ク

附 則

本令ハ大正 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

明治二十六年十月三十一日勅令第二百二十二號各省官制通則第一條中「及」ヲ削リ鐵道ノ次ニ「及帝都復興」ノ五字ヲ加フ

附 則

本令ハ大正 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

帝都復興評議會官制案

第一條 帝都復興評議會ハ帝都復興大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮詢ニ依リ帝都復興ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第二條 帝都復興評議會ハ會長一人評議員三十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時評議員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ帝都復興大臣ヲ以テ之ニ充テ評議員及臨時評議員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長トナル

會長事故アルトキハ帝都復興大臣ノ指名スル評議員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 評議會ニ幹事ヲ置ク内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長及副會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 評議會ニ書記ヲ置ク帝都復興大臣之ヲ命ス書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則

本令ハ大正 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

帝都復興院官制案

第一條 帝都復興院ハ内閣總理大臣ノ管理ニ屬シ左ニ掲クル事務ヲ掌ル
一 帝都其ノ他ノ震災地復興ノ計畫

二帝都其ノ他ノ震災地復興ニ關スル執行事務ノ考査
第二條 帝都復興院ニ左ノ職員ヲ置ク

- 總裁 親任
- 副總裁 一人 勅任
- 部長 一人 勅任
- 書記官 專任 人 奏任
- 事務官 專任 人 奏任
- 技師 專任 人 奏任
- 屬 專任 人 奏任
- 技手 專任 人 奏任

前項ノ部長ノ外内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ部長ヲ命スルコトヲ得

部長ハ勅任官ノ待遇トス

第三條 帝都復興院ニ總裁官房及左ノ部ヲ置ク

- 部
- 部
- 部
- 部
- 部

- 第四條 總裁ハ院務ヲ總理ス
- 第五條 副總裁ハ總裁ヲ補佐シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
- 第六條 部長ハ總裁及副總裁ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス
- 第七條 書記官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
- 第八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
- 第九條 第二條職員ノ外院務ニ參與セシムル爲參與ヲ置ク

參與ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

- 第十條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第十一條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス
- 第十二條 帝都復興院ニ評議會ヲ置ク
- 總裁ノ諮詢ニ應シ帝都其ノ他ノ震災地復興ニ關スル重要ノ事項ヲ調査審議ス
- 第十三條 評議會ハ會長一人副會長一人評議員 人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
- 特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時評議員ヲ置クコトヲ得

- 第十四條 會長、副會長、評議員及臨時評議員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 第十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 會長事故アルトキハ總裁ノ指名スル副會長其ノ職務ヲ代理ス
- 第十六條 評議會ニ部ヲ置キ評議員及臨時評議員ヲ之ニ分屬セシム
- 各部ニ部長ヲ置ク
- 第十七條 評議會ニ幹事ヲ置ク内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 幹事ハ會長及副會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 第十八條 評議會ニ書記ヲ置ク内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

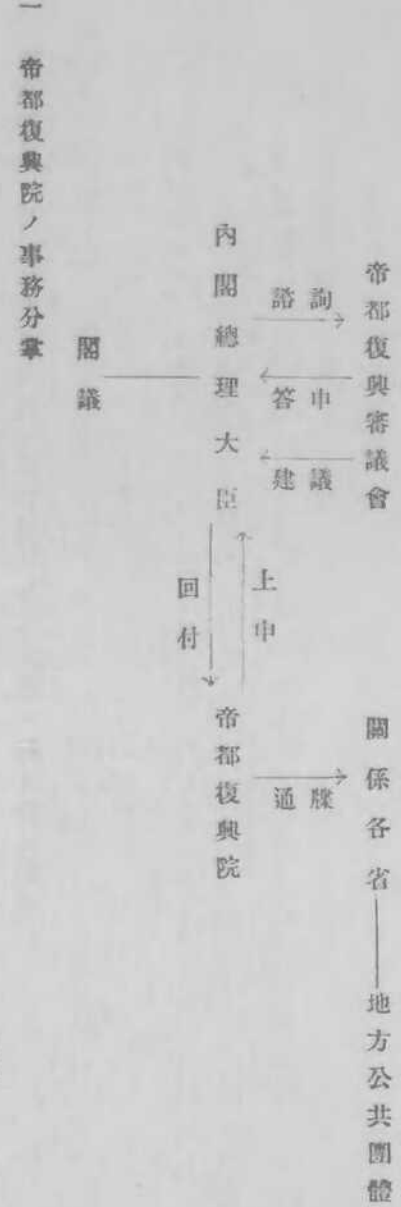
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

帝都復興院ト帝都復興事業トノ關係

- 一 帝都復興事業ニ要スル經費
 - 帝都復興事業ニ要スル經費ハ其ノ計畫ニ屬スルモノハ帝都復興事業費ノ豫算ヲ以テ之ヲ處辨シ其ノ執行ニ屬スルモノハ其ノ事業ヲ執行スル關係各省府縣市等ノ經費ヲ以テ之ヲ處辨ス但シ地方公共團體ノ負擔ニ屬スル經費ニハ國費ヲ以テ之ニ補給スルコトアルヘシ
- 一 帝都復興院ノ權限
 - 帝都復興ノ爲メ帝都復興院ヲ置ク

帝都復興院ハ帝都復興ノ計畫ヲ定メ其ノ計畫シタル事項ニ付各屬ノ執行ヲ考査ス(官制別紙ノ通)

- 一 帝都復興院ト内閣、帝都復興審議會、各省等トノ關係
 - 一 帝都復興ニ關スル事項ハ先ツ帝都復興院ニ於テ之ヲ起案シ内閣總理大臣ニ上申ス
 - 二 内閣總理大臣ハ事項輕微ナルトキハ直ニ又ハ閣議ニ諮リ之ヲ決定シテ復興院ニ回付ス
 - 三 事項重要ナルトキハ内閣總理大臣ハ之ヲ帝都復興審議會ニ諮詢シ其ノ答申ヲ俟チ閣議ヲ經テ之ヲ復興院ニ回付ス
 - 四 帝都復興審議會内閣總理大臣ニ建議シタルトキハ之ヲ復興院ニ回付シテ調査セシム
 - 五 復興院内閣總理大臣ノ決議ヲ得タルトキハ關係各省ニ通牒シテ之ヲ執行セシム
 - 六 地方公共團體ノ執行ヲ要スルモノハ各省ヨリ更ニ之ヲ通牒ス
 - 七 以上ノ關係ヲ圖解セハ左ノ如シ



帝都復興院ニ總裁官房及九部ヲ置ク其ノ事務分掌ハ概ネ左ノ如シ
總裁官房

- 一 秘書、人事及文書ニ關スル事項
- 二 法規ニ關スル事項
- 三 各部ニ屬セザル事項

土木部

- 一 罹災跡ノ整理ニ關スル事項
- 二 帝都復興事業施行區域ニ關スル事項
- 三 土地ノ區劃整理ニ關スル事項
- 四 瓦斯及電氣ニ關スル事項
- 五 地下埋藏物ノ整理ニ關スル事項

建築部

- 一 一般建築物ニ關スル事項

- 二 官公衙學校、集會場、劇場、旅館、工場、倉庫等ノ特殊建築物ニ關スル事項

衛生部

- 一 衛生ノ調査ニ關スル事項
- 二 上下水道ニ關スル事項
- 三 公園及植樹ニ關スル事項

社會部

- 一 各種社會政策的施設ニ關スル事項

金融部

- 一 金融機關ノ復活改善ニ關スル事項

經濟部

- 一 商工業ノ復興ニ關スル事項
- 二 物資配給組織ノ改善ニ關スル事項
- 三 勞銀及物價ニ關スル事項

交通部

- 一 交通系統ノ調査ニ關スル事項
- 二 道路及廣場ニ關スル事項
- 三 河川、港灣及運河ニ關スル事項
- 四 軌道及鐵道ニ關スル事項

通信部

- 一 通信機關ノ改善ニ關スル事項

經理部

- 一 帝都復興事業ニ要スル財源ノ調査ニ關スル事項
- 二 復興事業施行地ノ公共團體ノ財政ニ關スル事項
- 三 復興事業費ノ經理ニ關スル事項

一 民間人士ノ簡拔

帝都復興事業ノ舉國一致ヲ要スヘキニ鑑ミ民間有爲ノ士ヲ簡拔シテ帝都復興院ノ職員ニ任命スヘシ例ヘハ部長ノ如キ重職モ官吏ノ外民間ノ士ヲシテ之ニ當ラシメ又參與ヲ置キ評議會ヲ附設シテ務メテ民情ノ暢達ヲ圖ルヘシ

一 臨時震災救護事務局トノ關係

臨時震災救護事務局ハ震災ニ當リ罹災者救護ノ爲臨機之ヲ設ケタルモノニシテ秩序ノ回復ト共ニ之ヲ整理シ次テ之ヲ廢止シテ其ノ事務ヲ殘務取扱ニ移スヘク茲ニ設ケムトスル帝都復興院トハ關係ナク終始セシムヘシ

尙前掲後藤内務大臣提唱ニカ、ル帝都復興調査會ハ帝都復興審議會トシテ九月十九日官制ノ公布ヲ見タリ帝都復興調査會官制案及帝都復興審議會官制ヲ左ニ掲ク

帝都復興調査會官制案

第一條 帝都復興調査會ハ内閣總理大臣ノ諮詢ニ應シ帝都其ノ他ノ震災地ノ復興ニ關スル重要ノ案件ヲ考查審議ス

第二條 調査會ハ帝都其ノ他ノ震災地ノ復興ニ關スル重要ノ案件ニ付内閣總理大臣ニ建議スルコトヲ得

第三條 調査會ハ總裁一人委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 總裁ハ内閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ國務大臣内閣總理大臣若ハ國務大臣タル前官ノ禮遇ヲ賜リタル者國務大臣タリシ者親

任官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ之ヲ勅命ス

第五條 總裁ハ會務ヲ統理シ會議ノ議長ト爲ル

總裁事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第六條 調査會ニ幹事長一人幹事若干人ヲ置ク

第七條 幹事長ハ委員ノ中ヨリ之ヲ勅命ス庶務ヲ掌理ス

第八條 幹事ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス幹事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理 由

今次東京市府並ニ近縣ニ於ケル震災ハ伴フニ火災ヲ以テシ其ノ慘害著大ナリ此等震災地ノ復舊ヲ圖ルハ目下ノ急務トスル所ニシテ殊ニ東京ハ帝國ノ首都トシテ文化ノ樞軸ナルヲ以テ之カ復舊ニハ慎重講究ヲ盡サ、ルヘカラス仍テ茲ニ帝都其ノ他ノ震災地ノ復舊ニ關スル重要案件ヲ考查審議セシムル爲帝都復興調査會ヲ設ケムトス

帝都復興審議會官制 (大正十二年九月十九日勅令第四百十八號)

第一條 帝都復興審議會ハ内閣總理大臣ノ諮詢ニ應シ帝都其ノ他ノ震災地ノ復興ニ關スル重要ノ案件ヲ審議ス

第二條 帝都復興審議會ハ帝都其ノ他ノ震災地ノ復興ニ關スル重要ノ案件ニ付内閣總理大臣ニ建議スルコトヲ得

- 第三條 帝都復興審議會ハ總裁一人委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第四條 總裁ハ内閣總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ
- 委員ハ國務大臣、國務大臣タリシ者親任官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ之ヲ勅命ス
- 第五條 總裁ハ會務ヲ統理シ會議ノ議長ト爲ル
- 總裁事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス
- 第六條 帝都復興審議會ニ幹事長一人幹事若干人ヲ置ク
- 第七條 幹事長ハ委員ノ中ヨリ之ヲ勅命ス庶務ヲ掌理ス
- 第八條 幹事ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命シ幹事長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 第九條 委員ハ國務大臣ノ禮遇ヲ受ク

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二 帝都復興院官制公布ヨリ參與會開催迄ノ經過

(自大正十二年九月二十七日至同年十月末日)

帝都復興事業管掌特設機關ノ組織權限ニ付テハ既述ノ二案アリシモ結局名稱ハ之ヲ帝都復興院トシ其組織權限ニ付テハ省案ノ骨子ヲ取り各省主管事務ハ之ヲ除キ九月二十七日帝都復興院官制制定公布セララルニ至レリ同時ニ之ニ伴フ(一)高等官官等俸給中改正勅令第四二六號(二)文官任用令中改正勅令第四二七號(三)奏任文官特別任用令中改正勅令第四二八號等諸法令ノ制定ヲ見タリ

帝都復興院官制 (大正十二年九月二十七日 勅令第四百二十五號)

第一條 帝都復興院ハ内閣總理大臣ノ管理ニ屬シ東京及横濱ニ於ケル都市計畫、都市計畫事業ノ執行及市街地建築物法ノ施行其ノ他復興ニ關スル事務ヲ掌ル

帝都復興院ハ前項ノ外臨時物資供給令ノ施行ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 帝都復興院ニ左ノ職員ヲ置ク

- 總裁 親任
- 副總裁 二人 勅任
- 技監 一人 勅任
- 理事 七人 勅任

書記官	專任	十五人	奏任
事務官	專任	三十人	奏任
技師	專任	百五人	奏任
屬	專任	百五十人	判任
技手	專任	三百五十人	判任

前項事務官ノ外内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ命スルコトヲ得

第三條 帝都復興院ニ總裁官房及左ノ六局ヲ置ク

- 計畫局
- 土地整理局
- 建築局
- 土木局
- 物資供給局
- 經理局

第四條 總裁官房ニ於テハ機密、人事、文書其ノ他各局ニ屬セサル事項ニ關スル事務ヲ掌ル

第五條 計畫局ニ於テハ都市計畫其ノ他復興計畫ニ關スル事務ヲ掌ル

第六條 土地整理局ニ於テハ土地區劃整理其ノ他土地ノ整理ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 建築局ニ於テハ市街地建築物法ノ施行其ノ他建築ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條 土木局ニ於テハ都市計畫事務其ノ他ノ復興事業ノ執行ニ關スル事務ヲ掌ル

第九條 物資供給局ニ於テハ臨時物資供給令ノ施行其ノ他復興事業ニ要スル諸材料ノ調達ニ關スル事務ヲ掌ル

第十條 經理局ニ於テハ豫算決算其ノ他諸會計ニ關スル事務ヲ掌ル

第十一條 第二條職員ノ外院務ニ參與セシムル爲參與及參事ヲ置ク

參與及參事ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

參與ハ勅任官ノ待遇、參事ハ委任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第十二條 總裁ハ所屬職員ヲ統督シ院務ヲ總理シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第十三條 副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ總裁事故アルトキハ内閣總理大臣ノ指名シタル副總裁其ノ職務ヲ代理ス

第十四條 技師ハ技術ヲ統理ス

第十五條 局長ハ局長ヲ置キ理事ヲ以テ之ニ充ツ

局長ハ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十六條 理事ニシテ局長タラサルモノハ上官ノ命ヲ承ケ院務ヲ掌ル

第十七條 書記官及事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十九條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第二十條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第二十一條 帝都復興院ニ評議會ヲ置ク

評議會ハ總裁ノ諮詢ニ應シ重要ノ事項ヲ調査審議ス

第二十二條 評議會ハ會長一人評議員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲ニ必要アルトキハ臨時評議員ヲ置クコトヲ得

第二十三條 會長評議員及臨時評議員ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第二十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

第二十五條 評議會ニ幹事ヲ置ク内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第二十六條 評議會ニ書記ヲ置ク内閣ニ於テ之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

帝都復興院官制ニ就テ

一 今次ノ震災ハ伴フニ火災ヲ以テシ其被害著大ニシテ震災地ノ復興ニ付テハ至大ノ努力ヲ要スルハ多言ヲ須ヒス而シテ帝都カ政治經濟ノ中樞ニシテ文化ノ源泉ナルニ鑑ミ之カ復興ハ特ニ慎重ノ考究ヲ盡シ序ヲ追ヒ帝都復興ノ基本計畫ノ實施ニ全力ヲ注カサル可ラス然ルニ一主トシテ此等ノ事業執行ノ責任スヘキ都市ハ其主力ヲ奪ハレタルニ依リ國ニ於テ執行スルノ要アリ(二)此等ノ計畫及事業ハ各省ノ主務ニ亘ルカ故ニ之ヲ聯絡統一シテ必行ヲ期スル責任アリ

二 復興院ヲ内閣總理大臣ノ管理ニ屬セシメタルハ各省ノ間ニ於ケル交渉案件多ク之カ統制ヲ保タシムル必要アルニ因ル

三 帝都復興院ハ主トシテ復興ノ任ニ當リ罹災者ノ直接救護ハ臨時震災救護事務局ヲシテ繼續シテ其局ニ膺ラシム

四 帝都復興院ヲシテ主力ヲ東京及横濱ノ復興ニ盡サシムルハ帝都カ帝國ニ於ケル政治經濟ノ中樞ニシテ文化ノ源泉タルカ爲ニシテ横須賀市都市計畫法未施行地(其ノ他ノ震災地ノ復興ニ付テハ主トシテ)地方制度ノ運用ニ依テ國トシテハ必要ナル程度ニ於テ助成ヲ咨マサルヘシ

五 關係各省トノ關係ハ事務官制及參與參事制ニ依リテ運用ヲ圓滑ナラシメントス

六 都市計畫委員會トノ關係ハ都市計畫法ニ必要ナル改正ヲ加フルノ際相當措置セムトス結局評議會ノ組織ヲ以テ東京及横濱ニ於ケル都市計畫委員會ニ代位セシメントスル腹案ナリ

七 副總裁二人ヲ特設スルハ本院ノ事務ハ帝都復興ノ根本計畫ノ樹立及其ノ事業ノ執行ニ關スルモノト帝都ノ復興ニ要スル諸物資ノ供給計畫及其ノ實施ニ關スルモノトノ二大系統ヨリ成ルカ爲ナリ

帝都復興事業ニ付總裁ヲ輔佐スル副總裁ハ主トシテ東京及横濱ニ於ケル土木建築其他廣汎ナル都市計畫事業及之ニ伴フ市街地ノ區劃整理並地域制度ノ實施及商工業ノ復興並市民安定ノ

根源タル建築物ノ改善其ノ他震災地ノ復興ニ關スル事務ノ大宗ヲ統フ。然ルニ此等ノ事務ハ其性質ニ於テ又其分量ニ於テ既ニ一省一局ノ善處スル所ニ非ス其關係スル所ハ各省諸局ノ事務ト相交错シ又地方官官制上ニ於ケル府縣知事及警視總監ノ職權事項ニ亘ルノ外府縣制及市制等自治事務ノ範圍ト重疊シ常規ニ依リテ運用スヘカラス復興ノ業務ハ一機關ニ統合セラレ、ニ於テ初メテ偉業ヲ成就スヘキナリ

震災地ニ於ケル生活必需品並土木又ハ建築ノ用ニ供スル機械器具及材料類ノ供給ヲ圓滑ニシ帝都復興事業ノ達成ニ必要ナル諸材料及機械類ノ調辨ヲ確保スルハ帝都復興ノ業績ヲ擧クルノ要件タルハ論ヲ俟タス而シテ此等ノ事務ニ任スル機關ノ組織ヲ整備シ周密正鵠ノ計畫ヲ確立シ之カ特別會計經理ノ妙ヲ得テ供給令有終ノ美ヲ濟サシムルハ容易ノ業ニ非ス總裁ヲ輔佐スルニ練達ニシテ有能達識ニシテ果斷ノ專任副總裁アリテ始メテ之ヲ善クスヘシ

八 技監ヲ特設セルハ本院所屬ノ技術ハ都市計畫、土地ノ區劃整理、道路、橋梁、河川、運河、港灣、高速度鐵道、軌道、上下水道、糞尿及塵芥處分、學校、圖書館、市場、屠場其ノ他公私ノ建築並其用ニ供スル機械器具類ノ使用等土木建築上ノアラユル方面ニ亘リ幾多ノ專門技術ヲ要スルカ故ニ優越ナル技術官ヲ配置シテ之カ統理ニ任セシムルノ必要アルニ因ル

九 局制ヲ採リ理事ヲ以テ補職トシ勅任官ニ特別任用ノ途ヲ開カントスルハ事業ノ性質ニ鑑ミ官民ノ間ニ簡拔シテ有能練達ノ士ヲ登庸シ大ニ事蹟ヲ擧ケシメントスルノ趣旨ニ出ツ局長タラサル理事一人ヲ置キ局長ト同格タラシメタルハ常ニ各當局ノ職務ヲ勘責シ事業ノ執行ヲ確實ニシ兼テ震災地ニ於ケル官民ノ事情ヲ審ニセシメ院務ニ資セムトスル爲主トシテ之カ局ニ當ラシムルノ必要アルニ因ル尙本院ニハ參事官ノ制ヲ採ラサルニ依リ專任參事官ノ職

ヲモ兼掌セシム

九月二十九日總裁副總裁以下職員左記ノ通り任命セラレ同日ヨリ内務大臣官邸ニ於テ事務ヲ開始ス

兼任帝都復興院總裁

内務大臣從二位勳一等子爵 後藤新平

任帝都復興院副總裁兼帝都復興院理事

北海道廳長官從三位勳二等 宮尾舜治
從四位勳四等 松木幹一郎

任帝都復興院技監兼帝都復興院理事

正六位 直木倫太郎

兼任帝都復興院理事 帝都復興院計畫局長ヲ命ス

社會局長官正五位勳三等 池田宏

任帝都復興院理事

東京帝國大學工學部教授兼宮内技師正五位勳四等 佐野利器

任帝都復興院書記官

鐵道書記官兼鐵道省參事官從五位勳六等 十河信二

任帝都復興院書記官

鐵道省參事官從五位勳五等 金井清

兼任帝都復興院書記官

帝都復興院土地整理局長ヲ命ス

帝都復興院物資供給局長ヲ命ス

帝都復興院土木局長ヲ命ス

帝都復興院經理局長心得ヲ命ス

(以下十月六日附)

任帝都復興院理事 帝都復興院土地整理局長ヲ命ス

帝都復興院技術陸軍工兵少尉正五位勳四等

太田圓三

兼任帝都復興院理事 帝都復興院土木局長ヲ命ス

鐵道技術師陸軍工兵少尉正五位勳四等

太田圓三

內務技術師兼鐵道技術師都市計畫地方委員會技師

從五位勳六等 山田博愛

正六位勳四等 岸一太

內閣書記官正六位 長谷川勉夫

帝都復興院理事 宮尾舜治

帝都復興院理事 松本幹一郎

帝都復興院理事 直木倫太郎

帝都復興院書記官 十河信二

北海道廳土木部長正五位勳四等 稻葉健之助

任帝都復興院技師

帝都復興院副總裁兼帝都復興院理事 宮尾舜治

帝都復興院技監兼帝都復興院理事 直木倫太郎

免兼官

十月三日帝都復興院職員一同內務大臣官邸ニ參集總裁ヨリ左ノ訓示アリ

曩ニ宏遠ナル優詔ヲ拜シ、今ヤ帝都復興ノ規畫其歩ヲ進メントスルニ當リ各其機能ヲ傾ケ全力ヲ舉ゲテ災後ニ善處シ以テ上聖明ノ休命ヲ體膺シ奉リ下萬民ノ信憑ニ辜負スルナキヲ期スベキハ固ヨリ言ヲ俟タズ願ルニ這次ノ天災ハ寔ニ前代無比ノ慘禍ニシテ假ニ帝都ノ形情ヲ震災以前ノ狀態ニ復舊セシメントスルモ各個人ノ被害恢復ハ之ヲ別問題トシ國家及ビ自治體ノ施設ニ俟タザルベカラザル重要事業費ノ約幾億ノ巨額ニ上ルベキカ未タ卒カニ算出シ能ハズ元來我東京市ハ舊時代ノ礎上ニ築カレタル都市ナルヲ以テ文明機關ノ緻密精緻ヲ加フル毎ニ却ツテ益々不自然ノ發展ヲ爲シソレガ整齊既ニ甚タ至難ナルモノアリ然ラバ今日帝都復興ノ時期ニ於テ之カ改善ヲ圖リ科學上ヨリ見タル合理的施設ノ上ニ更ニ經濟的ナル計畫ヲ實現シ以テ文明都市ノ實體ヲ具備セシムヘク深ク意ヲ用ヒ奇形都市ノ跡ヲ絶ツノ要アルハ論ナキトコロナリ抑モ帝都ハ一國文化ノ源泉ニシテ國家機能ノ中樞地タリ之ガ復興ノ實績如何ハ汎ク中外ノ凝視スル所ナルノミナラズ其影響ノ及ブ所敢テ一市邑又ハ一局部商工業ノ盛衰ニ止ラズ廣ク國民經濟ノ消長ニモ繫リ國家精神ノ隆替ニモ關スルモノナシトセズ院ニ列スル者ノ責任極メテ重大ナルト同時ニ各部機關ノ運用最モ宜キヲ期セザルヘカラズ即チ先ツ緊切ニシテ精細ナル調査ヲ行ヒ更ニ成案ニ就テ審議評決シ然ル後實行ニ移ルヲ當然ノ要務トス調査ナクンバ成案ヲ得ズ成案無クンバ決議

ヲ實行スル能ハズ之ニ必要ナル豫算モ亦然リ固ヨリ言ヲ調査評定ニ藉リテ曠日彌久職司ヲ輕ンズルガ如キハ斷シテ責任觀念ヲ有スルモノト言フヲ得ズ況ヤ非常ノ秋ニ臨ンデ非常ノ業ニ責ヲ負フニ於テヲヤ優詔宣示アラセ給フ所柄トシテ日星ノ如シ須ラク誠悃ヲ注キテ最善ノ効ヲ收ムヘク協力一致シテ復興ノ大業ニ貢獻センコトヲ期スベキナリ

右訓示ヲ中心トシ大要左ノ如キ要旨ノ質問應答アリ

- 一 帝都復興ニ關シテハ吾人ハ聖旨ヲ奉體シテ最善ノ效果ヲ舉クルニ務ムヘキコト
- 一 災害直後ニ於ケル救急保安等ノ事務ハ臨時震災救護事務局ノ管掌スル處ニシテ我カ復興院ノ事務ハ帝都復興ニ關スル事務ナリ
- 一 政府ニ對シテ世上勤モスレハ復興計畫具體案ノ迅速發表ヲ要求スル者アルモ帝都復興ニ付テモ具體的ニ幾干ノ費用ヲ要スルヤヲ決定スルハ困難ナリ況ンヤ復興ニ於テヲヤ乍併吾人ハ出來得ル限リ速ニ復興計畫ノ内容ヲ整フル必要アリ
- 一 燒跡ニ「バラック」建築ノ爲メ塵芥ヲ道路ニ積ミ上ケ交通ヲ阻害スルコト甚タシ東京市ノ貧弱ナル豫算ニテハ到底之ヲ遂行スルコトヲ得ス此事業ハ復興院ニ於テ取扱フモ頗ル困難ナル問題ナリ

翌十月四日廳舎ノ配置左ノ如ク決定ス

永田町村井吉兵衛氏邸

總裁官房、計畫局(總務課、調査課、制度課)物資供給局、經理局

九ノ内三菱本館

土地整理局、建築局、土木局、計畫局(第一及第二技術課)

開廳以來各職員銳意努力シ機會アル毎ニ理事會ヲ開キ各種計畫中根本問題ニ付打合セヲナス其ノ内重要ト認ムヘキ會議ノ經過其ノ他ノ事項ハ開會ノ日ヲ追ウテ左ニ記述ス

十月二日、内相官邸ニ於テ理事會アリ根幹トナルヘキ都市計畫ノ方針ニ付意見ノ交換行ハル

十月四日、理事會、道路、運河、鐵道等専ラ交通關係ノ諸問題ニ付協議ス、池田計畫局長ハ提案ノ説明ヲナシ之ニ對シ各種質問疑議アリシモ當日ハ決定スルニ至ラス各自充分研究調査スルコトトス

十月六日、理事會、交通關係ノ諸問題ニ付疑議シ左ノ方針決定サル

- 一 銀座通ハ擴張セス中通附近ニ二十四間街路ヲ造ルコト
 - 一 在來ノ主要街路ニシテ直ニ回復力アルモノハ此ノ際擴張改良ヲ見合セ、裏通りニ新線ヲ選定スル方針ニ出ツルコト
 - 一 商業地域ニ於テハ六間迄ノ街路ヲ復興院ニテ計畫施行ノコト
 - 一 住宅地域ニ於テハ五間迄ノ街路ヲ復興院ニテ計畫施行ノコト
 - 一 運河ハ大體既成ノモノヲ改修シ尙下谷淺草ニ一本ヲ新設スルコト
- 十月十五日、理事會、協議決定事項左ノ通り
- 一 外務省ヲ經由シ外人ノ意見トシテ橫濱ノ復興ヲ如何ナル程度ニスルヤトノ伺出アリ幹部ニ於テ相當意見發表ノコト
 - 一 橫濱ハ登記簿ヲ燒失セルヲ以テ來年四月一日迄ニ所有權ヲ決定セシムルコト
 - 一 東京ハ前回掲記ノ五區ノ所有權ハ來年三月十五日迄ニ決定セシムルコト
 - 一 計畫圖ノ外部ニ洩レス様充分ニ注意スルコト
 - 一 地番整理ヲ行フコト

尙九月一日以後土地賣買禁止ノ法律ヲ制定セントノ議アリシモ尙充分研究ヲ要ストセラレタリ
十月十八日、理事會決議事項左ノ通り

三八

- 一 總裁ノ意見ニヨリ審議會、評議會ニ提出スル計畫案ノ種類ヲ定ムルコトトシ、理事會ニ提出セ
ラレタル案ハ大體甲乙ノ二種トシ、甲ヲ第一案トスルコト
 - 一 郊外街路ハ高速鐵道施行ノ分ノミテ正確ナルモノトシ、其ノ他ノ計畫ハ點線ニテ圖示スルコ
ト
 - 一 概算工費ヲ見積ル上ニ於テ用地費ヲ如何ニスルカハ重要問題ナルカ大體災害前ノ單價ニテ
計算シ之ニ對シ幾割ノ減價ト査定スルコト
 - 一 移轉料ヲ相當見積ルコト
- 尙分課規程ハ之ヨリ約一箇月以前既ニ決定實施シ居リシカ形式ヲ棄テ實質ヲ重ニスル復興院トシ
テハ之ヲ暫定的ノモノトシ必要ニ應ジテ隨時變更改良セント欲セリ、然ルニ課長ノ任命發表前官報
公告ヲ要ストノ說アリ、之カ爲メ總理大臣ノ決裁ヲ經テ本日左ノ通り發表セラル、ニ至レリ

帝都復興院分課規程 (大正十二年十月十八日 帝都復興院總裁達)

第一條 總裁官房ニ左ノ二課ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム

秘書課

- 一 機密ニ屬スル事項
- 二 人事ニ關スル事項

三 總裁ノ官印及院印ノ管守ニ關スル事項

文書課

- 一 公文書類及成案文書ノ審査、接受及發送ニ關スル事項
- 二 公文書類ノ編纂及保存ニ關スル事項
- 三 統計及報告ノ調製ニ關スル事項
- 四 他ノ局課ノ主管ニ屬セサル事項

第二條 計畫局ニ左ノ五課及一出張所ヲ置キ其事務ヲ分掌セシム

總務課

- 一 都市計畫上行政ニ關スル事項
- 二 他課ノ主管ニ屬セサル事項

第一技術課

- 一 道路軌道、鐵道、河川、運河、港灣、其ノ他交通企畫上技術ニ關スル事項
- 二 上水道、下水道及地下埋設物ノ整理計畫上技術ニ關スル事項

第二技術課

- 一 地域地區、其ノ他ノ第一技術課ニ屬セサル技術ニ關スル事項

調査課

- 一 都市計畫、都市ノ區域及組織、其ノ他復興ノ經濟調査ニ關スル事項

制度課

- 一 都市計畫、其ノ他復興ノ制度ニ關スル事項

横濱出張所

一 横濱ニ於ケル都市計畫ニ關スル事項

第三條 土地整理局ニ左ノ三課ヲ置キ其事務ヲ分掌セシム

庶務課

一 土地ノ收用及使用ニ關スル事項

二 土地ノ賣買交換及貸借等ニ關スル事項

三 土地ノ臺帳ノ調製登錄整理及保管ニ關スル事項

四 公用地ノ調査ニ關スル事項

設計課

一 土地ノ測量ニ關スル事項

二 土地區劃整理其ノ他ノ土地整理ノ設計ニ關スル事項

施業課

一 土地區劃整理其ノ他ノ土地整理ノ施業ニ關スル事項

第四條 建築局ニ左ノ三課ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム

庶務課

一 建築ノ事務ニ關スル事項

技術課

一 建築ノ技術ニ關スル事項

營繕課

一 營繕ニ關スル事項

第五條 土木局ニ左ノ六課及五工事部ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム但シ工事部ノ分掌事項及管轄區域ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

工務課

一 道路橋梁其ノ他土木事業ノ事務ニ關スル事項

道路課

一 道路ノ技術ニ關スル事項

橋梁課

一 橋梁ノ技術ニ關スル事項

河港課

一 河港ノ技術ニ關スル事項

水道課

一 上水道及下水道ノ技術ニ關スル事項

公園課

一 公園ノ技術ニ關スル事項

第六條 物資供給局ニ左ノ三課ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム

計畫課

一 生活必需品其ノ他物資供給ノ計畫ニ關スル事項

調度課

一 生活必需品其ノ他ノ物資ノ買入賣渡交換及買入若ハ賣渡ノ委託ニ關スル事項

用 品 課
一 生活必需品其ノ他物資ノ加工及貯藏ニ關スル事項
第七條 經理局ニ左ノ二課ヲ置キ其ノ事務ヲ分掌セシム

主 計 課
一 本院所管ノ豫算及決算ニ關スル事項
二 本院所管特別會計ノ豫算及決算ニ關スル事項

會 計 課
一 本院所屬一般會計及特別會計ノ經理ニ關スル事項
二 本院所屬諸收入ノ取扱ニ關スル事項

三 支拂ニ關スル事項
四 現金ノ運用出納保管及亡失處分ニ關スル事項
五 其ノ他會計ニ關スル事項

當日ハ以上ノ外參與評議員評議會會長及幹事被任命其ノ氏名左ノ通

内閣書記官長 樺山資英
法制局長官 松本丞治
宮内次官 關屋貞三郎
外務次官 松平恒雄

(各 通)

内務次官 塚本清治
内務技監 原田貞介
社會局長官 池田宏
大藏次官 西野元
陸軍次官 宇垣一成
陸軍中將 武藤信義
海軍次官 岡田啓介
海軍中將 堀内三郎
司法次官 山内確三郎
文部次官 赤司鷹一郎
農商務次官 岡本英太郎
逓信次官 若宮貞夫
鐵道次官 中川正左
警視總監 湯淺倉平
東京府知事 宇佐美勝夫
神奈川縣知事 安河内麻吉
從三位勳二等 本多靜六
從三位勳三等 三宅米吉
從三位勳二等 丹羽鋤彦

帝都復興院參與被仰付
帝都復興院評議會會長被仰付

正三位勳二等 長 尾 半 平
 從三位勳二等 渡 邊 勝 三 郎
 從四位勳三等 永 田 秀 次 郎
 勳六等 結 城 豐 太 郎
 正七位 矢 野 恒 太 郎
 磯 村 豐 太 郎
 加 藤 恭 平
 米 山 梅 吉
 桐 島 像 一
 阪 谷 芳 郎
 山 路 一 善
 古 市 公 威
 長 岡 外 史
 從三位勳一等男爵 上 山 滿 之 進
 從四位勳一等 馬 場 辨 一
 從三位勳二等 宇 佐 美 勝 夫
 斯 波 忠 三 郎
 安 河 內 麻 吉
 從三位勳一等男爵 阪 谷 芳 郎
 正四位勳一等功三級 山 路 一 善
 從三位勳一等男爵 古 市 公 威
 正三位勳一等功二級 長 岡 外 史
 從三位勳一等 上 山 滿 之 進
 從四位勳一等 馬 場 辨 一
 從三位勳二等 宇 佐 美 勝 夫
 正四位勳二等 安 河 內 麻 吉

四四

正四位勳三等 伊 東 忠 太
 從四位勳三等 岡 野 昇
 正四位勳三等子爵 大 河 內 正 敏
 從四位勳二等 湯 淺 倉 平
 正五位勳四等 澁 澤 元 治
 從三位勳三等伯爵 林 博 太 郎
 正三位勳二等 大 久 保 利 武
 同 廣 井 勇
 正六位 內 藤 久 寬
 正四位勳二等 橋 本 圭 三 郎
 從四位勳二等 伊 澤 多 喜 男
 從三位勳二等 渡 邊 勝 三 郎
 正四位勳二等 澤 柳 政 太 郎
 從三位勳三等子爵 井 上 匡 四 郎
 正四位勳四等子爵 八 條 隆 正
 從三位勳三等男爵 毛 利 五 郎
 從四位勳三等 小 林 丑 三 郎
 正五位勳三等 吉 植 庄 一 郎
 從四位勳三等 秦 豐 助

四五

(各通)

正四位勳三等 杉浦宗三郎
從五位勳三等 原富太郎
從四位勳三等 永田秀次郎
勳四等 小泉又次郎

同 指田義雄
同 小泉策太郎
同 鳩山一郎
正六位勳四等 若尾幾造
從七位勳四等 秋田清

近藤瑋八
三木武吉
大濱忠三郎
森格
藤山雷太
池田謙三
星野錫
同 福田又一
同 平沼亮三

正五位勳六等 關一

正五位 宮島幹之助
從五位 大橋新太郎
從五位 渡邊鐵藏
勳六等 神戶舉一

井坂孝
伊東米治郎
磯部尙
池田勝次郎
堀江正三郎
小野英二郎
門野重九郎
梶原仲治
片岡安
兒玉謙次
小坂梅吉
小島七郎
木村久壽彌太
木内傳之助

帝都復興院評議會評議員被仰付

(各通)

宮島清次郎
上郎清助

帝都復興院評議會臨時評議員被仰付(十一月二十日付)

(各通)

從四位勳三等 姉崎正治
正五位勳四等 大島義清
正五位勳三等 今村明恒
花井源兵衛
加藤銀藏
從五位勳五等 金井清
正六位 長谷川赴夫

帝都復興院評議會幹事被仰付

十月十九日、理事會決議事項左ノ通

- 一 街路計畫ハ計畫局ノ原案(最小限度案即乙案)ニテ一先概算書ヲ調製ノコト
 - 一 路線ノ系統ハ大體「第一案」(甲案)ニ依ルコト
 - 一 別案トシテ濱町附近ノ地區ヲ改良スルノ計畫ヲ調査スルコト
- 十月二十三日、理事會復興計畫ノ各案ニ付テハ各方面ヨリノ研究考察ヲ了シタルヲ以テ本日理事會ニ於テ大體復興計畫ノ骨子ヲ決セントス。曩ニ計畫局提出ノ原案ニ基キ更ニ左ノ方針ヲ決定ス
- 一 土地買収單價ヲ如何ニスルカ

燒失區域ニ對シテハ市農銀、勸銀調査ノ平均一九七圓ヲ單價トシ移轉料ヲ含ムモノトス

- 一 京濱運河豫算ヲ千五百萬圓トシ通過噸數、船數等ヲ調査スルコト
 - 一 地下埋設物整理費ハ削除スルコト
 - 一 港灣費豫算ヲ三千萬圓トス
 - 一 高速度鐵道費ヲ削除ス
- 右方針ニ從ヒ經費ヲ概算スレハ約十三億圓ニ達ス大綱ヲ舉クレハ左ノ如シ

街路費	六五〇、〇〇〇、〇〇〇圓
橋梁費	五〇、〇〇〇、〇〇〇
市内河川費	六〇、〇〇〇、〇〇〇
京濱運河費	一五、〇〇〇、〇〇〇
港灣費(河口改修)	三五、〇〇〇、〇〇〇
上水道費	五、〇〇〇、〇〇〇
下水道費	一一〇、〇〇〇、〇〇〇
塵埃處分費	一〇、〇〇〇、〇〇〇
建築助成費	六〇、〇〇〇、〇〇〇
公園費	三〇、〇〇〇、〇〇〇
區劃整理費	四〇、〇〇〇、〇〇〇
事務費	三〇、〇〇〇、〇〇〇
合計	一、〇九五、〇〇〇、〇〇〇

總計

一、二九五、〇〇〇、〇〇〇

當初提案ノ帝都復興省ヲ以テ復興事業ノ全部執行ヲ管掌セシメントスルノ計畫ニヨレハ豫算ハ概略之ヲ三十五億圓ト算定セラレタリ内二十億圓ハ諸官廳學校等ノ建設及其直轄事業ノ復興ニ要スル額ニシテ他十五億圓ハ右掲十三億圓ノ外地下鐵道二億圓ヲ加ヘ算出セルモノナリ各官廳直接關係ノ復興事業ハ當該官廳直接執行ノ衝ニ當ルコトニ決定セラレタルヲ以テ帝都復興豫算ハ概略十三億圓(地下鐵道ヲ除ク)ヲ以テ其ノ基礎トナシ以後審議ヲ重スルコトナレリ

十月二十四日及二十六日總裁ヨリ閣議ニ院議決定ノ帝都復興計畫大綱ヲ報告シ二十七日之カ諒解ヲ求ム帝都復興計畫ニ伴フ帝都復興計畫法ハ十數回ノ改訂ヲ經二十九日院議漸ク決定ス

十月三十日理事會決議事項左ノ通り

- 一 臨時議會ニ復興豫算全部ヲ提出ノコト
- 一 第一案(街路費七億圓ノモノ)ノ路線名延長幅員表ヲ作製ノコト

第三 參與會評議會及審議會經過

(自大正十二年十一月一日至同年十二月九日)

(一) 參與會

▲第一回參與會

十一月一日午前十時十五分永田町首相官邸ニ於テ開會山本首相ヨリ左ノ通訓示アリ

內閣總理大臣挨拶

諸君今日茲ニ參與會ヲ開カレマシテ復興ニ關スル所ノ大體議ヲ審議セラルルニ臨ミマシテ一言御挨拶ヲ申述ヘテ置キタイト思フノテアリマス

抑々今回ノ震災ニ續キ火災カ起リマシテ其ノ慘害ハ實ニ詞ニ盡セヌ程テアリマシタ而シテ罹災地ノ安寧秩序ヲ保タンカ爲メニハ非常ナル熱心ヲ以テ努力ヲ致シマシタカ陸海軍カ初期ニ於テ此目的ニ副フ爲メニ努力致シタノテアリマス又當局ノ責任者ハ何レモ引續キ之ニ力ヲ合セテ努力シタノテアリマス而シテ尙安寧秩序ヲ保チマスル上ニ於テ一日モ早ク其ノ目的ヲ達スルカ爲メニハ復興復舊ニ關シテ大體ノ見當ヲ附ケテ置カナケレハナラヌノテアリマス併シ此事業タルヤ決シテ尋常一様ノコトテハアリマセヌ官民カ非常ナル努力ヲ致シマシテ互ニ相協力シテ其ノ大體ヲ盡スニ非サレハ其ノ目的ノ幾分タモ達スルコトハ容易ノコトテアリマセヌ且又之ニ對スル責任者ハ初メニ於テ帝都及橫濱其ノ他罹災地ノ復興及復舊ヲ大體ニ於テ如何ニスレハ宜シキカト云フコト取リモ直ホサス昔ノ武藏野原ヲ其儘處理スルト云フ譯ニ參ラス先ツ理想ト實際ヲ加味シ大體ノ計畫ヲ致サレタノテアリマス併シナカラ復興計畫ハ國家ノ財政ト相俟ツテ考ヘナ

クレハナリマセス且又民間ノ經濟等ヲモ考慮スル必要カアリマス
 今ヤ實行期ニ入ラントスル時ニ當リマシテ其ノ計畫カ諸君ノ御希望ニ副ハヌコトカ多クアラウ
 ト思フノテアリマスカ此等ハ前後本末ヲ明カニシテ國家經濟ト民間經濟ト相俟ツテ相當ノ所ニ
 實質的復舊復興ノ計畫ヲ定メ唯外見ノ飾リヲ良クスルニ非ラスシテ實質的ニ精神上カラ誠ヲ現
 ハシ其ノ成ルヤ何人カ見テモ眞摯ニシテ健全ナルモノテナケレハナラヌト信スルノテアリマス
 其ノ邊ノ事ニ對シテハ吾々共ニ當事者ハ無論ノコト又民間ノ中ヨリモ諸君カ御出テニナツテ居
 リマスカ深キ決心ト同情トヲ以テ職務ニ對シテ協力ヲ爲サレテ最大ノ努力ヲ盡サレ以テ一日モ
 早ク此目的ヲ完成センコトヲ期スルニ外ナラヌノテアリマス
 茲ニ簡單ニ御挨拶ヲ述ヘマシテ尙ホ宜シク御運ヒテ希望致シマス
 次テ後藤總裁ヨリ左ノ通挨拶アリ

後藤總裁挨拶

是カラ參與ノ各位ト共ニ帝都復興ノコトニ付テ御協議ヲ致シタイト存シマス本會ハ他ノ會議ト
 異ナリマシテ院務ニ參畫シ院務ノ完成ヲ期スル爲ニ御協議ヲ願フノテアリマスカラ實ハ各位ノ
 御意見ヲ承ツテ然ル後初メテ之ヲ達成スル譯テアリマス就テハ先ツ當局トシテ調ヘマシタモノ
 カアリマスカラ之ニ依ツテ大體ノ考ヲ申上ケルコトニ致シマス
 又參與中各省ノ次官ニ在ツテハ其ノ主管事務ニ關係アルコトニ付テ御意見ヲ承ルコトテアリマ
 スケレトモ其ノ御意見タルヤ必スシモ主管事務ニ局限セラルコトナク御氣附キノ點ハ御腹藏
 ナク何ナリトモ御述ヘ下サルコトニ願ヒタイノテアリマス又各省ノ關係ニ於テ文書ヲ以テスル
 繁雜ナル往復ヲ避ケ大要ノ御相談ヲ遂ケラレマシテ唯必要ナモノ丈ク文書ヲ以テ御相談スルコ

トニ致シタイト云フコトモ亦茲ニ各省次官ノ御多忙ナルニ拘ラス參與ノ任命モ見ルニ至ツタ次
 第テアリマス

而シテ次官以外ノ參與ノ各位ハ其ノ有セラル所ノ豐富ナル學識經驗ヲ以テセラレテ當局ノ計
 畫ニ付テ理想實現ノ上ニモ實際利便ノ上ニモ充分ナル御意見ヲ吐露セラレテ遠算ナキコトヲ期
 セラレタイノテアリマス尙ホ各省次官ノ外ニ陸軍海軍カラ參與ニ特ニ任命セラレマシタ方々ニ
 於テハ其ノ職務上ニ關スル事ハ固ヨリ主ナル問題テアリマスカ併ナカラ軍事ニノミ限局スル意
 見ノミテナク廣ク御考ヘ下サツテ偏ニ御協力ヲ願フ次第テアリマスカラ是亦一言申添ヘテ置キ
 マス

斯ル次第テコサイマスカラ本會議ニ於テハ敢テ議事規則ナトモ設ケマセヌ總テ懇談的ニ議事ヲ
 進メテ行キタイト思ヒマス此儀モ併セテ御諒承ヲ願ヒマス

私ハ帝都復興院ノ總裁ト致シマシタ茲ニ就職致シマシタニ付キマシテハ一言申上ケテ置キタイ
 ト思フノテアリマス

私ハ此重任ヲ擔ヒマシテ其ノ完キヲ致スコト能ハサルヲ恐レテ居ル譯テアリマス今迄多少ノ都
 市計畫ニ從事シタ經驗モアリマスカ此等ハ田舎芝居ニ過キナイノテ長春ノソレノ如キ臺中臺北
 ノソレノ如キ何レモ今回ノ帝都復興ニ比較シマシタナラハ其ノ規模ノ大小固ヨリ日ヲ同シクシ
 テ論スヘカラサルモノテアリマシテ唯今總理大臣ノ仰セノ如ク帝都ノ復興ハ武藏野ニ物ヲスル
 ノテナイト云フコトハ洵ニ金言テアルト私ハ考ヘルノテアリマスソレテアリマスカラ所謂「位負
 ケ」場所負ケ」ヲ致シマシテ私ハ果シテ其ノ任務ヲ完ウスルコトカ出來ルヤ否ヤヲ恐レテ居ルノ
 テアリマス各位ニ於カレマシテモ私ノ此衷情ヲ御諒察ヲ願ヒタイノテアリマスサレハ世ノ中ニ

ハ私カ大層尤大ナ計畫ヲスルナト、言ツテ居リマス。カ之ヲ既往ニ徴シテ見マス、私ノヤツタ事カ尤大テ後テ困ツタト云フモノハナク、寧ロ今テハ狭小ナルヲ感シテ居ル位テアリマス、是ヨリ推測スルモ私ハ徒ラニ尤大ナルコトヲ努ムル譯テハナイノテアリマス、此邊モ亦各位ノ御實察ヲ願ヒタイノテアリマス

要スルニ此會議ハ理事者カ原案ヲ維持スルト云フヤツナ意味ト違ヒマシテ、偶々議事體ノ如ク見エマスノハ唯相談ヲ整理スル爲ノコトテアリマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒタイノテアリマス。是レヨリ一言御挨拶ヲ申上ケマス

帝都ノ機能ヲ速ニ復活セシムル様ニシタイトイフコトハ、輿論ノ一致スル所ト思ヒマス。乍併災後ニ善處スルノ策トシテ、單ニ震災前ノ舊態其儘ニ回復スルニ止ムルカ否カハ、獨リ東京及横濱トイフ一市府ノ問題タルニ止マラスシテ、我國將來ノ禍福ノ岐カルル重要ノ案件テ、之カ決定ニ就テハ極メテ慎重ナル政究ヲ必要トシ、之カ實行ニ就テハ全國民ノ非常ナル覺悟ヲ要スルコトト存シマス。若シ之ヲ唯原狀回復ノ程度ニ止メテ可イモノナラハ問題ハ甚タ簡單テアリ且容易ノ事テアリマセウカ

第一ニ帝都ニ在リテハ震災前ニ於テサヘ既ニ百般ノ弊ニ堪ヘスシテ都市計畫事業ニ着手セサルヲ得サリシ程窮局シテ居タコトハ周知ノ事實ナリシコトト

第二ニ今回ノ大慘禍ノ跡ニ鑑ミレハ此際一大英斷ヲ以テ相當ノ備ヲ爲スニ非サレハ、帝都トシテノ機能ヲ完フスルコト能ハサルトニ想到スレハ、徒ニ因循姑息ノ計ヲ墨守シテ悔ヲ百年ノ後ニ貽シ、禍害ヲ後昆ニ傳フヘキテナイト考ヘマス。假令如何ナル困難カ前途ニ横ハルニシテモ、飽ク迄之ヲ排シテ須ラク長計ヲ按シテ帝都タルノ規模ニ稍ヘ健全ナル帝都建設ノ業ヲ大成スルノ鴻圖

ヲ立テ財力ト事情ノ許ス範圍ニ於テ着々之カ實現ヲ期スルヲ以テ理想トシ、勇猛ニ策進シナクレハナラス筋合テアリマス

忝シク帝都復興ニ關スル詔書ヲ拜シマスルニ

抑々東京ハ帝國ノ首都ニシテ政治經濟ノ樞軸トナリ國民文化ノ源泉トナリテ民衆一般ノ瞻仰スル所ナリ一朝不慮ノ災害ニ罹リテ今ヤ其舊形ヲ留メスト雖依然トシテ我國都タルノ地位ヲ失ハス是ヲ以テ其ノ善後策ハ獨リ舊態ヲ回復スルニ止マラス進ンテ將來ノ發展ヲ圖リ以テ巷衢ノ面目ヲ新ニセサルヘカラス

ト仰出サレテアリマス。是任ニ帝都復興ノ局ニ膺ルト否トヲ問ハス國民ノ齊シク謹ミテ奉戴シテ些ノ過誤ナキヲ期シ依リテ以テ禍害ノ跡ヲ斷ツト共ニ興國ノ基ヲ固メナケレハナラスコトト存シマス

然ルニ性質上自ラ單ナル一市府興廢ノ問題トシテ取扱フコトノ出来ナイ帝都ノ復興ヲ圖ルノ事ヲ目シテ中央ノ施設ニノミ偏シテ地方ヲ疲弊セシムルモノナリトスル向モアルカ、是ハ思ハサルノ甚シキモノテ、識者ハ必スヤ今回ノ慘害ハ假令帝都ヲ含ム關東一部ノ地域ニ限局サレタルニ止マルニモセヨ、其影響スル所ハ容易ナラス事態ヲ釀シテ直接ニ汎ク全國一般ニ波及シ、其ノ我國ノ産業及金融上等ニ與ヘタル影響ノ頗ル痛烈ニシテ深刻ナルモノアリシコトヲ體驗シテ健全ナル帝都復興ノ基礎ヲ固ムルコトヲ以テ刻下ノ最先急務ナリトシ、且之カ實現ヲ期スルヲ以テ今日ノ場合ニ於テ全國ノ福利増進ノ爲ニ施設スル所以ナルコトヲ領會スルコトテアリマセウ

以上ノ趣旨ニ依リテ帝都復興ノ基礎案ナルモノカ各位ノ協力ニ頼リテ速ニ適當ニ編成セラルルニ至ラムコトハ本官ノ切ニ期待スル所テ之カ參考案ハ御覽ニ入レテ關係當局ヲシテ親シク御説

明モ致サセ、各位ニ於テ御考ヘニナツテ居ル點モ腹藏ナク自由ニ御提議アリテ篤ト御攻究ヲ煩ハシタイト存シマス夫ニ就テ一應ノ愚見ノ存スル處ヲ申上ケレハ帝都東京ハ帝國ニ於ケル政治文化及經濟ノ中樞ニシテ單ナル消費ノ中心テハナイ、否之ヨリ國內到ル所ニ分派スヘキ一大勢力(ライツ)ノ中核ヲ構成スルモノナレハ之カ復興案ノ骨子ハ東京ニ帝都タルノ適格ヲ具有セシムル爲相當ノ施設ヲ爲シ、商工業ノ中樞地帯ヲ設定シ、水陸ノ聯絡ヲ便易ニシ、凡帝都ノ交通衛生保安及經濟等ニ關シ、永久ニ安寧ヲ維持シ福利ヲ増進スルノ重要施設計畫ノ進捗ヲ圖ルニ在ルト考ヘマス

然ルニ東京ハイフ迄モナク、先帝登極ノ初特ニ、車駕東幸シテ宮城ヲ定メサセ給ヒテヨリ五十年有六年ノ星霜ヲ閱シマシテ既ニ帝都トシテノ規模モ略出來テ居マスシ、横濱亦開港以來國港トシテノ使命モ定マツテオリマスカラ

第一ニ横濱港ハ帝都ノ關門タルニ適スルノ施設ヲ整ヘテ東京トノ聯繫ニ意ヲ用キ

第二ニ各種營造物等ノ配置ニ留意シ、其災害ニ罹リ必スシモ市内ニ存置スルノ必要ナキモノノ如キハ出來得ル限り之ヲ適當ノ地ニ移轉セシムル方針ニ則リテ其跡地ノ利用ヲ完ウシ

第三ニ既成ノ街路ト既定ノ計畫ニシテ自ラ帝都ノ規模ニ適シ、其ノ構築ノ規格ニ合スルモノハ可成之ヲ尊重スルハ勿論テアルカ、篤ト地域ノ性質ヲ案シテ交通ノ系統ヲ匡シ、特ニ街路運河公園等ノ開通ニ意ヲ注キマシテ建築物ハ震害及火災ヲ避クルニ足ルヘキ街衢ノ上ニ造營スルノ途ヲ講シテ凡ソ此等帝都構成ノ基幹ト爲ルヘキ施設ニ付テハ他日ノ悔ヲ貽ササル様ニ十分ノ備ヲ爲シ、第四ニ此等ノ基礎計畫ニ伴ヒテ或ハ建築敷地ノ利用ヲ完カラシムル爲適當ナル土地區劃ノ整理ヲ遂ケ、公共設備ニシテ失ハレタルモノノ回復ヲ圖ルハ勿論下水塵芥處分等ノ施設ヲ始メ市民ノ

日常生活上必要ナル施設ニシテ爲スヘクシテ殘サレタルモノノ經營ニ對シテ着々其事功ヲ擧ケル様ニシタイト考ヘマス

此等ノ施設中ニハ素ヨリ都市ノ自治協力ニ俟ツヲ本則トスルモノモアリ、又帝都構成ノ基幹ト爲ルカ爲ニ自治ノ運用ニ俟タシメ難キモノモアリマセウ此等ハ須ラク事業ノ性質及種類ニ依リテ適當ニ國ノ施設ニ俟ツヘキモノト地方ノ設置ニ俟ツヘキモノトヲ區分按排スルコトニ依リテ國ノ施設ト地方ノ施設ト兩々相俟テテ一定ノ組織的計畫ニ基キテ帝國ノ産業及經濟ノ復興ト相伴ハシメ依リテ以テ完全ナル帝都復興成ルノ日ノ速ナランコトヲ切ニ希望スル次第テアリマス終リニ今回ノ災害ニ對スル列國ノ同情カ尙然トシテ我國ニ集マリシコトニ付テハ一言ナキヲ得マセス就中米國カ既ニ多額ノ金品ヲ寄贈シ來レルニ止マラス、今尙同情ニ基ク寄附金ノ集マルモノ少カラストイフ風デアルカ、此等ハ正ニ我帝都東京ノ世界的價值ヲ表示スルモノテハナイカト存シマス果シテ然ラハ吾人ハ我帝都ヲ復興スルニ際シテハ須ラク世界的資金ヲ以テ世界的都市ヲ再建スルノ概ヲ以テ進ムヘキテアツテ、若シ單ニ震災前ニ於ケル市街ノ舊態ヲ回復スルニ止マラシムルカ如キコトテアツテハ何ノ面目アリテ列國ニ見ユルコトカ出來マセウ、彼ヲ思ヒ是ヲ想フニツケテモ帝都ノ復興計畫ハ難レニ見セテモ一點非難ノ打チ處ナキモノニシナケレハナラナイシ、又世界ノ期待ニ背カサルモノトシナケレハナラスト思ヒマス夫レニハ各位ニ負フ所ノモノ願ル大ナルモノアリト信シマスカラ何卒十分ニ御貢獻下サル様ニ願ヒマス

以上分カリ切ツタ事ヲ長々ト申上ケタヤウテアリマス、私ノ所信ヲ申述ヘテ、サウシテ各位ノ御意見ヲ腹藏ナク承ルコトヲ希望スルノ餘リ、贅言ヲ費ヤシタ次第デアリマス

尙ホ吳々モ申上ケテ置キマス、カ、議事ノ體裁ト云フコトヨリモ意見ノ御交換ト云フコトヲ專ラト

シテ戴キタイノテアリマス、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒマス。是ヨリ御質問カアリマスレハ充分御發言ヲ願ヒマシテ、副總裁以下各々其ノ主管ニ付テ御答へ申上ケルヤウニ致サセマス速記ハ取ツテ置キマスカラ各位ノ後ノ御參考ニナツテ往クヤウニ致サウト思ツテ居リマス。私ハ豫算會議カコサイマスノテ是カラ一時退席致シマスカ濟ミ次第又戻ツテ参リマス、其ノ間丈ク宮尾副總裁ニ座長ノ席ヲ代ツテ戴キマス、併シ必スシモ各位ハ御發言ノ場合ニ座長ヲ呼ンテ嚴格ニテサラステモ宜シイ譯テアリマスカラ其ノ邊モ御含ミヲ願ヒマス。會議ニ入り永田秀次郎、桐島像一、結城豊太郎諸氏ヨリ帝都復興ノ範圍竝ニ復興ノ大體方針ニ付質問アリ之ニ對シ後藤總裁ヨリ説明シ左ノ原案ヲ附議シ審議ニ入ル。

第一 主要街路ノ施設及其規格ニ關スル件

大震火災ノ慘害ニ鑑ミ最交通系統ノ整備ニ意ヲ用キ主要幹線ノ規格ハ之ヲ十五間以上二十四間トシ豫メ高速鐵道ノ敷設ニ備ヘ之ニ配スルニ幅員六間以上ノ街路ヲ以テシ其ノ電氣軌道網ヲ構成スル路線ノ規格ハ十一間以上トシ地域ノ情況交通ノ系統ニ稽ヘ宜シキニ隨テ各路線ノ規格ヲ定メント欲ス。

第二 各種營造物ノ配置ニ關スル件

中央官廳學校其他官公ノ廳舎、市場屠場等ノ營造物ノ配置ニ留意シ災害ニ罹リタル廳舎、兵營學校、寺院墓地、工場其他公私ノ營造物ノ類ニシテ利用上強テ在來ノ位置ニ存スルノ必要ナキモノハ之ヲ郊外其他適當ノ地ニ移轉セシムルノ方針ヲ採リ其ノ跡地ハ他ノ公用又ハ街路公園其ノ他公共

ノ用ニ任スヘキモノノ外所在地域ノ性質ニ依リ之ヲ市街宅地トシテノ開發ヲ圖ラムト欲ス。

第三 建築ニ關スル件

市街地建築物法ニハ此際適當ナル修正ヲ加ヘ特ニ保安ニ備ヘ一切ノ建築物ハ復興計畫ニ從フモノノ外豫メ建築線ノ指定ヲ受クルニ非サレハ建築スル事ヲ得サラシメ建築敷地ニシテ宅地トシテノ利用完カラサルモノニ對シテハ土地區劃ノ整理ヲ遂ケ必要ニ依リ街路ト併セ行ヒ所在地域ノ性質ニ適從スル所アラシメムト欲ス。

第四 復興計畫ノ統制及復興事業ノ執行ニ關スル件

一切ノ復興計畫ハ帝都復興院ニ於テ企劃ヲ統制シ之ニ基キテ施設スヘキ事業ノ執行ハ出來得ル限リ地方自治制ノ運用ニ俟ツヲ本旨トシ帝都復興院ハ特ニ委託ヲ受ケタルモノ又ハ特ニ必要アルモノノ外主トシテ帝都構成ノ基幹ト爲スヘキ施設ヲ擔當スルニ止メムト欲ス。

第五 復興事業費ノ負擔區分ニ關スル件

國ニ於テ執行スル事業ノ費用ハ大體從來ノ例ニ依ルモノノ外事業ノ種類ニ從ヒ相當ノ率ヲ以テ關係公共團體ノ負擔ニ俟タシメ地方ニ於テ施設スル事業ニ對シテハ法令等ニ別段ノ定アルモノハ大體其例ニ依リ其ノ他ハ事業ノ種類ニ從ヒ適當ノ率ヲ以テ國庫ヨリ補助シテ之ヲ助成セムト欲ス。

第六 復興事業費ノ財政計畫ニ關スル件

帝都復興ハ帝國ノ産業及經濟ノ復興ト相須クシメ復興事業ハ可成速ニ完成セシムルモノトシ之ニ要スル經費ハ起債割増金附小額債券ヲ含ムニ俟テ地方費ノ負擔ニ屬スルモノニ付テハ必要ニ應ジテ國ヨリ資金ノ貸付ヲ爲シ此資金ハ復興事業ノ成功スル迄ノ間無利息トシ復興スルニ隨テ可成短期間ニ償還セシムルノ方針ニ依リ財政計畫案ヲ確立セムト欲ス

右議案ニ付池田計畫局長ノ説明アリ之ニ對シ神奈川縣知事安河内參與ヨリ復興計畫ハ單ニ京濱間ノ交通路ノミニ限ラス之ニ接續サルヘキ府縣迄モ充分考慮セラレ度トノ希望アリ中川鐵道次官、本内務次官ノ答辯的意見ノ開陳アリ桐島參與ヨリ高速鐵道ニ關シ質問セルニ對シ池田局長ハ地下線高架線路下線ノ三ヲ考慮シ居ル旨答ヘ長尾電氣局長ノ要求ニ依リ復興計畫地圖二案ヲ呈示シテ池田局長及技術關係ニ付テハ直木技監山田技師等ヨリ第一項ノ具體的説明アリ休憩午餐ニ入ラントシテ後藤總裁ヨリ一六六六年倫敦ノ大火災當時ニ於ケル復興計畫其ノ他ニ關スル報告書ノ朗讀アリ

午後一時二十分再開池田局長ヨリ原案第二項ヨリ第六項迄ノ説明アリ議案ヲ總裁指名ノ特別委員ニ附託スルコトノ動議成立シ委員ヲ三部ニ分ツ委員ノ氏名部署左ノ通り決定シ散會ス

第一小委員議案第一乃至第三ニ關スル事項

- | | | |
|-----|------|-------|
| 委員長 | 海軍次官 | 岡田敬介 |
| 委員 | 宮内次官 | 關屋貞三郎 |
| | 内務次官 | 塚本清治 |

第二小委員議案第四乃至第六ニ關スル事項

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 委員長 | 大藏次官 | 西野元 |
| 委員 | 陸軍次官 | 宇垣一成 |
| | 文部次官 | 赤司鷹一郎 |
| | 農商務次官 | 岡本英太郎 |
| | 逓信次官 | 若宮貞夫 |
| | 鐵道次官 | 中川正左 |
| | | 本多靜六 |
| | | 丹羽勳彦 |
| | | 長尾半平 |
| | | 結城豐太郎 |
| | | 矢野恒太 |
| | | 磯村豊太郎 |
| 委員長 | 内務次官 | 桐島像一 |
| 委員 | 大藏次官 | 塚本清治 |
| | 法制局長官 | 西野元 |
| | 東京市長 | 松本烝治 |
| | 東京府知事 | 永田秀次郎 |
| | | 宇佐美勝夫 |

第三小委員(物資供給ニ關スル事項)

加藤 泰平	神奈川縣知事	委員 長	農商務次官	岡本 英太郎
米山 梅吉	横濱市長	委員 員	外務次官	松平 恒雄
渡邊 勝三郎			宮内次官	關屋 貞三郎
			内務次官	塚本 清治
			逓信次官	若宮 貞夫
			鐵道次官	中川 正左
			東京市長	永田 秀次郎
			横濱市長	渡邊 勝三郎
				磯村 豊太郎
				加藤 泰平
				米山 梅吉

後直ニ各部委員會ヲ開キ委員長ヲ決定シ今後委員會開催ノ期日ヲ決定ス
各委員會經過左ノ通り

▲第一委員會

第一回 十一月二日 午後四時半首相官邸ニ於テ開會

池田計畫局長ヨリ甲乙二箇ノ地圖ニ付主要街路ノ施設及其ノ規格營造物ノ配置等ニ付詳細ナル説明アリ之ニ對シ

- 一 主要幹線ノ規格
 - 一 道路敷地トシテ收用スル土地ノ坪數
 - 一 高速度鐵道ノ内容
 - 一 電氣軌道網ヲ構成スル路線ノ規格
- 等ノ諸點ニ付委員ヨリ質問アリ、池田計畫局長ハ主要幹線ヲ十五間以上二十間以下トセルハ高速度鐵道ヲ配センカ爲ニシテ又電氣軌道網ヲ構成スル路線ハ十一間以上ヲ以テ適當トスル旨ノ説明アリ又收用土地ノ坪數ノ算定方法ニ付テモ説明スル所アリシカ各委員ノ満足ヲ得ルニ至ラス、結局路線新設ニ要スル土地收用ノ坪數及高速度鐵道ニ關シ精細ナル諸調査ヲ行フコトトシ五時半散會

第二回 十一月四日 午後一時 於首相官邸開會

先ツ後藤總裁ヨリ左ノ如キ挨拶アリ
復興院參與ハ諮問機關ト云フヘキモノニアラス、參與ハ何レモ院務ニ翼賛シテ諸種ノ意見ヲ陳述ス可ク總裁ハ之ヲ以テ院ノ確定案ヲ編成スル材料トスルモノナリ、各省關係ノ參與ハンノ所管事項ノミニ止マラス一般的ニ各種ノ意見ヲ述ヘラレシコトヲ希望ス

次テ議案第一ノ審議ニ入ル

長尾委員ヨリ
復興院ノ計畫圖ニヨレハ道路ノ規格及其ノ配置ヲ決定シタル後高速度鐵道敷設ノ問題ヲ決定セン

トスルモノナレトモ之ハ明カニ交通關係ヲ無視セルモノニシテ先ツ高速鐵道敷設線路ヲ決定シ然ル後ニ道路ノ規格ニ及ホス可シ

トノ意見アリ之ニ對シ池田局長ヨリ院トシテハ寧ロ反對ニ主要幹線道路ノ規格ヲ決定シ然ル後高速鐵道敷設路ニ及ホス可キ意見ヲ有スル旨ヲ答フ

次テ高速鐵道ノ路線ノ經路及市ノ交通ノ中心ヲ一ニス可キカニ以上ニス可キカニ付テ意見ノ交換アリシカ決定ヲ見ルニ至ラス

次テ佐野建築局長ヨリ帝都ノ中心地域及住宅商業工業ノ各地域及現行ノ市街地建築物法ニ付テ道路ノ幅員ト建築物ノ高サトノ關係ハ大體道路ノ幅ノ一倍半建築物ノ高サハ最高百尺ニ制限セラレ居ルモ今回ノ震災ニ鑑ミンノ制限ヲ嚴ニスル考ニテ目下立案中ナル旨ヲ述フル所アリ次テ中川委員ハ鐵道ノ復興計畫ニ付説明ヲナシ

一 貨物ノ集散驛ニ關シテ現在ノ隅田川沙留秋葉原ノ各驛ハ其儘トスルモ新宿及飯田町ノ各驛ハ貨物ノ集散上戸山ヶ原方面ニ擴張セントス

一 小運送ニ要スル經費ヲ節減スル爲ニ夜間貨物電車ノ運轉ノ計畫アルモ鐵道側トシテハ市内ノ運河ノ改良擴築新鑿等ニ依テ其一助ヲラシメントス

一 沙留附近ヨリ今回ノ復興計畫ノ中央市場豫定地タル水交社附近ニハ鐵道ノ旋回橋ヲ新設シ鐵道ノ引込線ヲ造ル事尙其附近ニハ倉庫及小運送ニ必要ナル荷馬車ノ停留所ヲ新設スル事

一 隅田川沿岸ノ貨物集散地ニハ多數ノ倉庫ヲ新設スルコトト云フ意見出テ大體之ヲ承認最後ニ

一 主要幹線ノ幅員ハ原案ニ依レハ二十四間トアルモ之ハ余リニ狭少ナルヲ以テ交通頻繁ナル

地點ハ適宜三十間程度ニセラレタシ

一 京濱運河ハ財政上遂行シ得ルヤ否ヤハ問題ナレトモ少クトモ計畫ハセラレタシ

一 京濱間ノ聯絡上運河ヲ新設スルハ其沿線地帯ハ大工場地ト致シ度シ

等ノ意見アリシモ別ニ議決ヲナス事ナク 九時散會

第三回 十一月六日 午後四時 内相官邸ニ於テ開會

前回ニ引續キ「主要街路ノ規格」ニ付審議ヲ進メタル結果前回ノ委員會ニテ交換セル意見中之カ實現可能ナル部分ヲ採リテ左記ノ中合ヲ可決セリ

一 主要街路ノ道路幅ハ十五間以上三十間トシ交通ノ狀況ニ依リ同一路線ニテモンノ幅員ヲ同一ニセザルコト

一 路面電車敷設ノ道路幅員ハ十三間以上ヲ原則トシ四圍ノ事情ニ依リテハ十一間迄縮少スルコトヲ得

一 隅田川下流沿岸一帯ヲ倉庫地帯ニ指定シ荷揚場ヲ設置シテ之ニ配スルニ十五間乃至三十間ノ通路ヲ以テシ倉庫設置狀況ニ依リ其ノ幅員ハ適當ニ伸縮スルコト

一 鐵道當局ハ成ル可ク市内ノ中心地域ニ近キ地點ヲ選ヒ貨物驛ヲ新設シ又ハ既設驛ヲ改良擴張シ市内ニ於ケル小運送ノ費用ヲ輕減スルコト之ニ關聯シテ貨物電車ノ夜間運轉ヲ促進シ且市内運河ノ改良擴張並驛附近ニ於ケル倉庫設置貨物ノ積卸保管ヲ關ルノ必要アリト認ム

右終ツテ第二項「各種營造物ノ配置」ノ審議ニ入ル

佐野建築局長ヨリ

現行ノ市街地建築物法ニ依ル都市計畫委員會決定ノ地域指定案ハ工業地域ハ大體本所深川及ヒ

荒川放水路附近商業地域ハ大體日本橋全部京橋神田淺草ノ大部分及芝ノ一部分次テ住居地域ハ山ノ手方面一帯ト規定スレトモ商業住居ノ兩地域ニハ一定ノ大キサ即チ動力設備職工使用數ノ制限ヲ超過スル工場ノ新設ヲ許サス但シ新聞社ノ如キ公益機關ハ例外トス尙工業地域ト雖住宅ヲ禁スルモノニアラス

ト現行市街地建築物法ニ規定セル地域ノ問題ニ關シテ詳細ナル説明ヲナシ之ニ對シ各委員ヨリ種種ノ意見出テタルモ結局地域指定ハ大體建築局長ノ説明通り承認スルニ決セリ

次テ本多委員ノ公園擴張及新設ニ關スル意見アリ又學校建設ニ關シ赤司委員ヨリ

燒失學校ヲ成ル可ク郊外ニ移轉スルコトニ付テハ異議ナキモ晝間労働ニ從事スル者等ノ通學スル夜學校及小學校ハ之ヲ市内ニ設置スルヲ適當トス

トノ論アリ中川委員市ノ内外ヨリノ反對交通ノ潮流ノ見地ヨリ之ニ賛成スル所アリ其他中央官廳

ハ大體新議院附近中央市場ハ海軍工廠跡ニ設置スルコトニ異議ナク原案全部承認

次テ第三項「建築ニ關スル件」ヲ審議ニ入ル佐野建築局長ヨリ

現行ノ建築物法ニテハ高サノ制限ハ商業地域ハ百尺住居地域ハ六十五尺トシ構造種類ハ木造三

階コンクリート百尺道路關係ニ於テハ住居地域ハ一倍四分ノ一商業地域ハ一倍半ノ規定アレト

モ今回ノ震災ノ事實ニ鑑ミ多少構造上ノ制限ニ付法規ヲ改正スル必要ヲ認ム

ト述フル所アリ之ニ對シ長尾委員ヨリ

手車自動車等ノ置場ナキ爲之ヲ道路ニ放置シ置クハ道路ノ美觀ヲ損スルノミナラス交通ノ障害

トモナルヲ以テ此ノ點ニ付或ハ建築物法ニ規定シ若ハ道路法ニ制限ヲ設クル等適當ナル方法ヲ

講セラレタシ

トノ希望ヲ述ヘ第三項ニ關シテハ左ノ希望條件ヲ附シテ大體之ヲ承認シ同九時散會

希望條件

一 手車其ノ他ノ車輛等ヲ道路ニ放置セシメサル様充分考究セラレタキコト

一 建築物ニ耐火耐震ヲ要求スル以上ハ之ニ對シ低利資金ノ貸與又ハ建築資金補助等ノ方法ヲ

考究セラレタキコト

一 資金ノ貸與又ハ補助ノミニテハ充分ニ其ノ目的ヲ達セサルニ付建築材料ヲ潤澤ニシ且之ヲ

低廉ニ供給シ得ル方法ヲ考慮セラレタキコト

一 復興計畫ノ決定ヲ急キ出來得ル限リ速カニ本建築ニ着手シ得ル様ニセラレタキコト

第一委員會決定要領

第一委員會ハ大正十二年十一月二日同月四日及同月六日ノ三回ニ亘リテ開會シ議案ノ第一項乃至第三項ニツキ研究ノ結果左記要領ノ通決定シタリ

第一項ニ關スルモノ

一 主要路線ニ關スル實行案ヲ編成スルコトハ當局ニ任スコト從テ甲乙案其他各種ノ案ニ對シテノ説明ヲ諒シ當局ノ取捨ニヨリ完全ナル案ヲ作ルコト

二 街路及運河ノ擴張及延長ノ必要ヲ認ム之カ配置ハ適當ニ當局ニ於テ按配スルコト尙運河配

置ニ當リテハ出來得ルナラハ西堀留ヲ延長シテ神田川ニ通スル運河ヲ考慮ニ置クコト

三 主要幹線街路ノ幅員ハ十五間以上三十間トシ必スシモ一律同幅ノ規格ニ依ルヲ要セザルノ

趣旨ニ依リ其ノ實際ノ均衡ヲ適當ニ爲スコト

電車ヲ通スル線路ノ幅員ハ十三間以上ヲ原則トシ十一間迄下ルコトヲ得

- 四 土地ノ收用ハ區劃整理ノ方法ニ依ルコト
- 五ノ一 隅田川河口芝浦築港京濱運河ハ原案ニ從ヒ施行スルコト但シ京濱運河ハ經費ノ都合上出來サレハ計畫タケナリトモ爲シ置クコト
- 五ノ二 京濱運河ハ之カ利用ノ日數極メテ少ナキモノナルニヨリ此際之ニ對シ經費ヲ投シテ施行スル必要ナキコトノ丹羽氏ノ反對意見アリ
- 五ノ三 京濱運河ニ就キ海邊ニ之ヲ設ケ其陸側タケテ工業地帯トナス案ノ外寧ロ工業地帯ニ重キヲ置クノ立場ヨリ運河ヲ更ニ一層陸地寄ニ設クル案ノ調査ヲ望ムトノ矢野委員ノ希望アリ
- 五ノ四 永代橋以下ノ隅田川ハ川幅ヲ擴大シ之ヲ二十四尺迄浚深ノ調査ヲ望ムトノ磯村委員ノ希望アリ
- 五ノ五 隅田川下流沿岸ニハ倉庫地帯ヲ設置シ之ニ配スル道路ヲ考慮スルコト
- 六 地下埋設物ニ對シテハ當局ノ説明ヲ諒トシ一系統ニ統一施設スルコトハ之ヲ見合スコト但シ類似ノモノハ成ルヘク統一集合シテ埋設スルコト
- 七 高速度鐵道ハ各種ノ案ノ説明ヲ綜合シ之ヲ根本トシ街路ノ系統ヲ之ニ調和セシムルコト
- 八 鐵道當局ニ於テ可成市内ノ中心ニ近キ地區ニ於テ貨物驛ヲ新設改良擴張セントスルハ一ニ市内小運送ノ費用ヲ輕減セントスルノ趣旨ニ外ナラス就テハ市内電車ノ貨物夜間運轉市内運河ノ改良擴張並驛附近ニ於ケル倉庫ノ設備等荷物ノ積卸及保管ノ便ヲ計ル必要アリトノ鐵道當局ノ意見ハ之ヲ考慮スヘキコト
- 尙ホ中央市場ニ對シテハ鐵道ノ引込線ヲ設クル必要アルコト
- 九 海嘯ニ對シテハ適當ノ防禦方法ヲ考慮スヘキコト

十 空中攻撃ニ對シテ防禦方法ヲ講スヘシトノ意見ニ付十分ニ考慮スルコト

第二項ニ關スルモノ

- 第二項ニ關シテハ原案ヲ承認シタル外尙左ノ希望アリタリ
 - 一 學校敷地ニ付適當ノ位置ヲ撰定シ實際ノ必要ニ應ジ擴張ヲ圖リ兒童公園ノ用ヲ兼ネシムルコト
 - 二 本多參與ヨリ提出ノ希望左ノ如シ
 - イ 既設ノ公園ヲ整理擴張スルト同時ニ新ニ適當ノ位置ニ各種公園ヲ設置シ就中大中ノ公園ハ之ヲ公園連絡廣路又ハ幹線廣路ニヨリ互ニ系統的ニ聯絡セシメ以テ全市ノ公園ヲ有機的ニ活用セシムルコト
 - ロ 河海深池ノ沿岸ハ成ルヘク之ヲ公園又ハ公園連絡廣路ニナシ船著場荷揚場倉庫其他公共用ノ外成ルヘク普通住宅ヲ許ササルコト
 - ハ 公園及ヒ公園連絡廣路並ニ公園廣路兼用幹線道路ノ合計面積ハ全地積ノ一割以上トナスコト
 - ニ 以上ノ諸設備ハ平時ニハ市ノ裝飾ト保健ノ用ニ資シ非常ノ際ニハ何レノ住民モ數町ノ距離ニシテ公園又ハ廣路ニ出テ安全ニ避難シ得セシムルヲ目的トシテ設計スルコト

第三項ニ關スルモノ

- 第三項ニ關シテハ原案ヲ承認シタル外尙左ノ希望條項ノ提出アリタリ
 - 一 車輛ヲ道路ニ放設セサル様相當考慮セラレタキコト(磯村參與提出)
 - 二 復興計畫ニ於テ建築物ニ對シテハ相當ノ低利資金ヲ貸出スカ又ハ材料ノ供給ヲ便宜ニスル等適當ナル助成方法ヲ考慮セラレタキコト(矢野參與提出)

三 建築助成ノ方法トシテ各需要者ニ低利資金ノ貸出ヲナスコト必スシモ不可ナラサルモ或ハ却テ商人ヲ利スルコトヲ助成スル恐ナキニシモアラヌ寧ロ建築材料ノ供給ヲ豊富ニシ且其價格ヲ低廉ナラシムル方法ヲ講セラレ度シ(長尾參與提出)

四 復興計畫ヲ急キ本建築ニ著手シ得ル日ノ一日モ早クセラレ度キコト(磯村參與提出)

▲第二委員會

第一回 十一月二日 午後五時二十分 首相官邸ニ於テ開會

池田計畫局長ヨリ復興事業ノ執行同事業費負擔區分同財政計畫ニ關シ説明アリ、續テ

- 一 帝都復興ト地方自治團體トノ關係
 - 一 同事業費ノ分擔關係
 - 一 國庫補助ニ依リ復興ヲ助成セシムヘキ事業ノ種類及其ノ補助率
 - 一 復興事業ノ財政計畫中起債ヲナスヘキ額
 - 一 割増金付小額債券發行ノ方針
- 等ノ諸點ニ關シ質問アリ、結局

本委員會ニ於テ審議ス可キ事項ハ何レモ第一委員會ニ密接ナル關係アリ其ノ決定ヲ見ルニ非サレハ到底審議ヲ進メ難シ

トノ説出ラルニ至リ尙四日ノ第一委員會ニハ可成的傍聴ヲナスコトニ決シ同六時散會

第二回 十一月七日 午後三時半 内相官邸ニ於テ開會

先ツ加藤委員ヨリ

復興計畫ハ都市計畫ノ意ナリヤ、全制統制ノ意義如何、院以外ニモ計畫アラハ之ヲ統一シ制定スル

ノ意ナリヤ

トノ質問アリ、宮尾副總裁之ヲ肯定ス、米山委員又

議案第一乃至第三ヲ決定スル時ハ自ラ第四モ決定セラルヘシ故ニ問題ハ機關及事業ノ分界ニ歸ス、又模範建築等ヲ院自ラ卒先シテナスコトアリヤ

トノ質問ヲナシ宮尾副總裁財政上ノ問題ナル旨ヲ答フル所アリ、次テ渡邊委員ヨリ左ノ質問アリ

横濱ハ帝都ノ關門ナリ、故ニ水路ノ連絡モ重要ナレトモ又水陸ノ連絡ヲ改善スルコト必要ナラスヤ

宮尾副總裁之ニ對シ

水陸ノ連絡ト云ヘハ道路ト鐵道トノ問題ナリ、其中道路ハ現ニ院ノ計畫ニ係ルモノニテ足ル可ク

鐵道ハ鐵道省ニテ主管シテ之ヲ施行スヘキ

旨答辯ス、次テ總裁ハ議案第四ニ關シ大要左ノ如ク説明ス

議案第四ハ可成自治體ノ運用ニ俟ツコトヲ本旨トスルモ而モ院自ラ全然執行セサルノ意ニアラス委託ヲ受ケタルモノ特ニ必要アルモノ及帝都構成ノ基幹ト爲ス可キ施設ハ院自ラ之ヲ擔當ス、其擔當區分カ廣又ハ狭ニ失スル事ナキヤニ付テハ委員諸氏ノ意見ヲ參考ニセントノ考ナリ

次テ加藤委員ヨリ

院ノ統制セル計畫ト地方自治體ノ意見ト合致セサル時ハ如何ニセラルルヤ豫メ合議セラルルモノナリヤ

トノ質問アリ、後藤總裁ハ自ラ責任ヲ以テ之ヲ執行スルノ任ニ當ル可キ旨ヲ答フ、又安河内委員ヨリ

此ノ案ノ執行ニ當リテハ法律ヲ改正スルノ考アリヤトノ質問ニ對シ宮尾副總裁法律ノ改正ヲモ辭セサル場合アリト答フ、次テ加藤委員ヨリ「基幹トナスヘキ施設」ノ意義範圍ニ付質問アリ、宮尾副總裁

別ニ法制上一定セルニ非ス單ニ重要ト認メラルル事業ノ意ナリ
ト答辯ス次ニ塚本安河内兩委員ヨリ復興院ノ執行ス可キ事業ノ種類ヲ明確ニセラレタキ旨陳述ア
リ宇佐美委員ヨリ

院ノ計畫以外ニ府市又ハ民間ヨリ計畫カ提案セラレタル場合ニ國ニ於テ執行ス可キ事業ニ屬ス
ルモノニテモ之ヲ許可スルヤ其許否ハ何人カ決定スルヤ
トノ質問アリ之ニ對シ池田局長左ノ如ク答フ

此ノ問題ハ夫々ノ法制ニヨリ運河ハ運河法ニヨリ内務大臣之ヲ許可スト云フカ如シ本會ニ於テ
ハ唯其計畫ニ付協議スルノ意ナリ

次テ安河内委員ヨリ前掲總裁ノ説明中「特ニ必要ナルモノ」ノ意義ニ關シ質問アリ池田局長

例ヘハ自治體ノ事業ニ屬スルモ其經費ハ大部分國ニ於テ負擔スルカ如キ場合ニ若シ事業カ遅延
スルカ如キコトアラハ國ニ於テ之カ執行ノ任ニ當ラントスルナリ

トノ旨ヲ答フ宇佐美委員更ニ

可成自治體ノ運用ニ俟ツト云フモ元來院ヲ設置セル趣旨ハ復興事業ヲ國ニ於テ執行スルヲ本旨
トスルニアラスヤ議案第五ヨリ之ヲ見ルモ何レノ事業モ皆其費用ヲ地方自治體ノ負擔ニ俟タサ
ルモノナシ斯ノ如キハ自治體ヲシテ干與スルノ機會ヲ多カラジメ事業ノ完成後ルヘク又一面自
治體ハ其ノ負擔ニ堪ヘサルヘシ故ニ斯ノ如キ迂遠ノ方法ヲ採ラムヨリハ簡單ニ之ヲ定ムルコト
ヲ得スヤ

トノ質問ヲナス更ニ之ニ關シ米山委員ハ

先ツ中央市區ヲ定メ之ヲ「モデル」トシ可成總テノ施設ヲ國ニ於テ執行シ其ノ經費ハ國ニ於テ負

擔シ其以外ハ地方自治體ニ於テ執行シ從ツテ其費用モ亦公共團體ノ負擔トスル如ク定メテハ如
何

トノ意見ノ陳述アリ之ニ對シ加藤委員ヨリ道路ノ如キハ中央市區ノミノ完成ニテハ意義ヲナサス
トノ駁論アリ米山委員ハ企劃ノ統制ニヨリツノ憂ナキ旨ヲ述フ更ニ宇佐美委員ヨリ

中央市區ヲ完成スト云フモ震災ノ爲市區ニ異常ノ變化ヲ生シ例ヘハ郡部ノ如キハ異常ノ發展
ヲ遂ケ下町ノ居住民ニシテ山手郡部ニ永住スル事トナレルモノ多シ而モ是等ノ郡部ニ付テハ何
等ノ計畫組織ナキ市街地トシテ發展スルニ任シ例ヘハ田端ノ如キハ「トラツク」ヲ通シ得ル
道路スラナキ現狀ニ放任スルハ帝都復興ノ道ト云フヲ得ス一旦火災又ハ疫癘等發生スルコトア
ランカ其災害ノ及フ所知ルヘカラス故ニ中央市區ノミヲ先ツ完成ストナスノ說ハ帝都復興ノ根
本義ニアラスト考フ

ル旨反對論アリ次テ加藤委員ヨリ上下水道ノ如キモ亦基幹ト爲ス可キ事業中ニ加フ可シトノ論ア
リシニ對シ池田局長ハ

上下水道ノ如キハ既ニ東京市ニ於テ計畫シ現ニ執行中ニ屬ス故ニ院トシテハ單ニ經費ノ補助ニ
止メタルナリ

トノ旨ヲ答フ次テ安河内委員ヨリ大要左ノ如キ希望陳述アリ

横濱市ハ上水道ハ之ヲ暫ク措クモ下水道スラ未タ單ニ調査ヲ了シタルニ止マリ國ニ於テ執行セ
ラルルニアラスンハ到底之ヲ完成スルコトヲ得サルヘシ又外國人ノ永代借地權ノ如キハ收用法
ヲ適用スルコトヲ得ス

故ニ公園地下埋設物ノ如キモノモ同様基幹トナスヘキ事業中ニ加ヘラレタシ此ノ案ノ如キハ單

ニ東京ノミヲ顧慮セルニ過キス、又經費ノ負擔ハ從來ノ例ニ依ルト定メラレタレトモ而モ從來ト雖モ地方ノ發達ニ伴ヒ地方費ノ負擔ヲ漸次増加スルヲ例トセリ、故ニ地方自治體ノ爲ス可キ事業ニ付テモ財力ノ關係ヲ考慮シ經費ノ負擔部分ヲ定ムヘキモノト信ス

之ニ對シ池田局長大要左ノ如ク説明ス
公園ニ付テハ財政上ノ援助ヲ與ヘ又ハ官有地ヲ融通スル等東京ト同様ニ爲スヘシ、下水ノ如キハ自治體ニ於テ適當ノ計畫ヲ立ツレハ内務省ニ於テ相當財政上ノ援助ヲ與フ可シ、又永代借地權ニ付テハ市長及知事ノ意見ヲ具シ復興院ニ於テ援助ス可キハ援助セムモ復興計畫トハ無關係ナリト信ス

次テ公共團體ニ對スル補助率ニ關スル質問ニ對シ池田局長ハ
補助率ハ從來ヨリ増加セリ、例之道路ハ從來ハ東京十二分ノ五ナリシヲ十二分ノ六ニ横濱十二分ノ四ヲ十二分ノ五ニ改ムル見込ナル
旨答辯ス、尙此問題ニ關シ宇佐美委員ヨリ

非常ニ處スル爲院設置セラレタルモノナルヲ以テ平常ハ自治體ニ於テ負擔施行ス可キ事業ニ對シテモ國費負擔トス可ク又國費負擔額ヲ増加シ得スヤ
ノ希望アリ、又安河内委員ヨリ

巨額ノ經費ヲ投シテ工業地區ヲ設定スルモ地主カ高率ノ地代ヲ要求スル爲工業モ住宅モ發展セサルハ現下ノ状態ナリ、然ルニ自治體ノ負擔ヲ増加スルトキハ益々此ノ傾向ヲ助長スルコトトナルヲ以テ成可國ニ於テ事業費ヲ負擔セラレタキ
旨述フル所アリ

議案第四第五ハ右ニテ決定、其他起債ノ意義、地帯收用、割増金付小額債券、復興事業完成期等ニ付簡單ナル質疑應答アリテ散會

第二委員會決定要領

第二委員會ハ大正十二年十一月二日、七日ノ兩日開會シ審議ノ結果

議案第四ハ之ヲ承認シ第五ニ付テハ「大體從來ノ例ニ依ルモノノ外」及「法令等ニ別段ノ定アルモノハ大體其ノ例ニ依リ其ノ他ハ」第六ニ付テハ「割増金付小額債券ヲ含ム」ヲ削ルコトトシ大體之ヲ承認セリ

▲第三委員會

十一月二日午後三時首相官邸ニ於テ開會

先ツ松木物資供給局長ヨリ既ニ今回迄ニ不取敢諸外國ニ注文セル木材鐵材其ノ他ニ付テ經過報告アリ、次テ復興事業ニ伴フ各般ノ施設ヲ如何ニス可キヤニ付意見ヲ求メタルニ殆ト全委員ヨリ

- (一) 物資供給ノ最大目的ハ何レニアルカ
 - (二) 政府カ直接ニ物資ノ供給ヲ行フコトハ民業ヲ壓迫セスヤ
 - (三) 供給價格ニ一定ノ標準ヲ設クルヤ否ヤ
 - (四) 注文品ノ着荷ハ何レノ場所トナスヤ
- 等諸方面ニ亘リ意見質問提出シ松木副總裁左ノ要旨ヲ以テ答辯ス
- (一) 物資供給ノ目的ハ第一、罹災地ノ市場ニ必要ナル材料ノ供給ヲ可成の不足セシメサルコト、第二、一般物資ノ價格ノ昂騰ヲ防止スルコトニアリ

(二) 右二箇ノ目的ノ達成ト同時ニ此際民業ノ壓迫等ノ弊ニ陥ラサル様十分注意シ賣拂價格ノ如キハ最モ攻究ヲ遂ケ荷モ市場ヲ攪亂スルコトナキニ務ムル方針ナリ從ツテ政府ノ購入セル價格ニ對シテハヨリ高價ニ賣出スコトモアリ或ハ多少ノ損失ヲナスモ尙之ヲ賣却スル場合モアルヘシ

(三) 故ニ供給價格ハ成ル可ク之ヲ調節シテ前述ノ弊ニ陥ラサラン事ヲ期ス

(四) 更ニ注文品ハ便宜上主トシテ横濱ニ到着セシムルノ方針ヲ執レリ

引續キ到着品ノ輸送荷揚及製材工場等ニ關シテモ夫々當局ノ腹案ヲ説明シ議事未了ノ儘同四時半散會

▲第二回參與會

十一月九日午後四時內務大臣官邸ニ於テ開會

議題 前回ノ會議ニ於テ議案第一乃至第六ヲ三部科ニ分チ特別委員ノ審議ニ附託シタルニヨリ右委員會ニ於ケル審議ノ經過ヲ特別委員長ヨリ總會ニ報告ノ件

後藤總裁座長トナリ開會

第一特別委員長岡田參與委員會審議ノ經過及結果ヲ報告ス

右ニ付長尾參與安河内參與三宅參與渡邊參與等ヨリ發言アリ後藤總裁松木副總裁直木技監等應答ス湯淺參與ヨリ建築助成ニ關シ希望意見ノ陳述アリ委員長報告通リ承認

第二特別委員長桐島參與審議ノ經過ヲ報告ス

右ニ對シ米山參與安河内參與丹羽參與等ヨリ豫算及京濱運河ニ關シ發言アリ後藤總裁應答シ委員

長報告通リ承認

第三特別委員岡本參與審議ノ經過及結果ヲ報告ス

委員長報告通リ承認終ニ渡邊參與ヨリ京濱運河ニ關スル發言アリ桐島參與ヨリ横濱觀察ノ希望アリテ六時四十分散會

(二) 評議會

▲第一回評議會

十一月十五日午後二時二十分永田町首相官邸ニ於テ開會議案左ノ通(諮問附屬書類ニ付テハ附録参照)諮問第一號

帝都復興院評議會

左ノ件ニ付其ノ會ノ意見ヲ諮フ

大正十二年十一月十五日

帝都復興院總裁子爵 後藤 新平

記

- 一 復興計畫區域及復興事業ノ規模ニ關スル件
- 二 復興計畫ノ統制及復興事業ノ執行ニ關スル件

三 復興事業費ノ負擔區分ニ關スル件

一 復興計畫區域及復興事業ノ規模ニ關スル件

復興計畫ノ區域ハ大體ニ於テ東京及横濱ノ都市計畫區域ニ則リ地域ニ關スル制亦大體既定ノ方針ニ從ヒ既往ノ成績ト大震火災ノ慘害ニ鑑ミ又特ニ將來ノ發展ニ意ヲ用キ大要左ノ如ク其ノ規模ヲ定メムトス

一 街路

街路ノ擴張ニ就テハ特ニ交通幹線ノ配置ニ意ヲ用キ主要街路ノ規格ハ幅員十五間乃至三十間トシ以テ豫メ高速度鐵道ノ敷設ニ備ヘ配スルニ幅員六間以上ノ街路ヲ以テシ又電氣軌道網ヲ構成スル路線ノ規格ハ十一間以上トシ地域ノ情況ト交通ノ系統ニ稽ヘ各路線ノ配置及規格ヲ定メムトス

二 公園及市場

公園及市場ノ位置ヲ凡ソ左ノ如ク定メムトス

(一) 公園 官公有地ヲ公園用地トスルモノノ外數箇所ニ遊園ヲ設ケ尙出來得ル限リ燒跡地

域内ニ於ケル小學校地ヲ擴張シ兒童公園ノ用ヲ兼ネシメムトス

(二) 市場 中央市場ト築地海軍省用地跡ニ設ケ蔬菜市場ハ兩國秋葉原兩驛附近ニ設ケムトス

三 防火地區及建築助成

防火地區ニ就テハ既定計畫ノ外前掲新設主要街路ノ沿道ニ路線形ノ防火地區ヲ設定シ特ニ

商業中樞地區ニ於テハ集團的防火地區ヲ擴張シ其ノ防火地區内ニ於ケル不燃質建築ニ對シテハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ助成セムトス

四 土地區劃整理

街路ノ新設又ハ擴張ニ因リ建築敷地トシテノ利用完カラサルモノヲ生シタルトキ其ノ他土地ノ情況ニ依リ必要アルモノニ付テハ土地區劃整理ヲ行フモノトス

五 港灣運河

横濱港ヲ以テ帝都ノ外港トシ隅田河口ニ内港ノ設備ヲ施シ兩港ノ聯絡ヲ完全ニシ且ツ沿岸工業地域ノ開發ニ資スルカ爲京濱運河ヲ開鑿シ又市内水道ノ便ヲ増進スル爲ニ必要ナル運河ヲ新鑿改修シ沿岸ニ適當ナル倉庫地帯ヲ設定セムトス

二 復興計畫ノ統制及復興事業ノ執行ニ關スル件

東京及横濱ニ於ケル復興計畫ハ其ノ連絡統一ヲ保持スル爲帝都復興院ニ於テ之ヲ統制シ之ニ基キテ執行スル事業ニシテ其ノ都市構成ノ基幹ト爲ルヘキ重要ナル施設即チ(一)主要街路ノ新設及擴張(二)港灣ノ築設(三)河川運河ノ改修及開鑿(四)其ノ他特ニ必要アルモノハ帝都復興院之ヲ執行シ其ノ他ハ地方公共團體ノ施設ニ委ネムトス

三 復興事業費ノ負擔區分ニ關スル件

國ニ於テ執行スル事業ノ費用ハ其ノ事業ノ種類ニ依リ相當ノ率ヲ以テ關係公共團體ニ之ヲ分擔セシメ又地方ニ於テ施設スル事業ニ對シテハ其ノ事業ノ種類ニ從ヒ適當ノ率ヲ以テ國庫ヨリ補助シテ之ヲ助成セムトス

山本首相後藤總裁及阪谷評議會會長ヨリ左ノ通挨拶アリ

山本首相挨拶

諸君茲ニ帝都復興院ニ於ケル評議會ヲ開キマスルニ當リマシテ諸君ト相見エ聊カ所見ヲ披瀝スルノ機會ヲ得マシタルハ最モ欣幸トスル所ヲアリマス惟フニ帝都復興ノ事業ハ當ニ一市府ノ問題ニ非ス其ノ關係スル所國家全體ニ大ナル影響ヲ及ホスモノニモサイマス故ニ是カ計畫ト實行トニ依リマシテハ充分ナル注意ヲ拂ヒマシテ萬遺憾ナキコトヲ期セネハナラズト申スコトハ異議ノナイコトヲアラウト存スルノテアリマス畏多クモ陛下ニ於カセラレマシテハ深ク震災後ノ帝都復興ニ關シ憂慮ヲ備マセラレ特ニ優渥ナル御沙汰ヲ賜リマシタコトハ各位ノ充分ニ諒知セララル所ヲコサイマス之ニ對シマシテ政府ハ厚ク聖旨ノ在ル所ヲ奉戴致シマシテ豫算ノ範圍ニ於キマシテ緊切且ツ實際的ノ方法ニ依リマシテ萬遺憾ナキヲ期シマシテ復興ノ大事業ヲ充分徹底的ニ成功致シタイト希望スルノテコサイマス諸君如上ノ趣意ヲ御熟考ニナリマシテ充分且ツ熱心ニ是カ成功ヲ期スルコトニ御盡力アランコトヲ偏ニ希望致スノテコサイマス即チ簡單ナカラシム趣意ヲ以テ御挨拶ニ代ヘタイト思フノヲコサイマス

後藤總裁挨拶

帝都復興院總裁ト致シマシテ一言御挨拶ヲ申上ケマス

復興審議會ニ關スル官制ハ九月十九日ニ公布セラレ亞イテ九月二十七日ニ帝都復興院ノ官制カ

發布セラレマシタ而シテ又帝都復興院評議員及參與ノ諸君ノ任命ハ十月十八日ニ行ハレマシタノテアリマス斯ノ如ク帝都復興ノコトニ付キマシテハ急ヲ要スルコトテアルニ拘ラス當局ト致シマシテハ其ノ調査ニ日ヲ費シマシテ今日漸ク各位ノ御參集ヲ仰クコトニナリマシタノテアリマス之カ爲ニ帝都ノ市民ハ勿論内外人共ニ均シク目ヲ着クル所ヲアリマシテ一日モ早く此發表ヲ見ルコトヲ熱望致シテ居ルコトハ今更茲ニ言フヲ俟タヌコトテアリマスケレトモ此調査タルヤ實ニ諸般ノ事ニ涉リマシテ其ノ進行モ意ノ如クナラサルコトハ當局自カラ遺憾トスル所ヲアリマス各位ノ御任命ノアリマシテカラ今日迄遷延シマシタコトニ付テハ當局自カラ其ノ責ヲ免レサルコトト恐縮致シテ居ル次第アリマス

帝國復興カ帝都復興ヲ促スモノテアリマシテ帝都復興ノコトハ全ク帝國ノ復興ノ力ニヨツテ完成スルト申シテモ好イ位テ是レ唯一部ノコトテナイト云フコトハ唯今總理大臣ノ御挨拶中ニモアツタヤウナ次第アリマス從ツテ此事ニ付マシテハ物質的的精神的此兩方面ニ關係ヲ持ツコトヲアリマスカ故ニ評議會ニ於テハ各方面ノ方々ニ御願ヒヲスルコトニナリマシテ是ニ依ツテ違算ナキコトヲ期シタイト思フ次第アリマス此眞情ヲ以上申述ヘマシテ御挨拶ニ代ヘタイトノテアリマス

阪谷會長挨拶

私ハ揣ラスモ此度本會會長ヲ仰付ケラレマシタ頗ル恐縮致シテ居ルノテコサイマス尚ニ微力未熟ナ者ヲコサイマスルカ皆様ノ御援助ニ俟ツテ其ノ職責ヲ完ウセンコトヲ切ニ望ム次第ヲコサイマス一言御挨拶ヲ申上ケマス

議席及議事規則ヲ決定シ次テ今回ノ震害ニ關スル諸外國ノ同情ニ對シ左ノ通感謝ノ決議ヲナセリ

Be it resolved, at the outset of this meeting of the Councillors of the Board of Reconstruction, that we express the most profound thanks for the sincere sympathy shown us in the recent calamity by the Governments and peoples of the friendly Powers, and that the immense aid given to our sufferers in relief supplies, already sent or to be sent by the Powers, should forever be remembered by us and by our posterity, our sense of gratitude being all the deeper because of the realization that this assistance from our foreign friends is a manifestation of their ideal of universal brotherhood as well as a token of world peace.

復興院評議會員ハ今回ノ災害ニ付テ友邦各國ノ政府及國民ヨリ寄セラレタル深厚ナル同情ニ對シテ衷心感謝ノ意ヲ表シ既ニ送ラレ又將ニ送ラレントスル救恤ノ金品カ羅災者ニ對シテ多大ノ便利ヲ與ヘタル事ハ永久ニ我々及我々ノ子孫カ記念スヘキ事ナルト共ニ七等ハ皆友邦各國人士ノ博愛仁義ノ發露ニシテ世界平和ノ象徴ナル事ヲ確認シ感謝ノ情一層切實ナル事ヲ開會ノ序頭ニ於テ決議ス

諮問第一號ノ審議ニ入ル、宮尾副總裁諮問案ノ内容ニ付説明ヲナシ之ニ對シ吉植庄一郎、鳩山一郎、藤山雷太、伊澤多喜男、三木武吉、小泉策太郎、森格、片岡安、長岡外史等ノ各評議員ヨリ發言アリ、後藤總裁、宮尾副總裁説明ヲナシ近藤評議員ノ勸議ニヨリ議案ヲ三部ニ分チ特別委員附託ニ決シ同時ニ會長ヨリ委員左ノ通り指名アリ、六時散會

第一委員(街路、公園及市場防火地區及建築助成、土地區劃整理ニ關スル事項)

委員長 伯爵 林 博太郎
委員 鳩山 一郎
岡野 昇

伊東 忠太
橋本 圭三郎
大橋 新太郎
永田 秀次郎
長岡 外史
近藤 達兒
關 一
渡邊 鐵藏
澤柳 政太郎

委員長 子爵 大河内 正敏

第二委員(港灣、運河ニ關スル事項)

委員

八四

上山滿之進

若尾瑋八

宇佐美勝夫

藤山雷太

伊東米治郎

廣井勇

井坂孝

梶原仲治

秋田清

委員長

内藤久寛

渡邊勝三郎

安河内麻吉

三木武吉

伊澤多喜男

平沼亮三

子爵 井上匡四郎

泰豐助

兒玉謙次

男爵 毛利五郎

各委員會經過左ノ通り

▲第一委員會

第一回 十一月十六日 午前十時 内相官邸ニ於テ開會

先ツ鳩山委員ヨリ

復興院提示ノ計畫案ハ燒失區域ノミヲ中心トセル都市計畫ニシテ燒失セサル部分ニ付テハ何等ノ施設ナキハ如何又今回ノ計畫案ハ財政ニ束縛セラレ居ル如キモ何故全然財政上ノ束縛ヨリ脱セル理想的都市計畫案ヲ作ルヲ得ヌヤ

トノ質問アリ之ニ對シ宮尾副總裁ヨリ

燒失區域ノ計畫目下焦眉ノ急ヲ要スル問題ナルヲ信スルカ故ナリ又財政ヲ超越セル理想案ハ作成シ得ルモ院トシテハ時日ニ制限アルヲ以テ之ヲナササリシ

旨答辯アリ大橋委員ノ東京ノ資力ニ付テノ質問ニ次イテ

長岡委員ヨリ

今回ノ計畫ヲ見ルニ何等國防上ノ計畫アルヲ見ス防空上ノ見地ヨリモ何故百年ノ大計ヲ樹テザリシヤトノ質問アリ之ニ對シ宮尾副總裁ハ

百年千年ノ大計畫必要ナル事ハ之ヲ認ムレトモ復興院成立ノ當時ニアリテハ全ク之ヲ樹ツヘキ手足ナク又理想案ハアリシモ目下ノ急務ニハ適應セス大計畫ハ單ニ紙上ニハ之ヲ描クコトヲ得ルモ災害地ノ實狀ニ鑑ミ經濟商業其ノ他各般ノ事情ニ適スルモノヲ得ントセハ相當ノ日子ヲ要スヘシ然レトモ今回ノ院ノ計畫案ト雖モ理想案トノ聯絡ニ付テハ毫モ矛盾ナキヲ信スル

行答辯アリ、次テ渡邊委員ヨリ

院ノ計畫案ニヨレハ日本橋、神田、淺草方面ニ公園ノ少ナキハ如何ナル理由ニ出ツルヤ、又區劃整理ヲ單ニ土地收用後ノ殘地ニノミ施行ストスルハ其範圍狹キニ過ク、又受益者負擔ノ方法ヲ如何ニスルヤ

ノ質問アリ、宮尾副總裁

今回ノ計畫案ニ定メタル公園ハ實行シ得ヘキモノヲ先ツ記セルナリ、又復興事業ノ遅レサル範圍ニ於テ區劃整理及受益者負擔ノ方法ヲ考究中ナリ

ト答ヘ正午休憩午後一時再開、佐野建築局長ヨリ地域制度及防火地區ノ範圍制限等ニ付現行ノ狀態及將來ノ院ノ方針ニ付テ大要左ノ如キ報告アリ

現行都市計畫區域ハ大正十一年四月二十四日內閣ノ認可ヲ受ケタルモノニシテ其總面積ハ一億六千萬坪東京驛ヲ中心トシ十哩半徑ノ範圍之ニ屬ス、現行市街地建築物法ノ施行セラルル區域モ亦同一面積ナリ、住居商業工業ノ各地域ハ本年八月一日都市計畫委員會ノ議決ヲ經テ內閣ニ申請中ノ所今次ノ震災ニ遭遇シ全然效力ヲ失ヘリ、從ツテ院ニ於テ今後新ニ地域ヲ設定スルノ必要生

セシカ申請中ノ案ニ一部變更ヲ加フルヲ以テ足レリト考フ
即チ住居地域ハ上野、飛鳥山ノ西南高臺一帶商業地域ハ京橋、日本橋、神田ノ全部及下谷、淺草、芝ノ一部、工業地域ハ本所、深川、荒川放水路附近及隅田川上流赤羽、志村附近一帶、又混合地域ハ月島、芝浦、隅田川下流、本所、深川ノ一部、日暮里、金杉附近

等ニシテ之ニ對シテハ些シテ變更ノ必要ナキモ唯魚市場ノ豫定地タル水交社附近ハ住居地域ナリシヲ商業地域ニ、芝浦ノ埋立地及新設街路線ノ沿線ヲ商業地域トシテ指定セント欲ス尙防火地

區ニ付テハ現行ノ甲種乙種ヲ撤廢シ單ニ甲種ノミノ耐火設備ヲナサシムルト共ニ京橋、日本橋、神田ノ商業地域ハ集團的ニ防火地區トシ其他主要街路ノ沿線ハ悉ク防火地區トシ耐火施設ヲナサシムル方針ナリ

之ニ對シ各委員ヨリ二三質問アリタル後同四時二十分散會
尙第一特別委員ニ左ノ諸氏追加指名アリタリ

小野 英 次 郎
宇 佐 美 勝 夫
藤 山 雷 太
馬 場 鏞 一
片 岡 安
神 戶 舉 一

第二回

十一月十七日 午前十時二十分 內相官邸ニ於テ開會

審議ニ入ルニ先チ直木技監ヨリ東京築港ニ關シ大要左ノ如キ説明アリ

東京築港ハ參考案ニ示ス如ク大規模ノ計畫ヲ必要トセス主トシテ沿岸貿易ニ資スルヲ以テ目的トス然レトモ沿岸貿易ニ使用セラルル船舶ト雖モ船型漸次大トナル狀況ナレハ最深ノ所ハ五千噸級船ノ出入ヲ可能ナラシメントスル方針ナリ、又京濱運河ニ付テハ東京橫濱間ノ連絡ヲ圓滑ナラシムルヲ以テ第一使命トシ一面難破ニヨル損害ヲ減少セシムルニアルモ、同時ニ又京濱運河ノ沿岸ヲ將來ノ大工場地域トシテ漸次開發セシムルモ亦主タル使命ノ一ナリ

藤山委員之ニ對シ

東京築港ハ横濱ノ繁榮ヲ奪フコトナキヤ

ト當局ノ意見ヲ求ム之ニ對シ直木技監

横濱衰頹ノ恐レナキヲ信ス、東京ト横濱トノ關係ハ恰モ大阪、神戸兩市ノ關係ノ如シ是等兩市カ港灣設備ヲ競フテ而モ共ニ繁榮スルヲ見ルモ明白ニ證明シ得ヘシ

ト答フ、此ノ時後藤總裁出席シ復興豫算ニ付大要左ノ如キ説明アリ

復興計畫ノ豫算ハ目下大藏省ト交渉中ニシテ未タ確定ニ至ラス從ツテ總經費何億位カ、各費目幾何ヲ要スルカ、更ニ之ヨリ何億ヲ減スヘキカ、各費目ヲ如何ニ按排スヘキカ、又道路、運河等ノ計畫ヲ如何ニスヘキカ、之等ノ點ニ付充分ノ研究ヲ乞フ

尙宮尾副總裁ヨリ豫算ノ各費目ニ付詳細ナル説明アリテ後正午休憩、午後一時再開

復興計畫遂行ノ順序ニ關スル質問ニ對シ宮尾副總裁復興計畫ノ大體ノ順序トシテハ公園ノ如キハ後廻シトシ、街路ノ如キハ最先ニ着手セン考ナル旨答辯アリ、次テ大橋委員ハ

土地區劃整理ノ方法ヲ利用シ成ル可ク國費ヲ少クシ道路系統ヲ完全ニスル事ハ目下ノ急務ト信スレトモ之ニ關シ院ハ如何ナル研究ヲナシツツアルヤ

トノ質問アリ、稻葉土地整理局長ヨリ

此ノ問題ニ付テハ院ニ於テモ慎重考究中ナリ、ソノ方法ニ付テハ諸外國ニ於テモ「アヂケス」法、「サロニカ」法等ヲ應用シ居レトモ大體根本的方法トシテハ換地法、土地收縮法、殘地補償法ノ三アリ、當局ハ之ニ付研究中ナレトモ理想ヲ云ヘハ此ノ非常時ニ際シテ道路用地ノ無償讓渡ヲ希望ス、復興計畫遂行後ハ土地ノ價格ヲ一層高ムルコトトナルヲ以テ市民モ此ノ點ニ十分留意セラレンコト

ヲ望ムモノナリ

其他諸外國ノ實例ヲ詳細ニ説明スル所アリ、次テ諮問案ノ各論的審議ニ入り池田局長ヨリ街路ノ幅員、環狀道路及高速鐵道ノ計畫等ニ付テ詳細ナル説明アリ、之ニ對シ各委員ヨリ二、三ノ質問アリシ後伊東委員ヨリ主要街路ノ交叉點ニ防火上竝交通上廣場ヲ建設スル事ノ希望アリ、同四時散會

第三回 十一月十八日 午前十時 內相官邸ニ於テ開會

先ツ永田委員

街路ノ根本義ハ高速鐵道ノ系統ヲ主トシテ定メ之ニ配スルニ街路ヲ以テスヘシト信ス、然ルニ院ノ計畫ヲ見ルニ從來ノ街路系統ニ從ヒ之ニ高速鐵道ヲ按排セントスルモノニシテ本末顛倒ノ觀アリ故ニ若シ高速鐵道ヲ主トスルモノトセハ街路ノ系統ヲ全然改正スルノ必要アリト信ス

トノ意見ヲ陳述ス、長岡委員又

飛行機ノ威力ノ強大トナレル今日之ニ對スル防禦トシテ水道及地下鐵道ハ最モ急ヲ要スル施設ニシテ當然國家之ヲ遂行スヘシ

トノ希望意見アリ、藤山委員又

街路ヲ院カ遂行スト云フニ何故下水ヲモ併セ施行セサルヤ

トノ質問アリ、稻葉土地整理局長之ニ對シ

下水ノ如キハ既ニ市ノ計畫トシテ實施シツツアル事業ナルカ故ニ院カ之ヲナス必要ナク、且市ヲシテ之ヲ繼續シテナサシムルヲ却テ便宜ナリト考ヘシ次第ナリ、尙道路工事ノ如キモ燒跡以外ハ市カ主トシテ之ニ當ルヘク又燒跡ニ於テモ復舊其他ニ關シテ當然市カ工事ヲ負擔スヘキ部分モアリ

一 答辯ス之ニ續キ永田委員ハ東京市ノ現状ニ付左ノ要旨ヲ述フ

市ノ財政逼迫セル際ナレハ復舊ヲ先ニシ復興ヲ後ニスル方針ナリ從ツテ下水ノ如キハ復興ニ屬スルカ故ニ當然後廻シトセラレヘキモノナレトモ宮城前ノ如キ現在工事中ノモノハ至急着手スルノ考ナリ

正午休憩午後一時再開公園及市場ニ關スル質問ニ對シ池田計畫局長ヨリ小學校庭ヲ小公園トシテ利用スル旨答辯アリ長岡委員ハ

飛行機攻撃ノ立場ヨリスレハ非常時ニ際シテハ公園ハ反テ不利益ナリ即チ空中射撃ニアリテハ公園ニ多數集合スルハ頗ル危險ニシテ寧ロ地下鐵道及地下室ヲ適當ト考フ

ト述フ次ヲ大橋委員ハ

建築助成ノ方法トシテ半官半民ノ會社ヲ設クル事ニハ反對ナリ會社ヲ設クルナラハ寧ロ民間ニ一任スルヲ可トスヘシ

ト述フル所アリ之ヲ以テ質問討論ヲ打切り第一委員會附託ノ街路公園建築ノ諮問案ハ大體承認スルニ決定スルト共ニ希望決議ヲ附帶セシムルコトトシ同五時散會セリ

第一委員會決定要領

第一委員會付託ノ街路公園及市場防火地區及建築助成土地區劃整理ニ關スル事項ヲ調査スルニ右ハ可決スヘキモノト議決シタリ

尙左記希望事項併テ可決セリ

本會ニ提出セラレタル諮問案ニ添附セル圖面及附屬書類ノ内容ニ付テハ考慮スヘキ點多クア

ルヘキモ今之ヲ審ニ研究スルノ餘日ナキヲ以テ右ハ單ニ參考案トシテ之ヲ認メ將來適當ナル時期ニ於テ實施計畫ヲ立テ再ヒ本會ニ諮問セラレンコトヲ望ム
尙左ノ諸點ニ考慮セラレンコトヲ望ム

街路ノ部

- 一 地下鐵道ハ市内ニ成ルヘク多クシ且ツ普遍的ニ敷設スルコト
- 二 道路計畫ニ付テハ高速鐵道建設ニ支障ナキヲ期スルコト
- 三 放射線環狀線其他都市計畫トシテ決定セル路線ヲ實施スルコト
- 四 國ニ於テ施行スヘキ街路ニハ其ノ鋪裝工事ヲモ併セ施行スルコト
- 五 交通、火防、衛生、美觀ノ爲メ主要街路ノ交叉點其他數箇所ニ廣場ヲ設クルコト
- 六 地下埋設物ノ整理ヲ行フコト

公園及市場ノ件

- 七 公園及分市場ハ出來得ル限り之ヲ増設スルコト公園ノ候補地トシテハ例ヘハ砲兵工廠及糧秣廠跡隅田川兩岸ノ如キヲ考慮スルコト
- 八 官有地ハ可成公園敷地トシテ無償ニテ市ニ下附セラレタキコト

防火地區及建築助成ノ部

- 九 街路ニ面スル建築線及宅地間ノ境界線ハ六箇月以内ニ之ヲ決定シ買收ノ必要アル土地ハ一箇年以内ニ之ヲ終ルコト
- 十 建築線間ノ距離ハ二間以上トスルコト
- 十一 防火建築助成ノ爲メ一般ニ補助金ヲ下附シ其ノ計畫ニ必要ナル法律ヲ定ムルコト

補助金トシテハ總額少クトモ一億圓ノ支出ヲ希望スルコト

土地區劃整理ノ部

十二 土地區劃整理ノ結果トシテ街路敷地ノ一部ハ之ヲ無償收用シ得ルニヨリ其費用ハ之ヲ防火建築補助費及土地區劃整理費ニ充當スルコト

十三 土地利用ノ増進ヲ圖リ保安衛生上ノ支障ヲ少カラシムカ爲メ燒失區域全體ニ亘リ土地區劃整理ヲ徹底的ニ斷行スルコト但道路公園其ノ他公用ニ供スルタメ土地區劃整理關係上土地ノ約一割ヲ無償提供セシムルコト

希望決議

十四 復興都市計畫ノ實行及財政ノ便宜ヲ圖ル爲メ東京市内外ノ官有地ヲ整理シ成ルヘク之ヲ開放シ又ハ東京市ニ交付スルコト

▲第二委員會

第一回 十一月十六日 午前十時 内相官邸ニ於テ開會
先ツ上山委員ノ

復興事業ヲ市ニ於テ執行セス總テ國ニ於テ執行スル根本理由如何
トノ質問ニ對シ池田計畫局長左ノ通答ヲ

根本義ハ別トシテ復興事業ハ都市計畫事業ト同様ソノ性質上國ノ事業ナリト解ス從ツテ(一)非常時ニ際シテハ事業ノ敏速且確實ヲ期スル關係ヨリ又(二)財取上國カ多額ノ負擔ヲナス點ヨリ見ルモ國カ執行スルヲ便宜トスヘシ

次テ藤山委員ヨリ左ノ質問アリ

(一)(二)(三)(四) 經費七億五千萬圓ハ復興費ノ全部ナリヤ若ハ市ニ對スル補助ヲモ含ムヤ
道路ニ關スル經費ノ内ニハ用地買收費ノ外道路築造費ヲモ含ムヤ
市内運河ノ擴張ハ何年位ニテ完成ノ見込ナリヤ
運河計畫確定ノ上ハ沿岸ノ工場所有者カ自ラ運河擴張工事ヲ實行シテ不可ナキヤ
池田局長是ニ對シ左ノ旨ヲ答フ

(一) 經費約七億五千萬圓ハ主トシテ國カ施設スル事業ニ要スルモノナリ
主要幹線道路ハ鋪裝工事費ヲモ包含ス
完成ニハ五、六年ヲ要スル見込ナレトモ年度割ハ目下調査中ニ屬ス(太田土木局長答)
(二) 民間ノ工事ニ付テモ目下調査中ナリ
次テ藤山、秋田兩委員ヨリ運河港灣ノ工事ヲ急務トスル旨ヲ述ヘ更ニ藤山委員ノ

道路モ亦完成ニハ五、六年ヲ要スル計畫ナリヤ
トノ質問ニ對シ池田局長左ノ旨ヲ答フ
道路ハ擴張スル場合ヨリモ寧ロ新設ノ場合ヲ先ニセント考フ然レトモ新設擴張共ニ用地買收ハ可成的敏速ナランコトヲ期ス
午後零時半休憩、同一時再開、直木技監ヨリ大要左ノ如キ報告アリ

東京築港ハ大體港門ヲ大森地先ニ設ケ航路ヲ芝浦地先ニ導キ繫船壁ヲ築造シ永代橋以下ヲ浚深シ解溜及船溜ヲ設ケ防波堤及導流柵ヲ配置スル考ニシテ四、五千噸以下ノ船舶ノ出入ヲ便ナラシムル方針ナリ築港完成後ノ東京橫濱兩港ノ關係ハ恰モ大阪神戸兩港ノ如ク兩港各其ノ機能ヲ異ニシテ發達セシムルヲ得ヘシ、東京築港ニ要スル經費ハ大體三千五百萬圓トス、尙京濱運河ハ神奈

川縣鶴見地先ヨリ六郷川ヲ横斷シテ大森地先ニ至ル延長約八千九百間幅員百間ノ内先ツ五十間ヲ期望干湖平均水面以下十二尺ニ浚深シ以テ京濱間ノ解舟聯絡ヲ圓滑ナラシメント欲ス之ニ對シ各委員ヨリ二、三ノ質問アリ、夫々答辯シ同四時散會

第二回 十一月十八日午前十時内相官邸ニ於テ開會

築港ニ關スル質問ニ對シ直木技監

築港ハ可及的迅速ニ完成セシメント欲ス、ソノ順序トシテハ先ツ第一ニ機械ヲ新調スルト同時ニ民間及内務省等ヨリモ借入スルノ考ナリ、工事方法ハ浚深豫定地ヲ當初ヨリ二十五尺深トスルヲ要セス先ツ全般ニ涉リ十八、九尺深ヲ目安トシテ適當ナル船舶ノ出入ヲ可能ナラシメ更ニ一部ノ深サヲ最後ノ豫定タル二十五尺ニ達セシメント欲スル

旨ヲ答辯ス、尙倉庫地帯ニ付技監ヨリ説明アリシ後、宮尾副總裁

倉庫地帯ノ指定ニ付テハ目下考慮中ナレトモ之ハ工場地區トハ全然其意義ヲ異ニシ工場地區ニ於テハ一定ノ大キサ以上ノ工場ハ此指定セル地域以外ニ建築スルコトヲ嚴禁スレトモ倉庫地帯ニ於テハ其指定地以外ト雖モ倉庫ノ建築ヲ禁スルモノニアラス

ト説明スル所アリ、次テ京濱運河ノ設計ヲ海ヨリ遠サカリテ陸地ノ内部ニ設置シテハ如何トノ質問アリシニ對シ直木技監左ノ旨ヲ答フ

海岸ヨリ遠サカル時ハ工場地トシテ其兩岸ヲ利用シ得ルモノノ如キモ而モ橋梁ノ架設ノ爲ニ却テ舟運ヲ阻害スルヲ免レス事ロ不得策ナリ

尙橫濱ノ繁榮ト東京築港トノ關係ニ付二、三質問應答アリシ後午後零時半休憩、同一時半再開、藤山委員ヨリ

京濱運河ヨリモ市内運河ヲ先ニセラレタキ旨希望アリ、又井阪委員ハ

橫濱ノ復興事業ハ築港ノ擴張ヲ第一トシ又京濱運河ノ開鑿ハ從來モ多年唱道セラレ來リシ問題ニシテ之カ開通ハ橫濱市民全部ノ希望ナルカ故ニ東京築港ノミニ全力ヲ注ク事ヲ避ケ之ニ對シテモ充分努力セラレタシ

ト述フル所アリ、更ニ廣井委員ヨリ

東京築港ハ水深二十五尺ニ浚深スル方針ナリト云フモ余ハ干湖面下約十八尺ヲ浚深スレハ足ルト考フルヲ以テ計畫ヲ此ノ程度ニ止メ事ロ其ノ速成ヲ計ルヲ以テ目下ノ急務ト信ス、又豫算ノ殘額ヲ以テ市内運河ノ擴張速成ヲ計ルハ最モ時宜ニ適スヘシ

ト述ヘ秋田委員ヨリモ東京築港及京濱運河ニ付意見ノ陳述アリ、之ヲ以テ質問ヲ打切り大體原案通諮問案ヲ承認スルニ決シ尙希望條項ハ評議會總會ニ於テ各委員之ヲ陳述スル事ヲ申合セ同三時半散會

▲第三委員會

第一回 十一月十六日 午前十時 内相官邸ニ於テ開會

伊澤委員ヨリノ地震ノ強度ト將來ノ建築方針ニ關スル質問ニ對シ佐野建築局長大要左ノ通答ヲ

今回ノ地震ニ付テハ學者ノ說一致セサルモ大體ニ於テソノ強度ハ東京ニ於テ山ノ手ハ一割五分、

下町ハ三割橫濱ハ三割五分、鎌倉ハ四割位ト推定サル、尙將來東京ニ於テハ此ノ鎌倉橫濱ノ實例ニ

鑑ミル時ハ今回ノ地震以上ノモノナキヲ保シ難キカ故ニ建築上ニモ相當考慮研究ヲ重ネツツアリ

伊澤委員更ニ次ノ質問ヲナス

- (一) 的確ナル數字上ノ震度基準ヲ定メサル以上ハ復興計畫ノ決定ハ不可能ニアラスヤ
- (二) 復興事業ノ執行ハ原則トシテ自治體之ヲ爲スヘキナルニ國カ之ヲ執行スルニ至リシ理由如何

之ニ對シ佐野局長ハ數字上ノ基準ト云フモノハ震幅震動時間及建物ノ性質ニ依リ一定スヘキモノニアラスル旨答ヘ更ニ松木副總裁ヨリ

復興事業ハ短時日ニ執行スル要アルヨリ見ルモ國カ執行スルヲ便トス、即チ横濱港ノ復舊工事ヲ國カ執行スルト同様ノ意味ナリ

ト答ヘ午後零時半散會

第二回 十一月十七日 午前十時二十分 内相官邸ニ於テ開會

奏委員ヨリ

横濱築港ノ復舊及擴張ニ要スル經費モ亦今回ノ復興豫算中ニ包含セラレ居ルヤ

トノ質問ニ對シ松木副總裁ハソハ内務省關係ニシテ復興豫算ニ包含セラレサル旨ヲ答フル所アリ

次テ安河内委員ヨリ横濱港目下ノ復舊狀態ニ付大要左ノ如キ説明アリ

横濱港ノ岸壁ハ今回ノ震災後第一、二、五、六號ハ使用ニ堪ヘ第三號、四號ハ目下工兵隊ノ努力ニヨリ修築中ナリ從テ現今ニ於テハ總體ニ於テ從來ノ約四割ヲ使用シ居ル次第ナリ、又棧橋ノ復舊ハ之モ全部軍隊ノ力ヲ借り大部分ハ恢復セリ、目下一日ノ貨物ノ吞吐數量ハ約五千噸内外從來ハ一箇年約九百萬噸ナリキ

次テ毛利委員ノ横濱ノ街路、運河ノ擴張ニ關スル質問ニ對シ松木副總裁

復興豫算中ニハ港灣ハ前述ノ如ク豫算ニ計上シアラサレトモ街路ハ從來ヨリモ著シク擴張サレ運河モ亦若干擴張サルル計畫ナル

旨ヲ答辯ス正午休憩尙森格及原富太郎ノ兩氏ヲ委員トシテ追加指名セリ午後一時二十分再開、安河

内委員ヨリ

(一) 東京築港ト京濱運河トハ計畫上重複シ居ラスヤ、京濱運河ノ計畫アル以上東京築港ハ必要ナシト考フ

(二) 横濱ニアル國若ハ縣ノ營造物ノ復舊費モ今回ノ復興費中ニ包含セララルモノナリヤ

(三) 横濱市ノ燒跡整理ハ未タ着手セラレサルモ院ニテ整理サルルモノニヤ

等ノ諸點ニ付質問アリ、之ニ對シ松木副總裁ハ左ノ要旨ヲ以テ答フ

(一) 京濱運河ノ目的ハ京濱間ノ聯絡ニ在リ從テ東京ニ三千五百萬圓程度ノ築港ヲ爲スモ之カ爲ニ横濱ノ繁榮ヲ奪フノ恐ナク兩者ハ計畫上決シテ重複スルモノニアラス

(二) 復興豫算ハ都市計畫ノ基幹ヲ爲スモノヲ支辨スルニアリテ復舊費ハ之ヲ包含セス

(三) 燒跡ノ整理ハ東京市ニ於テモ市當局現ニ執行シ居リテ復興院ハ之ヲナサス横濱市ニ付テモ

同様ナリ

次テ奏委員ヨリ横濱市ニ中央市場ノ計畫ヲ缺ク點ニ付質問アリ、松木副總裁ハ

横濱ニハ從來ノ都市計畫ニ於テモ中央市場ハ包含セラレサル程ニ程度小ナルカ故ニ之ヲ計畫ニ

加ヘサリシ

旨答辯シ尙奏委員ヨリ防火地區ノ指定ニ關シ説明ヲ要求スル所アリ、松木副總裁及佐野建築局長圖面ニ付テ詳細ニ説明ス、更ニ同委員ヨリ建築助成ノ方法ニ付質問アリシニ對シ佐野局長大要左ノ如

種々ナル建築助成ノ方法中今回ノ如キ非常ノ場合ニアリテハ官民合同ノ一大會社ヲ設置スルヲ以テ最適トナス之ハ家屋其他建築設計年賦賣却及土地ノ買入借入ヲナシムル機關ニシテ資本ハ大體國家ヨリ三千萬圓位民間ヨリ一千万圓位ヲ出スコトトスレハ相當ニ建築其他ノ助成ヲナスコトヲ得ヘシ之ニ依レハ大體東京ニ於テ耐火耐震的ノ建築ニ適スルモノノ建坪八萬七千坪位、木造建築ハ十二萬二千坪位其ノ他ノ建物ニ三十六萬坪位ノ助成ヲナスコトヲ得ヘシ會社ニ於テ建築シ賣却スルモノハ五箇年間ニ二十六萬二千坪ヲ供給シ得ヘキ能力アリ横濱ハ東京市ノ二割位ノ助成ヲナシ得ヘキ見込ナリ尙外ニ國庫ヨリ低利資金ノ融通ニテモナシ得レハ一ノ助成方法トシテ有能ナルヘシ

次テ後藤總裁ヨリ復興院設置ニ至リシ經過等ニ付説明アリシ後泰委員ヨリ左ノ質問アリ
今回ノ復興計畫ニ於テハ國ト市カシノ遂行スル事業ヲ區別シ居ルカ如キモンノ區分ハ如何ナルモノカ

後藤總裁ハ大要左ノ如ク答辯ス

復興院ノ遂行スル事業ハ大體ノ基幹ニノミ止ム故ニ電氣鐵道上水道ノ如キ收入ノ伴フモノハ市ニ一任スルノ方針ヲ執レリ然レトモ市ノ擴張計畫中ニアル上下水道糞尿處分等ニ對シテハ國庫ヨリ相當補助スルノ考ナリ

尙渡邊委員ヨリ

横濱市ノ下水事業ハ都市計畫ノ基幹トナルモノナルヲ以テ全部國家ニテ實施セラレタキ旨希望ノ陳述アリ之ニ對シ後藤總裁ハ復興計畫中ニ之ヲ加ヘサリシ旨ヲ答フ次テ森委員ヨリ

東京横濱連絡ノ曉ニ於テ横濱繁榮ノ中心變遷スヘキコトヲ考慮セリヤ

トノ質問ニ對シ總裁ヨリ之ニ答フル所アリ次テ内藤委員長

評議會ニ於テ諮問案以外ノ事項ニ付テモ決議ヲナシテ可ナリヤ

トノ質問ニ對シ總裁之ヲ肯定ス尙安河内委員ヨリ

横濱ヨリ要求スル補助費ハ如何ニナレリヤ

トノ質問アリ總裁ハ大藏省トノ關係次第ニ依リ決定スヘキ旨ヲ答辯シ同五時散會

第三回 十一月十八日午前十時内相官邸ニ於テ開會

森委員ヨリ

横濱港ハ單ニ復舊ニ止ムルヤ若ハ舊態以上ノ施設ヲナサントスルヤ

トノ質問アリシニ對シ松木副總裁左ノ通答辯ス

横濱港ハ今年度及明年年度ニ一千三百萬圓ヲ支出シ現在ノモノヲ舊態ニ復セシムル外第三期ノ擴張計畫ヲナス管ナリ

次テ井上委員ヨリ防火用高壓水道ノ計畫ノ有無ニ關スル質問アリシニ對シ松木副總裁ヨリ今回ノ計畫ニハ之ヲ削除セル旨答フル所アリ内藤委員ヨリ水道ヲ耐震的ナラシムルニ付研究計畫アリタシトノ希望アリシ後池田局長ヨリ森委員ノ質問ニ對シ左ノ答辯アリ

横濱ノ棧橋所謂税關波止場ト稱スルモノヲ復舊スル爲ニ千三百萬圓ヲ計上セルモノ内本年度ノ分ハ既ニ責任支出ヲナセリ十三年度ノ分ハ仕事ノ便宜上復興院ニテ實施スルヨリモ大藏内務兩省ニ於テ目下考慮中ナルヲ以テ院ハ之ニ關係セサルコトニ決セリ

午後零時半休憩同一時再開稻葉土地整理局長ヨリ區劃整理ノ方針ニ付説明アリタル後渡邊委員提

出ノ意見書ニ基キ審議スルコトトナリ渡邊委員ヨリ該意見書ノ内容ニ付詳細説明スル所アリ結局諮問案ハ之ヲ承認スルコトトシ之ニ附帶シ希望決議ヲ決定シ同四時散會

第三委員會決定要領

復興計畫區域及復興事業ノ規模ニ關スル件

一 横濱港ヲシテ帝都ノ關門タル使命ヲ全カラシムル爲メ横濱港震災復興工事費豫算ノ執行ハ運クモ大正十三年度中ニ完了シ尙左ノ工事ヲ施スヲ適當ト認ム

イ 目下施行中ノ第三期擴張計畫ハ港ノ現状ニ鑑ミ年度割ヲ繰上ケ大正十六年度中ニ其ノ完成ヲ期スルコト

ロ 鶴見川口ヨリ新山下町ニ達スル防波堤ヲ別紙計畫書ノ通新設スルコト

二 京濱運河ノ速成ヲ期シ其ノ幅員及水深ハ可成大ナラシムルヲ適當ト認ム

三 土地區劃整理ハ可成燒跡地全部ニ亘リ之ヲ施行スルコトヲ必要ト認ム

復興事業ノ負擔區分ニ關スル件

四 横濱市ハ殊ニ被害甚大ニシテ負擔困難ナルニ依リ公共團體ノ負擔ハ特ニ低減スルヲ適當ト認ム

希望決議

五 高速鐵道ハ都市構成ノ基幹トナルヘキ重要ナル施設ナルヲ以テ復興院ニ於テ速ニ之ヲ建設スルコトヲ希望ス

六 地下埋設物ノ整理ニ關スル計畫ヲ定メ速ニ之ヲ實行センコトヲ希望ス

▲第二回評議會

十一月二十一日午前十時首相官邸ニ於テ開會阪谷會長ヨリ對外感謝決議ノ周知方ニ付報告ヲナシ會議ニ入ル

第一委員長林博太郎伯第二委員長大河内正敏子第三委員長内藤久寛氏ノ各委員會ノ經過及其結果ニ關スル報告アリ

次テ質問ニ入り磯部尙秦豊助、上山滿之進ノ各評議員ヨリ質問アリ宮尾副總裁主トシテ之ニ答ヘ討論ニ移リ大橋新太郎、湯淺倉平、吉植庄一郎、渡邊鐵藏、藤山雷太、近藤達兒等各評議員ノ議論アリ殊ニ大橋評議員ハ區劃整理實行ノ必要ニ關シ大要左ノ如ク主張セリ

復興事業中先ツ第一ニ實行セラレタキハ實ニ土地區劃整理ナリ、抑々東京市ハ徳川幕府封建政治ヲ始ムルニ當リ町家ヲ作ルノ目的ヲ以テ繩張ヲナセリ、日本橋區、京橋區ノ一部ノ如キハ即チ市街地トシテ計畫セラレタルモノナレトモ其ノ他ノ大部分ハ大名其ノ使用人等ノ住居トシテ發展セルモノニシテ京都、大阪等ニ比シ區劃亂雜ナルヲ免レス、之ヲ整理スルハ實ニ此ノ好機ヲ措キテ他ニナカルヘシ、其ノ必要ナル程度ニ於テハ道路ノ築造ニ劣ルコトナシ、然ルニ街路費ニ於テ四億六百萬圓ヲ計上セルニ對シ、區劃整理ニ付テハ僅カニ八百七十五萬圓ニ過キス、而シテ過日計畫局長ノ説明ニヨレバ區劃整理ヲ爲スヘキ面積ハ東京市ニ於テ二百萬坪ナリト云フモ之ニテハ不足ナラト考フ、而シテ一ハ區劃整理ニヨリ他ハ買収ニヨルトセハ不公平ナラヌヤ、寧ロ一步ヲ進メテ燒失區域全部ニ亘リ私有地ノ一割ヲ無償提供セシメ且市有地官有地ヲ整理セハ東京ノ復興費中土地買収費ノ大部分ハ之ヲ使用セスシテ事業ヲ完成シ得ルヤモ知レス、區劃整理實行ノ曉ニ於テハ所有土地千坪カ九百坪ニ減スルモ地代一割ヲ上クレハ地主モ損ヲセサルヘク、又從來不便不衛生

ナリシ所ニ住ミシ借地人モ之ニヨリ街衢整然タル所ニ住ムヲ得ハ地代一割昂騰スルモ苦マサル
ヘシ而モ國家財政逼迫セシ今日多額ノ費用ヲ減スルヲ得東京市民モ亦將來莫大ノ債務ヲ免ル
ヲ得ヘク將又蒸氣唧筒自動車モ自由ニ入り得ル道路ヲ得保險料モ亦輕減セラルヘク市民生活ノ
上ヨリ云フモ其ノ便益蓋シ鮮シトセス當局ハ充分考慮ノ上區劃整理ヲ全市ニ亘ツテ斷行セラレ
シコト希望ニ堪ヘス

採決ノ結果第一第二及第三ノ各委員會決定通り希望條件ヲ附シ原案ヲ可決ス尙委員中ヨリ建議案
七件提出アリ其ノ審議ニ對シ更ニ第四第五ノ委員會ヲ設ケ調査スルコトナレリ其ノ建議案及委
員氏名左ノ通

第一號

四谷見附ト新橋(烏森)トノ間ヲ聯絡スル鐵道ヲ敷設スルノ件

提出者 門野重九郎 賛成者 杉浦宗三郎 澁澤元治 内藤久寛

帝都交通ニ對スル鐵道系統ヲ按スルニ其外環ト稱スヘキ東京驛ヨリ品川ヲ經山手線ニヨリ上野
ニ出ツル線路ハ萬世橋上野間ニ缺陥アルモ此區間ハ現ニ起工中ニシテ近キ將來ニハ此外環線ノ完
成ヲ見ルコトナルヘシ然ルニ中野新橋ヨリ四谷見附ヲ經テ東京驛ニ入ルモノハ此處ニ前記外環
ニ合シ居ルヲ以テ中野新橋方面ヨリ新橋京橋方面ニ出テントスルモノハ萬世橋ヲ迂廻セサルヘ
カラス此不便ヲ除キ又御茶ノ水線ノ負擔ヲ輕減シ且市内路面電車ノ過重ノ負擔ヲ緩和スルノ
目的ヲ以テ中央線四谷見附附近ヨリ南ニ分岐シ外環ニ沿ヒ溜池ヲ通過シ虎ノ門ニ出テテ新橋驛
附近ニ於テ現在ノ高架線ニ聯絡スルノ新線ヲ建設セハ四谷見附萬世橋東京新橋又ハ有樂町溜池

ヲ通スル所謂内環線トナリ公衆ノ利便甚大ナルモノアルヘシ尤モ此内環線敷設ノ曉ハ新橋萬世
橋間ニ増線ヲ要スルコトトナルヘシ

第二號

東京市内高速度鐵道ノ速成ニ關スル希望

提出者 森 恪 小泉又次郎 賛成者 藤山雷太 指田義雄 大濱忠三郎

- 一 東京及横濱兩市内ニ於ケル高速度鐵道ノ速成ヲ期スル爲メ適當ナル方法ヲ講セラレ度シ
- 二 市内高速度鐵道ヲ民間ヲシテ經營セシムル場合ニハ左ノ方法ヲ講セラレ度シ
 - (一) 國庫ヨリ適當ナル補助ヲナスコト
 - (二) 國庫ヨリ低利資金ノ長期貸付ヲナスコト
 - (三) 政府ハ東京横濱間及山ノ手線中央線ノ電車線路及設備ヲ提供シ民間企業家ト合同シテ市
内高速度鐵道ノ速成ヲ計ルコト

第三號

希望條件

提出者 鳩山一郎 賛成者 馬場鐵一

- 一 復興計畫區域及復興事業ノ規模ニ關スル件中
 - 一 街路ノ部ニ就テ
- 幅員十二間未滿ノ分ノ街路用トシテ買收スル土地ハ三十萬坪以上ニ達スルニ拘ハラヌ復興

院ヨリ示サレタル附屬書類中ニハ此點ニ就キ何等ノ明示ナシ然レトモ是等ノ路線モ幅員十
二間以上ノ路線ト同時ニ市民ニ周知セシメラレンコトヲ望ム

一 復興事業費ノ負擔區分ニ關スル件ニ就テ
從來關係公共團體ノ事業ニ對シ國ハ國道ニ對シ工費二分ノ一其ノ他ノ府縣道ニ對シテハ三
分ノ一ヲ補助セリト雖モ震災後ノ公共團體ニ於テハ財源著シク缺陷ヲ來タシ從來ノ補助率
ニテハ到底事業成功期シ難キヲ以テ全額補助若クハ適當ニ補助率ヲ增加セラレンコトヲ望
ム

第四號

提出者 藤山雷太 賛成者 片岡安

一 耐火建築助成ノ爲メ長期ノ低利資金ヲ貸付クルコト

二 東京市ノ下水工事完成ヲ期スル爲メニ適當ナル方法ヲ講セラレタキコト

第五號

提出者 長岡外史 賛成者 藤山雷太

隅田川河口ニ近キ地ニ水陸飛行場ヲ設ケ陸地飛行場ノ廣サヲ十六萬坪トセラレタシ

(理由) 歐洲各國ニ於テハ先年來數多ノ空中路ヲ拓キ飛行機ヲ以テ國際間ニ郵便旅客物品ヲ運送
スル事業ヲ創メ年ヲ逐ヒ著大ノ効果ヲ擧ケツツアリ將來ニ於テハ恐ルヘキ進歩發達ヲ爲スヘ
キ見込確實ナリ而シテ右ノ新文明ノ利用ヲ完フセンカ爲メ第一ノ手段ハ都心ニ近キ地ニ飛行
場ヲ設クルニ在リ伯林市ノ「テンベルホーフ」ノ如キ最モ此ノ目的ニ合スルモノナリ

本邦ノ國際的空中交通ノ狀況ニ於テハ又水上ニ重キヲ置クノ必要アリ仍テ水陸兼用ノ飛行場
ヲ設クルコトハ經濟ニシテ便利ナリ

第六號

希望條件

提出者 安河内麻吉 賛成者 平沼亮三 森 恪

横濱市燒失區域ノ平面測量ハ速ニ着手遂行セラレンコトヲ望ム

(理由) 横濱市ノ土地臺帳土地登記簿等土地ニ關スル公文書ハ總テ島有ニ歸シ僅ニ縣廳保管ノ永
代借地權ニ關スル地券臺帳ヲ殘存スルニ過キス故ニ燒失區域ノ現狀尙消滅セサル今日ニ於テ
速ニ之ヲ測量シテ土地ノ限界ヲ明ニシ以テ他日所有權其他ノ爭議解決ノ資料ニ供シ區劃整理
其他復興事業ノ遂行ニ障害ナカラシメンコトヲ要ス

米突法ノ實施促進ニ關スル建議ノ件

提出者 斯波忠三郎 賛成者 門野重九郎 杉浦宗三郎 澁澤元治 内藤久寬

我邦度量衡ノ基準トシテ米突法採用ノ事ハ大正十年四月法律ヲ以テ既ニ決定シ居ルモ從來ノ習
慣アリ其ノ因襲ノ久シキ爲ニ此新ナル基準ハ容易ニ一般人士ノ念頭ニ入り難ク隨ツテ其ノ實施
期日ニ關シテハ成ルヘク之ヲ後年ニ延期セント欲スルノ傾向アリ然ルニ這般帝都及其ノ附近ノ
大變災アリ此ノ復興事業ニ際シ之カ計畫ニハ總テ米突法ヲ用ヒ復興院ヨリ發表ノ道路幅員等ニ
使用セハ此式ノ宣傳トナリ追テ全國ニ普及セシムル爲メ逸スヘカラサル好機會ナリト信ス仍テ

復興計畫ニ關シテハ一切米突法ヲ採用セラレン事ヲ建議ス

(參照)

- 一 マーテル法採用ノ件ハ大正十年四月十二日法律第七十一號ヲ以テ決定セリ
- 一 實施期日決定ノ勅令ハ未タ發布セラレス

第四委員(建議案第一乃至第六號ニ關スル事項)

委員長 伯爵 林 博太郎
 委員 永田 秀次郎
 鳩山 一郎
 大橋 新太郎
 渡邊 鐵藏
 馬場 鉄一
 藤山 雷太
 宇佐美 勝夫
 上山 滿之進
 渡邊 勝三郎
 安河内 麻吉
 伊澤 多喜男
 原 富太郎
 三木 武吉

第五委員(米突法ノ實施促進ニ關スル事項)

委員長 男爵 斯波 忠三郎
 委員 小林 丑三郎
 馬場 鐵一
 星 野 錫
 藤山 雷太
 男爵 古市 公威
 子爵 大河内 正敏
 澁澤 元治
 大島 義清
 岡野 昇

秦 豊助
 平 沼 亮三
 内 藤 久寛
 子爵 大河内 正敏
 岡野 昇
 長岡 外史
 門野 重九郎
 森 格

兩委員會經過左ノ如シ

▲第四委員會

十一月二十九日 午前十時半 内相官邸ニ於テ開會

議案ノ審議ニ先チ大橋、鳩山、藤山、諸委員ヨリ

評議會ニ於テ諮問ニ應シ決定シタル事項ハ審議會ニ於テ根底ヨリ破壊セラレタルカ如キモ之ニ
關シ總裁ノ所見如何

トノ質問アリ、後藤總裁之ニ對シ審議會ノ經過ニ付大要左ノ如ク報告ス

審議會第一日ノ模様ハ復舊第一主義ナリシヲ以テ當局トハ根本ニ於テ方針ヲ異ニシ政府ハ到底
同意シ難シト考ヘシニ第二日ニ至リ急轉直下前日ノ復舊第一主義ヲ捨テ復興主義ノ趣旨ヲ認ム
ルニ至リシヲ以テ十箇條ノ修正案ヲ決定セリ、之レニ政府カ御詔勅ノ御趣旨ヲ述ヘ復興主義ノ
必要ヲ説明シタルニ依ル而シテ政府ハ是等修正案ニ對シテハ充分妥協交譲ノ精神ヲ以テ之ニ臨
ミ採ルヘキハ之ヲ採リ捨ツヘキハ之ヲ捨ツルノ考ニシテ決シテ參與會評議會ヲ無視セルモノニ
アラス事ノ事項ニヨリテハ評議會ノ意思ヲ尊重シ之ヲ其儘採用セルカ如キ觀アリ、即チ協定事項
中第三、第四、第六、第八項ノ如キハ大體ニ於テ復興院案ヲ承認セラレタルモノニシテ依然復興ノ本
義ニ依リ進ミツツアルナリ、第一項街路ニ付テハ數本ノ幅員ヲ減少シ約一千萬圓ヲ削減セリ、國家
百年ノ大計ヨリ見ル時ハ此ノ幅員ノ縮少ハ望マシカラサレトモ都市計畫ノ骨子タル高速鐵道ヲ
將來ニ設置シ得ル範圍ニ於テ之ヲ認メタルナリ、又市内運河及公園、市場等ノ施設ニ付テハ審議會
ハ悉ク之ヲ認メタリ、第二項上下水道ノ完成ヲ國ニ於テ計畫スヘシトノ修正ニ付テハ元來是等ハ

東京市ノ如キ自治體ニ於テ計畫實行セラレ居ルモノナルカ故ニ依然從前ノ計畫ヲ實行スルノ意
思ナレトモ審議會ノ趣旨ヲ尊重シ此際政府ハ自治團體ニ對スル補助金ヲ増加シ急速ニ其ノ完成
ヲ計ラント欲ス、第五項區劃整理ハ院ニ於テ燒跡ノ一部ニ對シ之ヲ行フノ意ナリシカ評議會ハ燒
跡ノ全部ニ付テ行フヘシト決定シ審議會亦之ニ一致セルモノナルヲ以テ寧ロ評議會ノ意見ノ貫
徹ヲ見タルモノト云フヘシ、唯審議會ハ區劃整理ヲ自治團體ニ於テ行ハシムヘキ意見ヲ有スレト
モ事ノ性質上國ニ於テ執行スルヲ適當ト認メ評議會ノ決定通り國ニテ執行セント欲ス、第七項東
京築港及京濱運河ハ院ニ於テモ敢テ之ヲ不必要トナスモノニアラス、唯審議會ニ於テ臨時議會ニ
提出スルヲ不穩當ナリトシ之ヲ本案ヨリ分離スヘシトノ意見ナリシニ止マリ計畫ニハ何等ノ變
更ナキヲ以テ政府ハ審議會ノ意ノアル所ヲ尊重シ之ヲ通常議會ニ提出セントス、第九項帝都復興
ノ完成期限ニ付テハ政府固ヨリ可及的迅速ヲ期スレトモ豫算等ノ關係上之ヲ短縮スルニ困難ナ
リシカ審議會ニ於テ街路費其ノ他相當ノ削減ヲ見ルニ至リシ結果五箇年ニ短縮シ得ルニ至レリ
第十項帝都復興法案ニ對シテハ審議會ハ其意見ヲ留保スルニ一致セシカ政府ハ之ヲ以テ敢テ該
法案ニ反對ナルモノト解セス從ツテ通常ノ方法ヲ以テ之カ成立ヲ計ラント欲ス、尙地下埋設物ノ
整理ハ原案ニハナカリシモノナレトモ固ヨリ必要ニシテ且ツ評議會ニ於テモ既ニ整理ス可シト
ノ決定アリシモノナレハ審議會ノ意見ヲ尊重シテ實行スル考ナリ

之ニ對シテ大橋委員ハ

街路其ノ他復興計畫ノ内容ノ細目ニ涉リテハ他日改メテ評議會ニ諮問セラレタシトノ希望ノ下
ニ前回ノ評議會ハ終レリ、然ルニ其後ノ形勢ニヨレハ當局ハ審議會ノ修正決議ヲ大イニ採用セリ
都市計畫ニ關スル學識、經驗者ノ集リナル評議會ヲ重シクシテ老人ノ集リナル審議會ノ意見ニ

開クハ如何ナル理由ニヨルカ、予ハ原案ニモ既ニ不満足ナリシカ審議會ノ修正ノ結果ニハ一層不満足ナリ

ト述フ之ニ對シ後藤總裁ハ

當局ハ評議會ヲ輕視スルモノニアラス從ツテ審議會ニ對シ評議會ヨリモ詳細ナル内容ノ諮問案ヲ提出セルニアラス唯評議會ノ意見ヲ充分貫徹シ得サリシハ予ノ微力ノ致ス所ナリ

ト説明スル所アリ、次テ泰委員ヨリ

- (一) 豫算ノ減少額
- (二) 事業年度
- (三) 土地區劃整理
- (四) 上下水道ノ處理
- (五) 復興法

等ニ付質問アリ、後藤總裁ヨリ前説明ト略々同様ノ答辯アリ、又宮尾副總裁ヨリ修正セル豫算ニ付詳細ノ説明アリ、次テ鳩山委員ヨリノ復興低利資金ニ關スル質問ニ對シ後藤總裁ハ大藏大臣ニ於テ目下考慮中ナル旨ヲ答フ、次テ藤山委員ヨリ左ノ質問アリ

評議會ハ極メテ熱心ニ復興事業ニ付考慮シツツアルニモ係ラス政府ハ寧ロ審議會ノ説ヲ重シスルニ似タリ、若シ評議會ノ議決ヲ尊重セサルニ於テハ吾人ノ努力モ徒事タリ

大河内委員亦

審議會ナル官制有ルカ故ニ是等ノ問題生シ得ルナリ、如カス之ヲ廢止センニハ審議會ハ都市計畫ニ交渉薄ク又技術上ノ理解少ナク殆ト有害無益ト云ヒ得ヘシ、將來モカカルモノヲ存續セシムル意思ナリヤ

總裁左ノ如ク答フ

藤山氏ノ説ニ對シテハ政府ハ決シテ評議會ヲ輕シスルモノニアラサルヲ聲明ス、大河内氏ノ説ニ付テハ茲ニ明言スルノ時期ニ非ス

又伊澤委員ヨリモ同様ノ質問アリ、次テ宮尾副總裁ヨリ削除セル路線ニ付詳細ナル説明アリ、又稻葉土地整理局長ハ區劃整理ニ付左ノ説明ヲナス

現在燒失地ニ於ケル土地所有者ノ數ハ一萬四千人其ノ筆數約四萬筆ナリ、借地權ニ付テハ調査中ニ屬ス而シテ震災後燒跡ニ最近歸來セル世帯數ハ約從來ノ半數ヲ超ユ、此狀態ニヨレハ來年二月迄ニハ少トモ四分ノ一以上ノ家カ建ツモノト計算ス區劃整理ニ付テハ一割ヲ地主ヨリ無償提供セシメ、餘ノ收用地ニ對シテハ相當ノ補償ヲナスヘク又移轉料ヲモ給スル方針ナリ、事業ノ着手ハ臨時議會ニ於テ復興法案ノ通過ヲ見タル後ニ非サレハ正式ニナシ得サレトモ十二月一日ヨリ現狀ノ測量調査ヲ開始シ其ノ設計ヲ了シ可及的敏速ニ事業ヲ完成センコトヲ期ス

次テ安河内委員ヨリ横濱ノ現狀調査ヲ早急ニ實行シ權利關係ノ紛亂ヲ一日モ早ク防止セン事ヲ希望シ午後零時半休憩、同一時再開議事ニ入ル、議ニ總會ニ於テ附議セラレタル希望事項ノ審議ニ關シ

第一號 四谷見附ト新橋トヲ聯絡スル高速度鐵道敷設ノ件
ヲ議題トシ提案者門野委員ノ説明アリ、之ニ對シ岡野委員ハ鐵道當局トシテ鐵道技術上不可ナリ又既ニ目黒澁谷新宿及巢鴨ヨリ東京驛ニ至ル私設地下鐵道許可セラレタルヲ以テ不必要ナリ

ト反對シ結局否決
第二號 東京市内高速度鐵道速成ニ關スル希望
右ニ付テハ速成ヲ計ルコト及其ノ手段タル第二項第一、第二兩案ハ可決第三案ハ否決

第三號 復興計畫區域及復興事業ノ規模ニ關スル件
異議ナク可決

第四號 耐火建築助成並東京横濱下水工事ニ關スル件

提案者藤山委員第二項「東京市」トアルヲ「東京横濱兩市」ト訂正シタル後提案ノ理由ヲ説明シ大橋委員ヨリ意見ノ陳述アリ右ニ對シ渡邊(鐵藏)委員ヨリ

長期ノ低利資金ヲ以テ建築ヲ助成スルコトハ必要ナレトモ家屋ヲ耐火ニ限ル必要ナシ又助成範圍ヲ東京横濱ニ限ルヲ要セス故ニ「耐火」ヲ削リ「罹災地」ト修正スヘシ

トノ修正意見アリ 更ニ

「復興建築事業促進ノ爲政府ノ援助ニヨリ建築會社ヲ設立セラレタキコト」

ノ希望條件ノ提案アリ右ノ通修正可決

第五號 隅田川河口ニ近キ地ニ水陸飛行場ヲ設ケ陸地飛行場ノ廣サヲ十六萬坪トセラレタシ右建議案可決次テ渡邊委員ヨリ

大手町ヨリ木丸ヲ通過シ乾門外五番町ヲ經テ市ヶ谷見附ニ至ル路線ヲ新設スルノ件

ヲ新ニ議案トシテ提出スル所アリ道路ノ細目ニ入り審議スヘキ場合ニ非ストテ議題トセラルルニ至ラス 最後ニ

第六號 横濱市燒失區域ノ平面測量ノ件

議題トセラレ異議ナク可決シ午後四時散會

▲第五委員會

十一月二十九日 午前十時二十分 内相官邸ニ於テ開會

斯波忠三郎氏ヲ委員長ニ互選セル後

一「メートル」法ノ實施促進ニ關スル建議案

ヲ議題トシ提案者大河内正敏子ヨリ大要左ノ如キ説明アリ

「メートル」法ハ既ニ農商務省ニ於テ學識經驗アル委員ヲ選定シ研究ノ結果實施スルコトナリシカ今日混雜ノ際之ヲ實施スルニ付テハ多少ノ反對アリトスルモ現時カソノ採用ノ好機會ナリ英國ノ如キモ「メートル」法ノ實施ハ戰時中ノ混亂時期ヲ避ケ戰後ニナセシ爲途ニ好機會ヲ失ヘリ而シテ鐵道省ノ計算ニヨレハ「メートル」法ノ採用ニヨリテ約二割ノ計算上ノ手數ヲ省クコトヲ得ト云フ復興院ニ於テモ此際「メートル」法ヲ採用シ全國ニ宣傳セラレタシ

ト贊成ノ意見ヲ述ヘ之ニ對シ松木副總裁直木技監ヨリ

大體ノ趣旨ニハ贊成ニシテ院トシテモ出來得ル範圍ニ於テ之ヲ採用スルノ意思ナレトモ坪單位

ノ如キハ誤解混亂ヲ生シ易ク道路幅等ニ付テハ不可ナキモ面積ニハ採用困難ナルヘシ

ト述ヘ佐野建築局長ヨリモ建築材料ト「メートル」法トノ關係ニ付テ述ヘ結局馬場委員ノ動議ニヨリ

「復興事業ニ關シテハ可成「メートル」法ヲ採用セラレンコトヲ望ム」

トノ決議ヲ可決シ正午散會

▲第三回評議會

十二月六日 午前十時二十分 内相官邸ニ於テ開會

第四委員長林博太郎伯ヨリ各事項審議ノ經過並結果報告ヲナシ之ニ對シ木村大橋藤山伊澤宮島諸

評議員ノ發言アリ稻葉土地整理局長宮尾副總裁後藤總裁ノ説明アリ討論終リ「隅田川河口ニ飛行場ヲ設置スルノ件」ハ土地不足ノ場合ニ於テ十六萬坪ヲ要スル飛行場ノ設置ハ尙考慮ヲ要ストノ理由ニ依リ削除其ノ他ハ委員長報告通可決議イテ第五委員長斯波評議員ヨリ同様委員會ノ經過並其ノ結果ノ報告アリ右報告通直ニ可決セラレ零時四十分散會

(三) 審議會

▲第一回審議會

十一月二十四日 午前十時二十分 首相官邸ニ於テ開會

議長(山本總裁)開會ヲ宣シ宮尾幹事諮問案ヲ朗讀ス(諮問案ニ付テハ附録參照)

後藤幹事長提案ノ運延理由トシテ參與會並評議會ノ議ヲ經タル後之ヲ審議會ニ提出スヘキカ正シキ經路ト考ヘ其ノ手續ヲ經タル爲順時運延セル趣ヲ陳述シ尙評議會ニ於テハ大體ニ於テ提出セル原案ヲ認メタルノミナラス進ンテ本案ノミニテハ遺憾トスル點アリトナシ規模擴張ノ希望條件ヲ附セリ而シテ此計畫タルヤ財力ト周圍ノ事情ニ鑑ミ本來ノ復興ノ目的ヲ達スルニ害ナキ限リ又將來其ノ目的ヲ擴張シ得ル如ク考慮シ置ケリ尙此ニ對スル評議會ノ希望ヲモ能フ限リ之ヲ容レ以テ第一第二第三諮問案トシテ茲ニ提出シタル次第ナリ而シテ此ノ形ニ現レタルモノハ帝都復興ノ計畫圖案及其ノ經費ノ總額並之ニ對スル法律關係ノ事項トス此ノ中法律ハ茲ニ提出セル條件ヲ主トシテ其ノ綱領ニ從ヒ編成ニ從事シ居レリト述フ

右説明終ルヤ諮問ノ内容ノ審議ニ入ル前ニ質問シタシトテ江木委員發言ス

諮問第二號ノ件ハ何レモ近ク召集セラルヘキ臨時議會ニ附議セラルルモノト考フ然ルニ今回ノ

臨時議會ハ憲法第四十三條ノ臨時緊急ノ事件ニ付テ必要アル時間カレ可キモノニシテ之ニ附議ス可キモノハ緊急施行ヲ要スルモノノミニ限ル可シ然ルニ京濱運河東京築港ノ如キハ緊急ノ事業ト認ム可カラズ東京築港ノ如キモ年來ノ計畫ニシテ特ニ緊急ヲ要スルモノニ非ス今回ノ震災ナクハ本年ノ議會ニ於テ問題トナルヤ否ヤスラモ尙疑問ナリ市ニ於テモ既ニ其ノ設計ヲナスト雖モ其財源

ナキ爲進ンテナシ能ハサルナリカカル程度ノ問題ヲ臨時議會ノ問題トナスヘキモノニ非スト信ス更ニ論旨ヲ政府ノ行政整理ニ進メ新聞紙ノ傳フル所ニ依レハ海軍費用中繰延ヘラルルモノアリ其ノ他内政上ニ關シテモ必要ナル費用ヲ削減セントス之ヲ責メ固ヨリ帝都ハ地方ノ自治體ト異ナルト雖モ地方ニ災害アリシ場合ト其扱ヒニ甚シキ相違アリ一面ニ於テ國家ニ必要ナル費用ヲ削減シ而シテ他面帝都ニ對シ斯カル新事業ヲ起シ而モ國費ヲ以テ支辨シ一部ハ其ノ自治團體ヲシテ負擔セシムト雖國家ニ於テ之ヲ立換ヘ置カントスルモノナルカ果シテ斯ル無理ナル遺縁ヲ爲シ得ヘシト考フルヤ

トテ東京横濱兩市ノ納稅回復見込ヲモ述ヘ當局ノ所信ヲ伺ヒタシト結フ此時大石委員議事進行ニ付發言シ細目ニ入ル前ニ大體ノ質問ヲ許サレタシト提議シ伊東委員之ニ續イテ左ノ質問及意見ヲ述フ
本案ノ内容ヲ査閲セシニ余カ平素期待セル所ト懸隔甚シキモノアルヲ遺憾トス不幸ニシテ本案ノ如キカ實行セラレタル曉ニハ震災後ノ人心動搖ヨリ延テ國運ノ發展ニ障害ヲ來スヘキヲ深ク憂慮スルモノナリ惟フニ帝都復興事業ハ其ノ性質上三種ニ大別スルコトヲ得(一)國家ノ經營ニ屬スルモノ(二)自治體ノ經營ニ屬スルモノ(三)市民各自ノ發奮自營ニ屬スルモノ之ナリ
我カ審議會ニ於テ復興事業ヲ議スルニ當リテハ當ニ都市計畫ニノミ限局サレズ國家自治體及市民各自ノ發奮自營ニ依ルモノノ全般ニ涉ツテ深甚ノ攻究ヲ遂ケ特ニ國家ノ政治財政兩方面ヨリ觀

察シ違算ナキヲ期セサルヘカラス此ノ見地ヨリ第一ニ本案ハ財政上果シテ實行ノ可能性ヲ有スルモノナリヤ否ヤヲ疑フ、本案ハ既ニ其根本方針ニ於テ吾人ト其ノ見ヲ異ニスル處アリ、抑々復興院當局者ハ都市計畫ナルモノヲ帝都ノ新造ト誤解セリ、理想ニ偏シ國家ノ政治及財政ノ關係ヲ顧ミサルモ可ナリト云フカ如キハ詔勅ノ御趣意ニ非ス、第二點トシテハ政治及財政上ノ觀察ヲ等閑ニ附シ居ル事ナリ

トテ軍備縮少ト歐米各國トノ關係ニ及ヒ國防ヲ論シ續イテ財政狀態ヲ述ヘ

年々巨額ノ輸入超過ヲナシ巨額ノ公債ヲ發行シ朝野ノ識者等シク憂慮ヲ抱キ居ルノ際茲ニ震災アリ、國家國民ノ被レル損害百五十億ヲ越ヘントス而モ國家ノ産業ハ災害ニ依リ二億内外ノ激減ヲ來シ在來巨額ノ債務ニ對シ利拂ニモ困却セントスルノ有様ナリ加フルニ國家營造物ノ被レル災害ハ九億乃至十億ニ及ハントス此際之ニ復舊費八億圓ヲ加フル時ハ實ニ十六億餘ノ巨額タルントス財政ノ窮乏前述ノ如シ斯ル場合ニ斯ル巨額ノ公債ヲ發行シテ其ノ財源ヲ何ニ求メントスルヤ如斯國ノ存在ニ關スル處ノ復興ノ目的確立セサル場合ニ國ノ全力ヲ擧ケテ東京市ノ道路幅員ヲ擴張セサル可カラスト云フカ如キハ誠ニ考慮ス可キ事柄ナリ、元來斯カル都市計畫ハ之ヲ自治體ノ經營ニ屬セシム可キナリ地方ノ公益事業ヲ中止シ東京ノ道路ヲ擴張スルニ及ハス第三ニ市民各自ノ發奮自勵ニ依ル可キ事業ヲ閉却シ居レリ

トテ低利資金貸付、教育復興ノ爲ニ學校ノ設備等ヲ回復スルノ急務ナルヲ説ク進ンテ

第四ニ憲法ニ於テ保證セラレタル財産權安固ヲ逸視スル傾向アリ、財産權ノ規定ハ絕對的ノモノナリ、土地收用法ニ依テ所有權ノ讓渡ヲ強制スル場合ニ於テモ之カ補償ハ充分ニ爲ササル可カラ

サルハ立法ノ趣旨ヨリ見ルモ當然ナリ、然ルニ復興院ハ其手續ニ於テ土地收用法ヨリモ簡單ナル方法ニ依ラントシ其ノ買收ニ於テモ銀座通角地ノ坪三千五百圓ノモノヲ僅カ百圓ヲ以テ取上ケント計畫シツツアリト聞ク、徒ラニ道路ノ幅員ヲ擴張スルハ却テ其ノ通りノ商業ヲ衰ヘシムヘシ新設道路計畫ノ如キモ之ヲ廢スル方可ナリ復興院ハ理想ヲ重スルトセハ何カ故ニ水道ヲ市ニ委シ置クヤ水道不備ノ爲メニ火災ヲ起シタル點ニ省ミ本問題ハ充分注意ヲ拂フ可キモノナル可ク下水ト共ニ市ノ財政困難ナル場合ニハ國費ヲ以テ之ヲ爲ス可キナリ

ト論シ續イテ火災保險問題ニ論及ス、零時三十分休憩午後一時二十分再開

子爵後藤幹事長 江木、伊東兩委員ノ意見ト余ハ大體ニ於テ異ナル處ナキヲ感ス唯其ノ道程ニ於テ

異ナルモノアリト考フ復興事業計畫ヲ目シテ全ク國家ノ財力ヲ顧ミサル空想ナリトナシ此見地ヨリ論議セララル結果凡テノ點ニ於テ此ノ方向ニ走り居レリ、余ハ茲ニ伊東伯爵ノ誤解ナラスヤト思惟セララル點ヲ一二述ヘントス財政上ノ問題ニ關シテハ大藏大臣ヨリ詳述ス可シ

伊東伯爵ハ地方ノ都市ト帝都トニ差違ナシト述ヘラルルニ對シ余モ亦或程度迄同感ナリ、而シテ今回帝都ニ非常ニ過大ノ經費ヲ注クモノノ如ク思考サルルモ既ニ往年櫻島變災ニ付テ百九十萬圓ヲ支出セル例アリ、是ヲ經濟上ノ關係ヨリ計數的ニ帝都復興ニ關シ考フルニ此案ノ計畫ハ決シテ過大ニ非サルナリ、國庫收入二億近クヲ減シタル所以ノ大部分ハ實ニ東京カ其ノ災害ヲ被レルカ爲ナリ、此點ニ關シ充分考慮スルノ要アラン本計畫ハ實ニ斯カル例竝地方都市ト帝都トノ關係如何ヲ顧ミ詔勅ノ煥發セラレタル大義ニ鑑ミ樹立セラレタルモノナリ

又復興ニ都市計畫ノミヲ主トスルハ不可ナリト述ヘラル、然レトモ驕テ考フルニ帝都ノ震災ニ

依リ我國ハ政治經濟文化ノ中心ヲ失ヒ將來ノ損害恐ル可キモノアリ帝都復興ハ事實上帝國復興ノ意義ヲ成スヘキモノナルコト明ナリ例ヘハ帝國經濟上ノ復興ハ實ニ帝都復興ト其ノ關聯ヲ有スルモノナリ更ニ本案ヲ帝都ノ新造ト見タル誤解ノ下ニ立案セル實行不能ノモノナリト述ヘシレタルモコハ今少シク内容ニ立入レル研究アラソコトヲ希望ス

次ニ江木委員ノ述ヘラレタル如ク決シテ必要ナル軍事上ノ設備ヲモ等閑ニ附シ居ルモノニ非スト述ヘ續イテ遷都論ノ意義ナキヲ論シ道路ト運河ノ必要ニ言及シ又本建築ヲ許ササルハ情ニ於テ忍ヒサルモ永遠ノ策トシテ止ムヲ得サル理由ヲ述ヘ京濱運河カ年來ノ計畫ニシテ此ノ機會ニ乘シテ東京横濱兩市民ニ贈物ヲナスモノナリト云ハルハ大ナル誤解ナリトテ東京築港ト共ニ帝都復興ノ爲ニ將來ノ經濟復興ノ爲ニ其ノ必要ナル所以ヲ力説ス又將來地下鐵道敷設可能ノ爲ニ道路幅員ヲ擴メテ二十四間マテトナシタルコトヲ述ヘ上水ハ既ニ市ニ於テ之ニ着手ス市ノ計畫ヲ變更スルノ要ナク又之ニ收入ヲモ伴フ次第ナリ下水モ亦市ニ委スルモ充分ニ實行シ得ルコトトナリ居レリ山ノ手ノ下水ハ之ヲ他日ノ計畫ニ譲ル次第ナリ

評議會ニ於テハ土地ノ買入ニ關シ伊東伯ノ述ヘラレタル地主ノ利害論トハ異ナレル考ヲ寧ロ地主側ノ委員ヨリ聽ケリ即チ相當ニ土地ヲ提供シ受益者トシテ負擔スルモ尙且ツ之カ完成ヲ望ムモノナリト續イテ兩市ノ租稅負擔能力ニ關シ詳細調査ノ結果ヲ述ヘ法制上ノコトハ法制局長官ヨリ説明ス可シト結フ

井上委員 中央政府ノ支辨金高ハ總體ニテ六億五百萬圓ニシテ其以外ニ府縣市ニ貸付クル金額一千萬圓前後ナリ更ニ市ノ事業ノ或部分ヲ補助スル金額ト又其事業中市ノ支辨スル金額ニ對スル利息ノ補給金高トヲ合計スルトキ八千六百萬圓トナレリ兩者ヲ總計スルトキ七億二百萬圓トナ

ル可シ即チ之中央政府ノ支出金高ナリ

其ノ以外ニ東京横濱兩市ニ於テ支辨スル金額一億七千三百萬圓ニシテ若シ之ヲ外債募集ニ依ラントスル場合ニ於テハ政府ハ其元利ヲ保證シ度キ考ナリ從ツテ中央政府ノ支出金ハ東京横濱兩市ノ自ラ支辨スル金額トヲ合計シテ八億七千六百萬圓トナル

震災ノ結果歳入ニ於テハ租稅ノ免除輕減或ハ徵收猶豫又ハ關稅ノ免除輕減等ニヨリ多額ノ減收ヲ來シ一方經濟界ノ打撃ニ伴ヒ租稅ノ減收モ少ナカラス斯ノ如ク歳入ノ減少ニ對シ他面救護費或ハ警備費等多額ノ支出ヲ要ス隨テ之ニ對スル處置トシテ直ニ十二年度ノ實行豫算ヲ緊縮節約ノ方針ニ依リ又十三年度豫算ニ於テモ同様ノ精神ヲ以テ作成セリ然レトモ十二年度ハ既ニ事業年度ノ半ニ達シ如何トモス可カラズ十三年度ニ於テモ行政財政ノ根本整理ヲナスヘキ處時日切迫ノ爲充分之ヲ爲シ能ハサル點アリ而シテ臨時支出ス可キ金額ハ復興豫算ノ七億二百萬圓ノ外ニ未確定ト雖第一ニ火災保險會社ニ對スル援助金額一億四千萬圓ヲ豫想シ又震災地府縣公共團體ニ對スル相當ノ貸付補助ハ目下交渉調査中ニシテ且一時ノ支出ニ非スト雖モ假ニ此年々ノ補給金額ヲ見込ハ保險ト共ニ二億ヲ要ス可ク之ヲ前記七億ニ加フル時ハ九億ノ金額ヲ要ス此外國有ノ營造物其他諸般ノ設備ノ震災ニ因ル復舊工事ハ之又目下調査中ナリト雖大體五億乃至六億ヲ要ス可ク從テ十四億或ハ十五億ノ金額ヲ茲數年ニ亘ツテ必要トスヘシ然ラハ是等ノ財源ヲ何ニ求メントスルヤト云フニ前述ノ如キ有様ニテ到底一般歲計ヨリ此復舊復興ニ要スル費用ヲ拮出スルヲ得ス從テ何等カノ增收計畫ヲ立ツルカ或ハ公債支辨ニ依ルノ外案ナキナリ仍テ各年度ノ一般歲計剩餘金ヲ以テ今般ノ公債計畫ノ利拂ヲナシ又其ノ減債基金ヲ之ニ依テ得ルコトトシ即剩餘金ヲ確定的財源トシ以テ利拂資金ヲ一般歲計ヨリ拮出スルコトトシタリ次ニ此ノ公債ノ募集方法ニ付テハ前述ノ如ク

利拂資金出來タル以上ハ之ヲ年度割等ニ於テ手加減シ内外債ニ依テ支辨スルノ外ナシト考フ而シテ外債ハ復興ニ關スル直接ノ建築代或ハ工場ノ復舊ニ依ル機械ノ輸入等ニ依テ相當外國ニ支拂ヲ要スヘキ金ヲ公債ニ依ラントスルモノニシテ之一ハ内地市場ニ無理ヲ強ヒス一ハ國トシテモ便利ナルカ故ナリ而シテ外債ニ依ルト共ニ成可ク年度割ヲ長クシ内債ニ依テ此資金ヲ調達シ度キ考ナリト更ニ進ムテ内地市場ノ整理ヲ如何ニスルヤニ就キ説明スル處アリ

田委員ヨリ火災保險問題ニ就テ詳細ノ説明アリシカ茲ニ之ヲ略ス

伊東委員 火災保險問題ニ關シ田農相ト意見ヲ異ニスト雖暫ク質問ヲ留保スル旨ヲ述フ

江木委員 伊東伯ハ本案ノ實行ニ移ルニ於テハ本豫算ノ二倍乃至三倍ヲ要スルナラント云ハレタルニ對シ余ハ賛成スルモノナリ到底燒跡ノ地面ヲ坪二百圓ヲ以テ買收シ得ルモノニ非ス又道路幅員ノ擴張モサマテ緊要ニ非ス又道路ノ鋪裝モ一線若クハ二線ノミニ行フハ可ナレトモ全部ニ及ホスヲ要セス京濱運河ハ之ヲ臨時議會ニ提出スル程ノ緊急事件ニ非ス東京築港ニ關シテハ本所深川ノ工業地復活覺束ナキ今日東京ノ内港トシテ急ヲ要ス可キモノナルヤ否ヤ疑問ナリ更ニ軍事内政ノ緊縮ニ反對スル旨ヲ述ヘ特ニ史料編纂事業ノ如キ緊要ナル事業ノ豫算ヲ如何ニナシアルヤト問ヒ續テ復興法案ニ關シ意見ヲ述フル處アリ最後ニ今後ノ復興ヲ圖ルニ付テハ空軍ニ對スル防備施設ニ關シ充分ニ考慮スルヲ要スト説ク

子爵後藤幹事長 復興法案ニ對スル江木委員ノ意見憂ヘラルルニ足ラス東京築港ノ必要ハ復興材料搬入上其ノ他ニ關シ緊要ナリ土地買收費ニ關シテ茲ニ示セルハ其ノ平均ナルノ點ヲ考ヘラルレハ更ニ心配ス可キコトナシ空軍防止ノ事ハ參與會評議會ニ於テモ専門家ノ意見アリ然レトモ具體的ニ如何ニシテ之ヲ計畫ニ入ルルヤハ頗ル困難ナル問題ニシテ地下鐵道地下室ノ利用等ヲ

考慮スルノ外ナシ

尙江木委員ト後藤幹事長トノ間ニ二三質問應答アリ

大石委員 審議會開催ノ後レタルヲ極力難シ之ニ關シ幾々述フル所アリ

子爵青木委員 更ニ考慮スルノ要アリト認ムルヲ以テ本日ハ此レニテ閉會サレ度シ

子爵高橋委員 震災後緊急ノ施設トシテ必要ナルモノハ市民ノ生計ヲ安定セシムルコトナリトテ倫敦大火ニ際シテノ施設ヲ述フ更ニ都市計畫ニ關シ

コハ都市計畫法ニ依ラサルヘカラスサレハ復興院ノ如キ官制ヲ作ルヨリモ現行法規ノ下ニ之ヲ速ニ行フ可シ而シテ吾國ト外國トノ都市ハ小賣商人ノ組織家族ノ住居等ニ於テ異ナル處アルヲ以テ此點ニ留意スヘク上下水道ハ都市計畫ノ重要ナル基礎ヲナスモノナルヲ以テ先ツ之カ計畫ヲナシ然ル後民心ノ安定ヲ計ル爲メ衣食ノ途ヲ得セシメ其ノ爲ニハ通信運輸機關ヲ速ニ恢復セシムルヲ要ス又道路擴張後ノ維持費ハ相當多額ニ上ル可ク自治體之カ負擔ニ耐ユルヤ否ヤ一考ヲ要スルヲ要スルニ大體ニ於テ伊東江木兩委員ノ意見ト同感ナリサレハ此意見ニ依テ更ニ本案ヲ修正サレシコトヲ望ム

子爵加藤委員 本案ヲ充分審議スルトモハ二三箇月ヲ要スヘシ然ルニ議會ノ開會モ目捷ノ間ニア

リ此際閣外並閣内ノ諸君ノ意嚮モ大體ニ於テ了解シ得ルヲ以テ本會ハ之ニ止メ或ハ本案ノ儘或ハ各委員ノ述ヘラレタル處ヲ參酌シ以テ議會ニ提出調査ヲ求メラシムコトヲ希望ス

子爵澁澤委員 本問ハ重大ナルモノニシテ徒ニ議論ノミニ終ルヘキニ非サルヲ以テ協議的ニ相談ノ上協定シ其點ヲ改正シ更ニ修正案トシテ兩三日中ニ提出サレシコトヲ望ム

伯耆伊東委員 澁澤子提議案ノ懇談會トナスコトニ賛成ス

議長(伯爵山本總裁) 伊東伯爵澁澤子爵ヨリ述ヘラレシ如ク本問題ハ重要ナルモノナルヲ以テ充分慎重ニ協議スルノ必要アリト考フ依テ再ヒ調査シ意見ノ合致ヲ求ムル爲ニ委員ヲ閣内閣外双方ヨリ指名シ之ニ附託シテ修正意見アラハ其レニ基キ案ヲ作成サレ度シ議長左記ノ通り委員ヲ指名シ伊東伯爵委員長トシ散會ス

閣内ヨリ

- | | | |
|----|----|-----|
| 伯爵 | 伊東 | 巳代治 |
| 子爵 | 高橋 | 是清 |
| 子爵 | 加藤 | 高明 |
| 子爵 | 江木 | 千之 |
| 子爵 | 青木 | 信光 |
| 子爵 | 澁澤 | 榮一 |
| 子爵 | 後藤 | 新平 |
| 男爵 | 井上 | 準之助 |
| 男爵 | 岡野 | 敬次郎 |
| 男爵 | 田健 | 次郎 |
| 男爵 | 犬養 | 毅 |

▲第二回審議會
十一月二十七日 午後一時十分 首相官邸ニ於テ開會

議長(伯爵山本總裁)開會ヲ宣シ諮問案第一號第二號第三號三案ヲ併セテ議題ニ供シ委員長ヨリ報告アル旨ヲ述フ

伯爵伊東委員長 委員會ハ二五、六兩日間ニ前後二回開會各委員ノ腹藏ナキ意見ノ交換ヲ行ヒ慎重審議ヲ盡シタル結果閣外委員間ノ意見一致ヲ見タリ茲ニ協定要項ト其ノ各項ニ就キ簡單ニ説明ヲ加フ可シトテ左ノ如ク報告ス

帝都復興審議會特別委員協定案

第一項 路線ニ付テハ東京ノ部ニ於テ品川町ヨリ本芝一丁目芝口一丁目木挽町江戸橋和泉橋車坂町ヲ經テ箕輪ニ至リ又九段坂下ヨリ神保町兩國橋ヲ經テ龜戸ニ至ルニ幹線道路ノ幅員ニ適當ノ收縮ヲ加ヘ之ヲ承認スルノ外爾餘ノ各線路ハ財政上ノ見地ヨリ舊道路ヲ利用シ必要已ムヲ得ナル箇所ニ限リテ適當ノ擴張ヲ爲サシムルコト

此項ニ付テハ閣外委員中新設道路ニ付強硬ナル反對アリシモ遂ニ右ニ幹線路ヲ認容スルコトトナレリ此ニ幹線路ヲ認容スト雖工費節約ノ爲其ノ幅員ハ成ル可ク之ヲ十八間乃至二十間トスルコトヲ希望スルモノナリ

第二項 東京ノ上下水道工事及地下埋設物ハ一時國費ヲ以テ速成ヲ圖ラシムルコト

上下水道ノ完備ハ市民生活ニ於テ絶對的急要ニ屬スルモノナリ都市計畫ヲ立ツル上ニ於テ先ツ其ノ工事ニ着手シ其ノ完備ノ速成ヲ求ムヘキナリ然ルニ東京市ハ震災前ヨリ財政窮乏ノ爲運々トシテ充分ニ其ノ成績ヲ擧クルコト能ハス而シテ今ヤ其ノ財政更ニ窮乏ス故ニ此際一時國費ヲ以テ其ノ速成ヲ圖ル可キコトヲ政府ニ勸告セントスルノ趣旨ナリ但シ國費ヲ以テスルト云フモ全然國庫ニ於テ負擔スルト云フノ意義ニ非ス唯一時國庫ヨリ支出シテ是カ經營ヲ完ウシ適當ノ期限内ニ之

ヲ回收セントスルハ言フヲ俟タス

是ト同時ニ地下埋設物モ上下水道ト同様取扱ハレ度シ

第三項 公園ノ配置ニ付テハ東京横濱ノ分トモ大體賛成ヲ表シ右公園内ニ消防ニ要スル充分ノ貯水設備ヲ爲サシムルコト

今回ノ大震害ノ如キ場合ヲ顧慮シ充分ノ貯水設備ヲサレ度シ

第四項 市場ノ配置ニ付テハ東京横濱ノ分トモ大體賛成ヲ表スルコト

第五項 市外宅地割ノ整理ハ東京横濱兩市ノ自治體ニ一任スルコト

土地整理ハ強制的ニ之ヲ一時ニ實施セントスル場合ニハ幾多ノ紛糾ヲ來ス虞アリ又土地所有者ノ任意的協定ハ容易ナラサル可シザレハ事ノ自治體ヲシテ其ノ事ニ當ラシメ所在土地ノ所有者トノ協定ニ委セシムル方穩當ナリト認メタルカ故ナリ

第六項 防火設備ハ必要ナル斟酌ヲ加ヘ大體賛成ヲ表スルコト

防火設備ハ其ノ實施區域廣大ニ失スル時ハ市民ノ發奮ニ俟ツ可キ復興事業ヲ却テ阻碍スル虞アリ宜シク相當之ニ斟酌ヲ加フヘシト信ス

第七項 東京ノ築港並京濱間ノ運河施設ハ震災復興事業中ヨリ切離シ當局ノ措置ニ一任スルコト

東京築港京濱運河ニ關シ之ヲ臨時議會ニ提出スルノ可否ハ姑ク別問題トスルモ必スシモ之ヲ臨時議會ニ提出スルコトヲ要スト認メス

第八項 市内ノ運河ハ大體賛成ヲ表スルコト

第九項 帝都復興計畫事業年度及財政方針ハ完成期限ヲ五箇年ニ改メ其ノ他ハ大體賛成ヲ表ス

ルコト

完成期限七箇年ノ原案ヲ五箇年ト改メシハ成ル可ク事業ヲ速成センカ爲ナリ之カ爲財政ノ繰合ニ多少ノ影響アルヘシト雖既ニ路線四十ノ内ヨリ幹線路二線ノミヲ採用シ大ニ其ノ費用ヲ節約シタルカ故ニ別段影響ナカル可シ

第十項 帝都復興法ノ制定ニ付テハ會テ本會ノ諮詢ヲ經スシテ制定セラレ而モ現行ノ市制都市計畫法道路法等ノ諸法律ト抵觸スルモノナリト認メラルル復興院官制ト關聯スルモノナルカ故ニ本會トシテハ之ニ對シ意見ヲ留保スヘキコト

希望事項

第一 商工業復興ニ要スル資金融通ノ爲政府當局ニ於テ相當ノ設備ヲ爲サレタキコト

第二 家屋新築ノ爲ニ投スル資金ノ安固ヲ圖ル爲完全ナル火災保險制度ノ創設ニ盡力セラレタキコト

以上ノ如ク報告アリタルニ對シ市來委員右協定案ニ賛成意見ヲ述フ
議長(伯曾山本總裁)委員長ノ報告及説明ノ趣旨ヲ以テ決議セラレタルモノト認メ之ヲ決定シ政府ハ此ノ決議ノ趣旨ヲ尊重シ充分之ニ副フ可ク努力ス可シト述フ午後一時五十分散會

以上各機關ノ審議ト共ニ院ニ於テ處理セル重要事務左ノ如シ

十一月二日 理事會左ノ諸事項鐵道省ト打合處理スルコトニ決ス

- 一 戸山原貨物停車場道ハ街路敷地擴張ノコト
- 一 飯田町貨物停車場道ハ幹線街路ニヨリ解決

- 一 兩國驛入口街路ハ位置變更
- 一 秋葉原驛ノ柳原河岸ヨリノ取附街路ハ不用
- 一 錦糸町驛脇ノ街路ハ鐵道省ニ於テ貨物敷地ヲ縮少スヘク調査ノコト
- 一 小名木驛ニ送スル街路ハ一部變更ノコト
- 一 越中島驛ノ街路ハ十五間トスルコト
- 一 新宿驛ヘノ街路ハ可
- 十一月七日 理事會豫算關係及各機關審議豫定期日ニ付大體方針ヲ定ム左ノ通
- 豫算關係 大藏省ハ復興豫算十二億トシ内五億圓ハ他省ニ分配シ殘七億圓ヲ以テ復興院ノ豫算ニ充當シ度意見ナルヲ以テ大體左ノ方針ニヨリ編成スルコト
- 一 建築物及下水ハ市ニテ施行ノコト
- 一 街路四億三千萬圓、運河三千八百萬圓、京濱運河千五百萬圓、港灣三千五百萬圓、上下水道五百萬圓、建築補助費六千五百萬圓、公園三千萬圓、土地區劃整理三百萬圓
- 一 事務費三千萬圓
- 外ニ
- 橫濱市 一億圓
- 東京府及市ニ補助 二億圓
- 一 國以外ノ分ハ無利子ノ金ヲ融通スルコト
- 一 建築物及下水ハ市ニ於テ施行ノコト
- 一 豫算ノ形式ハ款復興費項東京橫濱目街路其ノ他……トスルコト

各機關審議ノ時日ハ大體左ノ順序ニヨルコト

- 一 閣議 九日
 - 一 評議會 十五日
 - 一 審議會 二十日頃
- 尙本日物資供給令中物資品目指定ノ件閣令第九號公布セラレ即日施行同時ニ農商務省令臨第二號廢止セラル右閣令ニヨリ指定サレタル品目左ノ通

- 薪炭、木材、亞鉛板及薄葉板類、釘類、
 - 十一月十二日 理事會左ノ事項ノ打合ヲ行フ
 - 一 臨時議會ハ十一月十日ヨリ十日間
 - 一 評議會ノ特別委員會ハ三部ニ分ツコト
 - 一 事務ニ付テハ尙考慮スルコト
 - 一 豫算ノ形式ニ付テモ尙ホ研究ヲ要スルコト
- 其ノ他評議會ニ附議スル事項ニ付打合ヲナス
- 十一月十三日 臨時議會召集サル期日期間前項記載ノ通
- 十一月二十一日 大藏省ト豫算交渉、午後宮尾副總裁ハ評議會散會後、大藏省ニ至リ豫算ノ打合ヲナシ、大綱ヲ決シ、主計課長更ニ大藏省ニ至リ經費ノ細目ニ關スル交渉ヲナシ、同時ニ豫算形式ノ整理ヲナシ、午後十二時終了

豫算案要領左ノ通
帝都復興院費

二八、四〇〇、〇〇〇圓
一、三六〇、〇〇〇圓

事務費	一七、〇四〇、〇〇〇
帝都復興事業費	五五四、五五二、〇〇〇
東京復興費	四八八、三七〇、〇〇〇
街路費	四〇六、四〇〇、〇〇〇
港灣費	三二、七五〇、〇〇〇
運河費	二八、五七〇、〇〇〇
公園費	一一、九〇〇、〇〇〇
土地整理費	八、七五〇、〇〇〇
横濱復興費	五二、四三二、〇〇〇
街路費	四二、三〇〇、〇〇〇
運河費	五、六一二、〇〇〇
公園費	一、九五九、〇〇〇
土地整理費	二、五六一、〇〇〇
京濱運河費	一三、七五〇、〇〇〇
復興事業費貸付金	一〇、三二五、四〇二
東京府復興事業費貸付金	七、七四九、六九八
神奈川縣復興事業費貸付金	二、五七五、七〇四
復興事業費補助	一〇、九七〇、〇五七
防火地區建築費補助	二〇、〇〇〇、〇〇〇

土地區劃整理費補助	二、七七五、〇〇〇
地方復興事業費補助	五八、一六六、五六九
東京府復興事業費補助	五、〇八三、五〇六
神奈川縣復興事業費補助	七四二、三七一
東京市復興事業費補助	四一、五七九、二〇九
横濱市復興事業費補助	一〇、七六一、四八三
地方復興事業債利子補給	二八、七五九、〇一〇
東京市復興事業債利子補給	二、一九九、〇六八
横濱市復興事業債利子補給	六、七六八、三二二
合計	七〇二、九七七、九八一

十一月二十二日 臨時閣議開會前項所掲復興豫算ヲ上程其ノ承認ヲ求ム
 十一月二十七日 午後二時ヨリ幹部會ヲ開ク後藤總裁ヲ除キ全部出席審議會決定ノ協定案ニ基キ
 審議ヲ重ネ事業費ノ削減削除ヲ行フ尙細目ニ至リ決定ニ至ラサルモノアリ翌二十八日ヲ以テ改正
 案確定ス

十一月三十日 總裁評議員ヲ銀行集會所ニ招待ス
 十二月二日 市政調査會帝國ホテルニ於テ新聞記者約五十名招待總裁兩副總裁技監土地整理局長
 建築局長等出席説明ス夜議會關係事項打合ノ爲理事會ヲ開ク
 十二月三日 閣議ニ於テ審議會後變更シタル豫算ニ付宮尾副總裁出席説明シ其ノ承認ヲ求ム
 十二月五日 帝都復興計畫法閣議ニ於テ決定ス午前議會關係準備打合ノ爲理事會ヲ開ク

十二月六日 午後六時總裁參與ヲ内相官邸ニ招待ス、席上燒失區域全部ノ土地區劃整理方針ヲ左ノ通り呈示ス

土地區劃整理ニ付テ

一 土地區劃整理ノ意義

土地區劃整理ハ宅地ノ利用ヲ増進スル爲メノ土地整理ニシテ道路ノ新設又ハ變更ニ依テ區劃ノ大サ竝ニ形狀ヲ整一ニシ或ハ進ムテ土地ノ交換分合ヲナシ以テ土地ノ經濟的利用ヲ計ルト共ニ保安衛生交通上ノ障害ヲ除去スヘキ都市計畫上ノ重大施設ニシテ市街地構築ノ規準ヲ爲スモノナリ

二 土地區劃整理ト市街地築物法令トノ關係

現行市街地築物法令ニ依レハ建築物ノ敷地ハ之ヲ建築線法第八條竝ニ第二十六條ニ依リ幅員九尺以上ノ道路敷地ノ境界線ニ接セシムルヲ要ス然ルニ從來燒失區域内ノ土地ハ區劃極メテ不整ナルノミナラス建築物ノ敷地ハ幅員九尺以下ノ道路通路又ハ路次ニ面スルモノ多ク之カ新築政策ニ際シ建築線ノ指定ヲ要セシ狀態ニアリシヲ以テ今回ノ復興ニ於テ土地區劃整理カ徹底的ニ施行セラレストセハ建築物ノ再築ニ當リ再ヒ建築線ヲ指定セサルヘカラス蓋シ建築線ノ指定ハ土地區劃整理助成ノ趣旨ヲ有スルモノナルヲ以テ復興建築ニ對シ前述ノ如ク建築線ヲ指定スルトセハ土地區劃整理ノ重複トナルノミナラス土地ノ交換分合等ハ到底期待シ得サルヲ以テ區劃整理ノ成果極メテ渺シ
要スルニ燒失區域内ニ於テハ復興建築ニ對シ成ル可ク建築線ノ指定ヲ要セサル様土地ノ實況ニ應シテ徹底的土地區劃整理ヲ斷行シ建築復興ヲ速カナラシムルヲ以テ刻下ノ急務トス

其ノ他市街地建築物法令ニ依ル地域、防火地區、空地ノ制限竝道路幅員ニ依ル建築物ノ高サノ制限等土地區劃整理ニ關シ考慮スヘキ事項多ク其ノ整理施行ノ成否ニ依リ建築復興ニ重大ナル關係ヲ有スルモノ多シ

三 土地區劃整理ノ方針

(一) 設計ノ規準

- 土地區劃整理ノ設計ヲ爲スニ當リ考慮スヘキ事項左ノ如シ、
- イ 用途地域制即チ居住地域、商業地域、工業地域ノ種別ヲ設計ノ規準トスルコト
- ロ 道路、運河、鐵道、公園等都市計畫上ノ他ノ施設ヲ設計ノ規準トスルコト
- ハ 土地ノ實況ヲ調査シ區劃ノ方向形狀竝大サヲ定ムルコト
- ニ 現在道路ニシテ整理上支障ナキモノハ成ル可ク之ヲ存置シ地下埋設物等ノ變更ヲ少ナクスルト共ニ新ニ開設スヘキ道路ノ規準トスルコト

(二) 區劃ノ規準

區劃ノ長軸ハ成ル可ク主要街路ニ平行セシメ一區劃ノ長ハ幅(奥行)ノ二倍乃至四倍トス尙區劃ノ幅ハ左記標準ニ依ルヲ一般原則トスルモ土地ノ實況ニ應シテ適當ニ之ヲ定ムルコト

- 居住地域 三十間
- 商業地域 三十間
- 工業地域 六十間
- 未指定地域 六十間

十二月七日 内閣ニ於テ豫算内示會アリ兩副總裁出席
首相藏相ノ演說アリ次テ坂谷芳郎前田利定阪本彰之助八條隆正諸氏ノ質問ニ對シ井上藏相田農相
之ニ答フ

十二月八日 物資供給關係參與會開催

中川鐵道次官代理村井運輸局長米山梅吉加藤恭平磯村豐太郎ノ各參與及松木物資供給局長十河經
理局長等出席震災ニヨリ燒失セル倉庫設備善後策ニ關シ協議スル所アリ

十二月九日 午前九時理事會對議會關係事項打合ヲナス

復興計畫並之ニ件ヲ豫算案ニ對スル政府ノ態度ハ既ニ決定シ居ルヲ以テ質問ニ對スル充分ナル答
辯ヲナシ復興計畫ニ對スル諒解ヲ求ムル爲各種參考書類等ヲ用意スルコトトシ尙質問ニ對シテハ
主トシテ宮尾副總裁之カ答辯ニ當リ技術關係ニ付テハ主トシテ直木技監之ニ當ルコトヲ申合セタ
リ

午後二時建築會社ニ關スル特別參與會開催

西野大藏次官桐島偉一加藤恭平磯村豐太郎結城豐太郎ノ各參與及宮尾松木兩副總裁佐野建築局長
十河經理局長出席工業俱樂部案其ノ他各案ニ付協議スル所アリ其ノ内容及方法等ニ關シテハ意見
ノ一致ヲ見ルニ至ラスシテ散會

十二月十日 理事會議會關係事項ノ打合ヲナス

第四 臨時議會經過

(自大正十二年十二月十日至同年十二月二十四日)

十二月十日 第四十七議會召集サレ議席及部署ヲ定メ茲ニ貴衆兩院成立ス同時ニ政府委員ノ任命
アリ

十二月十一日 開院式舉行勅語ヲ賜フ

衆議院ニ對シ政府ヨリ當院關係議案トシテ復興豫算左ニ説明ヲ附シテ其ノ概要ノミヲ掲ク(帝都復
興計畫法案臨時物資供給令及臨時物資供給特別會計令(承諾ノ件)左ノ通提出サル

帝都復興豫算概要

第一總 叙

帝都ノ復興ニ關シテハ大震災ノ損害ニ顧ミ既往ノ成績ニ照シ將來ノ發展ニ鑑ミ特ニ財政ノ狀況ヲ
勘案シ最モ緊急適切ト認ムルモノノミヲ揀擇シテ之カ實施ノ計ヲ定メ又克ク事業ノ性質ヲ究メ(一)
國ニ於テ直接施行スヘキモノト(二) 地方公共團體ノ施設ニ俟ツヘキモノトニ分チ兩々相俟テ十全
ノ効果ヲ收ムルコトトセリ而シテ國ニ於テ直接執行スルモノハ何レモ帝都構成ノ基幹ト爲ルヘキ
モノニシテ今茲ニ其ノ所要費額ヲ類別表示スレハ

一 東京復興費

四〇二七九三、〇〇〇圓

二 橫濱復興費

四五七七七、〇〇〇

- 三 地方復興事業費貸付金
- 四 防火地區建築費補助
- 五 地方復興事業費補助
- 六 地方復興事業費利子補給

- 一五、三二五、四〇二
- 二〇、〇〇〇、〇〇〇
- 六九、二二五、九一七
- 二一、六九四、七三〇
- 五七四、八一六、〇四九

ニシテ之ヲ大正十二年度以降六箇年度ノ繼續費トセリ而シテ其ノ各費目別年度割金額ヲ示セハ左ノ如シ

項	目	總金額	年度割金額					
			十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	十七年度
東京復興費	街路費	四〇三、七九三、〇〇〇	七九八、〇〇〇	一、〇六五、八〇〇	一、〇五五、一八七、〇〇〇	七六八、八八八、〇〇〇	六四七、七三三、〇〇〇	四一、七三三、〇〇〇
	運河費	三二八、三三三、〇〇〇	五九三、〇〇〇	八〇七、八三〇、〇〇〇	八〇八、八四三、〇〇〇	六五、六一四、〇〇〇	五三、四九八、八〇〇	三、一五〇、二〇〇
	公園費	二八、五七〇、〇〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	五、九四〇、〇〇〇	五、七〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	〇
	土地整理費	一、一九〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇	三、八五三、〇〇〇	三、七五三、〇〇〇	一、三、〇〇〇、〇〇〇	一、一八〇、〇〇〇	一、一四九、〇〇〇
	街路費	四〇五、〇〇〇	一、三九〇、〇〇〇	一、五九五、〇〇〇	一、四六五、〇〇〇	四、三七〇、〇〇〇	四、一八五、〇〇〇	〇
	運河費	四〇五、〇〇〇	八六九、〇〇〇	一、三、一五〇、〇〇〇	一、二六三、〇〇〇	七、三三三、〇〇〇	六、六三三、七三三	五、三九三、六三三
横濱復興費	街路費	四、七七七、〇〇〇	八六九、〇〇〇	一、三、一五〇、〇〇〇	一、二六三、〇〇〇	七、三三三、〇〇〇	六、六三三、七三三	五、三九三、六三三
	運河費	三、七七八、〇〇〇	四九〇、〇〇〇	九三三、〇〇〇	九〇六、〇〇〇	五、三九三、〇〇〇	四、四三三、七三三	三、一四九、六三三
	公園費	五、六二二、〇〇〇	五八、〇〇〇	九六六、〇〇〇	九五五、〇〇〇	一、三、三三三、〇〇〇	一、二二二、〇〇〇	一、一八九、〇〇〇
合計		一、九五九、〇〇〇	九、〇〇〇	一六、三〇〇	一五、八〇〇	一六五、〇〇〇	四八〇、〇〇〇	九八五、〇〇〇

項	目	總金額	年度割金額					
			十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	十七年度
地方復興事業費貸付金	土地整理費	六四七、八〇〇	三〇三、〇〇〇	二、七〇六、〇〇〇	二、四三三、〇〇〇	五、三四〇、〇〇〇	五、八〇〇	〇
	東京府貸付金	一、五三三、五〇三	一、二八三、三五六	三、九一五、五二七	三、四三三、七七一	四、九八七、五八	一、五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
	神奈川縣貸付金	二、二七九、六九八	一、〇五〇、〇三三	三、〇三三、四六六	二、九三三、七七一	三、六九八、七五八	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
	防火地區建築費補助	三〇、〇〇〇	〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	地方復興事業費補助	六九、三三九、九一七	三、八六八、八一七	一、五〇四、一〇五	一、四六八、一一四	一、四、五五六、九三三	一〇、九〇五、八三三	九、八三三、一一五
	東京府補助	七、五八三、五〇六	一、二五七、九八三	一、五九七、七五五	一、五三九、〇三三	二、一八八、七五七	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	神奈川縣補助	七、四三三、三七二	一、六六六、六六七	五、七五、七〇四	〇	〇	〇	〇
	東京市補助	五〇、一五六、七〇七	二、〇六六、六六七	一〇、九〇六、六六六	一〇、七三三、〇三三	一〇、一八〇、八三三	八、四三三、八三三	七、八二四、六三三
	横濱市補助	一〇、七三三、三三三	三、三三三、〇〇〇	三、三三三、〇〇〇	二、二八三、四七七	四、五〇七、九二七	一、九三三、〇〇〇	一、五二七、五〇〇
	地方復興事業費利子補給	二、六四四、七三〇	三、八八三	一、三三三、四七七	二、八八三、四七七	三、六四四、〇九八	四、七四一、四四一	五、六五七、一六〇
合計	五、七四八、二六〇、四九九	一三、九八八、九八五、四〇〇	一四、二、三三六、〇七九	一四、二、七六九、三五七	一四、二、七六九、三五七	一四、二、七六九、三五七	一四、二、七六九、三五七	

即チ總費額ノ各年度割金額ハ

- 大正十二年度
- 大正十三年度
- 大正十四年度

- 一三、九八八、九八五、四〇〇
- 一四、二、三三六、〇七九
- 一四、二、七六九、三五七

大正十五年度
大正十六年度
大正十七年度

一一二,三八四,六〇八
九四,七三三,八〇〇
六八,六〇三,二二〇
五七,四八一,〇四九

ナリトス而シテ右事業ノ執行ニ伴フ俸給及事務費等ハ繼續年期間ヲ通シ凡貳千貳百九拾參萬千圓ヲ要スル見込ナルモ出來得ル限リ節減ヲ加フルノ趣旨ヲ以テ之ヲ繼續費ト爲サス各年度ニ於ケル工事進捗ノ情況ニ應ジ必要避クヘカラサル所要額ヲ要求スルコトトシ大正十二年度ニ於テモ亦極力緊縮ヲ加ヘ施業ノ基本ト爲ルヘキ諸般ノ調査研究ニ要スル經費ト共ニ僅ニ七拾萬貳千餘圓ヲ要求スルニ止メタリ

第二 東京復興費

東京ノ復興ニ就テハ單ニ之ヲ舊態ニ復スルニ止マラス進テ將來ノ發展ニ備フヘキヲ論テ俟タス從テ籌劃經營スヘキ喫緊ノ事業固ヨリ一ニシテ足ラスト雖緩急序アリ財源亦限アルヲ以テ最モ急ヲ要スル燒失區域内ニ於ケル施設ヲ先ニスルノ方針ヲ採リ慎重考査ノ上其ノ計畫ヲ確立セリ而シテ東京復興事業ハ之ヲ大別シテ(一) 街路 (二) 運河 (三) 公園 (四) 土地整理ノ四トス以下序ヲ逐ヒ項ヲ分チテ其ノ概要ヲ説述スヘシ

一 街路

街路ノ構築ニ就テハ特ニ交通幹線ノ配置ニ意ヲ用キ主要街路ノ規格ハ幅員十二間乃至三十間トシ配スルニ六間以上ノ補助道ヲ以テシ又電氣軌道網ヲ構成スル路線ノ規格ハ十一間以上トシ地域ノ情況ト交通ノ系統ニ稽ヘ各路線ヲ配置按排セリ而シテ右方針ニ基キ新設又ハ擴張スヘキ街

路ノ延長ハ十三萬六千六百二十七間ニシテ之カ施設ニ要スル費額ヲ各費目ニ分チ年度別ニ表示スレハ左ノ如シ

街路費(東京)

費目	總費額	年度別				
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度
用地及補償費	一五,六六五,〇〇〇	四,一〇〇,〇〇〇	五,七〇〇,〇〇〇	五,五二七,〇〇〇	四,〇八〇,〇〇〇	一,七二二,〇〇〇
工事費	七,二五〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	六,九六五,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,六五〇,〇〇〇
橋梁費	五,三七〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	七,三二五,〇〇〇	七,八〇〇,〇〇〇	一,五八一,〇〇〇	一,一七〇,〇〇〇
共同溝費	一,九一五,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇
雜工雜費	一八,五五〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇	二,六六五,〇〇〇	三,九三〇,〇〇〇	六,五二四,〇〇〇	五,四九八,八〇〇
計	三三,一八三,〇〇〇	五,九三〇,〇〇〇	八〇,七六五,〇〇〇	八〇,八四五,〇〇〇	六五,六四四,〇〇〇	五五,四九八,八〇〇

而シテ街路ノ新設又ハ擴張ニ要スル土地ハ百九萬參千四百六十九坪ナルモ土地ノ區劃整理ニ因リ無償ニテ取得スヘキ土地五十六萬坪ノ中ヨリ土地整理地區内ニ於ケル街路ノ用地ニ充ツヘキ二十四萬坪ヲ控除シタル殘地積三十二萬坪ハ之ヲ前掲街路ノ敷地ニ充當スルヲ以テ有償ニテ取得スヘキ街路用地ハ 七七三,四七〇坪

ナリトス

- (一) 街路費(東京)
- (二) 運河
- (三) 公園
- (四) 土地整理

二 運河

東京市内ニ於ケル水陸交通ノ連絡ヲ便ニシ貨物ノ運輸ニ資スル爲在來ノ運河ヲ改修シ且之ヲ聯繋スル運河ヲ新鑿スルコトトセリ其ノ計畫ノ概要左ノ如シ

甲 改修スルモノ

運河名	延長	現在幅員	計畫幅員	計畫深度	備考
小名木川	一三五〇	一七五	三〇	七	同シ
横十間川	三〇〇〇	一一三	三三	六	深度ハ零點下トス以下皆同シ
大島川	一一〇〇	一四六	三三	六	
神田川	七八〇	一六〇	二六	六	
日本橋川	二六〇	二〇〇	二六	六	
楓川	六七〇	一四〇	一八	六	
櫻橋川	四一〇	一八〇	一八	六	
京橋川	三三〇	一〇〇	一八	六	
築地川	三〇〇	二〇〇	二六	六	
築地川	六二〇	一六〇	二八	六	
汐留川	三三〇	一六八	二八	六	
計	八〇七〇				

乙 新鑿スルモノ

番號	延長	計畫幅員	計畫深度	備考
一	一〇〇	三		大島川曲線部ヲ直鑿
二	一六〇	二八		築地川ト楓川ヲ聯繋
計	二六〇			

即チ右計畫ニ依リ改修及新鑿スル運河ハ
 一 在來ノ運河ヲ改修スルモノ 延長 八、〇七〇間
 二 新ニ運河ヲ開鑿スルモノ 同 二九〇
 ニシテ之カ施行ニ要スル費額ヲ各費目ニ分チ年度別ニ表示スレハ左ノ如シ

運河費(東京)

費目	總費額	年度					備考
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	
用地及補償費	八、五二六、五五	三、三八〇、〇〇	三、三一九、〇〇	三、一三三、〇〇	九、〇〇一、〇〇	七、四〇〇、〇〇	二八、三五八、五五
工事費	一、八三四、八九〇	一、三八〇、〇〇	二、六一〇、〇〇	二、五九五、〇〇	四、三七五、〇〇	四、五五五、〇〇	四、〇九三、三五
雜工雜費	一、七五三、三五	一一〇、〇〇	一一一、〇〇	一一一、〇〇	四、〇〇〇、〇〇	四、〇〇〇、〇〇	四、三六一、三五
計	二、八五七、〇〇〇	三、七七〇、〇〇	六、〇五〇、〇〇	五、九四五、〇〇	五、七七〇、〇〇	五、七七一、〇〇	四、八〇三、〇〇〇

公園ハ平時ニ在リテハ保健、衛生、享樂ノ機關トシテ非常時ニ在リテハ防火避難又ハ救護ノ要所トシテ近代都市ノ構成ニ必要缺クヘカラサル施設ノ一タルヤ論ヲ俟タス則チ這次ノ災禍ニ顧ミ成ルヘク普遍的ニ之ヲ設クルノ方針ヲ採リ國ニ於テ直接執行スルノ外市ヲシテ適所ニ小公園約五十箇所ヲ施設セシムルコトトセリ而シテ國ノ施設スル公園ノ計畫及其ノ費額ヲ示セハ左ノ如シ

名稱	坪數	用地費		設備費		計
		單價	金額	單價	金額	
隅田公園	50,000	100	5,000,000	10	800,000	5,800,000
江東公園	50,000	50	2,500,000	10	800,000	3,300,000
日本橋公園	10,000	50	500,000	10	100,000	600,000
計	110,000		8,000,000		1,700,000	9,700,000

尙右費額ノ各費目ニ分チ年度別ニ表示スレハ左ノ如シ
公園費(東京)

費目	總費額	年度別					計
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	
用地及補償費	10,100,000	2,820,000	3,870,000	3,760,000	1,070,000	878,000	15,398,000
設備費	1,600,000	0	360,000	360,000	1,520,000	500,000	4,840,000
計	11,700,000	2,820,000	4,230,000	4,120,000	2,590,000	1,378,000	19,238,000

四 土地整理

土地ノ區劃整理ニ付テハ東京市ノ燒失面積千四十八萬七千四百七十坪ヲ基準トシ約一千萬坪ニ

付區劃測量ヲ實施シ約七百萬坪ヲ區劃整理地域トシ一地區ヲ三萬坪乃至五萬坪ニ分チ各地況ヲ案シ適當ノ設計ヲ定メテ施業スルノ方針ニシテ土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路、廣場、運河其ノ他ノ公共ノ用ニ供スヘキモノト爲リタル土地ハ總テ之ヲ國ノ所有地ニ編入スルノ制ヲ樹テ其ノ整理施行後ニ於ケル宅地ノ總面積カ施行前ノ宅地ノ總面積ヨリ一割以上減縮スルニ至リタルトキハ其ノ一割ヲ超ユル部分ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償スルノ途ヲ啓キ以テ所有者其ノ他ノ關係人ノ利益ヲ保障シ亂雜ナル區劃ヲ整理シテ土地ノ利用ヲ増進スルト共ニ復興事業ノ施行ニ資スルコトトセリ之ヲ約言スレハ

- 一 燒失面積 一〇、四八七、四七〇坪
 - 二 土地測量面積 一〇、〇〇〇、〇〇〇坪
 - 三 區劃整理面積 七、〇〇〇、〇〇〇坪
 - 四 整理地區ノ面積 三〇、〇〇〇坪乃至五〇、〇〇〇坪
 - 五 整理地區ノ數 一二〇乃至一八〇
- ニシテ之カ施業ニ要スル費用ヲ類別表示スレハ

區分	數	量	單價	所要費額
土地測量費		10,000,000	300	3,000,000
建物移轉料		1,000,000	2750	2,750,000
地下埋設物整理費		6,000,000	1,000	6,000,000
道路下水工事費		500,000	500	250,000
障害物除却費		5,000,000	500	2,500,000
計				14,500,000

ナリトス尙之ヲ各費目ニ分チ年度別ニ表示スレハ左ノ如シ

費目	總費額	年度別				
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度
整理費	3,000,000	1,850,000	1,210,000	1,050,000	1,890,000	1,260,000
補償費	3,350,000	950,000	1,240,000	1,150,000	3,210,000	3,950,000
雑工雑費	4,000,000	350,000	1,950,000	1,550,000	2,610,000	890,000
計	10,350,000	3,150,000	4,400,000	4,150,000	7,710,000	6,100,000

参考
 區劃整理ヲ行フ面積ハ七百萬坪ナルヲ以テ其一割ハ七十萬坪ナルモ整理地區内ニ於ケル道路敷地宅地ノ一割ニ達セサルモノアリ又地區ノ情況ニ依リ幹線道路敷地ヲ整理地區ニ編入シ難キモノアルヲ以テ無償提供セシムヘキ用地ハ之ヲ全整理地積ノ八分即チ五十六萬坪ト推算セリ

第三 横濱復興費

横濱市ノ復興ニ關シテハ其ノ國港タルノ地位ニ鑑ミ特ニ帝都トノ交通關係ヲ考量シ其ノ復興計畫ヲ確立セリ而シテ横濱ノ復興事業モ亦之ヲ分チテ(一)街路(二)運河(三)公園(四)土地整理ノ四トス以下項ヲ逐フテ其ノ大要ヲ説明セム

一 街路

横濱ニ於ケル街路ノ構築ニ就テハ特ニ交通ノ系統ニ稽ヘ主要ノ街路ノ構築改修スルニ止ムルノ

方針ヲ採リ又其ノ規格ハ概ネ東京ノ例ニ則リ既往ノ成績ト交通ノ情況ニ照シ最モ緊要ト認ムル十九路線ヲ擴張改修シ尙横濱驛前ニ四千九百坪櫻木町驛前ニ四千二百坪ノ廣場ヲ設置スルコトトセリ而シテ之カ施設ニ要スル費額ヲ各費目ニ分チ年度別ニ表示スレハ左ノ如シ

街路費(横濱)

費目	總費額	年度別				
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度
用地及補償費	1,810,000	380,000	740,000	700,000	1,200,000	1,270,000
工事費	7,091,000	590,000	950,000	1,010,000	1,310,000	1,270,000
橋梁費	5,061,000	500,000	680,000	730,000	1,130,000	1,110,000
雑工雑費	1,567,000	1,000,000	1,040,000	1,110,000	550,000	3,330,000
計	5,939,000	4,970,000	3,410,000	3,850,000	4,290,000	5,980,000

二 運河

横濱市内ニ於ケル水運ヲ便ナラシムル爲メ堀割川(ロ)中村川及堀川ノ二運河ヲ擇ヒ之ヲ改修スルコトトセリ本運河ハ横濱市内ニ於ケル重要ナル幹線運河ノ一ニシテ房總及三浦半島方面ヨリ横濱港ニ通スル和船ノ大半ハ概ネ之ニ依ルヲ以テ此ノ際之ヲ改修シ在來ノ屈曲ヲ除キ幅員ヲ擴張スルノ計畫ニシテ其ノ概要左ノ如シ

運河名	延長	現在幅員	計畫幅員	計畫深度	備考
堀割川	一七三三	二五	二八	五尺	深度ハ干湖面下ト
中村川及堀川	一七三八	二八	二八	五尺	
計	三九〇〇	二八	二八	五尺	

右計畫ノ實施ニ要スル費額ヲ各費目ニ分チ年度別ニ表示スレハ左ノ如シ
運河費(横濱)

費目	自總額	年度					
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	十七年度
用地及補償費	九三、八〇〇	二五、〇〇〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	九六、〇〇〇	七九、〇〇〇	三三、八〇〇
工事費	四六、六、一〇〇	三、〇〇〇	六〇、八、二〇〇	六六、六、一〇〇	一、一、四、二〇〇	一、一、一、二〇〇	一、三、四、二〇〇
雜工雜費	九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、八、八〇〇	一、八、〇〇〇	二、一、八〇〇	三、一、八〇〇	二、一、八〇〇
計	四六、三、〇〇〇	二八、〇〇〇	九六、六、〇〇〇	九五、五、〇〇〇	一、三、三、〇〇〇	一、三、一、〇〇〇	一、二、八、〇〇〇

三 公園

横濱市ニ於ケル現在公園ハ横濱公園(面積一九四四八坪)及掃部山公園(面積四、二七八坪)ノ二箇所ニ過キス依テ運搬ノ慘害ニ鑑ミ四公園ヲ増設スルコトトセリ其計畫ノ概要及費額左ノ如シ

名稱	坪數	總費額	用地費	土工費	設備費
日ノ出公園	四、八〇〇	一、二〇、〇〇〇	〇	一、三三、〇〇〇	九六、〇〇〇
山下公園	一五、〇〇〇	九三、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	二六、二、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
野毛山公園	一〇、〇〇〇	五五、〇〇〇	一〇五、〇〇〇	〇	四〇〇、〇〇〇
神奈川公園	六、〇〇〇	二八、二、〇〇〇	九〇、〇〇〇	七、〇〇〇	一、一〇、〇〇〇
計	三五、八〇〇	一、九五、〇〇〇	三四五、〇〇〇	四九八、〇〇〇	一、二一六、〇〇〇

次ニ右費額ヲ各費目ニ分チ年度別ニ表示スレハ左ノ如シ
公園費(横濱)

費目	總費額	年度					
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	十七年度
用地及補償費	三三、五、〇〇〇	九、〇〇〇	一、三〇、〇〇〇	一、三六、〇〇〇	三六、〇〇〇	三三〇、〇〇〇	一、五〇、〇〇〇
設備費	一、九、九、〇〇〇	〇	三、〇〇〇	一、五八、〇〇〇	一、六五、〇〇〇	四、八、〇〇〇	九八五、〇〇〇
計	一、九、九、〇〇〇	九、〇〇〇	一、六三、〇〇〇	一、五八、〇〇〇	一、六五、〇〇〇	四、八、〇〇〇	九八五、〇〇〇

備考
本表ハ豫算科目ニ依リ前表ノ用地費及埋立費ヲ合算シ用地及補償費トシテ計上セリ

四 土地整理

横濱ニ於ケル土地ノ區劃整理モ亦大體ニ於テ東京ノ例ニ倣ヒ燒失區域約三百萬坪ニ付區劃測量ヲ施行シ約七十五萬坪ヲ區劃整理地域トシ土地ノ區劃整理ヲ執行スル計畫ニシテ之カ施業ニ要スル費額ヲ各費目ニ分チ年度別ニ示セハ左ノ如シ

土地整理費(横濱)

費目	總費額	年度				
		十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度
整理費	九〇〇,〇〇〇	五三,〇〇〇	四四,〇〇〇	三三〇,〇〇〇	四四,〇〇〇	四三,〇〇〇
補償費	五,一三五,〇〇〇	三三三,〇〇〇	二,〇四一,〇〇〇	一,九四八,〇〇〇	四六八,〇〇〇	四四五,〇〇〇
雑工雜費	四五三,〇〇〇	二七,〇〇〇	二五,〇〇〇	一五九,〇〇〇	二二,〇〇〇	二〇,〇〇〇
計	六,四七八,〇〇〇	三〇七,〇〇〇	二,一〇六,〇〇〇	二,四三七,〇〇〇	五三四,〇〇〇	五〇八,〇〇〇

第四 地方復興事業費貸付金

東京府及神奈川縣ニ於テ執行スル復興事業ノ費用ハ當該府縣ノ財政ノ現情ニ鑑ミ左ノ條件ノ下ニ數年ニ亘リ國庫ヨリ之ヲ貸付スルコトトシ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求ヲ爲スコトトセリ

一 貸付額ハ左ノ年割ノ範圍内トス但シ各年度ニ屬スル金額ハ之ヲ逐次繰越貸付ヲ爲スコトヲ得

年度	區分	東京府貸付額	神奈川縣貸付額	合	計
大正十二年		1,000,000	2,333,333	3,333,333	1,283,333
大正十三年		3,033,333	842,371	3,875,704	3,955,704
大正十四年		2,977,771	500,000	3,477,771	3,477,771
大正十五年		3,668,758	500,000	4,168,758	4,168,758
大正十六年		1,000,000	500,000	1,500,000	1,500,000
大正十七年		1,000,000	0	1,000,000	1,000,000
合	計	12,709,662	2,575,704	15,285,366	15,285,366

大正十二年	1,000,000	2,333,333	3,333,333	1,283,333	
大正十三年	3,033,333	842,371	3,875,704	3,955,704	
大正十四年	2,977,771	500,000	3,477,771	3,477,771	
大正十五年	3,668,758	500,000	4,168,758	4,168,758	
大正十六年	1,000,000	500,000	1,500,000	1,500,000	
大正十七年	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	
合	計	12,709,662	2,575,704	15,285,366	15,285,366

- 二 利率 年五分但シ据置期間ハ無利子トス
- 三 据置期間 大正十八年三月三十一日迄
- 四 償還期限及償還方法 大正十八年四月一日ヨリ起算シ三十年間ニ元利均等償還ノ方法ニ依リ之ヲ償還セシムルモノトス

備考

府縣ニ於テ執行スル復興事業ニ關シテハ別ニ添附スル所ノ府縣市復興事業一覽表ニ明カナルツ以テ之ヲ省ク
(上記一覽表ハ本書ニハ之ヲ省ク)

第五 防火地區建築費補助

都市ノ中樞地帯ニ路線形又ハ集團地形ノ防火地區ヲ設定シ其ノ地區内ニ於ケル建物ヲ不燃質構

造ト爲スハ實ニ都市防火政策ノ根本ニシテ保安上喫緊ノ要務ナリトス從テ防火地區内ノ耐火建築ニ對シテハ相當ノ方法ニ依リ之ヲ助成スルノ必要アリ依テ總費額貳千萬圓ヲ限リ左ノ年割ノ範圍内ニ於テ其ノ建築ヲ爲ス者ニ對シ補助金ヲ支出スル爲豫算外國庫ノ負擔トナルノ契約ニ關スル要求ヲ爲スコトトセリ

年度	科目	防火地區建築費補助	年度	科目	防火地區建築費補助
大正十三年度		二,000,000	大正十六年度		五,000,000
大正十四年度		四,000,000	大正十七年度		五,000,000
大正十五年度		五,000,000	計		10,000,000

右防火地區建築費補助金算定ノ基礎左ノ如シ

區分	防火地區面積	建築敷地	豫定建築坪數	一坪當補助額	補助額	摘要
東京	一,七五〇,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇	延 六〇〇,〇〇〇	三〇	一八,〇〇〇,〇〇〇	端數ヲ切捨三千萬圓トス
横濱	三,〇〇〇,〇〇〇	一〇九,〇〇〇	延 八二七,五〇〇	三〇	二四,八二五,〇〇〇	
計	一,九七〇,〇〇〇	九〇九,〇〇〇	六八二,七五〇		四二,八二五,〇〇〇	

備考
 一 豫定建築坪數ハ建築敷地面積ノ約六割ニシテ大正十七年度迄ニ建築スルモノハ其二分ノ一平均二階中建ト推定シ補助ノ基本ト爲ルヘキ建築坪數(延)ヲ算定セリ

二 補助額耐火建築物ノ建築費ヲ一坪平均三百圓、木造建築ヲ二百圓トシ其ノ差額ノ約三分ノ一即一坪當平均三十四圓ヲ補助スルコトトセリ

第六 地方復興事業費補助

東京府、神奈川縣、東京市及横濱市ハ震災ノ影響ニ因リ財力窮乏セルヲ以テ其ノ執行スル復興事業ニ對シテハ各其ノ事業ノ性質ニ稽ヘ適當ノ率ヲ定メテ國庫ヨリ之カ費用ノ一部ヲ補助スルノ必要アリ其補助率概ネ左ノ如シ

事業ノ種類	補助率	摘要
國道	二分ノ一	
環狀線、放射線	三分ノ一	
其他	十二分ノ五	
橋	三分ノ二	國道ニ架スル重要ナルモノ
河川	道路ニ同シ	
上水道	三分ノ一	
下水道	四分ノ一	
公園	二分ノ一	
公共處	四分ノ一	
中央市場	四分ノ一	

教育施設	四分ノ一	中等教育施設ヲ除ク
職業紹介所	二分ノ一	
その他	四分ノ一	
結核療養所	二分ノ一	
伝染病院	三分ノ一	
その他	四分ノ一	

前記補助率ニ依リ東京府神奈川縣東京市及横濱市ニ對シ補助金ヲ支給スル爲豫算外國庫ノ負擔トナルノ契約ニ關スル要求ヲ爲スコトトセリ其ノ年割額左ノ如シ

年度	科目	東京府補助	神奈川縣補助	東京市補助	横濱市補助	合計
大正十二年		一、二五七、九八三	一、六六六、六六七	三、〇六六、六六七	三、三五五、〇〇〇	三、八二六、八一七
大正十三年		一、五九七、七三五	五、七五、七〇四	一、〇九一、六六六	二、三七七、一〇〇	一、五四四、六〇五
大正十四年		一、五九六、〇三二	〇	一、〇七三、七〇八	二、三九二、〇〇〇	一、四六六、八一四
大正十五年		二、一八八、七五七	〇	一、〇一八、〇八三	二、一八七、三三三	一、四五六、九三三
大正十六年		五、〇〇〇、〇〇〇	〇	八、四四五、八三三	一、九五〇、〇〇〇	一、〇九〇、八三三
大正十七年		五、〇〇〇、〇〇〇	〇	七、八一四、六三五	一、五二七、五〇〇	九、八三二、二二五
合計		七、五八三、五〇六	七、五二二、七二一	五、〇六一、五六七	一、〇七四、三三三	六九、二三五、九一七

備考
地方復興事業ノ内容及補助費ノ各事並別年度割額ハ別ニ添附スル諸表ニ依リ明カナルヲ以テ之ヲ略ス
(上記別添諸表ハ本書ニハ之ヲ省ク)

第七 地方復興事業債利子補給

東京市及横濱市ニ於テ復興事業ノ費用ニ充ツル爲募債スルニ付同市財政ノ情況ニ稽ヘ國庫ヨリ其ノ利子ヲ補助スルノ必要アリ、依テ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル要求ヲ爲スコトトセリ其ノ年割額左表ノ如シ

年度	科目	東京市債利子補給	横濱市債利子補給	合計
大正十二年		三、〇三三、〇〇〇	八、四七九	三、八八一三
大正十三年		一、〇〇七、九三三	二、三三三、五三五	一、二四三、四八七
大正十四年		二、三三〇、三三〇	五、五三三、一五三	二、八八三、四八三
大正十五年		三、六四一、〇九八	八、六六八、八二九	四、五〇七、九二七
大正十六年		四、七四一、四四一	一、一七五、三五九	五、九一六、八〇〇
大正十七年		五、六五七、一〇六	一、五八八、一〇三	七、一〇五、二〇九
合計		一、七四〇、八二七	四、二八六、四五六	二、一六九、七三三

備考
東京及横濱市債ノ起債年度割額及利子計算ノ基礎等ハ別表ヲ以テ明カニシテ之ヲ省ク
(上記別表ハ本書ニハ之ヲ省ク)

而シテ土地區劃整理事業トシテ其整理地區内ニ造成シタル街路工事ニ付受益者負擔金ヲ徴スル
ヤ否ヤハ一ニ之ヲ當該地方公共團體ノ決定ニ委ヌル見込ナリトス

帝都復興計畫法

第一條 本法ニ於テ復興計畫ト稱スルハ東京及横濱ニ於ケル都市計畫ヲ謂フ

第二條 行政官廳復興計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係公共團體ヲ
シテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三條 行政廳又ハ公共團體カ執行スル土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ
拘ラス建物アル宅地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得

第四條 前條第一項ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ設計換地處分及第七條第一項ノ補
償金ノ配當ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者及借地法ニ謂フ借地權者ヲ以テ

組織スル土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム

第五條 第三條第一項ノ土地區劃整理施行ノ爲必要アルトキハ換地豫定地ヲ指定シテ土地區劃
整理施行地區内ニ存スル建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命スルコトヲ得此ノ
場合ニ於テハ少クトモ三月前ニ所有者及占有者ニ其ノ旨ヲ豫告スヘシ
所有者又ハ占有者カ前項ノ移轉ニ因リテ損害ヲ受ケタルトキハ其ノ通常受クヘキ損害ニ限リ

之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依ル補償金ハ補償審査會之ヲ決定ス

耕地整理法第二十五條並土地收用法第八十二條第一項及第二項ノ規定ハ第二項ノ規定ニ依ル
補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第六條 第三條第一項ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路廣場運河其ノ他ノ公共ノ用ニ供スヘキ
モノトナリタル土地ハ其ノ施行ニ要スル費用ヲ負擔スル國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入ス
前項ニ規定スル土地ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル其ノ編入ニ關シテモ亦同シ

第七條 第三條第一項ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ土地區劃整理施行地區内ニ於ケル施行後ノ
宅地ノ總面積カ施行前ノ宅地ノ總面積ヨリ一割以上ヲ減少スルニ至リタルトキハ其ノ一割ヲ
超ユル部分ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付スルコトヲ要ス

前項ノ宅地トハ勅令ニ依リ公共ノ用ニ供スル土地ト定ムルモノ以外ノ土地ヲ謂フ

第五條第三項及第四項ノ規定ハ第一項ノ補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第八條 都市計畫法第十三條第二項ノ規定ハ第三條第一項ノ土地區劃整理ニ之ヲ準用ス

第九條 補償審査會ハ内閣總理大臣ノ監督ニ屬ス
補償審査會ハ會長一人及委員十四人ヲ以テ之ヲ組織ス
會長ハ關係各廳高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之
ヲ命ス
委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
一 關係各廳高等官 三人

- 二 關係府縣高等官 二人
 - 三 關係府縣市參事會員 六人
 - 四 學識經驗アル者 三人
- 前項第二號及第三號ノ規定ニ依ル委員ハ關係府縣市ニ關セザル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ス

補償審査會ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

第十條 都市計畫法第二十三條乃至第二十六條ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ之ヲ準用ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

帝都復興計畫法案理由書

大正十二年九月ノ震災ノ結果ニ鑑ミ東京及橫濱ノ復興ニ關スル計畫ヲ樹テ其ノ事業ヲ遂行スルノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

臨時物資供給令 (大正十二年九月二十二日) (勅令) (緊急)

第一條 政府ハ震災地ニ於ケル米穀以外ノ生活必需品並土木又ハ建築ノ用ニ供スル器具機械及材料ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲必要アリト認ムルトキハ當該物資ノ買入賣渡交換加工若ハ貯藏ヲ爲シ又ハ他人ニ委託シテ買入若ハ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ物資ノ品目ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 政府ハ震災地ニ於ケル前條ノ物資ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ指定シ其ノ輸出ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第三條 政府ハ震災地ニ於ケル第一條ノ物資ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ生産者取引業者倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命シ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニヨル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ケタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時物資供給令ヲ提出スルノ理由書

震災地ニ於ケル米穀以外ノ生活必需品並土木又ハ建築ノ用ニ供スル器具機械及材料ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲政府ニ於テ當該物資ノ賣買交換加工又ハ貯藏ヲ爲スノ途ヲ開ク緊急ノ必要アリタルヲ以テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ本勅令公布セラレタリ而シテ本勅令ハ將來尙其ノ效力ヲ有セシムル必要アリ依テ帝國憲法第八條第二項ノ命スル所ニ從ヒ帝國議會ノ承諾ヲ求ムル爲茲ニ之ヲ提出ス

臨時物資供給特別會計令 (大正十二年九月二十二日) (勅令) (緊急)

第一條 震災地ニ於ケル米穀以外ノ生活必需品並土木又ハ建築ノ用ニ供スル器具機械及材料ノ

供給ヲ圓滑ナラシムル爲ニスル當該物資ノ買入、賣渡、交換、加工又ハ貯藏ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ之ヲ一般ノ歳入歳出ト區分シ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲ニ必要ナルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ一億圓ヲ限リ借入ヲナスコトヲ得

第三條 本會計ノ負擔ニ屬スル借入金ノ償還及利子支拂ニ必要ナル金額ハ國債整理基金特別會計ニ之ヲ繰入ルヘシ

第四條 本會計ハ借入金、物資賣渡代金及附屬雜收入ヲ以テ歳入トシ物資ノ買入代金、物資ノ買入、賣渡、交換、加工、貯藏及運搬ニ關スル諸費借入金ノ償還金及利子其ノ他諸費ヲ以テ歳出トス

第五條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 本會計ハ大正十四年三月三十一日迄ノ期間ヲ通シ一會計年度トシテ整理シ當該會計年度限り之ヲ廢止ス

第七條 本會計廢止ノ際ニ於ケル收入支出其ノ他必要ナル事項ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時物資供給特別會計令ヲ提出スルノ理由書

震災地ニ於ケル米穀以外ノ生活必需品竝土木又ハ建築ノ用ニ供スル器具、機械及材料ノ供給ヲ圓滑ナラシムル爲ニスル當該物資ノ賣買、交換、加工又ハ貯藏ニ關スル歳入歳出ハ之ヲ一般會計ト區

分シ特別會計ヲ設置シ且本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲借入ヲ爲ス緊急ノ必要アリタルヲ以テ帝國憲法第八條第一項及第七十條第一項ニ依リ本勅令公布セラレタリ依テ帝國憲法第八條第二項及第七十條第二項ノ命スル所ニ從ヒ帝國議會ノ承諾ヲ求ムル爲茲ニ之ヲ提出ス

十二月十二日

兩院共委員選舉 衆議院ニ於テハ委員會ノ役員選舉行ハル

十二月十三日

貴族院

議事經過 山本首相ノ演說アリ、之ニ對シ服部一三、山脇玄、藤村義朗等諸議員ノ質問アリ、山本、後藤、井上各國務大臣ノ答辯アリ

衆議院

議事經過 山本首相井上藏相ノ演說アリ、之ニ對シ小川平吉、津原武吉、植庄一郎、鈴木富士彌、秦豊助等各議員ノ質問アリ、山本、後藤、田井上、山之内各國務大臣ノ答辯アリ

十二月十四日

貴族院

議事經過 前日ノ質問ノ續行藤村義朗、上山滿之進兩議員ノ質問アリ、後藤、岡野、井上各國務大臣ノ答辯アリ、午後議事日程ノ審議ニ入ル

衆議院

議事經過 前日ノ質疑續行、山本悌次郎、井上孝哉、鈴木錠藏、田淵豊吉等諸議員ノ質問アリ、之ニ對シ山本、後藤、田、各國務大臣ノ答辯アリ、議事日程ノ順序變更ニ關スル動議アリテ日程ニ入り、諸議案委員附託トナル

十二月十五日

貴族院

議事經過 午前前日ノ上山滿之進議員ノ質疑ヲ續行ス、午後議事日程審議

衆議院

議事經過 議案ノ委員附託ヲ議シ、夫レヨリ前日ノ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ入ル、永井柳太郎、三輪市太郎、松本君平等諸議員ノ質問アリ、之ニ對シ山本、後藤、伊集院等各國務大臣ノ答辯アリ

一 豫算委員會

一 帝都復興計畫法案委員會

一 臨時物資供給令及同特別會計令委員會

十二月十六日

衆議院

委員會 當院關係ノ委員會左ノ通開カル

一 豫算委員會

一 帝都復興計畫法案委員會

十二月十七日

貴族院

議事經過 前回ノ質疑續行、上山滿之進、勝田主計、藤山雷太、坂本俊篤等各議員ノ質問アリ、之ニ對シ山本、井上、後藤各國務大臣ノ答辯アリ、ソレヨリ議事日程ニ入ル

衆議院

委員會 當院關係ノ委員會左ノ通開カル

一 豫算委員會 質問續行而シテ本日ヲ以テ質問全部終了ス

一 帝都復興計畫法案委員會 質問續行

一 臨時物資供給令及同特別會計令委員會 質問續行而シテ本日ヲ以テ質問全部終了ス

十二月十九日

貴族院

議事經過 議事日程ノ審議ヲ了シ、午前十一時二十七分散會

復興豫算衆議院ヨリ回附サル

衆議院

委員會 當院關係ノ委員會左ノ通開カル

一 豫算委員會 修正可決ス

議事經過 山本委員長復興豫算案ノ討論ニ入ルヲ宣シ、復興豫算ヲ議題ニ供ス、島田委員復興豫算ニ

對シ修正意見ヲ述フ要旨左ノ如シ

復興計畫ニ關スル豫算ノ内容ヲ見ルニ之ヲ大別シテ事業費、事務費トナス可ク更ニ事業費ヲ大別シテ土地整理ノ費用及街路ノ修築ニ關スル費用等種々ニ分タレ其ノ他自治體ノ事業ニ對スル補助或ハ貸付金等ノ項目ヲ含ム而シテ茲ニ修正セントスルモノハ事業費中ノ土地整理ノ費用及街路ノ費用並事務費ニ對スル三點ナリ

政府ノ計上セラレタル所ヲ見ルニ計畫中土地整理ニ關スル費用ハ東京及横濱ノ部分ヲ合算シテ四千五百數萬圓ナリ此内東京ノ部ニ於テ三千七百七十五萬圓横濱ノ部ニ於テ三百九十一萬七千圓合計三千五百六拾六萬七千圓ノ削減ヲナサントス蓋シ政府原案ニヨレハ地區ノ整理ハ總テ之ヲ政府ニ於テ實行セントスルモノナルモ事實ニ於テ政府ノ説明ノ如ク簡單ニ之ヲ實行シ得ルモノニ非ス又質問應答ニ於テ現レタル地區ノ整理ニ付受益者ヲシテ土地ノ一部分ヲ提供セシムルハ所有權ノ關係ノ意味ニ於テ問題ノアル所ナリ更ニ政府ニ於テハ外國ノ實例ヲ引用セラレ種々論スルモ我國ニ於テハ斯ノ如キ事業ノ經驗極メテ少ナシ即チ都市計畫法ニヨリ淺草其ノ他ノ燒跡ノ地ニ對シ地主ノ任意ニヨル組合ノ意見ニ基キテ行ヘル土地區劃整理ノ實驗アルノミ政府自ら實行シ又法律ノ力ヲ利用シテ行ヘル實例ナシ仍テ吾人ノ考フル所ニ於テハ頗ル此事ハ困難ニシテ簡單ニ實行シ難キ事ナリト信ス故ニ此點ニ於テ吾人ハ實行可能ニシテ且疑問ノ少ナキ方法ヲ採用スルノ意味ニ於テ地區ノ整理ニ關シテハ大體現行法ノ趣旨ニ從ヒ地主組合ヲシテ之ニ當ラシムル方針ヲ採用シ唯政府カ街路ヲ修築スル場合必要已ムラ得サル地區ノ整理例ハ買上ケタル土地ノ殘地處分等ニ依ル地區整理ハ之ヲ認ムルコトトセリ即原則トシテハ土地整理ハ之ヲ地主組合ノ任務トシ地主組合ヲシテ之ヲ爲サシムル方針ノ下ニ土地整理費中政府カ其街路修築ヲ

ナス關係上必要ナル部分ト認ムルモノヲ除キ其ノ他ノ部分ハ之ヲ削減セント欲ス要之吾人ノ土地區劃整理ニ對スル修正意見ハ土地區劃整理ヲ否認スルモノニ非ス必要又實行可能ナル部分ハ政府ヲシテ爲サシメ其ノ困難ナル部分又短期間ニ於テ爲シ遂ケ難キ部分ニ付テハ地主組合ノ自治ニ任スルヲ其ノ原則トスルモノナリ此意味ニ於テ東京ニ於テ凡ソ百萬坪横濱ニ於テ凡ソ三十萬坪合計百三十萬坪前後ハ政府自ら街路修築ニ伴ヒ必要已ム可カラサルモノトシテ之ヲ認メ其以外ノモノハ之ヲ地主組合ヲシテ爲サシメントスルノ趣意ナリ依テ前述ノ如ク三千五百六十六萬餘圓ヲ削減セント欲ス

街路費ニ付テハ其ノ幅員廣ク政府既ニ調査シ其ノ費用ヲ計上シ得ルモノ例ハ幅員十二間以上ノモノノ如キハ政府自ら之カ修復ニ任スルヲ當然トスレトモ概算ノミヲ政府ニ於テ示セル十二間以下ノ幅員ヲ有スル道路ニ付テハ自治體ヲシテ之ニ當ラシムルヲ本則トス可キモノト考フ蓋シ復興事業ノ必要ハ固ヨリ論ナキ處ナレトモ之カ爲ニ政府カ悉クノ復興事業ヲ自己ノ手ニ於テ爲ササル可カラストナス結論ヲ生ミ出スモノニ非ス獨立セル自治體アル以上其ノ權能ニ委シテ爲サシム可キ事ハ之ヲ能フ限リ爲サシメ而シテ之ヲ援助スルノ方針ニ出ツヘキナリ斯ル趣旨ニヨリ大體ニ於テ東京横濱ヲ通シ凡ソ二割ノ經費ヲ削減シ得ト信ス即チ此二割減ノ經費ニ依テ充分事業ヲ完成シ得ルノ確信ヲ有ス固ヨリ其十二間以下ノ道路ノ修復ヲ自治體カ爲スニ當ツテ之ニ何等カノ援助ヲ爲スハ當然ナリ二割ヲ削減セントスル結果東京ニ於テ六千四百三十六萬四千六百圓横濱ニ於テ六百三十四萬五千六百圓合計七千七十一萬二千二百圓ヲ削減セント欲ス

此他事業費ノ部分ニ於テ例ハ防火設備地域内ニ於ケル建築物ニ對スル補助ニ關シ政府ハ二千萬圓ヲ計上スルモ此金額ヲ以テ果シテ完全ニ其ノ補助ノ目的ヲ達シ得ルヤ否ヤ疑問アリ其ノ他ニ

付テモ疑點存スト雖暫ク之ヲ認容シ主ナル二點即チ土地整理及街路費ニ付テ修正ヲ加ヘタルナリ
以上ノ削減額ヲ合計スレハ即チ各年度ニ亙リ繼續シテ合計一億六百三十七萬七千二百圓トナル
ヘシ

次ニ復興ニ關スル事務費ニ付テ政府ハ復興院費用トシテ各年度ニ亙リ合計二千三百九十三萬一
千圓ヲ要ストナシ大正十二年度ニ於テ七十萬二千四百十圓ヲ要求ナル吾人ハ此費用全部ヲ削除
スルノ意見ヲ提出スルモノナリ此ノ削除ハ一面茲ニ吾人カ修正ヲ加ヘタル金額ニ屬スル事業ヲ
遂行スルニ付テハ復興院ノ如キ特別ノ機關ヲ設クルノ要ヲ認メス他面斯ノ如キ土木事業ニ對シ
テ堪能ナル官廳既ニ存ス内務省ノ如キ土木建築ノ仕事ニ付キ充分經驗アル官吏ヲ有ス故ニ内務
省ノ一局トナシテ執行スルモ何等ノ支障ナキノミナラス寧ロ適切ナル可シ

以上修正意見ヲ述ヘタルニ對シ近藤委員大田委員等種々質問ヲ試ミ之ニ對シ
島田委員 復興計畫法案ニ對シテハ相當ナル修正ヲ加ヘ大體ニ於テ現行ノ都市計畫法ニ基キテ行
フ精神ナルコト又街路ハ其ノ費用中ニ削減ヲ行フノ結果其ノ範圍内ニ於テ政府カ其ノ幅員等ヲ
充分取捨ス可シトノ趣旨ナルコト又道路及地區整理ヲ自治體ヲシテ之ヲ行ハシムル場合ニハ相
當ノ補助ヲ爲スヘキ要アルヲ認ムルモノニシテ其ノ額程度等ニ付テハ政府ノ提案ヲ待ツモノナ
ル

旨ヲ答フ次テ田川委員二削減ノ計數的質問ヲ試ミ島田委員之ニ答フル所アリ
三木委員修正案ニ依リ自治體ノ負擔及之ニ對スル東京市現在ノ財政ニ關シテ詳述シ事業ノ遂行ヲ
妨害スルモノナリト論ス島田三土兩委員之ニ應答シ山本委員長又之カ説明ニ當ル
森下委員區劃整理ヲ地主組合ニ行ハシムル方可ナリトノ説明ノ根據ヲ質シタルニ對シ島田委員簡

單ニ斯クスルコトノ實行上可能ニシテ且多大ノ利益アル旨ヲ述フ

守屋委員 修正案ニ對シ大體贊意ヲ表スルモノニ三修正シ度キ點アリ即行政整理ノ意味ニ於テ帝都
復興院費ニ相當ナル整理ヲ加フ可キモノト信シ本年度ニ於テ四萬四千二百六十一圓ノ削減ヲナ
シ帝都復興事業費中其ノ土地區劃整理ニ於テ政府ハ土地所有者ニ一割ヲ無償提供セシムルモノ
ナルヲ一割五分トナシ此ノ五分ニ對シ豫算面ヨリ三百十一萬四千圓ヲ削除セリトテ其ノ計數的
立脚點ヲ詳述シ一面行政整理ノ見地ヨリ他面復興ニ依ツテ多大ノ利益ヲ受クル所ノ受益者ニ對
シ相當ノ負擔ヲ掛クルモ差支ナシ

トノ見地ヨリ更ニ修正案ヲ提出ス

下岡委員 吾人ハ政府原案ヲ完全ナルモノナリトハ見サルモ四圍ノ狀態ヨリ推測シ政府ハ責任ヲ
以テ復興事業ヲ遂行セントスルモノナルカ故ニ之ニ贊成スルモノナリ

鳩山委員復興事務費削減ニ關シ質問ヲナス宮尾政府委員之ニ關シ述フル所アリ鳩山委員更ニ本修
正案ニ對シ政府ノ所信ヲ質問シタルニ對シ山本國務大臣之ニ答フル所アリ次テ近藤委員島田案ノ
立論根據甚タ薄弱ナルヲ述ヘ政府原案ニ贊成ス田川小川兩委員間ニ更ニ削減ニ關スル計數的質問
應答アリ

山本委員長 採決ニ入ル旨ヲ述ヘ贊否ヲ起立ニ問ヒ多數ニテ島田委員ノ修正案可決ス
島田委員左記ノ如キ決議ヲ提出シ意見ヲ述フ

決議 政府ハ速ニ行政整理ヲ斷行シ確實ナル財源ヲ得以テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト共ニ勤儉

節約ノ範圍ヲ示シ同時ニ經濟復興ニ關シ更ニ進ンテ適當ノ施設ヲ爲スヘシ

大田委員贊成意見ヲ述フ之ニ對シ山本委員長ハ贊否ヲ起立ニ問ヒ滿場一致ト認メ可決ス

一 臨時物資供給令及同特別會計令委員會 承諾ヲ與ヘサルコトニ決ス
議事經過 田邊委員長質問終了討論ニ入ル旨ヲ述ヘ

一宮委員 本令ヲ存続スルノ必要ヲ認メス震災後ノ取引機關其ノ他中止ノ場合ニ於テ幾多ノ罹災民ノ爲ニ生活必需品ヲ供給スルハ臨機ノ處置トシテ必要ナル可シト雖震災後既ニ數十日ヲ經過シ交通通信其ノ他取引ニ必要ナル機關既ニ平時ニ復舊シ居レル今日ニ於テハ商業上ノ取引關係ハ寧ロ之ヲ當業者ニ委シ政府ハ單ニ此ノ取引ノ障礙トナルヘキモノヲ除去スルコトニ努力セハ復興ニ必要ナル諸材料及生活ノ必需品ヲ供給スルニ何等遺憾ナキモノト考フ殊ニ經驗少ナキ官廳カ物資ノ購入ニ當ルハ却テ幾多ノ不便アル可ク貿易品ニ關シテハ海外ニ於テ多年ノ取引關係ヲ有スル幾多ノ當業者アリ故ニ寧ロ是等ニ諸材料ノ輸入等ヲ委シ政府ハ適當ニ監督スルニ止ム可キモノト考フ當業者カ暴利ヲ貪ルカ如キニ對シテハ相當監督ノ途アル可ク又一面ニ於テ本令ハ民間當業者ヲ壓迫スルモノト云フ可シ

藤井委員 本令存続說ヲ有ス未タ世情常態ニ復セス既ニ過去三箇月間本令ノ効果アルヲ認メタル以上暫ク之ヲ存続スヘキモノト信ス唯之カ運用ニ關シ政府ハ充分ノ注意ヲ以テナスヘシ

高田委員承諾ヲ與フヘカラストテ一宮委員ノ說ニ同意シ矢野委員又高田一宮兩委員ノ說ニ贊成ス

松本政府委員 本令發布當時ヨリ政府ハ民業壓迫ニ關シテハ深キ注意ヲ拂ヒ居レリ今日迄政府ノ買入レタル物資若ハ其買入方法カ民間當業者ヲ壓迫シタリトノ非難ヲ受ケタルコトナシ特ニ木材鐵材等ニ付テハ復興院ニ於テ其ノ數量及價格ヲ發表スルニ及ヒ間モナク其ノ價格餘程下向

トナリ來レリ現在復興院ニ於テ考ヘ居ル程度ニ於テ本令ヲ施行セハ決シテ民間ノ取引ヲ阻害スルモノニ非ス却テ之ヲ助長スルコトトナル可シ蓋シコハ輸入商仲買商等ノ關係ヨリ見タルニ非スシテ實ニ需要者側ヨリ見タルモノナレハナリ又本令ノ存続ハ大正十四年三月ヲ以テ適當ト信ス更ニ經驗ナキ官廳カ之ヲ行フトシテ憂ヘラルルモ特殊専門ノ智識經驗ヲ有スル者ヲシテ現ニ實務ニ參畫セシメアリ尙當局ハ最善ノ努力ヲ以テ供給令ノ目的ヲ達セシム可キニ付本案ノ存続スヘキ所定ノ期間ハ之ヲ繼續セシメラレ度シ

矢野委員ヨリ之ニ對シ民業壓迫ニ關シ述フル所アリ田邊委員長採決ニ入ル旨ヲ宣シ本令ニ承諾ヲ與ヘストナス一宮委員說ノ贊否ヲ擧手ニ問ヒ贊成者多數ト認メ承諾ヲ與ヘサルコトニ決ス

續イテ田邊委員長臨時物資供給特別會計令ヲ議題ニ供スル旨ヲ述ヘタルニ對シ
一宮委員臨時物資供給令ニ對シ承諾ヲ與ヘサルモノナルヲ以テ本令モ亦當然承諾ヲ與フ可カラスト決定スヘキモノナリトノ動議ヲ提出シ而シテ是カ爲ニ使用スヘキ一億圓ノ金額ハ若シ他ニ適當ノ方法ヲ以テ利用シ得ルナラハソハ大ニ罹災民ノ生活品其ノ他ノ救助ノ爲ニモ活用シ得ト考フト述フ

田邊委員長一宮委員ノ承諾ヲ與フヘカラスト云フ意見ニ異議ナシト認メ差支ヘナキヤヲ問ヒ異議ナキヲ認メ一宮說可決

本會議

議事經過 日程ノ審議ニ入り緊急動議ニヨリ復興豫算ヲ議題トス

山本委員長 委員會ニ於ケル經過及其ノ結果並原案修正ノ理由ヲ報告ス(委員會記事參照)大口喜六

君山本委員長報告ニ對シ報告漏アリトテ發言スル所アリ

湯淺凡平君修正案ニ依リ政府ハ帝都復興ヲ爲シ遂ケラルルヤ否ヤヲ質問シタルニ對シ

山本首相 本修正案ハ帝都復興事業實行上ニ於テ將來支障ヲ生スヘキヲ豫想スレトモ目下非常ノ時ナルヲ省ミ政府ハ出來ルタケ忍耐スト回答ス

三木武吉君委員長ノ報告ニ對スル質疑ヲナセシモ議長委員長席ニ在ラサル旨ヲ述ヘ答辯ナシ斯テ討論ニ入り

下岡忠治君 政府原案ノ通り可決スヘキモノナリ共存共榮主義ノ下ニ全國民共同シテ復興ニ當ル可キカ當然ナリ帝都復興カ世界環視ノ間ニアルヲ省ミテ復興ニ猛進ス可キカ吾人ノ義務ナリ特ニ區劃整理ノ如キハ自治體ノ力ヲ以テ速ニ克ク爲シ遂ケ得ラルルモノニ非ス街路費ノ二割減ノ如キハ無意味ノ極ト云フヘシ

更ニ復興院ヲ廢止シ此ノ大企業ヲ内務省ノ一局ノ如キモノニテ行ハシメントスルハ無理ナル可ク到底實際ニ於テ行ハレ難キモノナルヲ唯今ヨリ明言シ置クヲ得復興事業ハ各省ニ關係ヲ有ス之ヲ一内務省ノ所管トナスヨリモ内閣總理大臣ノ下ニ統一シテ特設機關ニ行ハシム可キカ事ノ便宜上ヨリ見ルモ適切ト云フ可シ政府ハ此際斷乎タル決心アル可キモノナリ尙吾人モ國家財政ニ關シ充分考慮ス西伯利亞出兵ノ爲六億ノ金ヲ費消シタルヲ想起スルノ時吾人カ眞ニ協力スル處アラハ必スヤ茲二十年ヲ出テスシテ吾經濟力ハ明ニ恢復シ得ル見込アリ

三土忠造君 六億圓ノ帝都復興計畫ノミニ於テモ現下ノ我國財政上ヨリハ充分考慮ス可キモノト考フ然ルニ之ノミニハ止マラス保險會社ニ對スル貸付等ヲ合シテ約十五億圓ノ公債ヲ發行セントス即チ地方ノ産業發展農村振興等ノ財源ハ擧ケテ之ヲ京濱ニ集注シ以テ復興計畫ヲ行ハント

スルモノナリ

道路費用ニ於テ約二割ノ削減ハ成ル可ク止ムヲ得サル程度ニ之ヲ止メン趣旨ナリ區劃整理ヲ自治體ニ行ハシムルハ全國民ノ膏血ヲ搾ツテ事ヲ爲サントスル際ナレハ東京ノ地主モ亦相當ノ犠牲ヲ拂フヲ當然トス

復興院廢止ニ付テハ名ハ復興ト云フモ其ノ院ニ於テ行フ所ハ都市計畫ニ過キス然ラハ之ヲ内務省ノ一局トスルニ何ノ不可カララン

横山勝太郎君 復興事業ハ單ニ現代ノ國民ニ對シテノミナラス將來ノ國民モ亦其ノ恩惠ニ預ルモノナルヲ以テ充分大計畫ヲ樹立ス可キナリ吾人ハ政府原案ノ餘リニ貧弱ナルヲ慨嘆セルニ政友會ハ更ニ之ヲ縮少セントス吾人ハ他迄原案ヲ維持ス可キモノト信ス

蓋シ修正案ノ土地整理ヲ地主組合ニ行ハシムルト云フハ到底時日ノ遷延ヲ免ルルヲ得ス帝都住民カスカル困憊ノ際土地區劃整理ノ方法ニ於テ假令一日ナリトモ計畫ノ遂行遲延スル事ハ其ノ責許ス可カラス街路費ノ二割減ハ所謂天引ニシテ其ノ削減ス可キ何等ノ理由ト根據ヲ有セス更ニ復興院ハ畏多クモ御詔勅ノ精神ノ在ル所ヲ拜察シ以テ制定シタルモノニシテ詔勅中ノ所謂特殊機關ニ該當スルモノナリトハ總理大臣ノ自ラ言明セラレシ所ナリ又之カ經費ヲ削減スルカ如キニ於テハ御趣旨ノ在ル所ヲ何ト見ラルルヤ

吉植庄一郎君 簡單ニ修正案ニ賛成ヲ述フ

田川大吉郎君 修正案ノ内容甚タ不正確不確實ニシテ之ニ賛成シ得ス簡單ニ政友會ノ修正ニ對シテ其ノ内容ノ不確實ナリト認ムル一點ヲ述フヘシ政友會カ東京市ノ街路計畫ニ對シテ加ヘタル二割ノ削減其ノ金高約六千四百萬圓ニシテ此ノ根據ハ極メテ不確實ナリ蓋シ政友會

ノ組合カ此特別法ニ依テ土地區劃整理ヲ爲ス場合ヲ明ニシタルコト第三ハ都市計畫法ニナキ借地法ニ依ル借地権者ノ同意ヲ土地區劃整理ノ組合ヲ設立スル場合ニ必要トスルコトヲ入レ第四ニ補償審査會ハ内閣總理大臣ノ監督ノ下ニ屬セシテ主務大臣ト改メタリ而シテ本法ノ内容カ殆ト全部土地區劃整理ニ關スルモノニシテ一般都市計畫法ノ特別規定タルヲ以テ法案ノ名稱ヲ變更セリ其ノ結果第一二條ノ修正現ハレ第三條ニ於テ行政廳又ハ公共團體カ施行スルト云フヲ除キタルハ行政廳又ハ公共團體ノ外ニ土地所有者及地主組合ノ都市計畫法ニ依ツテ區劃整理ヲ爲ス場合ニ當ツテ此特別法ニ依ツテ——土地區劃整理法ニ依ツテ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ制限セラレヌ又換地處分ニ付テモ特別ナル場合ヲ適用スルノ途ヲ開キタルナリ第四條ノ追加ハ都市計畫法制定當時ニ於テハ借地法ノ發布ナキ爲借地權ヲ法律上認め得サリシナリ故ニ今回ノ如キ場合ニ於テハ借地権者ノ權利ヲ重シシ其ノ同意ヲ得セシムルヲ以テ適當ナリト考ヘタル爲ナリ第五條ノ修正ハ第三條修正ノ結果ナリ又舊第七條修正後ノ第八條ハ土地區劃整理ノ爲受益者ニ所有地ノ一割ヲ提供セシムルモノナルカ之ニ關シテハ一割五分ヲ提供セシム可シトノ説アリシモ原案通り一割ト定メタリ蓋シ十二間以上ノ道路ヲ國ニ於テ十二間以下ノ道路ヲ公共團體ニ於テ施行セシムルコトト修正サレタル結果國カ土地區劃整理ヲナス處ト其ノ以外ノ區劃整理ヲ爲ス處トヲ生シ國ニ於テ區劃整理ヲ行フ箇所ニ一割五分ノ無償提供ヲ爲サシムルハ酷ナリトナシ原案通り一割トナシタリ修正第十條ノ補償審査會ハ復興院ノ廢止ノ爲之ニ代ル可キ關係ヲ有スル内務省ニ於テ復興計畫事業ノ遂行ニ要スル機關ヲ設置スレハ可ナリトノ意見アリ之ヲ主務大臣監督ノ下ニ移セリ

作問委員 土地區劃整理ニ付テ十二間以上ノ道路ニ面スル部分ハ國ニ於テ之ニ當リ十二間以下六

間以上ノ道路ニ面セル部分ハ地方自治體ヲシテ之ニ當ラシムトノ意見ナルカ此複雑ナル東京ノ道路ニ於テ例ヘハ一方ハ十二間以上ノ道路ニ面シ他方ハ十二間以下ノ道路ニ面スト云フカ如キ場合ニ於テ其ノ部分ノ土地區劃整理ハ主トシテ國ニ當ラシムルヤ自治體ヲシテ之ニ當ラシムルヤ等其ノ經營經費ノ分擔等ニ付疑問アリト述ヘ次テ

小橋委員 作問委員ノ質問ハ本法案ソノモノノ問題ニ非スシテ實ニ實施上ノ問題ナリ本問題ハ實施ニ當ル公共團體或ハ之ニ對スル助成ノ關係ヲ有スル政府ニ於テ適當ナル調査ヲ爲シ決定セラ

ルルナラント信ス

作問委員更ニ質問スル處アリ小橋委員之ニ應答ス

關委員 補償審査會ノ「關係府縣市委事會員」トアルヲ今少シ増加シ十人トナシ得サルヤ

高橋委員長協議會ニ入ツテハ如何ト提議シ協議會ニ入ル再ヒ討論ヲ進行シ

作問委員原案維持ヲ力説シ即法案名改稱ハ形式上ノ問題タリ土地區劃整理ヲ組合ニ依テ爲サントスルハ地主ノ關係借地權ノ關係ソレニ絡マル借家人ノ土地使用權等種々複雑シ徒ニ紛争ヲ來シ復與ノ促進ヲ阻碍スルノ虞アリトシ尙復興院存置ノ必要ヲ述フ湯淺委員又組合ヲシテ土地區劃整理ヲ敏速ニ行ハシメ難キ理由ノ下ニ修正案ニ反對ス

上島委員修正案ニ賛成意見ヲ述フ

高橋委員長採擇ニ入ル旨ヲ述ヘ小橋委員ノ修正案ニ賛成スルモノノ起立ヲ求メシニ多數依テ修正案通過可決ス

特別都市計畫法(修正案)

第一條 本法ニ於テ特別都市計畫ト稱スルハ東京及横濱ニ於ケル都市計畫ヲ謂フ

第二條 行政官廳特別都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係公共團體ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三條 土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ拘ラス建物アル宅地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得

土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第三十一條ノ規定ニ拘ラス換地處分ヲ爲スコトヲ得

第四條 土地區劃整理ヲ施行スル爲メ土地區劃整理組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テ土地所有者同意ヲ爲スニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ借地法ニ謂フ借地權者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ借地權者ハ登記ナキモ耕地整理法第二條ノ二ノ規定ニ依リ前項ノ組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

第五條 行政廳又ハ公共團體カ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ設計換地處分及第八條第一項ノ補償金ノ配當ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者及借地法ニ謂フ借地權者ヲ以テ組織スル土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム

第六條 前條ノ土地區劃整理施行ノ爲メ必要アルトキハ換地豫定地ヲ指定シテ土地區劃整理施行地區内ニ存スル建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ少クトモ三月前ニ所有者及占有者ニ其ノ旨ヲ豫告スヘシ

所有者又ハ占有者カ前項ノ移轉ニ因リテ損害ヲ受ケタルトキハ其ノ通常受クヘキ損害ニ限リ之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依ル補償金ハ補償審査會之ヲ決定ス

耕地整理法第二十五條並土地收用法第八十二條第一項及第二項ノ規定ハ第二項ノ規定ニ依ル

補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第七條 第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路廣場運河其ノ他ノ公共ノ用ニ供スヘキモノト爲リタル土地ハ其ノ施行ニ要スル費用ヲ負擔スル國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入ス

前項ニ規定スル土地ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル其ノ編入ニ關シテモ亦同シ

第八條 第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ土地區劃整理施行地區内ニ於ケル施行後ノ宅地ノ總面積カ施行前ノ宅地ノ總面積ヨリ一割以上ヲ減少スルニ至リタルトキハ其ノ一割ヲ超ユル部分ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付スルコトヲ要ス

前項ノ宅地トハ勅令ニ依リ公共ノ用ニ供スル土地ト定ムルモノ以外ノ土地ヲ謂フ

第六條第三項及第四項ノ規定ハ第一項ノ補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第九條 都市計畫法第十三條第二項ノ規定ハ第五條ノ土地區劃整理ニ之ヲ準用ス

第十條 補償審査會ハ主務大臣ノ監督ニ屬ス

補償審査會ハ會長一人及委員十四人ヲ以テ之ヲ組織ス

- 會長ハ關係各廳高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ主務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ主務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 一 關係各廳高等官
- 二 關係府縣高等官
- 三 關係府縣市參事會員
- 四 學識經驗アル者

ヲ得ス

補償審査會ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

第十一條 都市計畫法第二十三條乃至第二十六條ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ之ヲ準用ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本會議

議事經過 當院關係ノ議事左ノ通

一 臨時物資供給令及同特別會計令(承諾ヲ求ムル件) 委員長田邊熊一君ヨリ委員會ノ經過並其ノ結果ノ報告アリ討論モナク報告通承諾ヲ與ヘサルコトニ議決ス

一 帝都復興計畫法案 委員長高橋光成君委員會ノ經過及其ノ結果並原案修正ノ理由ヲ報告ス討論ニ入り

作間耕逸君 修正案ヲ見ルニ(一)法案ノ名稱改稱(二)副員十二間以下ノ道路ニ關係アル土地區劃整理ニ付テハ地主借地人ヲシテ土地整理組合法ヲ設立セシメ其ノ整理ニ當ラシメ(三)補償審査會ハ復興院ノ廢止ニ依リ其ノ主管ヲ內務省ニ移スト云フ惟フニ第一ノ法案名稱變更ハ其ノ名實伴ハストナス爲ナリト云フモ、カカル變更ハ事形式ニ屬シ此場合カカル形式論法律ノ名稱迄モ爭フ可キ餘裕存スルモノニ非ス次ニ十二間以下ノ道路ニ係ル土地ノ區劃整理ヲ地主若ハ借地人ヲシテ組合ヲ作ラシメ之ニ依テ爲サシメントスルハ實際ノ事情ニ通セス一坪ノ時價數百圓ヲ稱フル東京市ノ燒跡ヲ平時ノ耕地其ノ他地方ニ於ケル空地ノ處置ニ對スルト同様ノ方法ヲ以テ律セントス

ルハ全ク罹災地域ノ實狀並罹災者ノ心理ヲ解セサルモノナリ恐ラクハ是カ爲ニ復興事業ノ進捗ヲ阻害サルコト甚タシカル可シ又補償審査會ヲ內閣ヨリ內務省ニ(復興院カ廢止サレントシタル關係上)其ノ主管ヲ移サントスルニ到レルモノナルカスル事モ亦復興院ノ如キ特殊ナル機關ヲ存續シテ其ノ善後策ニ當ラシムルヲ最モ適當且必要ナリト確信スルヲ以テ修正案ニ同意シ能ハサルナリ文明各國都市ニ於ケル區劃整理ニ付テハ其ノ前提的必要手段トシテ政府カ特殊ノ立法ヲナシ國家ノ協力又ハ公共團體ノ權力ヲ以テ斷行サレタルモノナリ

トテ普魯西ノ各都市希臘「サロニカ」市ノ實例ヲ引證シ政府カ本案ノ如キ特殊ノ立法ヲ爲サントシタルハ實ニ當然ノ策ナリト論シ又東京市民ハ此ノ帝都復興原案ノ經過ヲ待テツツアルモノナルヲ述ヘ進ンテ實際ノ狀況ニ於テハ十二間以上ト以下トノ間ニ其ノ區別ヲ言フカ如ク簡單ニ區別シ得ルモノニ非スト説ク更ニ論シテ曰ク

既ニ震災後約四箇月ヲ經過ス此間復興院當局カ日夜不眠不休以テ全力ヲ擧ケテ此ノ計畫ヲ作成シタルヲ僅ニ二三日ノ審議ニ依ツテカカル計畫ヲ根本的ニ變更セントスルハ恐ラク此貴重ナル過去四箇月ヲシテ無益ニ經過セシメタルコトトナル可キナリ

添田敬一郎君 政府ノ提案ハ東京橫濱ノ都市計畫事業ノ殆ト總テヲ政府ニ於テ之ヲ執行セントスル案ナルモ余ハ之ヲ或ル程度迄ハ政府若ハ公共團體ノ力ニ依ツテ爲サシメ而シテ罹災者ヲシテ其ノ自ラ爲シ得ル程度ニ於テ之ヲ自ラノ執行ニ委セシムルヲ可ナリト考フ而シテ之ヲ執行セシムルコトハ眞ニ彼等ヲシテ自覺セシメ以テ復興セシムル所以ナリ

區劃整理組合ニ付テハ地上權ノ關係モアリ、借地借家ノ關係モアリ頗ル複雑シ居ルヲ以テ其ノ執行頗ル困難ナルヲ認ムト雖東京市民カ自ラ奮起シテ組合ヲ作ルコトハ難テ復興ニ大ナル好影響ヲ與フルモノナリ更ニ復興院ノ廢止ト共ニ從來復興院ニ職ヲ執リ來リシ所ノ職員ノ不眠不休ノ

努力ニ依ツテ本案ヲ作製セルモノナルヲ認ムト雖此ノ土地整理ニ關スル實際ノ設計ハ未タ完成セルモノニ非ス故ニ是等ニ修正ヲ加フルモ今日迄ノ計畫ニ阻格ヲ與ヘ更ニ時日ヲ要スルコトナシ殊ニ計畫法案ノ修正ハ専ラ地主組合ソレ自身ノミニテ行ハシメ他ニ途ナキニ非ス若シ不可能ノ場合ニ於テハ公共團體力之ヲ爲スモ差支ナキモノナリ

湯淺凡平君 昨日ノ豫算問題ニ對シテハ多額ナル原案ニ對スル削減ニ依ツテ帝都復興計畫ハ著シク阻害サレタルハ事實ナリ然レトモ是レモ亦一面ヨリ考フル時ハ一方ニ於テハ削減シタリト雖尙他方ニ於テ之ニ與フル餘地ヲ存ス然ルニ本修正案ニ至ツテハ程度ノ問題ニ非スシテ實ニ主義ノ問題ナリ

帝都復興計畫ハ徒ラニ文化經濟及政治ノ復興ノミヲ遂行シ居ルモノニ非ス實ニ是レ人道問題タルナリ吾人カ今次ノ震災ニ依リ體驗シタル慘害及大患慘事ハ震災ニヨルヨリモ寧ロ火災カ其ノ原因タリ本計畫ハ此大原因タル火災ヲ防止セントスルモノニシテ此ノ方法タルヤ實ニ土地區劃整理ノ方法ナリ區劃整理ノ方法目的ハ種々アリト雖其ノ主タル目的ハ火災防止ニアリ從テ此目的小速ニ遂行スヘキモノナリ然ルニ之ヲ地主借地人等ノ組合ニ行ハシメ果シテ完全ニ之ヲ爲シ得ルヤ否ヤハ疑問ト云フヘシ實ニ國家ノ力ヲ以テスルモ尙且困難ナリトナス區劃整理ヲ單ナル組合ノ協議ニ依ツテ迅速ニ執行シ得ラルモノニ非ス國家非常ノ災害ニ對シ若シ國家ニ非常權ヲ行使スルノ必要アリトスル場合アリトモハ正ニ此時ナリ吾人ハ最モ徹底的ニ其目的ヲ達セサル可カラサル場合ニ當ツテ尙且修正意見ヲ出スカ如キハ徒ニ地方ノミヲ顧ミテ罹災地ノ實情ヲ顧ミサルモノト信ス依テ之ニ反對ス

議長討論終結採決ニ入ルヲ宣シ之ヲ起立ニ開フ結果多數ニテ修正案可決

十二月二十一日

貴族院

議事經過 帝都復興計畫法案議題トナリ山本首相提案ノ理由ヲ説キ引續キ質問ニ入り江木翼水野練太郎諸議員ノ質問アリ後藤國務大臣松本政府委員ノ答辯アリ委員附託

委員會 當院關係ノ委員會左ノ通り開カル

一 豫算委員會

一 帝都復興計畫法案委員會

十二月二十二日

貴族院

委員會 當院關係ノ委員會左ノ通り開カル

一 豫算委員會 衆議院ノ修正通可決

議事經過 委員長林博太郎伯討論ニ移ル旨ヲ述ヘ

入條隆正子 衆議院ニ於テ修正セラレタル案ニ賛成ス然リト雖モ之ヲ以テ完全ナルモノト考フルモノニ非ス衆議院ノ修正案ハ土地整理費街路費事務費ニ削減ヲ加ヘタルモノニシテコハ凡テヲ

國ニ於テ執行スル原案ヲシテ地主組合自治體ニ於テナサシメントスル結果ナリ惟フニ土地區劃整理ヲ地主組合ヲシテ行ハシメントスルハ容易ノ事ニ非ス又十二間以下ノ街路ヲ市ニ於テ行ハシメントスルハ今日ノ市ノ財政狀態ニ鑑ミ決シテ容易ノ事ニ非ス而シテ是等ノ修正ニ依テ一億數十萬圓ヲ削減スト云フモ此削減ハ重要ナル土地整理街路等カ前述ノ地主組合自治體ニ於テ容易ニ完成シ得サル時ハ勢ヒ國家カ其經費ヲ補助セサル可カラサルニ到ル可ク其ノ他自治體ニ對

スル利子ノ補給等ヲ加フレハ或ハ削減ノ半額位ハ國家カ之ヲ支出セサル可カラサルニ到ル可シ
 結局一億餘萬圓ヲ削減シタルコトトハナラサル可シ斯ク考フル時ニハ衆議院ニ於ケル修正ハ決
 シテ改善セラレタルモノトナスヲ得ス然レトモ一面政府カ今回ノ復興豫算ヲ提出セルニ當ツテ
 吾人ノ頗ル遺憾トスル點アリ即第一ハ此大ナル復興事業ヲ行フニ付國家ノ財政ト如何ナル調和
 ヲ保チ得ルカト云フ點ニアリ之ヲ知ラントスルニハ先ツ震災ニ伴フ復興事業費又各省ニ於ル復
 興費其ノ他産業復興等有ユル事業ニ對スル總テノ計畫カ同時ニ現ハレサレハ果シテ復興事業費
 カ過大ナリヤ否ヤ判斷シ得サルナリ然ルニ政府ハ單ニ今日ノ財政狀態ニ於テハ十五億圓見當ノ
 公債ヲ募集シ得可ク其ノ範圍ニ於テ復興復舊若ハ産業ノ資金等ヲ按排セントスルモ未タ復興費
 ハ何程ナリヤト云フカ如キ適切ナル説明ヲ聞カス故ニ果シテ復興費ニ幾許ノ經費支出ヲナス可
 キヤ其ノ判斷ニ苦シマサルヲ得ス修正案完全ナラサルコト前述ノ如シト雖政府原案亦完全ナリ
 ト云フヲ得サルナリ從テ吾人ハ充分調査審議スルヲ要ス然レトモ今ヤ會期切迫日無シ然ルニ
 他面市民ハ速ニ復興計畫ノ實行セラレンコトヲ熱望シ居レリ茲ヲ以テ修正案ニ於ケル土地區劃
 整理或ハ十二間以下ノ道路ノ如キハ政府ニ於テ相當ノ補助ヲ與ヘ以テ復興ノ完全ヲ期スルコト
 トシ今日ノ場合已ムナク修正案ヲ通過セシメタキ考ナリ

阪本鈺之助君 政府ハ政府原案ニ復活セシムルヲ欲スルヤ否ヤ

山本首相 此議場ニ於テ等シク衆議院ノ案ノ如ク協議ヲ濟マサルナラハ政府ハ之ニ向ツテ異リ
 タル意見ヲ有セス

阪谷芳郎男 衆議院カ同意セサランコトヲ恐レテ不満足ナル修正案ニ賛成スルニ及ハス吾人ハ飽
 迄是トスル處ニ邁進シ手段ノ限リヲ盡ス可キナリトテ政府原案ヲ復活ス可キヲ力説シ震火災國防

等ノ關係ヨリ都市計畫ノ必要ヲ説キ負擔ニ耐ヘサル自治體ヲシテ十二間未滿ノ道路ヲ行ハシムル
 ハ所謂半身不隨ノ案ナリトテ極力反對ス
 渡邊千冬子修正案ニ賛成意見ヲ述フ復興ハ一日モ速カナラサル可カラス又阪谷男ノ説ノ如ク衆議
 院ニ送付スルモ原案復活ハ不可能ナル可シト結フ

阪本鈺之助君 阪谷男ノ説ニ賛成スル旨ヲ力説シ服部一三君修正案ニ賛意ヲ表シ

河村讓三郎君 討論終結ノ動議ヲ提出ス

岡田良平君 阪谷男説ニ賛ス修正案ニテハ到底土地區劃整理ヲ完成シ得ス十二間以下ノ街路ヲ自
 治體ニ委スモ亦相當ノ補助ヲナササル可カラス修正案ノ如ク經濟上ノ利點ナシ又復興院ハ御詔
 勅ノ趣旨ニ基ケルモノナリ徒ニ之ニ代ル可キ機關ヲ置クヘシ等ト述フルカ如キハ不敬ノ言ト云
 フヘシ復興院庭大ナルカ故ニ其ノ經費ヲ削除スト云フモ若シ庭大ナラハ削減スヘキモノニシテ
 全部削除スルノ理由ヲ見ス殊ニ斯ル官制ヲ設クルコトハ天皇ノ大權ニ屬シ議院ニ於テ之ヲ獨立
 ノ機關トシテ存置スヘカラス内務省ノ一局トスヘシト云フカ如キハ大權ヲ犯スノ恐アリ輕々シ
 ク之カ削除ニ賛成スヘキニ非ス又會期切迫ノ際ニ重要ナル法案カ貴族院ニ廻付ナレ貴族院カ自
 個ノ權能ヲ發揮セントスレハ重要ナル案ノ不成立ニ終ルヲ恐レ泣ク々々此案ニ賛成スト云フカ
 如キハ極メテ惡例ナリ貴族院ハ其ノ權能ヲ發揮スヘキナリ

大谷嘉兵衛君 政府原案ニ賛ス

江木千之君 討論終結ノ動議提出委員長林博太郎伯贊否ヲ起立ニ問ヒ衆議院修正案多數ニテ可決

一 帝都復興計畫法案委員會 衆議院修正通可決
 議事經過 午前質問終リ午後討論ニ入ル

委員長松本宗隆伯衆議院ノ修正案ヲ議題トシ遂條審議ヲ省略シ全部ヲ議題ニ供スル旨ヲ述フ
 斯波忠三郎男、衆議院ノ修正案ニ反對シ度シ此第四條カ挿入サレタル結果今回ノ帝都復興ノ核子
 トモナル可キモノカ没却サルル虞ナキヤヲ感ス、今回ノ帝都復興ハ實ニ帝都百年ノ遠大ナル計畫
 ニ關ス然ルニ行政廳主トシテ之ヲ行フ點ヲ没却スレハ何時ノ日ニカ完全ナル帝都ノ復興ヲ望ム
 ヲ得ヘキ又帝都復興ニ關シ地方民ノ如キハ或ハコハ帝都ノ美觀ヲ添フル爲ニ斯カル計畫ヲ爲ス
 モノノ如ク一部ニ誤解セルモノアリト云フ、是ハ甚ク誤レル考ニシテ帝都ノ復興ハ將來日本國ノ
 帝都ナルノミナラス五大國ノ一トシテノ帝都ヲ復興セントスルモノニシテ本計畫ニ於テ美觀ノ
 如キハ末ノ問題ナリ實ニ經濟的ナル都市計畫ヲ徹底的ニ行フヲ其ノ眼目トス從テ此際行ハス
 ハ將來到底爲シ能ハサルカ如キコトハ此際速ニ斷行スヘキモノト考フ、故ニ政府原案第三條ノ「行
 政廳又ハ公共團體」ヲ削除スルカ如キハ甚シキ支障ヲ將來ニ起スモノト考フ、若槻君、藤山君、伊澤君
 其ノ他ノ質問ニ對シ政府ニ於テモ組合ニ依テ整理タル區劃整理ヲ斷行スルハ到底難シト考ヘラ
 ルルカ如シ、果シテ然ラハ本修正案ハ帝都復興ノ核子ヲ没却スルモノニシテ此見地ヨリ衆議院修
 正案ニ反對シ政府原案ニ復スヘキモノト信ス

伊澤多喜男君 斯波君說ニ贊シ政府原案ニ復スルヲ望ム、帝都復興計畫法ハ大體例外的ノ法律ニシ
 テ今回ノ震災ニ當リ已ムヲ得ス、斯ル非常法ヲ設ケタルモノナリ、從テ其ノ適用ノ範圍ヲ狭クスル
 ハ當然ナリト考フ、然ルニ衆議院ノ修正ニ依ルトキハ「行政廳又ハ公共團體」ヲ削レル結果、土地整理
 組合ノ如キモノカ此第三條ノ規定ノ中ニ挿入サルルコトナレリ、是ハ容易ナラサルコトニシテ
 耕地整理法第四十三條ニ於テ建物ノ存スル宅地ヲ除外シタルハ元來建物ノアル宅地等ヲ一私人
 ノ集リナル整理組合ノ決定ニ依テ、區域内ニ入ルルカ如キハ重大事ナリト考ヘシカ故ナリ行政廳

又ハ公共團體ハ相當ナル信用アルカ故ニ是ノミヲシテ行ハシメントスルモノニシテ、整理組合等
 ニ斯ル大ナル權力ヲ與フヘキモノニ非ス、然ラスンハ上述ノ如キ危險生ス可シ、更ニ本法ハ燒失セ
 サル山手地方ニモ施行サルルモノナルカ故ニ所謂三分ノ二ノ人々ニ依ツテ整理組合ヲ作り而モ
 如何ナル建物カ其ノ範圍ニ存スルモ普通ノ組合ノ規約ニ依リ組合ノ決議ニ從テ施行サルルノ危
 險ヲ存ス、依テ修正案ニ反對スルモノナリ、尙第七條ヲ削除スヘキ意見ヲ有ス、從來吾國ニ於テハ土
 地區劃整理或ハ耕地整理ヲ行ヒタル結果公用ニ供スル土地アル場合ニハ全部是ヲ無償ニテ國有
 ニ歸セシメツルアリ今回ノ震災ニ依リ地主ハ比較的損害少ナシ而シテ區劃整理後地價ノ騰貴ハ
 著シキモノアルヲ考ヘ、第七條ヲ削除スルノ意見ヲ提出ス

和田彦次郎君 政府原案ニ對シ衆議院ニ於テ修正シタル以上必ス之ニ盲從スヘキモノニ非サルハ
 明ナリ、又政府原案ノ施行ヲ望ムモノナルモ既ニ此修正案ノ意思ニ基イテ豫算ニモ影響ヲ來シ居
 レリ、而シテ此場合政府原案ニ贊スルモノ之ヲ行フ豫算ナシ、サレハ此ノ案ヲ以テ満足スルモノニ非
 サルモ寧ろ之ヲ通過セシムルヲ帝都復興事業ニ忠實ナル所以ト信ス

永田秀次郎君 衆議院修正ニ對シ余ハ贊成セサルモ先刻政府ノ言明セラレタル如ク本修正ニ依テ
 決シテ政府ハ行政廳又ハ公共團體カ此ノ都市計畫ヲ爲スヲ不可能ナラシムルモノニ非ス何時ニ
 テモ之ヲ爲スコトヲ得ヘク殊ニ公共團體カ之ヲ爲スニ際シテ政府カ別ニ補助ヲ與フルコトニ關
 シ何等拘束ヲ受クルモノニ非ストノ言明ヲ信シ、カカル趣旨ナラハ之ニ贊スルモ差支ナシト考フ、
 此會期切迫ノ際混雜ヲ起スモ如何ト信シ修正案ニ贊ス
 若槻禮次郎君 斯波君ノ議論ニ贊ス、和田君ハ今日衆議院ヨリ送付サレ居ル豫算ハ實行不可能ナル

カノ如キ意見ヲ以テ豫算カ合ハサル以上此法律ハ變フ可カラストノ論ナリシモ、ソハ全然關係ナキコトニシテ政府原案ト雖細部ニ涉ツテハ必スシモ國ナリ公共團體カ行ハストモ可ナル如クナリ居レリ、ソハ唯豫算ノ如何ニ因テ金無ケレハ行ハス有ル所迄之ヲ行フト云フノミニシテ豫算ノ金額カ縮少サレタリト云フモ此法律ヲ變更スル必要ナシ

藤山雷太君 修正案ヲ認ムルトキハ土地區劃整理ノ完全ナル遂行如何ヲ疑フモノナルモ政府ハ之カ施行ニ充分誠意ヲ有セラルルモノナルヲ信シ此場合已ムヲ得ス修正案ニ賛成ス

委員長松本宗隆伯斯波君ノ修正說ニ對シ賛否ヲ問フ、少數ニテ否決原案ニ付賛否ヲ問フ、賛成多數ニテ可決

十二月二十三日

貴族院

議事經過

一 帝都復興計畫法案

委員長松本宗隆伯委員會ノ經過及其ノ結果ヲ報告シ其ノ報告通可決

一 復興豫算

委員長林博太郎伯ヨリ豫算委員會ノ經過及其ノ結果ノ報告アリ、(委員會記事參照終ツテ德川議長阪谷男爵ヨリ三十名ノ賛成ヲ以テ提出サレタル修正案政府案)ヲ議題ニ供シ提出者ノ説明ヲ求ム

阪谷男爵 豫算委員會經過報告ニ對シ余ハ反對セサルヲ得サルナリ、茲ニ已ムヲ得ス定規ノ賛成ヲ得テ豫算修正ノ動議ヲ提出セル所以ナリ、既ニ帝都復興計畫法案通過ノ今日日本員ノ主張スル立場

甚タ困難トナレリ豫算ト法律トノ連絡アル場合ニ豫算ヲ先ニスルヤ、法律ヲ先ニスルヤニ付テハ屢々議論ノ存スル所ナリ、故ニ本員ノ主張カ幸ニ議場ノ容ルル所トナラハ、帝都復興計畫法案ハ他日ノ機會ニ於テ相當ノ修正ヲ加ヘサルヘカラサルニ至ルヘシ議員ノ職責トシテ未タ此處ニ途アル場合其ノ途ノ限リヲ盡シ見ントスル精神ノ存スル所ヲ御諒解願ヒタシ、又政府原案ニ復活スルコトモ決シテ本員ノ満足スル所ニアラス、今少シ完全ニナシタキ希望ヲ有スト雖モ此ノ點ハ憲法ノ慣例トシテ議院ヨリ豫算増加ノ提案ヲナシ得サルカ故ニ原案ニ復活スルノ外途ナキナリ、本日ノ日程ニ本員等ノ更ニ帝都復興ノ計畫ヲ完全ナラシムルニ付テ決議案提出サレアリ幸之カ通過ヲ見ハ政府ニ於テモ大ニ鑑ミル所アツテ此ノ不完全ナル帝都復興計畫ヲ完全ナラシムルノ提案アラシコトヲ本員ハ期待ス、今期ノ臨時議會ハ言フ迄モナク非常ノ場合ナリ、畏多クモ御諒勸ヲ二度モ賜ハルト云フ實ニ容易ナラサル場合ナリ、吾人ハ此ノ非常ナル災害ニ應スルノ處置ヲ充分ニ講セサルヘカラス、然ルニ貴族院トモ云ハス衆議院トモ云ハス上下兩院ヲ通シテ考フルノトキ今日ナシタル所ハ何事ソ、余ハ他日ノ歴史家カ如何ナル筆ヲ取ツテ如何ナル批評ヲ下スヤラ思フノ時甚タ悲シマサルヲ得ス、然ラハ僅カニ最早二十四時間ヲ經スシテ吾カ貴族院ノ權能切レントスル今日ニ於テ切メテ稍々完全ナル復興計畫ヲ始スハ吾人ノ責務ト信ス衆議院ノ修正ニ對シ已ムヲ得ス同意スト政府ハ云ヒ泣ク泣ク同意スト貴族院モ亦云フ、是既ニ衆議院修正案ノ如何ナルモノナリヤヲ證シテ餘アリト云フヘシ、吾人ハカク速ニ失望スルノ要ナシ、來年ハ甲子ノ年、コノ前ノ甲子ハ元治元年ナリコノ年タルヤ始御門ニ於テ刀ヲ携ケテ勤王ノ士カ宮城ニ迫リシ時ナリ、此ノ勇斷決行其ノ先輩ニ孫タル吾人ハ假令二十四時間ニセヨ熟慮復興計畫ヲ完全ニシ以テ後世ノ嗤ヲ少クスルノ考ヲ持ツヘキナリ、惟フニ衆議院ノ修正ニヨレハ殆ト實行不可能ナリ、例ヘハ土地整

理ヲ八百萬圓ニテ行フト云フカ如キハ果シテ可能ナリヤ否ヤ計數ニ通スルノ士ハ明ナリト云フヘシ、政府原案ハ一帶ノ燒失地ヲ整理シ其中ヨリ道路ノ敷地ヲ作り而シテ此ノ道路ニ而シタル住民ニハ其權利ヲ保存スト云フ立前ニシテ全部ヲ通シテ土地ヲ整理シ其ノ一割ヲ以テ行フ案ナルヲ其中ヨリ唯大ナル道路ノミノ所ヲ土地整理シ餘ハ市民ノ任意ニ任スルノ如キ案トナラハ其ノ部分ノ土地ヨリ整理シ得タルモノカ同値ヲ以テ買收スルヲ得ス非常ニ高價ナルモノトナルカ故ニ政府カ出來得ト假ニ説明シ居ル十二間以上ノ道路ノ工事費スラ余ハ計數的ニ信賴シ得サルナリ、強テ之ヲ爲サンカ非常ナル負擔ヲ地主ニ負ハシメサルヘカラス、故ニ此ノ何十萬圓若ハ何百萬圓ノ道路ニ付テ吾人ニ議決ヲ望マルト雖モ其ハ不可能ナリ、況ヤ此ノ十二間未滿ノ今日ノ裏店路次等ヲ整理セスシテ現在ノ儘ニテ之ヲ行フトセハ火災ノ場合依然トシテ消防不便ナルヘク又貴重ナル金錢ヲ使用シテ而モ土地ヲ不經濟ニ使用スルコトトナルヘシ、帝都ノ計畫ハ燒跡トナリタルカ故ニ此處ヘ凡テノ勢力ヲ集中セントス、例ヘハ今日ノ日本橋ニ於テハヨク之ヲ爲シ得ヘシ、以前ノ日本橋ハ大通ハ立派ナリト雖モ一度路次ニ入ル時其ノ錯雜セル住居驚クヘキモノアリ此ノ機會ニ於テ之ヲ一掃シテ眞ニ商工業ノ中心地トナシ而モ火災ノ際ニハ直ニ「ボンブ」ヲ運ビ得ル様飛行機飛來シ吾ヲ襲ハントスルノ時之ヲ防ク大砲ヲ自由ニ此ノ中心地ニ運ビ得ル様爲サントスルモノナリ、是ハ衆議院ノ修正案ニテハ到底爲シ得ス、凡ソ道路ノ整理擴張タルヤ如何ニ多額ノ金圓ヲ使用ストモソレ以上ニ活用シ得ル様ニ造ラルルナラハ何億ヲ支出ストモ更ニ悔ユル所ナキナリ、余ハ此處ニ都市計畫ノ必要ヲ喋々スルノ要ヲ見ス然レトモ此ノ千載一遇時ニ於テ多少ノ財政上ノ困難ヲ忍ブモ此處ニ相當ナル設備ヲナスハ決シテ不急ノ土木ニアラス、經濟上、衛生上、國防上必要ナル設備ヲナサントスルハ何人モ異論ナキ所ト信ス、如何ニ節約スルモ數億ノ金圓ヲ要ス

數億ノ金圓ヲ要ストモハソカ充分ナル活用ヲ爲シ得ル様其ノ金圓ヲ使用セサルヘカラス無益ナル金ナラハ一錢ニテモ之ヲ承認シ得ス益アル金ナラハソハ幾億ニテモ此處ニ已ムヲ得ス相當ナル豫算ヲ立テサルヘカラス吾人ハ贊成セヨト云ハルルトモ不完全ナルモノニハ贊成シ得サルナリ、故ニ今日ニ於テ貴族院ノナシ能フ範圍即チ政府原案ニ復活セシメントスルモノナリ、尙今日十二時ヨリ今夜ノ十二時迄十二時間ハ、貴族院衆議院トシテ働クノ餘地ヲ存ス、此ノ間ニ於テ、少クトモ後世子孫ニ對シ幾分ナリトモ申譯ノアル成績ヲ殘サントヲ希望スルカ故ニ此處ニ修正案ヲ提議ス

八條隆正子阪谷男ノ修正案ニ反對シ衆議院ヨリノ廻付案ニ贊成ナル旨ヲ述フ、即チ曰ク、政府案ニ加ヘタル修正中土地區劃整理ヲ地主組合ニ於テ行ハシムルニ付テハ其ノ實行ハ遲延スルヲ認ム、又十二間以下ノ街路ヲ市ヲシテ行ハシムレハ市ニ對シテ負擔ヲ増加スルコトトナル可シ此點ニ於テ衆議院案ハ不完全ナルモノト云フ可シ然レトモ衆議院ニ於テモ是等豫算面ヲ削除スト云フモ其ノ事業ハ之ヲ遂行完全セントスルモノナルヲ以テ何等カ他ノ方法ヲ以テ之ヲ漸次遂行スルコトヲ認メ居ルモノノ如シ故ニ事業施行ニ若干ノ不便アリトスルモ結局或ル時期ニ於テ之ヲ行ヒ得ルコトトナル可キナリ、翻テ考フルニ政府原案モ亦完全ナルモノナリヤ否ヤ疑問ナリ、而シテ政府ハ衆議院ニ於テ遺憾ナカラシニ同意スト聲明ス、即チ政府ハ其ノ實行ニ若干ノ困難ヲ伴フモ今日ノ場合大局ヨリ考ヘ已ムヲ得ストナス、依テ此際寧ろ衆議院案ニ贊成スルモノナリ

大谷嘉兵衛君阪谷男修正案ニ贊成ヲ述フ政府案ハ政府力多大ノ苦心ヲ以テ樹立提出セラレタルモノニシテ此際此時ニ當リ能フ限り完全ナル設備ヲナシ交通政策上遺憾ナキヲ期シ其ノ商工業ニ海外貿易ニ充分ナル活動ヲ爲シ得ル如ク設備シ以テ帝都ノ榮ヘ國家ノ榮ヘテ海外ニ發揚スヘシトテ

京濱間ノ事業狀態京濱運河築港等ノ必要ヲ力説ス

議長討論ノ通告者終リ又發言者モナシト認ムルヲ以テ阪谷男修正案ニ同意スル者ノ起立ヲ求メシニ少數更ニ原案ニ全部同意者ノ起立ヲ求ム多數依テ過半数ト認メ衆議院修正案可決

一 帝都復興ニ關スル決議案

帝都復興ニ關スル決議

帝都復興ノ計畫ハ須ラク帝都百年ノ計ヲ根基ト爲シ而シテ其ノ遂行ハ國家財政ノ實狀ニ鑑ミ緩急其ノ宜シキニ從フヲ要ス今次ノ復興計畫ハ數々變改ヲ重ネテ尙未タ盡ササルノ憾アリ政府ハ克ク慮ヲ遠キニ致シ補正以テ其ノ大成ヲ期スヘキモノト認ム

右決議ス

提出者 蜂須賀候外五名

右決議案ニ關スル討議ノ大要左ノ如シ

前田利定子 本案提出ノ趣旨ヲ述ヘテ曰ク

山本伯内閣ヲ組織セララルルヤ此ノ内閣ニ依テ大震火災ノ善後策樹立セラレ以テ所謂禍ヲ轉シテ福トナスノ德政ヲ施カレンコトヲ望メリ然ルニ政府今次ノ復興計畫ヲ見ルニ其ノ内容貧弱不徹底ニシテ到底現代ニ於ケル大都市ノ趨勢ニ副ハス抑現代ニ於ケル大都市ノ特徴ハ無限ノ膨脹ヲ爲スニアリ都市經營ノ策又之ニ備フル處ナカル可カラス歐米ニ於テ其ノ文明ノ力ヲ盡シテ企劃設備ヲ施スト雖モ尙之カ膨脹ニ及ハサルノ憾アリ大都會ノ住民カ共存共榮ノ眞ノ都會生活ヲ營ムヲ得ルヤ否ヤニ就テハ實ニ都市計畫其ノモノノ如何ニアリ

ナレハ此ノ時ニ際シ將來ノ天災ニ備フル爲之カ大計ヲ爲スヘキハ正ニ爲政者ノ責務ナリ然ルニ政府ノ都市計畫案タルヤ僅ニ燒失地區ニ限局サレ其ノ全市ニ及ホスモノナシ又産業復興經濟復興ニ關スル企劃ノ必要ヲ説キ今回政府提出ノ都市計畫ハ其ノ内容現代都市ノ趨勢ニ副ハス政府ハ宜シク大帝都百年ノ將來ヲ慮リ之ニ順應スル基礎案ヲ樹立サレタシ

中川良長男 決議文中ノ「今次ノ復興計畫ハ數々變改ヲ重ネテ尙未タ盡ササルノ憾アリ」ノ文句ヲ削除ス可シ審議會等ニ於テ訂正サレ變更シタリトテ斯ル文句ヲ挿入スルハ過レリ蓋シ審議會等ニ於ケル變更ハ政府内部ノ變更ニシテ政府原案ヲ決定セン爲ノ變更ナリ故ニ「數々變改ヲ重ネテ」ヲ削除ス可キモノト考フ

前田利定子ソハ見方ノ相違ナリトテ削除ニ反對ス

藤村義明男 抑今次ノ政府計畫ハ固陋偏狹時代ヲ解セサル審議會閣外委員一部ノ人々ニヨリ變更セラレタルカ爲ニ斯ル案トハナレリ更ニ衆議院ノ修正案ハ此重大ナル復興計畫ヲ政争ノ具ニ供シ以テ之ヲ修正セルナリ而シテ貴族院ニ於テハ遂ニ衆議院修正案可決セラレタリ之實ニ悲シムヘキ次第ナリ余ハ此ノ提出決議ニ依テ現計畫ヲ姑息不備不完全又不満足ノモノトシテ貴族院ノ意見ノアル所ヲ明白ニ表示シ以テ政府ヲ督勵シ得ルナラハ國家ノ爲欣喜措ク能ハサルナリ

大河内政敏子 審議會ニ於テ修正ヲ加ヘ京濱運河東京築港ヲ復興計畫ヨリ除キタルヲ難シ之復興計畫ノ根本義ヲ轉覆セルモノナリト論シ貴族院ノ意思ヲ内外ニ表明スル爲メ此決議ニ賛スト述フ

西久保弘道君 又賛成意見ヲ述フ

山本首相 政府ハ唯今上程ノ決議案ニ對シ諸君カ帝都復興ニ關シ心慮セララルルヲ承知シ深ク敬意

ヲ表スル次第ナリ。帝都復興豫算ヲ執行スルニ當リ政府ハ帝都百年ノ大計ヲ案シ萬一ニモ累ヲ將來ニ貽スカ如キコトナキヲ期シ必ス適當ナル機會ニ之ヲ補正スルノ餘地ヲ存スル事トナスヘシ議長徳川家達公決議案ノ採決ヲナス旨ヲ述ヘ之ヲ起立ニ問フ過半数ト認め可決

十二月二十四日

閉院式舉行セラレ

如上帝國議會カ帝都復興豫算ニ加ヘタル修正ニ對シ政府カ補正大成ヲ將來ニ期シ同意ヲ與ヘタル主ナル理由ヲ左ニ略述ス

一 政府若シ修正ニ同意セサル場合ハ自然衆議院ヲ解散スルノ外途ナカルヘク法定ノ手續ヲ經テ總選舉ヲ行ヒ次期議會ノ成立スルニ至ルマテハ復興豫算ノ確定ヲ見ルコト能ハス其ノ間少クトモ半歳ノ日月ヲ徒費スヘシ斯クテハ現下罹災住民カ一日モ速カニ復興計畫ノ確定ヲ見其ノ生活上ノ安定ヲ期圖セントスルノ熱望ヲ頓挫セシメ市民ノ不安ヲ免レシムルコト能ハサルヘク從テ又大詔ノ旨ニ副フ所以ニアラス政府トシテモ亦誠ニ忍ヒ難キ事態ナルコト

二 帝國議會ノ査定ハ其ノ額巨額ナリト雖モ之畢竟實行ノ所管主體ヲ移スニ過キス地方自治體ニ於テ之ヲ行フ場合ハ國力之ヲ補助スルヲ否定セサルヘキハ前修正理由ニ徴シテ明ナリ即チ自治體自ラ之ヲ行フノ意思ヲ表示シ必要ナル補助ヲ國ニ要求スル場合ハ此經費ニ協賛ヲ吝ムモノニアラサルコトヲ明ニセラレタリ素ヨリ國ノ自ラ之ヲ執行スル場合ト便否同日ノ論ニアラサルヘキモ結果ニ於テ事業ノ遂行カ阻碍セラレサル限リ政府ニ於テハ之ヲ讓歩スルヲ已ムヲ得スト認めタリ

三 第一項ニ依ル政府不同意ノ場合ニ於ケル議會ノ解散ニ際シテハ必要ナル經費ノ支出ハ緊急勅令ニ依ルノ外ナカルヘシ然レトモ凡ソ如此場合ニ於ケル支出ハ性質上頗ル局限的ノモノナルヘキニ依リ之ニ依ツテ必要ノ經費支辨ニ應セントセンカ必スヤ法令運用ノ善例トナスヘカラサルモノアラム從ツテ如此權道ハ嚴ニ之ヲ避ケサルヘカラス

四 衆議院ノ修正ハ政府當局ノ頗ル苦痛トスル處ナルモ帝都復興ノ基礎ノ確立ニ就テハ必スシモ根本的ノ妨ケナキモノト認めタルコト

第五 臨時議會閉會後ヨリ新官制公布迄ノ經過

(自大正十二年十二月二十四日至大正十三年二月二十三日)

議會閉會後ニ於ケル重要事務經過左ノ通

十二月二十四日 理事會

議會修正ノ復興豫算ニ伴フ事業執行方法ニ關シ大要左ノ通意見ノ交換行ナハレシカ決定ニ至ラス
今回ノ修正ニ依レハ復興事業ノ中樞タル土地區劃整理ハ殆ト遂行不可能ノ狀態ニアリ而モ之ヲ
遂行セザレハ復興計畫ハ無意義ニ歸スルヲ以テ區劃整理ノ一事ハ飽クマテ之カ遂行ヲ期スルニ
意見一致セリ即チ議會ノ修正ト雖モ土地區劃整理ソノモノヲ否認シタルモノニ非スシテ單ニ負
擔關係ニ於テ自治體地主組合ヲシテ之ニ當ラシムルヲ至當トスト云フニアリ故ニ削減セラレタ
ル街路費土地區劃整理費一億六百萬圓ヲ自治體ニ負擔セシメ國ハ其ノ半額ヲ補助シ他ノ半額ニ
對シテハ利子ノ補給ヲナスコトトシ十二間未滿ノ街路モ國ニ於テ代ツテ之カ執行ニ當ルコトト
セハ復興計畫ハ政府原案ト大差ナク完成シ得ヘシ而シテ街路ノ十二間以上ハ國六間以上十二間
未滿ハ自治體六間未滿ハ地主組合ノ負擔トシテ執行スルヲ可トストノ意見有力ナリキ

尙本日法律第五十三號ヲ以テ特別都市計畫法發布セラレタリ(一七七頁特別都市計畫法修正案參照)

十二月二十五日 理事會

特別都市計畫法施行令案及特別都市計畫委員會官制案ニ付協議ス

大正十三年一月七日 清浦首相以下閣僚ノ親任式行ハレ新内閣成立シ内務大臣水野鍊太郎氏復興

院總裁ニ任セラレ

同日午後四時村井邸會ニ於テ事務引繼ヲ行フ、高等官全部ニ對シ後藤前總裁、水野新總裁ノ挨拶アリ、後松木副總裁以下各理事參集左ノ事項ニ付協議セリ

一九九

一 復興局官制

一 特別都市計畫法施行令

一 特別都市計畫委員會官制

一月十二日 午後三時水野總裁ハ副總裁技監以下各局課長ヲ總裁室ニ招致シ復興計畫ノ遂行ニ關シ左ノ趣旨ノ訓示ヲナシ同四時散會セリ

復興計畫ニ關シ從來諸君カ不眠不休其ノ完成ヲ急キタル努力ハ外部ノ者ニモ充分ニ之ヲ認メラレタル所ナリ、今ヤ復興計畫及之ニ伴フ豫算ハ既ニ議會ヲ通過セルヲ以テ計畫ノ内容ヲ一日モ早ク決定シ道路、公園、運河其ノ他ノ具體案ヲ公表シ可成速カニ市民ヲシテ本建築ニ着手セシムル爲一層ノ努力ヲ以テ急速ニ其ノ調査ヲ完成セラレタシ、而シテ之カ決定ニハ特別都市計畫委員會ニ附議スヘキ必要アルヲ以テ之カ手續ヲ速カニセンコトヲ期ス尙復興院豫算ハ不幸ニシテ削除セラレシカ之ニ代ルヘキ施行機關ヲ內務省ノ外局トシテ新設スル見込ナル故從來通復興事業ニ努力セラレ度云々

一月十四日 午後一時ヨリ內務省ニ於テ參事官會議アリ、特別都市計畫委員會官制立案ニ關シ協議ヲ重ネタリ

同日 佐野建築局長ハ閣議ニ出席復興計畫ノ大綱ニ付詳細説明セリ

一月十九日 理事會

午前十一時副總裁室ニ於テ開會、中途水野總裁臨席セラレ、土地區劃整理ニ關スル施行方法ニ付協議

シ、種々凝議ノ末結局次ノ事項ヲ申合セタリ

政府ハ市ニ補助金ヲ交付スルカ又ハ市ニ資金ヲ貸付クルヲ必要トシ事業ハ市ヨリ國ニ委託シ國ニ於テ一手ニ實施スルヲ可トス、而シテ議會解散トナル場合ニハ政府ヲシテ必要ノ分ハ責任支出ヲ以テ補助又ハ貸付ヲ行フノ決心ヲ有セシムルヲ必要トス

政府カ責任支出ヲ爲ササル場合ハ如何ニスヘキヤニ付テハ協議一致スルニ至ラス

次テ起債運河、築港、建築會社等ノ諸問題及特別都市計畫委員會關係事項ニ關シ打合ヲナシ午後二時半閉會

一月二十一日 理事會

午後四時副總裁室ニ於テ開會 土地區劃整理ニ伴フ各種事業進行ノ日程ニ付打合ハセ後內務大臣官邸ニ於テ區劃整理ニ關シ水野總裁ニ詳細ニ説明スル所アリタリ

一月二十八日 理事會

午後一時三菱本館技監室ニ於テ開會 特別都市計畫法施行令訂正ニ關シ協議ス、關係各省ノ意見ヲ基礎トシ逐條審議ヲナシ午後五時散會

一月二十九日 理事會

午後二時三菱本館技監室ニ於テ開會 土地區劃整理ノ施行方法ニ關シ協議ヲナス、再ヒ議會ニ提出スルコトナク、區劃整理ヲ執行シ得ル方法ニ關シ第一ニ整理施行者ノ關係ヲ如何ニスヘキカニ付各種ノ意見アリ、結局左ノ三案ノ中更ニ各提案者ヨリ具體的方法ニ付研究ノ上提出スルコトトシ午後六時散會

第一案 國ト市ニテ共同施行ノコト即チ特別都市計畫法施行令ヲ改正シ(一)同一地區ヲ二主體ニ

一九九

テ共同施行スル場合(二)經費ノ分擔制等ヲ規定シ之ニヨリ執行スルコト

第二案 市ト國各其ノ豫算ノ範圍ニテ全地域ヲ區分シ各自施行ス而シテ市ノ執行セル部分ノ十ニ間以上ノ道路ニ付テハ市ノ補償セシ金額ニ對シ其ノ道路ヲ國ノ所有トスル爲ニ國ヨリ補償スルコト即チ國カ市ヨリ實費買上ノ形式ヲ執ルコト

第三案 國ノ官吏ハ市ノ吏員ヲ兼ネ市ノ吏員又國ノ官吏ヲ兼ネ事實ハ土地整理局長之ヲ統括シ實行スルコト

一月三十一日 理事會

午前十一時副總裁室ニ於テ開會 二月五日特別都市計畫委員會ニ附議スヘキ議案ニ關シ協議ス之ニ關聯シ更ニ區劃整理ニ關スル協議ニ入り結局市(公共團體)ノ委囑ヲ受ケテ國カ施行ノ任ニ當リ之ニ要スル事務費ハ一部責任支出ヲ以テ之ニ充ツルコトニ議便キシモ決定ニ至ラス十二時散會
本日午後四時 第四十八回帝國議會解散セラレ

二月二日 理事會

午後一時三菱本館技監室ニ於テ開會

來ル二月五日開催ノ特別都市計畫委員會ニ附議スヘキ事項竝之ニ伴フ諸般ノ打合ヲ行フ土地區劃整理ニ關シ之ヲ右委員會ニ附議スルニ付「ロット」割迄附議スル必要アリトナス説ト之カ必要ナシトスル説アリシカ結局六間以下ノ路線迄都市計畫委員會ニ附議シ決議ヲ得ルニ於テハ區劃整理實行上頗ル便利ナルモ穩當ヲ缺クノ嫌アリ如何ナル範圍ニ止ムルヤニ付テハ確定スルニ至ラザリキ尙區劃整理施行ニ關シ

各種意見ノ中「國市各其ノ豫算ニ基キ施行區域ヲ定メ各道路職員ノ如何ヲ問ハス執行シ國ハ市ノ

執行セル十二間以上ノ分ニ付テハ實費買收ノ形式ニヨリ之ヲ取得シ國ノ執行セル十二間未満ノ分ニ付テハ市ヲシテ其ノ費用ヲ分擔セシムルコトトス」トノ意見ニ賛成者アリシモ十河經理局長ハ明治三十年法律第三十七號ニヨルヘキヲ主張セリ其ノ理由ハ右ノ方法ニ依ルトキハ復興豫算ノ變更ヲ要ス豫算ノ形式上市ノ納付金ヲ歳入トシ更ニ之ニ相當スル金ヲ區劃整理事業費トシテ計上スルコトトナル事ハ横濱市ト同様東京市ヨリモ法律第三十七號ニ依リ執行セラレタキ旨請願ヲナサシメ之ニヨリ國カ執行スルコトトスルヲ可トス此ノ方法ニ依ルトキハ議會ノ決議ト正而衝突セズ自治團體ノ發意ニヨリ國カ代執行スルモノナレハナリ而シテ現在有スル國ノ豫算ニテ出來ルタケ執行シ不足ノ分ハ責任支出ヲナスニ政府決定スルコトニ致度
石主張ヲ大體承認シ八時散會ス

尙本日特別都市計畫委員會官制左ノ通公布セラレタリ

特別都市計畫委員會官制 (大正十三年二月二日勅令第十四號)

第一條 東京及横濱ニ於ケル都市計畫ニ關シテハ特別都市計畫委員會ヲ以テ都市計畫委員會トス

特別都市計畫委員會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項其ノ他東京及横濱ニ於ケル都市計畫上必要ナル事項ヲ調査審議ス

第二條 特別都市計畫委員會ハ都市計畫ニ關スル事項ニ付關係各大臣ノ諮問ニ應シ又ハ關係各大臣ニ建議スルコトヲ得

第三條 東京及横濱ニ於ケル都市計畫ニ關シ都市計畫委員會ノ議決ヲ經ヘキ事項ハ内務大臣之

ヲ特別都市計畫委員會ノ議ニ付ス
 内務大臣ハ特別都市計畫委員會ノ議決ヲ經タル事項ニ付必要アリト認ムルトキハ之ヲ再議ニ付スルコトヲ得

第四條 委員會ハ會長一人委員六十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 會長ハ内務大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 關係各廳高等官

二 警視總監、東京府知事及神奈川縣知事

三 東京市長及横濱市長

四 東京府會議員、神奈川縣會議員、東京市會議員及横濱市會議員

五 貴族院議員及衆議院議員

六 學識經驗アル者

前項ノ委員ハ第二號及第三號ニ掲クル者ヲ除クノ外内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第二項第二號乃至第四號ニ掲クル者ハ關係府縣市ニ關セサル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ會長ニ於テ必要ト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二項第一號乃至第三號ニ掲クル者事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者議事ニ參與シ決議ノ數ニ加ハルコトヲ得

第二項ノ規定ニ依リ命セラルル者ノ外臨時必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得臨時委員

ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第四項ノ規定ハ前項ノ臨時委員ニ之ヲ準用ス

第六條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ内務大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第七條 委員會ハ東京及横濱ニ於ケル都市計畫ニ關シ必要アルトキハ期間ヲ指定シ關係府縣市町村ヲシテ特定ノ事項ニ付調査ヲ爲サシメ又ハ必要ナル圖書類ヲ提出セシムルコトヲ得

委員會ハ委員又ハ臨時委員ヲ派遣シテ東京及横濱ニ於ケル都市計畫事業執行ノ狀況ヲ檢査セシムルコトヲ得

第八條 委員會ハ會長之ヲ招集ス

會長ハ委員會開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ招集及會議ノ事項ヲ委員及臨時委員ニ通知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 委員會ハ委員及臨時委員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第十條 會長ハ會議ノ議長ト爲ル

委員會ノ議事ハ出席ノ委員及臨時委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十一條 委員會ニ常務委員會ヲ置ク委員會ノ委任ヲ受ケ其ノ權限ニ屬スル事項ニシテ輕易ナルモノヲ處理ス

常務委員會ハ會長ノ指名シタル委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員會ノ會長ハ常務委員會ヲシテ委員會ノ會議事項ヲ豫メ審査セシムルコトヲ得

第五條第四項第五項第八條第一項第九條及前條ノ規定ハ常務委員會ニ之ヲ準用ス
 第十二條 委員會ニ幹事若干人ヲ置ク内務大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
 第十三條 委員會ニ書記若干人ヲ置ク内務大臣之ヲ命ス
 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令中内務大臣トアルハ當分ノ内第五條第一項ノ規定ヲ除クノ外内閣總理大臣トス

特別都市計畫委員會左ノ通開會セラル

總 會

- 第一回 二月五日 午後二時 内相官邸ニ於テ
- 第二回 二月二十八日 午後二時 内相官邸ニ於テ

委員會

東京ノ部

- 第一回 二月七日 午前十時 内相官邸ニ於テ
- 第二回 二月九日 午後一時 同所ニ於テ
- 第三回 二月十三日 午後一時 復興院廳舎ニ於テ
- 第四回 二月二十一日 午前十時 内相官邸ニ於テ
- 第五回 二月二十七日 同時 同所ニ於テ

小委員會

第一小委員會

- 第一回 二月十五日 午前十時 内務省會議室ニ於テ
- 第二回 二月十六日 午後一時 同所ニ於テ
- 第三回 二月二十日 午前十時 内相官邸ニ於テ
- 第四回 二月二十五日 同時 同所ニ於テ

第二小委員會

- 第一回 二月十五日 午前十時 内務省會議室ニ於テ
- 第二回 二月十九日 午前九時 内相官邸ニ於テ
- 第三回 二月二十六日 午前十時 同所ニ於テ

第三小委員會

- 第一回 二月十五日 午前十時 内務省會議室ニ於テ
- 第二回 二月十八日 午後四時 内相官邸ニ於テ
- 第三回 二月二十三日 午前十時 内相官邸ニ於テ
- 第四回 二月二十五日 午後一時 同所ニ於テ

横濱ノ部

- 第一回 二月八日 午前十時 内相官邸ニ於テ
- 第二回 二月十八日 午後一時半 同所ニ於テ
- 一月八日 定例閣議ニ於テ院關係トシテ左記ノ件決定セララル

- 一 帝都復興院官制廢止ノ件
- 一 帝都復興審議會官制廢止ノ件
- 一 復興局官制制定ノ件

二月十四日 午前十時永田町廳舎ニ於テ東京府、東京市、神奈川縣、橫濱市等關係者ノ會合ヲ催シ都市計畫事業執行細目分擔ニ付種々打合ヲナス所アリ、正午散會

二月十六日 豫テ閣議稟請中ナリシ勅令第四百十四號改正ノ件本日勅令第十九號ヲ以テ左ノ通公布セララル

大正十二年勅令第四百十四號東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於ケル假設建築物等ニ關スル件中改正ノ件 (大正十三年二月十六日勅令第十九號)

大正十二年勅令第四百十四號中左ノ通改正ス

第一項中「大正十三年二月末日」ヲ「大正十三年八月末日」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

大正十二年九月十五日公布勅令第四百十四號抄錄

第一項

東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於ケル大正十二年九月ノ震災ニ因リ火災ニ罹リタル區域ニ於テ大正十三年二月末日迄ニ建築ニ着手シ大正十七年八月末日迄ニ除却スル假設建築物ニ付テハ市街地建築物法第二條乃至第十一條及第十三條乃至第十五條ノ規定ヲ適用セス

二月二十日 樞密院定例本會議ニ院關係トシテ大正十二年勅令第四百二十五號帝都復興院官制廢止ノ件上議セララル

二月二十三日 帝都復興院官制廢止並復興局官制ニ關スル勅令左ノ通公布セララル

帝都復興院官制廢止ノ件 (大正十三年二月二十三日勅令第二十五號)

帝都復興院官制ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

復興局官制 (大正十三年二月二十三日勅令第二十六號)

第一條 復興局ハ内務大臣ノ管理ニ屬シ東京及橫濱ニ於ケル都市計畫、都市計畫事業ノ執行、市街地建築物法ノ施行及都市計畫上建築改善ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 復興局ニ左ノ職員ヲ置ク

- | | |
|-----|-------|
| 長官 | 勅任 |
| 技監 | 一人 勅任 |
| 部長 | 四人 勅任 |
| 書記官 | 十人 奏任 |
| | 專任 |

事務官 專任 二十人 奏任
 技師 專任 百二十七人 奏任 内七人ヲ勅任ト爲スコトヲ得
 屬 專任 二百二十五人 判任
 技手 專任 六百五十人 判任

第三條 復興局ニ長官官房及左ノ四部ヲ置ク

整地部
 土木部
 建築部
 經理部

第四條 長官官房ニ於テハ人事、文書、都市計畫(技術ニ屬スルモノヲ除ク)都市計畫事業ノ監理及各部ノ主宰ニ屬セサル事務ヲ掌ル

整地部ニ於テハ都市計畫上土地ノ區劃整理其ノ他土地ノ整理ニ關スル事務ヲ掌ル

土木部ニ於テハ都市計畫事業ノ執行及都市計畫上土木技術ニ關スル事務ヲ掌ル

建築部ニ於テハ市街地建築物法ノ施行並都市計畫上建築技術、建築改善及公園ニ關スル事務ヲ掌ル

經理部ニ於テハ豫算、決算及諸會計ニ關スル事務ヲ掌ル

第五條 長官ハ内務大臣ノ指揮監督ヲ承ケ局務ヲ統理シ部下ノ職員ヲ指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第六條 技師ハ技術ヲ統理ス

第七條 部長ハ長官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第八條 書記官及事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ分掌ス

第九條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第十一條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第十二條 内務大臣ハ必要ニ應シ復興局ノ出張所及技術試験所ヲ置キ復興局ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

出張所及技術試験所ニ所長ヲ置ク出張所ノ所長ハ書記官事務官又ハ技師ヲ以テ技術試験所ノ所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ帝都復興院ノ書記官、事務官、技師、屬又ハ技手ノ職ニ在ル者ハ別ニ辭令ヲ交付セラレサルトキハ各同官等俸給ヲ以テ復興局ノ書記官、事務官、技師、屬又ハ技手ニ任セラレタルモノトス
 復興局ニ於テハ第一條ニ規定スルモノノ外臨時物資供給令施行ニ關スル職務ヲ掌ル經理部ヲシテ主宰セシム

帝都復興豫算追加補正ニ關スル經過

第四十七議會ニ於テ修正減額セラレタル十二間未滿ノ街路修築及土地區劃整理事業ハ國ノ執行スル復興事業ト關聯シテ施行スルノ必要アリ依ツテ東京市長ハ大正十三年一月十五日付ヲ以テ事業

計畫書ヲ添へ國庫補助金及貸付金ヲ稟申シ來レリ又横濱市長ハ大正十二年十二月二十七日市會ノ決議ヲ以テ同シク國庫補助及貸付ニ付稟申シ尙本事業ヲ明治三十年法律第三十七號第一條第二項ニ依リ國ニ於テ直接施行セラレタシト稟請シ來レリ

市ノ執行スル十二間未滿ノ街路及ヒ土地區劃整理ハ國ノ執行スル街路及土地區劃整理ト相關聯スルヲ以テ併セテ國ニ於テ施行スルヲ必要トス之ヲ別々ニ施行スルコトハ當ニ困難ナルノミナラス不經濟ナルヲ以テ全部ヲ國ニ於テ施行スルコト最善ノ方法ナレトモ既ニ議會ニ於テ修正セラレタル以上横濱市長ヨリ稟請ノ如ク法律第三十七號ニ依リ國ニ於テ施行スルコト穩當ナラサルヲ以テ議會修正ノ趣旨ニ依リ東京横濱兩市ヲシテ之ヲ施行セジムルコトトスルノ外ナク是カ經費ニ對シテハ街路費ハ二分ノ一ヲ國庫ヨリ補助シ殘額ヲ國庫貸付金トスルコトトシタリ土地區劃整理費ノ補助ハ第四十七議會提案ノ趣旨ニ準シ東京横濱兩市ヨリハ全額補助ノ申請アリタレトモ市ノ事業トシテ施行スルモノニ就テハ市ニ於テ相當額ヲ負擔スルコトヲ穩當トスルヲ以テ其ノ所要經費ノ三分ノ二ヲ國庫ヨリ補助シ殘額ヲ貸付スルコトトシタリ斯クテ一月二十二日補助及貸付ニ關スル豫算追加要求案ヲ大藏省ニ送付セリ其ノ額左ノ如シ

街路 土地區 劃整理 計	東		京		横		濱		計	
	貸付	補助	計	貸付	補助	計	貸付	補助	計	
三三、七九一、四二五	三三、七九一、四二五	六七、五八二、八三〇	三三、三二一、四四〇	三三、三二一、四四〇	六六、六四二、八八〇	三七、二二八、五五五	三七、二二八、五五五	七四、四五七、一一〇	三三、七九一、四二五	三三、七九一、四二五
一一、六四一、六六六	一一、六四一、六六六	二三、二八三、三三四	一四、三六二、三三三	二八、七二四、六六七	四三、〇八七、〇〇〇	一三、〇七七、八九九	二六、一五五、八〇二	三九、二三三、七〇〇	二二、四三三、〇八一	二二、四三三、〇八一
四、五三三、〇八一	四、五三三、〇八一	五七、〇七三、七四九	四、七六七、六七三	六、二〇三、九六七	一〇、九七一、五八〇	五〇、二〇〇、七五四	六三、二七八、六五六	一一三、四七九、四一〇		

本案ハ事業費ヲ第四十七議會ニテ削減セラレタル金額ニ相當シ之ニ事務費トシテ街路ハ五分、土地區劃整理ハ一割ヲ加算シタルモノヲ以テ總額トシ街路ハ二分ノ一、土地區劃整理ハ三分ノ二ヲ補助額トシ殘額ヲ貸付スルコトトセリ

右追加案ハ大藏省ト協定ノ結果一月三十日左記ノ通之ヲ修正決定シ同日印刷ニ附シタルモ翌三十一日衆議院ノ解散トナリタル爲途ニ之ヲ議會へ提出スルノ運ニ至ラザリキ

街路 土地區 劃整理 計	東		京		横		濱		計	
	貸付	補助	計	貸付	補助	計	貸付	補助	計	
三〇、四三六、〇〇〇	三〇、四三六、〇〇〇	六〇、八七二、〇〇〇	三〇、〇九〇、〇〇〇	三〇、〇九〇、〇〇〇	六〇、一八〇、〇〇〇	三三、三三三、〇〇〇	三三、三三三、〇〇〇	六六、八七〇、〇〇〇	三〇、四三六、〇〇〇	三〇、四三六、〇〇〇
一一、三七七、〇〇〇	一一、三七七、〇〇〇	二二、七五四、〇〇〇	一、三五七、〇〇〇	五、七五五、〇〇〇	七、一一二、〇〇〇	一一、七一一、〇〇〇	二五、三三〇、〇〇〇	三八、一三〇、〇〇〇	一一、三七七、〇〇〇	一一、三七七、〇〇〇
三、七三三、〇〇〇	三、七三三、〇〇〇	七、四六六、〇〇〇	四、二〇一、〇〇〇	八、八〇四、〇〇〇	一三、〇〇五、〇〇〇	四、六一四、五〇〇	五、八八五、〇〇〇	一〇、五〇〇、〇〇〇		

右決定案ノ内容ハ事業費ハ街路費ニアリテハ第四十七議會ニテ削減セラレタル金額ヨリ工事模様替ニ依ル六、五三四、二〇〇圓ヲ減額セルモノトシ又土地區劃整理費ハ第四十七議會ニテ削減セラレタル金額ニ依リ之ニ事務費トシテ街路ハ四分二厘、土地區劃整理ハ七分ヲ加算シタルモノヲ以テ總額トシ補助歩合ハ原案通トス

議會解散後ノ豫算外支出

議會解散ノ結果豫算外支出ヲ要スルモノアリ二月一日左ノ如ク要求ヲ爲シタルニ大藏省ニ於テハ十三年度分ハ暫ク之ヲ後日ニ譲リ十二年度復興局費一箇月半分ヲ一箇月分ニ査定シテ四七、四六八圓ノ減額ヲ行ヒ三九四、五〇九圓ヲ剩餘金支出ノ手續ヲ爲シ十二年度復興事業費貸付金及補助(東京

市及横濱市ノ街路及土地區劃整理ニ對スル貸付及補助ニ三六〇、〇〇〇圓ニ付テハ其ノ財源ヲ借入金ニ求ムルコトナリ財政上緊急處分ニ依リ三月七日勅裁ヲ經タリ

豫算外支出要求額調

年度	區分	年額	豫算外支出要求額
十二年度	復興事業貸付金及補助費 (街路及土地區劃整理追加分)		四四一、九七七
同			二三六、〇〇〇
小計			二八〇、一九七七
十三年度	復興事業貸付金補助及利子補助費 (復興事業貸付金及補助費) (街路及土地區劃整理追加分) 臨時物資供給殘務取扱費	四、〇五五、一四一 二二、六〇四、〇七九 三〇、二七九、〇〇〇 一、六六九、九八九	一、五六〇、七七二 二、四八〇、〇九〇 一〇、〇九三、〇〇三 六八二、五四八
同			一四、八一六、四一二
同			一七、六一八、三八九
小計		五八、六〇八、二〇九	
合計			

第六 物資供給局關係事務經過

一 總 說

政府ハ復興事業ニ最モ須要ナル建築材料其ノ他ノ物資ノ供給ヲ圓滑ナラシムル目的ヲ以テ帝都復興院官制ニヨリ復興院ニ物資供給局ヲ設ケ九月二十二日公布セラレタル臨時物資供給令ノ施行其ノ他復興事業ニ要スル諸材料ノ調達ニ關スル事務ヲ掌ラシムルコトトセリ

之ヨリ先農商務省ハ臨時物資供給令公布ト同時ニ省令臨第二號ヲ以テ所要物資ノ品目ヲ定メ物資供給事務實行ニ着手セシモ帝都復興院ノ新設ト共ニ十月四日該事務全部ヲ舉ケテ之ヲ物資供給局ニ引繼キタリ爾來物資供給局ニ於テハ着々其ノ目的ノ實現ニ努力セシモ第四十七回帝國議會ニ於テ臨時物資供給令及同特別會計令爾後承諾ヲ得ルニ至ラス(一六六頁衆議院議事經過參照爲ニ新規購入又ハ新規ノ施設ハ中止スルノ不得已ニ至レリ)次テ復興局官制公布ニ及ヒ經理部ニ於テ物資供給令施行ノ殘務ニ關スル事項ヲ處理スルコトトナレリ、

左ニ項ヲ分チ重要事務ノ經過ヲ略述スヘシ

一 事務引繼以前ニ於ケル農商務省計畫概要

臨時物資供給令ニ關シ農商務省ヨリ引繼キタル事務要領左ノ如シ

(甲) 應急復興事業ニ要スル鐵鋼材ノ供給ニ付テ

需要見込數量及供給豫定數量

今回ノ震災地域ニ於ケル全焼失戸數中約三十萬戸ハ今後三箇年間に假建築ヲ行フモノト見込ミ其ノ復舊ノ程度ハ第一年度ニ約十五萬戸第二年度ニ約十萬五千戸第三年度ニ約四萬五千戸ト假定セリ此ノ假定ニ據レハ本豫算ノ期間内(一箇年半)ニ於ケル假建築豫定戸數ハ約二十萬戸ヲ算スヘシ右ノ内約十五萬戸(内千五百戸ヲ特別建築物其他ノ十四萬八千五百戸ヲ普通建築物トス)ニ要スル鐵材ハ供給令ニヨリ政府ノ供給ヲ要スルモノト認メ左ノ如ク算定セリ

一 薄鐵板	特別建物	一、五〇〇戸分一戸五〇〇坪一三、一二五	(一坪ニ付三枚半一噸二〇〇枚)
	普通建物	一四五、〇〇〇戸分一戸二〇坪五一、九七五	(同)
二 釘		八、四〇〇	
三 鋸		一、二八〇	
四 鐵線		一、四〇〇	
五 ボルト		一、四〇五	
計		七五、三二五	

以上ノ外震災ニ因リ破損セル屋根墻壁其ノ他ノ修覆ニ要スル前掲各種鋼材ノ數量ヲ約五萬噸ト見積リタリ

買入方法

前記供給豫定數量ハ内地及外國品ヲ以テ供給ノ豫定ナレトモ此ノ際物資ノ蒐集ハ最モ急速ヲ要スルカ故ニ差向キ薄板及洋釘ハ其ノ全數量ノ約五〇%ヲ其ノ供給力最モ豊富ナル米國ニ註文スルノ

可ナルヲ認メ亞鉛引薄鐵板六萬佛噸洋釘七千佛噸ヲ外務省ヲ通シ九月二十三日米國當局ニ手配方電報ヲ以テ依頼シタルト共ニ一而同日先ツ物資供給令ニ依リ取扱フヘキ鐵鋼材ニ關スル主ナル輸入商即チ三井物産三菱商事株式會社高田商會鈴木合名會社岩井商店ノ各代表者ヲ集メテ供給令ノ趣旨ヲ説明シ輸入ノ概況其ノ他ニ付意見ヲ繳シタル結果右五代表者協議ノ上左記「シンヂケート」ノ案ヲ提出セリ

臨時物資供給令ニ關スル「シンヂケート」案

- 一 指定商社ハ當分ノ間左記五社ニ止メラレタキコト
 - 三井物産株式會社
 - 三菱商事株式會社
 - 合資會社高田商會
 - 株式會社鈴木商店
 - 株式會社岩井商店
- 二 五社ノ代表者ヲ政府ノ委員ニ示命セラレタキコト
- 三 五社ハ「シンヂケート」ヲ作り買附積出附保運送受渡等ノ事務ニ當ルコト
- 四 買附ハ紐查「シヤトル」「ボートランド」ヲ含ム其ノ他ニ於ケル各社ノ代表者ヲシテ更ニ「シンヂケート」ヲ作ラシメ「シンヂケート」ノ名ニ於テ買附ヲナサシメ各箇商社ノ名義ヲ用ヒサルコト
- 五 右「シンヂケート」ノ幹事ハ抽籤ヲ以テ毎月順次ニ交替スルコト
- 六 金融ハ政府ニ於テ引受ケラレタキコト
- 六 「シンヂケート」ノ旅費立會費電信料其ノ他ノ經費トシテ政府ヘノ納入値段ノ %ヲ支拂ハレタキコト

七 「シンデケート」ノ取扱手数料トシテ政府ヘノ納入値段ノ

金物類 %

木村類 %

ヲ支拂ハレタキコト

其他ノ品目ノ手数料ハ追テ政府ト協議ノ上取極ノコト

八 政府ハ「シンデケート」ノ成立及其ノ内容ヲ英米獨白ノ各國竝ニ政府ノ各部ニ通告セラレタキコト

九 政府ノ賣渡區域ハ震災地ニ限ルコト

震災地以外ヘノ移出ニ對シテハ政府ニ於テ相當ノ制裁ヲ設ケラレタキコト

一〇 品目ニ關シテハ「シンデケート」ノ意見ヲ徵セラレタキコト

賣拂方法

政府ニ於テ買入レタル鋼材ハ直接政府ニ於テ設備スル倉庫ニ收容スルモノトシ之ニ要スル倉庫ハ大體横濱東京ヲ通シテ五箇所總坪數二〇〇〇坪ヲ建設シ鋼材約一萬五千噸ヲ收容スル豫定ヲ以テ調査ニ着手シタルモ未タ具體的ニ其ノ位置等ヲ確定スルニ至ラス而シテ此等鋼材ノ賣渡ハ政府自ラ之ヲ行フ方針ヲ取リタルモ配給ノ敏捷普及ヲ期スル爲メ大體適當ナル元賣捌人ヲ指定シ倉庫渡シ價格ヲ公表シテ卸賣ヲ爲サシムトスル腹案ナリ

(乙) 木材並木炭ノ供給ニ付テ

木材ノ供給

燒失倒壊流失家屋中今後一箇年半間ニ建設スルモノ約二十萬戸之ニ要スル木材二千三百萬石ノ中

供給分ニ依リ政府ノ管理セントスルモノハ千二百七十萬石ト豫定シ諸般ノ準備的調査ヲ爲ス

右ノ内當初一箇年間に管理セントスル木材ハ八百九十萬石ニシテ此中五百八十萬石ハ北米太平洋岸ヨリ供給ヲ受クルノ計畫ニシテ差當リ今後六箇月間ニ輸入セントスル北米材三百萬石ノ内合衆國ヨリ輸入セントスル丸太角材百五十萬石製品七十萬石(此資材百萬石)ハ既ニ合衆國政府ニ對シ供給手配準備方ヲ依頼シ加奈陀ヨリ輸入セントスル丸太角材五十萬石ニ付テハ數日中ニ加奈陀商務委員「ブライアン」氏來京ノ筈ニ付之ト打合ノ上註文ノ見込ナリ

内地及極東品買入ニ付テハ一般的ニ申込ヲ爲サシムルノ方針ヲ採ルトスルモ應急所要材ノ一部ハ出張員ヲシテ買取ラシムル見込ヲ以テ木材在庫見込額ヲ取調ヘタルニ内地及北海道ニ於テハ製材ノ製品約三十萬石同製材原料約二百九十萬石樺太關東州ニ於テ本年中ニ積ミ出シ得ヘキ製材約二十萬石丸太約百七十萬石ノ見込ナリ

木材ノ賣拂ハ大體鐵鋼材ノ場合ト同様元賣捌人ヲシテ一定ノ手数料ヲ定メテ委託賣拂ヲ爲サシムルカ又ハ元賣捌人ノ手ヲ經テ賣拂ヒ其ノ賣捌價格ヲ指定スルノミナラス之ヲ公示シテ一般消費者ヲシテ小賣値段ノ相當ナリヤ否ヤヲ知ルノ便ヲ與ヘ元賣捌人ニ對シテハ一定ノ條件ノ下ニ定期間代金延納ヲ許スノ方法ニヨラントス

丸太及角材ヲ製材スヘキ製材所ニ關シテハ既存製材所ノ復活ヲ計リ且有力ナル木材商ニ對シ新ニ製材所ノ建設ヲ勸奨シ尙足ラサルニ於テハ政府ハ更ニ之ヲ設置ノ準備アルヲ必要トスヘシ尙製材所ノ修繕工場ノ設置ニ付テモ速カニ適當ナル措置ヲナスノ要アリ

水中貯材及陸上置場ニ付テモ急速ニ計畫ノ樹立ヲ必要トシ深川本所隅田驛鶴見埋立地及横濱方面ニ於テ適當ノ場所ヲ物色ス

木材ノ運送ニ關シテハ樺濱東京間ハ日米運輸共同運輸及宇都宮回送店等ノ有力ナル運送業者ヲ聯合セシメ隅田驛深川間ノ運送ハ船業者組合ヲシテ之ニ當ラシムルノ計畫ヲ立テタリ

木炭ニ付テハ既ニ其ノ需要期ニ逼レルモ府市公設市場ノ取扱數量ハ今後相當擴張ヲ圖ルモ尙需要ノ一割前後ニ過キサレヘク木炭商問屋中震災ヲ免レタル者ナキニアラサルモ多クハ燒失セシヲ以テ差當リテハ産地ノ薪炭荷受ヲ爲スコト甚タ困難ナリ隨テ産地各地方殊ニ東北諸縣ノ如キハ從來其ノ製品ノ大部分ヲ京濱地方ニ向ケ來リタル關係上目下荷動キ不能金融梗塞ノ狀況ニ陥リ此儘其ノ成行ニ委スルニ於テハ今後ノ生産ニ多大ノ障害ヲ來スノ虞アリ就テハ木炭ニ付テモ木材同様相當分量ニ付政府自ラ之カ供給ニ當ルノ必要緊切ナルヲ認メタリ

供給令ニ依リ管理スヘキ木炭ハ約二千五百萬貫即初半年災害地需要額ノ五割ヲ當初六箇月間ニ買入レ買渡ヲ爲スヲ適當ト認メ之カ買入及賣拂ハ内地木材ノ買入及賣拂ト同様ノ方法ニ依ルヲ可トシ木炭倉庫ハ配給ノ便宜ヲ考慮シ秋葉隅田川新宿錦糸堀品川飯田町巢鴨ノ各驛ニ之ヲ設クルヲ便トシ尙此點ニ關シテハ薪炭同業組合ノ意見ヲ徴シタリ

(丙) 臨時物資供給關係豫算

臨時物資供給費豫算 (十八箇月分)

科 目	金額	算 出	内 譯
臨時物資供給費	二九五、四二四、三三二		

臨時物資供給費	金額	算 出	内 譯
俸 給	二〇二、八〇〇		
事業費	二二、九三五、〇六三		
事務官	十一人 (年三、二〇〇圓)		五二、八〇〇圓
技 師	十人 (年三、二〇〇圓)		四八、〇〇〇圓
屬 手	四十九人 (年一、〇〇〇圓)		七三、五〇〇圓
技 手	十九人 (年一、〇〇〇圓)		二八、五〇〇圓
人員ニ伴フ廳費	(三三七人 一人月一〇圓)		五八、八六〇圓
備 品 費			一一五、三三〇圓
椅子卓子等設備	(三三七人 一人七〇圓)		二二、八九〇圓
自動車八臺	(内二臺ハ 一、〇〇〇圓)		七〇、〇〇〇圓
器具機械類	(六臺ハ各 八、〇〇〇圓)		二二、四四〇圓
圖書及印刷費			一三、五〇〇圓
消 耗 品			二〇九、四四六圓
ガソリン及重油輕油			二〇六、七四〇圓
電燈料其他費消雜品			二七、〇六圓
船舶用諸品			二二九、五八〇圓
鹽	三四五、六〇〇貫(二四錢)		八二、九九四圓
氷	三八〇二噸五(一三圓)		四九、四三二圓
石 炭	三、二四四噸 (一六圓)		五〇、三〇四圓

其他雜品 三六、九〇〇圓
 通信運搬費 四、九六二、三〇〇圓
 電信料其他通信費 一七、八〇〇圓
 丸太角材運搬費 七二〇萬石分(五〇錢) 三、六〇〇、〇〇〇圓
 木材製品運搬費 一七九萬石分(七五錢) 一、三四二、五〇〇圓
 其他物品運搬費 二、〇〇〇圓
 內國旅費 一九〇、〇五〇圓
 高等官 二十六人分 六二、五五〇圓
 判任官 九十四人分 一二七、五〇〇圓
 外國旅費 五六、〇〇〇圓
 奏任官 五人分 三六、一四六、二圓
 給與 職員以下慰勞金 一五五、三六二圓
 兼務者手當 (一二七人分) 一三〇〇圓 三八、一〇〇圓
 囑託手當 一六八、〇〇〇圓
 四人ハ一人 年三、〇〇〇圓 一八、〇〇〇圓
 二十人ハ一人年二、〇〇〇圓 六〇、〇〇〇圓
 六十人ハ一人年一、〇〇〇圓 九〇、〇〇〇圓

雇員給

六十七人ハ一人月三五圓 八一、三六〇圓
 八十七人ハ一人月二五圓 四二、二一〇圓
 三九、一五〇圓
 三三三、二四〇圓
 備人料 一六、二〇〇圓
 巡視 三十六人(一人月二五圓) 三、九六〇圓
 給仕 二十二(一人月一〇圓) 二、〇八〇圓
 小使 二十八人(一人月二〇圓) 一、二四、二〇〇圓
 定夫 二百三十人(一人日 一圓) 一四、八二〇圓
 自動車運轉手 十一人(一人月七五圓) 六、六九九圓
 臨時人夫 八一、九七五人(一人二圓) 二、一六〇圓
 被服費 巡視服 三十六人分(一人六〇圓) 二、一六〇圓
 小使服 二十八人分(一人一八圓) 五〇四圓
 定夫服 二百人分(一人一八圓) 三、六〇〇圓
 巡視給仕靴料 五十八人分(一人七圓五〇錢) 四三五圓
 荷役費 丸太荷役 七二〇萬石(二〇錢) 一、四四〇、〇〇〇圓
 製品荷役 一七九萬石(二五錢) 四四七、五〇〇圓

薪炭荷役	二、五〇〇萬貫(三錢)	七五〇,〇〇〇圓
製材賃	粗材七二〇萬石ニ相當スル製材四八五萬石分一石二圓五〇錢	一、二二五,〇〇〇圓
諸借料		二、一八七,四九八圓
敷地借料		五四二,〇一〇圓
水中貯木場借料		一、三五〇,〇〇〇圓
冷蔵船借料		一九一,九八八圓
貯借料		八一,〇〇〇圓
冷蔵庫借料		二二,五〇〇圓
雜費		三七七,二三八圓
翻譯料		七,五〇〇圓
寫字料		六,六〇〇圓
諸謝金		四,五〇〇圓
廣告料		一五,五〇〇圓
賄費		六,〇九五圓
舟車馬類備貸		一三八,〇五五圓
道路給水費		三〇〇圓
接待費		一五,〇〇〇圓

二二二

物資買入費	二六三,〇七七,九六八	一八三,六八八圓
營繕費	八,二〇八,五〇〇	四,一四七,五〇〇圓
木材製品手入結束等ニ要スル費用		一九四,四七〇,〇〇〇圓
木材及薪炭買入費		三六,五七三,〇〇〇圓
鐵鋼材買入費		二一,四八二,五〇〇圓
衣料買入費		一〇,四五二,四六八圓
魚類買入費		一〇〇,〇〇〇圓
其他買入費		五二,五〇〇圓
事務所(九棟)三五〇坪(一五〇圓)		四,一四七,五〇〇圓
倉庫及荷捌所(一一二棟)二七,六五〇坪(一五〇圓)		三,六〇〇,〇〇〇圓
製材所	八〇箇所(四五,〇〇〇圓)	四〇八,五〇〇圓
器具機械其他設備		一〇四,〇〇〇圓
レール	二六哩(四,〇〇〇圓)	二,五〇〇圓
トロッコ	二五臺(一〇〇圓)	一〇〇,〇〇〇圓
起重機	二五臺(一〇〇圓)	二七,〇〇〇圓
クレーン	五〇箇(二,〇〇〇圓)	一〇〇,〇〇〇圓
トロリー	二七〇臺(一〇〇圓)	一〇〇,〇〇〇圓
インクライン	五箇所(三,〇〇〇圓)	五〇,〇〇〇圓
ロープ橋口其他		五〇,〇〇〇圓

二二三

物資買入費豫算

(十八箇月分)

品名	数量	単價	金額
木材及薪炭買入費	六〇〇,〇〇〇	一六,〇〇〇	九,六〇〇,〇〇〇
丸太	一,〇〇〇,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇,〇〇〇
角材	五,〇〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	七五,〇〇〇,〇〇〇
製材	九〇〇,〇〇〇	二六,〇〇〇	二三,六〇〇,〇〇〇
薪炭	一,〇〇〇,〇〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇,〇〇〇
鐵鋼材買入費	二五,〇〇〇,〇〇〇	〇,三三〇	九,二二五,〇〇〇
薄板	一〇,〇七〇	二九,〇〇〇	二,九二一,〇〇〇
釘	一四,二八〇	三三,〇〇〇	四,713,400
ボルト	三,三九〇	三〇〇,〇〇〇	一,017,100
鐵線	四七〇	二,二〇〇,〇〇〇	一,035,400
衣料買入費	二,二〇〇	二,二〇〇,〇〇〇	四,840,000

品名	数量	単價	金額
木綿縞類	一,九七七,五〇〇	二,〇〇〇	三,955,000
金巾及裏地類	九六,〇〇〇	一五,〇〇〇	一,440,000
ネル綿類	五五〇,〇〇〇	三,八〇〇	二,090,000
晒木綿類	一,〇二〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,020,000
モスリ	三九〇,〇〇〇	八,〇〇〇	3,120,000
更紗類	二〇〇,〇〇〇	三,五〇〇	700,000
毛紗類	五〇,〇〇〇	七,〇〇〇	350,000
羅紗類	一六〇,〇〇〇	三,五〇〇	560,000
綿小倉	三〇〇,〇〇〇	〇,八〇〇	240,000
莫大(甲)	一〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇	200,000
同大(乙)	一〇〇,〇〇〇	三,五〇〇	350,000
足綿袋	一,〇七〇,〇〇〇	〇,八〇〇	856,000
雜綿布	六六七,五〇〇	一,〇〇〇	667,500
線類	九五〇,〇〇〇	五,五〇〇	5,225,000
魚類買入費	一,五三三,八二二	一,五〇〇	2,299,733
鮮魚	一,九五〇,〇〇〇	〇,七一〇	1,384,500
鹽干魚	〇〇〇,七五〇	一,八五〇	1,368,750

其他買入費					100,000,000
合計					263,077,600

二二六

物資賣拂代收算 (十八箇月分)

品目	数	量	單價	金額
木材及薪炭賣拂代		八四三〇,〇〇〇石	二四七〇	二〇八八二,一〇〇,〇〇〇
製炭		二五,〇〇〇,〇〇〇	〇四三〇	一〇,七五〇,〇〇〇,〇〇〇
鐵鋼材賣拂代		一一〇,六〇〇	二九六五〇〇	三二,八一三,六五五,〇〇〇
薄板		一四,二八〇	二五六〇〇〇	三,六五五,六八〇,〇〇〇
釘		二,三六〇	三〇八〇〇〇	七二六,一三〇,〇〇〇
ボルト		二,三六〇	二七八〇〇〇	一,三〇六,〇〇〇,〇〇〇
鐵線		二四〇	二七八〇〇〇	六六,七二〇,〇〇〇
衣料賣拂代		二,九八二,七五七	二,一〇〇	六,二63,857,000
木綿織類		九三二,二〇〇	二,一〇〇	1,957,620,000
金巾及裏地類			一六〇九	1,498,992,000

品目	数	量	單價	金額
ネル類		五三三,五〇〇	五〇〇〇	2,667,750,000
晒木類		九八九,四〇〇	一〇四四	1,046,116,000
更紗類		二九一,〇〇〇	二六五〇	770,150,000
モスリ		三七八,三〇〇	八三三〇	3,147,456,000
毛布		四九五,〇〇〇	七二一〇	3,311,945,000
羅紗類		一八四,三〇〇	三六五三	673,050,000
綿類		二九一,〇〇〇	〇八五〇	2,473,000,000
莫大(甲)		九七,〇〇〇	二二〇〇	215,400,000
同大(乙)		九七,〇〇〇	三六九〇	357,810,000
足袋		一,六九七,五〇〇	〇八五五	1,448,287,500
雜綿布		六四七,四七五	一〇五〇	679,849,000
絲綿		九二,一五〇	五七七八	533,855,000
魚類賣拂代		四七三,二八八	一七四〇	8,226,072,000
鮮魚干		一八五,二五〇	〇七九三	1,471,107,000
鹽干魚		七四,二五〇	一,九七一〇	1,463,475,000
空糶詰		三,二八五	〇五〇〇	1,643,500
其他賣拂代				100,000,000
合計				29,013,592,000

二二七

一 臨時物資供給令指定品目

當初農商務省ニ於テハ農商務省令臨時第二號(大正十二年九月二十二日)ヲ以テ供給品目七種(一)魚介類(二)絲毛製衣類及夜具類(三)薪炭(四)木材(五)亞鉛板及薄鐵板類(六)釘及鐵線類(七)家根葺材料及疊簾類ト決定シタレトモ其ノ後四圍ノ情勢ニ鑑ミ改正ノ必要ヲ認メタルヲ以テ閣令第九號ヲ以テ(一)薪炭(二)木材(三)亞鉛板及薄鐵板類(四)釘類ノ四種ニ改正シ大正十二年十一月七日ヨリ施行セラル

一 物資購入顛末

(甲) 米國ヘノ木材及鐵材ノ註文

大正十二年十月四日農商務省ヨリ震災地ニ於ケル物資ノ供給ニ關スル事務ノ引繼ヲ受ケテヨリ同省カ外務省ヲ通シテ米國政府ト交渉中ノ前記木材三百萬石輸入ノ件ニ付專ラ(一)輸送船腹(二)京濱間ニ於ケル解(三)橫濱及東京ニ於ケル陸揚ノ能力(四)内地及殖民地ニ於ケル木材產出量(五)海外ヨリノ輸入量(六)震災地ニ於ケル需要等ニ關シ調査攻究ヲ遂ケ此際政府自ラ多量ノ木材ヲ輸入スルハ策ノ得タルモノニ非スト認メタレトモ既ニ日本政府ヨリ米國政府ニ對シ三百萬石購入ノ見込ヲ以テ交渉ヲ開始セル後ナルヲ以テ國交上ノ關係ヲモ考慮スルノ必要アリ、外務省農商務省トモ協議ヲ重ネタル結果

同年十月十二日木材百萬石、鐵材二萬三千噸ヲ凡ソ六箇月間ニ米國ヨリ購入スルコトトシ外務省ヲ經テ米國政府ニ對シ右物資ノ購入ニ付供給者並價格ノ決定等凡テ同政府ニ依頼シタシ若シ同政府

ニ於テ價格ノ決定ニ迄干與スルコト不可能ナリトセハ適當ノ供給者ヲ推薦シ見積書ヲ徵シ駐米大使ヲ經テ送付セラレタキ旨依頼シタリ

同十八日右依頼ニ對シ駐米大使ヨリ米國政府ニ於テハ價格ノ決定ニ干與スルコト法規上不可能ナレトモ本邦大使ニ見積査定ノ權限ヲ委任セラレハ商務省ノ援助ヲ得ルノ見込アル旨返電アリ、次テ同二十日駐米大使ヨリ米國政府ニ於テハ價格ノ決定ニ干與スルコト法規上不可能ナル旨返電アリ、次ニ於テ爲シ度キ旨打電シタル處大使ニ即決權限ナキトキハ價格ヲ低下シ又ハ數量ヲ配分スルニ付當業者ト談判ヲ爲ス能ハス爲ニ商務當局折角ノ盡力ヲ水泡ニ歸セシムルノ處アリトシ駐米大使ニ全權ヲ委任セラレ度旨電請シ來レリ

依テ十月二十三日北米合衆國ヨリ木材百萬石、鐵材二萬三千噸ヲ購入スルニ付駐米大使ニ購入權限ヲ委任スルコト閣議ニ於テ決定セラレタリ、尙右購入事務ニ付駐米大使ノ要求ニヨリ「アドヴァイザリ」トシテ海軍省及鐵道省ノ米國駐在員並三井、三菱、鈴木三社ノ支店長ヲ囑託シタリ

十一月九日見積提出期限迄ニ見積ヲ提出セルモノ少ク特ニ期限ヲ延長シテ「ドグラスファア」會社ニ對シ再提出ヲ要求シタレトモ所要數量ヲ引受ケシムルコト困難ナル旨入電アリ、之ニ對シ必シモ百萬石ノ購入ヲ必要トセス引受ケ得ル數量ヲ購入セラレ度旨返電セリ

十一月十三日駐米大使ノ要求ニ依リ買付物資ノ検査船積等ニ關スル一切ノ事務ヲ三井、三菱、鈴木ノ三社ニ依頼シタリ

同日鐵材ハ合衆國製鋼會社、釘ハ「ヤングストーン、シート、エンド、チューブ」會社及「ピッツナード、ステ

イール」會社ト合セテ二萬三千噸ヲ、又木材ハ「ドグラスファア」會社及「ブラトリ」會社ト十一月十日

約八十萬石ヲ購入スルノ契約成立シタル旨來電アリ
十一月二十四日「ドグラスファア」會社ヨリ約二十萬石追加供給ノ申込アリタレトモ拒絶シタリ

(乙) 加奈陀材ノ購入

加奈陀木材ニ付テハ農商務省ヨリ引繼ノ計畫ニ從ヒ商務委員「ブライアン」氏ヲ通シテ購入スルコトトシタリ、大正十二年十月二十三日「ブライアン」氏來訪アリ、木材約二十五萬石ヲ加奈陀ヨリ購入スルニ付加奈陀政府ノ推薦スル當業者ヨリ見積ヲ徵收送付アリタキ旨依頼シタリ

十一月二日「ブライアン」氏ヨリ「マクミラン」會社提出ノ橫濱船側渡二十八萬石ノ見積書ヲ送付シ來レリ、當初合衆國ヨリ供給ヲ受ク可キ物資ハ同國ニ於ケル巨大ナル供給力又同國官民ノ我邦大震火災ニ對スル熾烈ナル同情ニヨリ容易ニ交渉纏ルコトト推測シタルノミナラス其ノ條件ノ如キモ我邦ニトリテ極メテ有利ナルヘキヲ豫想シタルヲ以テ加奈陀ヨリ供給ヲ受ク可キ木材ハ合衆國トノ契約締結後決定スルヲ適當ト認メタルノミナラス「マクミラン」會社提出ノ見積書ニ對シテハ細目ニ至リ種々交渉ヲ重スルノ必要ヲ認メタレトモ、合衆國ニ於ケル交渉運々トシテ進マス其ノ條件モ亦必シモ我ニ有利ナラサルヤウ推測セラルルニ至リタルヲ以テ十一月五日「ブライアン」氏トノ間ニ大體約二十三萬石ノ木材ヲ購入スルノ協定ヲ達ケタリ、爾後數回交渉ヲ重ネタル後「ブライアン」氏ハ「マクミラン」會社ノ代理人トシテ假契約書ヲ交換シタリ

(丙) 英國ヘノ鐵材ノ註文

鐵材ハ全部米國ヨリ購入スルヲ便利トシタレトモ國交上ノ關係モアリ、外務省トモ協議ノ上英國ヨリモ鐵板三千五百五十噸ヲ購入スルコトトシ米國同様英國政府ノ推薦スル當業者ヨリ見積ヲ徵收

送付アリタキ旨十月二十五日外務省ヲ通シテ駐英大使ニ依頼シ、駐英大使館ニ於テハ主トシテ松山商務官ヲシテ之ニ當ラシメタリ、然ルニ駐英大使館ニテハ英國ニ於ケル物資ノ權限ノ委任ヲ受ケタルモノト解シ同國ニ於ケル有力ナル當業者三十一社及在英本邦商社六社ヨリ見積ヲ徵シタルニ英國當業者中十一社ハ何等ノ返事ナク或ハ辭退シ、其ノ見積書ヲ提出シタルモノモ之ヲ本邦商社ノソレニ比較スルトキハ遙ニ不利ナリシヲ以テ三菱及鈴木提出ノ分ヲ採用シタル旨來電アリタリ

(丁) 内地、樺太及南洋材其ノ他

内地材ニ付テハ先ツ官行材ヲ購入セントシ農商務省、宮内省等ト交渉ヲ達ケタレトモ僅ニ熊本其ノ他ノ大林區署ヨリ約二萬石ノ製品ヲ購入スルコトヲ得タルニ止レリ、民間材ニ付テハ東京ニ於テ購入セルモノニ萬石又局員ヲ奥羽地方ニ派遣シ現況ヲ調査セシムルト同時ニ震災前ノ價格ノ約二割増以內ニテ購入シ得ルモノノ見積書ヲ徵收送付セシメ契約セルモノ五萬三千餘石アリ

農商務省ニ於テ樺太ニ於ケル虫喰材ニ付樺太廳ト交渉ヲ開始シタルヲ引繼キ交渉ヲ繼續シ約八十萬石購入ノ豫約ヲ爲シタリ、家具材ノ需要モ亦少カラサルヲ慮リ南洋材ヲモ調査セシメ種々交渉ヲ重ネタル結果十一月二十九日及十二月六日ノ二回ニ「スマトラ、ランサン」島「リコ、ハウトマン」組合經營ノ木材三萬石ヲ購入スルコトトセリ

樺太材八十萬石ニ對シテハ當初復興材料トシテ百五十萬石ノ賣込方申出アリ、協議ノ結果八十萬石ヲ購入スルコトニ決定シタルモ臨時議會ニ於テ物資供給令不承認トナリタル爲メ樺太廳ノ了解ヲ得テ之ヲ解約シタリ

(戊) 木炭ノ購入

木炭ノ如キハ物資供給令ヲ適用シテ購入スルニ適セサルヤノ感ナキニシモアラスト雖モ東京ニ於

ケル木炭問屋ノ大部分カ羅英セルコト、木炭問屋ノ多クハ資力薄弱ナルコト、從テ問屋ト山元トノ取引圓滑ナラサルコト、京濱間ニ於ケル在荷燒失シタルコト、輸送力十分ナラサルコト等ニ鑑ミ政府ニ於テ相當考慮スルノ必要ヲ認メタリ

當初農商務省ノ計畫ハ前述ノ如ク木炭二千五百萬貫ヲ購入スルニアリタレトモ輸送力其ノ他ヲ考慮シ復與院購入數量ハ出來得ル限リ少カラシムルコトヲ旨トシ之ヲ一千萬貫以內ト決定セリ

木炭ニ付テモ亦先ツ官製品ノ移入ヲ計リ農商務省ト協議ノ上運賃諸費等ニ於テ多少ノ損失ヲ忍ブモ先ツ大林區製製品ヲ購入スルコトトシタリ、其ノ數量ハ約二百萬貫ノ見込ナリ

民間製品ニ付テハ局員ヲ主要産地ニ派遣シ調査セシメ震災前ノ價格ヲ以テ購入シ得ルモノハ直ニ契約セシメタリ、然ルニ其ノ後市場價格ノ騰貴ニ伴ヒ是等ノ契約中解約ヲ申出ツルモノ多シ、依テ購入價格ヲ震災前價格ノ二割増運引上ケタリ

鐵道輸送ニ付テハ屢次鐵道當局ト交渉ヲ重ネタリシカ十二月十二日更ニ主要産地ニ派遣シタル局員ノ報告ニ基キ産地ニ於ケル製品在荷表ヲ派ヘ鐵道省ニ木炭輸送ニ關スル特別取扱ヲ依頼ス同月十九日鐵道省ニテ特ニ日々貨車五十輛ヲ木炭ノ爲増配スルコトニ決定セリ

木炭ノ購入ニ付テハ雷ニ農商務省ト協議ヲ遂ケタルノミナラス地方廳トモ十分ニ聯絡ヲ取り關係地方廳ノ當務者ヲ復與院囑託トシ價格ノ決定受授、代金支拂其ノ他各種ノ調査事務ヲ依頼セリ

斯クテ購入シタル木炭ノ數量價格左ノ通

品名	數量	價格
民製	七二五、六五〇貫	二五六、五八〇圓
官製	一、八九九、六六〇貫	六一一、八五六圓

計 二、六二五、三二〇貫 八六八、四三六圓

十二月二十日臨時物資供給令衆議院ノ承諾ヲ得ル能ハサルニ至リタルヲ以テ購入打切トセリ

一 物資ノ買入、賣拂及保管ニ關スル方針

買入ニ關スル方針

買入ハ原則トシテ隨意契約ニ依ルコトトシ北米合衆國ハ駐米大使、加奈陀ハ駐日商務委員、英國ハ駐英大使及商務官ヲ經テ、其ノ他ハ直接購入スルコト

賣拂ニ關スル方針

大體農商務省ノ方針ヲ踏襲シ賣拂ハ原則トシテ隨意契約ニ依ルコトトシ官廳公共團體公設市場ニ賣拂フ場合ノ外當該物資ヲ取扱フ問屋又ハ製造加工業者ニ限リ賣拂フコト

問屋又ハ製造加工業者ニ賣拂フ場合ハ左ノ方法ニ依ルコト

- イ 木材又ハ薪炭ハ東京又ハ横濱ニ於ケル木材同業組合又ハ薪炭同業組合ノ撰定シタル問屋ノ代表者ニ賣拂フコトトシ額面金額擔保ヲ徵シ三箇月(已ムヲ得サル場合ハ六箇月)迄ノ延納ヲ認ムルコト但シ各代表者連帶シテ責任スルトキハ擔保ノ額ヲ賣拂代金ノ五割ニ相當スル額迄減シ得ルコト
- ロ 前號ノ同業組合問屋ノ代表者ヲ撰定シ來ラサルトキ、製材原料ヲ製造加工業者ニ賣拂フトキ、又ハ鐵材ヲ賣拂フトキハ一口ノ金額ヲ薪炭ハ五千圓其ノ他ハ壹萬圓以上トシ金額擔保ヲ徵シ、薪炭ハ二箇月(已ムヲ得サル場合ハ三箇月)其他ハ三箇月(已ムヲ得サル場合ハ六箇月)迄ノ延納ヲ認ムルコト

ハ 政府ノ賣拂値段ハ可成之ヲ公表スルコト
官廳公共團體又ハ公設市場ニ對スル賣拂値段ハ問屋又ハ製造加工業者ニ對スル賣拂値段ト區別セラルコト

政府ノ賣拂値段ハ大體震災地ニ於ケル市場價格ヲ標準トシ買入原價金利諸費其ノ他物價調節上ノ目的ヲ考慮シ臨時決定スルコト

保管ニ關スル件

買入物資ノ保管ハ原則トシテ當業者ニ之ヲ委託スルコト、但シ必要ニ應ジ隅田、秋葉原、本所、深川、横濱等ニ倉庫ヲ設ケ買入物資ヲ保管シ又保管ヲ委託スルコト

賣拂金額ノ制限並擔保ニ關スル件

前各項ノ如ク方針ヲ定メタルモ之カ實施ニ付テハ多少ノ困難存スヘキヲ以テ、當分ノ内薪炭類ハ一口二千圓以上木材及金物ハ一口五千圓以上ノ場合ニ限リ國債ヲ擔保トシ薪炭類ニ在リテハ三箇月木材金物類ニ在リテハ六箇月以内ノ延納ヲ許シ、尙官廳公共團體、公設市場並製材業者、木材、薪炭又ハ金物ノ同業組合員ニシテ帝都復興院總裁ニ於テ信用確實ト認メタルモノニ對シテハ無擔保ニテ薪炭類ニ在リテハ二箇月木材及金物類ニ在リテハ三箇月以内ノ延納ヲ許可スルコトトス
以上ノ諸方針ハ十月二十六日院議決定セリ、尙前記延納ニ關シテハ十二月十五日大藏大臣ノ承認ヲ得タリ

一 物資保管ノ現況

外國ヨリ購入ノ物資ハ大正十三年一月二十五日入港ノ「スチツクルスタット」號ヲ第一船トシ漸次

横濱ニ到着シツツアリ、到着物資ノ數量價格ヲ擧クレハ左ノ如シ(復興院ハ二月二十三日ヲ以テ廢止セラレシカ便宜三月末日ノ數字ヲ掲ク)

品名	契約數量	原價	到着數量	原價
米 材	八九〇、五四一石	六、八九九、九〇五	二〇、七九九石	八五〇、一三三、一六〇
加 奈 陀 材	二五三、〇〇〇石	二、六八六、〇三四	一〇、四三五石	二五二、八八三、二三〇
米 金 物	二二二、〇三五噸	五、一一五、三〇〇	二二、七〇九噸	二五二、八八三、二三〇
英 金 物	三、五五〇噸	八〇九、五七二、三六七	五一九噸	二五二、八八三、二三〇
南 洋 材	三〇、〇〇〇石	三、七五〇、〇〇〇	二一、五〇九石	二二三、八五八、一四〇
内 地 材	九三三、二二三石	一、四三七、七二五、八〇〇	六七、四〇三石	九九二、八六一、一三七
木 炭	四三三、一九〇俵	六三二、八一五、三一二	三三〇、〇七五俵	四九一、九八九、五九〇

前記到着物資中賣却済ノモノ左ノ如シ(同上ノ理由ニ依リ三月末日現在)

品名	數量	原價	賣價
米 材	一〇、五七七石	一二九、四〇二、〇七四	一二九、四〇二、〇七四
米 金 物	七五〇噸	一六五、九二〇、〇〇〇	一六五、九二〇、〇〇〇
南 洋 材	九、五六九石	一〇二、一一七、六〇五	一〇二、一一七、六〇五
内 地 材	一九、八四六石	三二四、六四三、四〇〇	三二四、六四三、四〇〇
木 炭	二九四、二八五俵	四七一、九〇〇、一六〇	四七一、九〇〇、一六〇

前記ノ如ク賣却處分濟ノモノ木炭ヲ除キテハ極メテ少量ナリ、賣却未済ノ物資ハ木材ハ横濱鶴見及東京ニ陸上十萬五千五百坪水面十二萬六千八百坪ヲ借入レ保管スルコトトシ、金物ハ横濱ハ横濱倉庫、東京ハ東神、三菱、渡邊各倉庫ニ保管セシムルコトトス

大震災後外材在庫品及内地材ヲ以テ應急ノ需用ヲ充タシ「バラツク」ノ建築モ一通リ行互リタルノミナラス信用状態ハ容易ニ恢復セス金融從テ圓滑ナラサルヲ以テ復興用材ノ如キモ供給過剩ノ傾アリ市場相場モ震災前ノ價格以下トナリ容易ニ安定スヘキ模様ナキヲ以テ政府ノ方針トシテハ寧ロ持久ノ態度ニ出ツルヲ至當ト認メタリ

木材ニアリテハ當初平時ニ於ケル取引機關ノ復興ヲ促進スルヲ以テ方針トシ(別項賣拂ニ關スル方針參照)木材同業組合モ亦政府ノ方針ニ刺戟セラレテ大正十二年十一月十八日十五名ノ代表者ヲ選出シ政府ト問屋トノ間ニ立テ取引交渉ノ任ニ當ルコトトナリタレトモ市場ノ形勢金融ノ狀況等ノ外同業組合員相互間ニ於テモ從來ノ取引關係信用程度ノ一様ナラサルコト等組合員ノ協同一致ヲ妨クル事情モアリ當局ニ於テハ此間低資ノ融通延取引ノ承認其ノ他組合ノ爲相當便宜ヲ計ルコトニ努メタレトモ未タ契約ヲ締結スルニ至ラス

木炭ハ稍之ト異リ同業組合選出ノ代表者ハ組合員ト政府トノ間ニ立テ略取引ヲ完了シタレトモ市況不振ニ伴ヒ違ニ政府ノ購入品全部ノ處分ヲ了スルニ至ラス約五萬俵二十萬貫ヲ次ノ需要期節迄持越スノ止ムナキニ至レリ

金物ニアリテハ組合代表選出ノ議容易ニ纏ラサリシカ大正十二年十一月中代表者一名ヲ選出シタル旨届出テタレトモ市況及金融ノ關係上僅少ノ契約締結ヲ見タルノミ

一 北米材ノ運送契約

北米ヨリ購入シタル木材約八十一萬石ハFOB即チ積地渡ノ契約ナルヲ以テ其ノ運送ノ手配ヲナス必要アリ而シテ可成邦船ヲ利用スルヲ適當トスルヲ以テ十月十日逕信次官宛購入材輸送ニ適スル船舶ノ主ナル所有者内示方照會シタル處同月二十六日回答アリ日本郵船株式會社外十二社ヲ内示シ來レリ

十一月十七日北米材積取船ノ取極メ方ニ關シ關係參與ヲ招致シテ商議ヲ開キタル處大體逕信省ヨリ内示シタル本邦船主ニ交渉シ輸送ヲナシムルヲ妥當ナリト認メ日本郵船會社外十二社ノ代表者ヲ招致シ協議スルコトニ決定シタリ

十一月十八日日本郵船、東洋汽船、大阪商船、三井物産船舶部、國際汽船、山下汽船、帝國汽船、川崎汽船、勝田汽船及太洋汽船、辰馬汽船、岸本汽船及三菱汽船、缺席等十社ノ代表者出頭シタルニ付當院ニ於テハ輸送スヘキ木材ノ種類、數量、積地、揚地及時期等輸送上必要ナル事項ヲ示シ各社カ之レヲ引受ケルヤ否ヤ及運賃其ノ他ノ條件等ニ關シ種々協議ヲナシタル處各社ハ大體共同シテ之レヲ引受ケ得ル見込アル趣ヲ答ヘ尙詳細ノ條件及運賃等ニ付テハ一應關係各社ノ協議及研究ヲ重ネタル上答申シタキ旨申出アリタルヲ以テ同月二十日ヲ期シ回答スルコトニ打合ヲナシタリ

十一月二十日國際汽船會社及山下汽船會社ノ代表者出頭シ前同出席シタル社外船主中辰馬、岸本及三菱ノ三社ハ適當ノ船腹ナキヲ以テ之レニ應シ難キ旨ヲ述ヘ結局山下、三井、勝田、帝國、太洋、川崎及國際ノ七社ニ於テ船腹ヲ提供シ全部ノ運送ヲ引受ケル見込立チタルモ、郵船、商船及東洋汽船等ノ定期船ニ於テ引受ケ得ルモノハ之レニ讓ラルルモ異議ナキ旨ヲ申出テ運賃其ノ他ノ條件ハ左ノ通決定

セラレタキ旨希望アリ

(一) 輸送スヘキ木材約九千六百四十萬B.M.ノ内九太材ハ一割ヲ超ヘサルコト
其ノ輸送月割ハ

十二月	一割
一月	一割五分
二月	一割五分
三月	二割
四月	二割
五月	二割

(二) 運賃 一千B.M.ニ付米貨十五弗

但シ「グレース」港「ウイラツバ」灣積ハ積荷量ヲ吃水ノ許ス範圍ニ制限シ且此港ヲ先船トスルコト

兩港積ノ運賃ハ積取船全積量ニ對シ一千B.M.ニ付「グレース」港一弗増「ウイラツバ」灣一弗五十仙増ノコト

(三) 揚地 横濱門司間

(四) 積地荷役 「ランニング」一日三十萬B.M.
但シ日曜祭日ヲ除ク

(五) 揚地荷役 日曜祭日ヲ含ミ「ランニング」一日六十萬B.M.

(六) 滯船料 一日噸十二錢辰六錢

右船主側ノ申出ニ對シ當院ニ於テハ當時ノ一般運賃市場及太平洋沿岸ニ於ケル海運界ノ狀況等ヲモ調査シ可成當時ノ市場相場ヲ標準トシテ決定スルヲ至當ト認メ遞信次官其ノ他關係參與ヨリ種々意見ヲ徴シタル上對案ヲ作成シ更ニ船主ト交渉スルコトニ決シタリ

尙郵船商船及東洋汽船ノ三社ヨリハ配船ノ都合上院購入材ノ運送ニ應シ難キ旨申出アリタルニ付結局前記七社ヲシテ全部ノ輸送ヲナサシムルコトニ豫定シタリ

十一月二十五日前記七社ノ代表者ヲ招致シ運賃其ノ他ノ諸條件ニ付當局ニ於テハ「グレース」港「ウイラツバ」灣積地ニ於ケル割増運賃ハ其ノ地ニ於ケル實際ノ積高ノミニ付割増ノコト揚地及積地荷役ヲ「ランニング」トセス晴天荷役トスルコト揚地ニ於ケル一日責任荷役數量ヲ四十五萬B.M.ニ減少スルコト滯船料一日噸十二錢ヲ十錢トシ辰ヲ五錢トスルコト等提案ヲ示シ右ハ當院ニ於テ調査シタル海運現況ニ鑑ミ査定シタルモノナルコト及此際船主ニ於テモ帝都復興ノ爲ニ犠牲的精神ヲ以テ之ニ應スヘキ様態示シタル處船主側ニ於テモ目下ノ運賃市況其ノ他ニ付キ詳細縷述シ最初提出ノ諸條件ハ最モ詳細ニ審議ヲ重ネ世上ノ批難ナキ様考慮ノ上決定シタルモノニシテ殆ント讓歩ノ餘地ナキ旨ヲ開陳シタルカ種々懇談ヲ重ネタル結果遂ニ船主側ハ政府ノ提案シタル晴天荷役ノ外全部ノ提議ヲ承認シ政府ハ特別積地ニ於ケル割増運賃「グレース」一弗増ヲ一弗三十仙「ウイラツバ」一弗五十仙ヲ一弗八十仙ニ改ムルコトヲ承認シ茲ニ契約ノ成立ヲ見ルニ至リ十二月二十六日正式ニ海運契約書ヲ交付シタリ

一 北米材ノ海運保險

北米「ドグラスファア」及「ブラトリー」兩社ヨリ購入シタル米材約八十一萬石ハ北米西岸船側渡ニ

ヲ買付成立セルヲ以テ右物資輸送中ニ於ケル萬一ノ損害ヲ保證スル爲海上保險ニ附スルヲ適當ト認メ本邦保險會社中海軍省其ノ他諸官省ト取引アル最モ確實ト認メラル東京海上火災保險株式會社帝國海上運送火災保險株式會社三菱海上火災保險株式會社扶桑海上保險株式會社及大正海上運送火災保險株式會社等ノ五社ヲ撰ヒ十二月九日前記五社ノ代表者ヲ招キ右海上保險並京濱間解及貨輸送保險ノ締結方ニ付協議ヲ重ネ此際犧牲的精神ヲ以テ少クトモ市場貨率以下ノ料金ヲ以テ各社協力シ引受ケ方懇談シタル處幸ニ各社ニ於テハ當局ノ意ヲ諒シ左記條件ヲ以テ引受ヲ承諾シ十二月十一日正式ニ契約ヲ締結シ書類ノ交付ヲナシタリ

- (一) 保險金額約一千三十萬圓原價運賃諸掛及爲替變動ニ伴フ損失準備金ヲ合計シタルモノ
 - (二) 保險ニ付スヘキ時期 大正十二年十二月ヨリ向フ六箇月間
 - (三) 保險取極メ方 「オーブン・ポリシー」トシ輸送船舶積切出帆毎ニ數量及價格ヲ院ヨリ通知スルコト
 - (四) 條件 特擔分損トシ投荷浪濤ニ付テハ受命者ニテ負擔ノコト
 - (五) 保險率 保險金一百圓ニ對スル本船ノミノ割合(但シ本船順路北向地入港ノコト)
- 自北米太平洋岸諸港灣但シ本船安全碇泊港灣タルコト)至橫濱清水名古屋神戸大阪又ハ門司

船積	船齡二十年以下	船齡二十一年以上 二十五年以下	船齡二十六年以上 三十年以下	備考
甲	金二十三錢正味	金二十六錢正味	金三十一錢正味	年齡計算方法ハ進水ノ月如何ニ不拘其年ヲ一箇年トシ出帆ノ年ハ之ヲ算入セス
板積	金四十六錢正味	金五十二錢正味	金六十錢正味	

解船又ハ筏ニヨリ延長輸送ノ場合

橫濱本船ヨリ同港内揚	解	舟	筏
橫濱本船ヨリ東京送り	金四錢正味	金十六錢正味	金八錢正味
	金十六錢正味		金三十錢正味

本船ヨリ陸揚後橫濱又ハ東京ニ於テ被保險貨物カ稅關構内其ノ他今後協定スル場所ニ保管中二週間ノ火災危險擔保ノ場合ハ金十五錢ノ正味

一 購入木材並鐵材ノ荷役及京濱間ノ輸送關係

購入木材及鐵材ノ橫濱着後本船荷役解輸送及陸揚作業ニ關シテハ震災以來京濱間解數約半減ノ實狀ニ鑑ミ之ヲ現在ノ京濱間解業者ニ請負ハシムルコトハ一般民間ノ輸入物資ノ荷役並輸送ニ支障ヲ來サシムル虞アルノミナラス當局作業ノ上ニモ種々困難アリト認メタルニ付陸軍省及海軍省所有ノ解舟ヲ一時借入レ之ヲ供給シテ解業者ニ當院物資ノ荷役ヲ行ハシムルニ於テハ此等障害ヲ少カラシムヘキニヨリ十一月二十七日右兩省軍務局ニ交渉シ當院物資荷役ノ爲其ノ管理ニ屬スル解並曳船用小蒸汽船借用方交渉シタル處十二月六日海軍省ヨリハ目下同省所屬ノ事業繁多極メ解不足ニ付充分ノ融通ニ應ジ難キモ橫須賀所在ノ石炭用解四隻約四〇〇噸ヲ貸與スヘキ旨回答アリ然ルニ陸軍省ニ於テハ十二月四日軍務局長ヨリ若シ民業壓迫等ノ批難ナキニ於テハ此際陸軍運輸部ニ於テ復興院物資ノ解輸送並荷役一切ヲ引受クルコトハ現下京濱間ニ於ケル解不足ノ緩和策トシテ相當効果アルノミナラス陸軍ニ於テモ練習ノ機會ヲ得ル次第ナルヲ以テ之カ具體的方法ニ付

共同研究ヲ進メ度キ旨内交渉アリタルニ付同日松本副總裁ハ更ニ陸軍大臣ニ面接シ協議ヲ重ネタル上同省關係員並當院係員トノ間ニ數回ノ交渉ヲ重ネ種々具體的資料ヲ提供シテ共同研究ノ結果十二月十日陸軍省ニ於テハ宇品陸軍運輸部ヨリ右作業ノ爲必要ナル海軍材料即チ大型小蒸汽船十一隻小型小蒸汽船七隻水船四隻傳令艇十隻團平船百五十隻大團平船十一隻ヲ提供スル外之カ監督指揮ヲナス爲將校技兵員ヲ派遣シ得ル見込アルモ一切ノ經費ハ復興院ニ於テ支出アリタキ旨回答アリ尙此作業ハ事業ノ性質上他省トノ關係モアル次第ニ付愈決定ノ曉ニハ一應閣議ノ諒解ヲ受ケ萬遺憾ナキヲ期シ度希望ノ申出アリ

仍テ當局ニ於テハ陸軍省提議ニ對シ關係參與ノ意見ヲモ聽取シ種々調査研究ヲ遂ケタル處陸軍運輸部ニ一切ノ事業ヲ委任スルトキハ民間當業者ニ請負ハシムル場合ニ比シ其ノ經費ニ幾分ノ増加ヲ來タスヘキモ京濱間一般船運送ノ緩和策トシテ將又事業ノ迅速正確ヲ期スル上ニ於テ最モ効果アリト認メ十二月十七日右作業ヲ陸軍ニ委託スルコトニ院議ヲ決シタル上直ニ陸軍省ニ對シ其ノ旨ヲ回答シ次テ十二月二十日案ヲ具シテ議院内臨時閣議ニ提出シ其ノ決裁ヲ經ルト同時ニ當院及陸軍省トノ間ニ帝部復興用物資揚陸ニ關スル疊書ヲ作成交付シ大體左ノ要領ヲ以テ陸軍運輸部ハ當院購入物資ノ荷役作業一切ヲ引受クルコトニ決シタリ

- (一) 本作業ハ復興院ノ計算ニ於テ陸軍之ヲ行フコト
- (二) 揚陸スヘキ物資ハ木材約百二萬六千石磁材約二萬六千噸ニシテ一月以降七月ニ亘リ分割横濱港ニ輸入ノコト
- (三) 揚陸作業期間ハ一月二十四日以降七月ニ終ルモノトス
- (四) 陸軍ハ揚陸ニ關シ本船沖取ヨリ集積ヲ終ル迄一切ノ業務ヲ擔任スルコト

- (五) 作業ハ部分的請負ニ附スルヲ常則トスルコト
 - (六) 本船一隻ニ付一日平均九百三十七噸半ノ沖取ヲ行フコト
 - (七) 陸軍ハ本作業ノ爲メ大小小蒸汽船十八隻水船四隻傳令艇十隻大小團平船百六十二隻ヲ提供シ不足分約四千噸ハ復興院ヨリ提供スルコト
 - (八) 揚陸作業ニ必要ナル設備ハ陸軍ニ於テ行フコト
- 出張員用廳舎詰所陸軍所屬傭人仲仕等ノ宿舍及所要ノ寢具備品等ハ復興院ニ於テ設備スルコト

一 船ノ新造、借入

横濱着後ニ於ケル院買付物資ノ荷役ハ前項記載ノ理由ニヨリ擧ケテ之ヲ陸軍ニ委託スルノ計畫ヲ樹テタルモ尙船四千噸不足ノ見込ナルニヨリ浦賀船渠三井物産、淺野造船ノ見積書ヲ徴シタル上十二月十一日最低價格ナル三井物産造船部ト契約シ差當リ百五十噸積鋼製船十隻、百二十噸積鋼製船十隻ヲ新造セシメ尙不足トナル分ハ實況ニ應シ便宜民間ヨリ借入ノコトニ計畫シタリ

一 物資供給關係參與會經過

局ノ事業遂行ニ關シ毎週火曜日ヲ定日トシ打合ノ爲關係參與及關係ノ局課長參集協議又ハ報告シタル事項左ノ如シ

第一回 十一月一日

參與會總會ニ於テ物資供給ニ關スル特別委員選定セラレ同日總會終了後直ニ第一回參與會開會、特別委員長ヲ選舉シ岡本農商務次官當選ス

第二回 十一月二日開會

農商務省ヨリ引繼ノ顛末其ノ後ノ米國トノ交渉經過賣買ニ關スル大體方針等ヲ説明シ異議ナク終了セリ

第三回 十一月二十七日

北米材輸送ニ關シ船舶業者ト當院トノ輸送契約締結ニ關スル經過要領ヲ報告シ尙外國木材橫濱着後ノ荷役其ノ他ニ關シ協議シタリ

第四回 十二月四日

北米材橫濱着後ノ荷役其ノ他ニ關シ左記各項ニ付協議シタルモ全部議了ニ至ラス更ニ次回ニ於テ協議スルコトトセリ

- (一) 本船ヨリノ引取検査
- (二) 船ノ新造借入
- (三) 船運送請負業者條件
- (四) 置場及倉庫
- (五) 木場ニ於ケル水揚仕分ノ請負業者條件
- (六) 消費組合建築組合等ニ特賣スルコトノ可否
- (七) 製材業者ニ賣渡ス場合ノ最低金額又ハ數量
- (八) 賣渡條件渡シ場所代金延納期間擔保
- (九) 買受人ヘノ引渡
- (十) 保險

(二) 大正十三年三月以降供給物資ノ種類及數量
第五回 十二月八日(臨時)

前回の議題ニ對シ第八項迄議了ス

第六回 十二月十一日

前項未了議題ニ付協議ヲ了シタル外外國買付物資ノ荷役一切ヲ陸軍運輸部ニ委託ニ關スル交渉顛末並其ノ費用等ニ付報告シ其ノ採擇ニ關シ協議ス

第七回 十二月二十六日

「物資供給令ニ關スル議會ノ經緯」外國買付物資ノ船荷役ヲ陸軍ニ委託顛末」ヲ報告シ並協議ス

一 計畫資料調査ノ件

供給物資ノ購入及之ニ伴フ各種計畫ノ基礎資料トスル爲各囑託員ノ分擔ヲ定メ諸種ノ調査ヲ爲シタリ其ノ調査事項左ノ通

- 一 震災地ニ於ケル震災前ト震災後トノ諸物價ノ比較
- 二 同 木材(原木及製品)相場ノ比較
- 三 同 木炭相場ノ比較
- 四 同 亞鉛引鐵板、黒板、釘相場ノ比較
- 五 震災地外ニ於ケル震災前ト震災後トノ一般諸物價ノ比較
- 六 同 木材(原木及製品)相場ノ比較
- 七 同 木炭相場ノ比較

亞鉛引鐵板、黑板、釘相場ノ比較

- 八 同
- 九 外國市場ニ於ケル震災以前ト震災後トノ木材(原木及製品)相場比較
- 一〇 同 亞鉛引鐵板、黑板、釘相場ノ比較
- 一一 最近三箇年間ノ木材消費量、價格、用途、種類(原木、製品ノ別)
- 一二 同 輸入量、價格、種類(原木、製品ノ別)國別
- 一三 最近三箇年間ノ鐵材、亞鉛板、黑板、釘消費量、價格
- 一四 同 輸入量、價格國別
- 一五 大正十二年一月又ハ四月ヨリ八月末迄ニ震災地ニ移入シタル木材、原木、製品、數量、價格
- 一六 同 輸入シタル木材、原木、製品、數量、價格
- 一七 同 輸入ノ契約ヲナシタル木材、原木、製品、數量、價格
- 一八 大正十二年九月以降震災地ニ陸及海ヨリ移入シタル木材、原木、製品、數量、價格
- 一九 同 輸入シタル木材、原木、製品、數量、價格
- 二〇 同 輸入契約ヲナシタル木材、原木、製品、數量、價格
- 二一 大正十二年九月末及十月末十一月末現在ノ木材、原木、製品、數量
- 二二 同 鐵材數量
- 二三 同 木材契約殘高
- 二四 同 鐵材契約殘高
- 二五 震災ノ爲滅失シタル鐵材、木材、原木、製品、木炭數量
- 二六 震災地ニ於ケル震災前後ノ製材場數及能力

- 二七 震災後新設及擴張計畫セラレツツアル製材所數及能力、其ノ中見込アルモノ幾何
- 二八 震災前後ノ倉庫設備、能力
- 二九 震災後計畫セラレツツアル倉庫設備、能力、位置、場所、其ノ中見込アルモノ幾何
- 三〇 震災前後ノ解、仲仕、能力、料金、組織
- 三一 同 船舶輸送能力、料金(近海、遠洋)
- 三二 同 鐵道輸送力、輸送數量、品種
- 三三 同 小運送機關、數量、能力、賃金、組織
- 三四 震火災ニヨリテ燒(滅)失シタル家屋戸數、坪數
- 三五 今後ノ需要、木材、木炭、鐵材、其他
- 三六 最近ニ於ケル木材、木炭及鐵材ノ卸値段及小賣値段

附 錄

(甲) 帝都復興評議會議案附屬書類

諮問第一號

帝都復興院評議會

左ノ件ニ付其ノ會ノ意見ヲ諮フ

大正十二年十一月十五日

帝都復興院總裁子爵後藤新平

記

- 一 復興計畫區域及復興事業ノ規模ニ關スル件
- 二 復興計畫ノ統制及復興事業ノ執行ニ關スル件
- 三 復興事業費ノ負擔區分ニ關スル件

(各件ノ内容ニ付テハ評議會記事七七頁參照)

附屬書類

街路之部

番號	路	線 (起終點及經過地)	延長 (約)	幅員
一	品川町ヨリ本芝一丁目、芝口一丁目、木挽町、江戸橋、和泉橋、車坂町、三ノ輪町ヲ經テ千住町大橋ニ至ル 内 品川ヨリ本芝一丁目迄 右終點ヨリ芝口一丁目迄 右終點ヨリ車坂町迄 右終點ヨリ千住大橋迄	八、〇一〇	一八乃至二四	
二	九段坂下ヨリ南神保町、兩國橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル 内 九段坂下ヨリ南神保町迄 南神保町ヨリ兩國橋西詰迄 兩國橋西詰ヨリ龜戸町迄	三、四一〇 三、一〇〇 一、四九〇 一、六一〇	一五乃至二四 一八 二四 一八	
三	吳服橋外ヨリ永代橋ヲ經テ砂町ニ至ル	二、九二〇	二〇	
四	有樂町一丁目ヨリ尾張町、木挽町三丁目、築地三丁目ヲ經テ月島二號地ニ至ル (隅田川ヲ含マス) 内 有樂町一丁目ヨリ木挽町三丁目迄 木挽町三丁目ヨリ築地三丁目迄 築地三丁目ヨリ月島二號地迄	一、二五〇 四八〇 二、三三〇 五、四〇〇	一五乃至二〇 二〇 一八 一五	
五	築地三丁目ヨリ入船町、龜島町、濱町三丁目、淺草橋、南元町、北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル	四、四二〇	一八	
六	上野公園前ヨリ駒形町ヲ經テ押上町ニ至ル	二、〇〇〇	二〇	
七	東京驛東口城邊河岸ヨリ下槇町、龜島橋ヲ經テ新船松町ニ至ル	八、三〇〇	一二乃至二八	

八	永樂町一丁目淺草橋ヨリ元千代田町ニ至ル	一、一〇〇	四〇
九	櫻田門外ヨリ新議事堂前ニ至ル	三、三二〇	三〇
一〇	相生橋南詰ヨリ和倉町、相生町ヲ經テ中ノ郷竹町ニ至ル 内 相生橋南詰ヨリ和倉町迄 和倉町ヨリ中ノ郷竹町迄	二、七八〇 六、九〇〇 二、〇九〇	一三、五乃至二〇 二〇 一三、五
一一	東京驛北口錢瓶町ヨリ新當盤橋、小傳馬町一丁目ヲ經テ淺草橋ニ至ル	八七〇	一五
一二	神田橋内ヨリ淡路町一丁目ヲ經テ本郷三丁目ニ至ル 内 神田橋内ヨリ淡路町一丁目迄 淡路町一丁目ヨリ本郷三丁目迄	一、二九〇 四、二〇〇 八七〇	一五乃至一八 一八 一五
一三	一ツ橋内ヨリ南神保町、水道橋、植物園前、大塚跨道橋ヲ經テ巢鴨町庚申塚ニ至ル 内 一ツ橋内ヨリ大塚跨道橋迄 大塚跨道橋ヨリ巢鴨町庚申塚迄	三、七八〇 三、一八〇 六〇〇	一二乃至一五 一五 一二
一四	大手町一丁目ヨリ一ツ橋内雉子橋、新川橋、飯田橋、山吹町、音羽五丁目ヲ經テ高田町ニ至ル 内 大手町一丁目ヨリ一ツ橋内迄 一ツ橋内ヨリ高田町迄	四、〇五〇 三、四〇〇 三、七一〇 一、七二〇	一五乃至二〇 二〇 一五 一五
一五	市ヶ谷見附ヨリ市ヶ谷谷町ヲ經テ淀橋町跨道橋ニ至ル	一、七二〇	一五

一六	溜池町ヨリ六本木町、青山六丁目ヲ經テ道玄坂下ニ至ル	二、四〇〇	一五
一七	虎ノ門ヨリ西久保神谷町、中ノ橋、白金臺町ヲ經テ目黒驛ニ至ル	三、〇九〇	一五
一八	櫻田本郷町ヨリ芝公園ニ至ル	五八〇	一八
一九	鍛冶橋外ヨリ柳町、彈正橋、高橋ヲ經テ箱崎町四丁目ニ至ル 内(鍛冶橋外ヨリ柳町迄) 譯(柳町ヨリ箱崎町迄)	八八二 二四〇 六四二	一一乃至一八 一八 一二
二〇	芝口一丁目ヨリ虎ノ門ヲ經テ赤坂見附ニ至ル	一、五一〇	一八
二一	一ツ橋外ヨリ鎌倉河岸城邊河原ヲ經テ新橋驛ニ至ル	二、〇五〇	一五
二二	雉子橋内ヨリ九段坂下ヲ經テ飯田町三丁目ニ至ル	八四〇	一五
二三	九段坂下ヨリ富士見町一丁目、半藏門前ヲ經テ新議事堂前ニ至ル	一、三九五	一五
二四	蠅渡町二丁目ヨリ人形町通ヲ經テ岩本町ニ至ル	八八〇	一五
二五	壹岐殿坂下ヨリ本郷一丁目、二長町、御藏前片町、法恩寺橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル 内(壹岐殿坂下ヨリ御藏前片町迄) 譯(御藏前片町ヨリ龜戸町迄)	三、六九〇 一、八七五 一、八一五	一一乃至一五 一五 一二
二六	淺草區村木町ヨリ吉野橋ヲ經テ三ノ輪ニ至ル	一、四〇〇	一三五
二七	兩國橋東詰ヨリ兩國驛ニ至ル	九五	一八
二八	西久保町ヨリ新宿驛ニ至ル	八〇	一八
二九	木挽町九丁目ヨリ築地四丁目ニ至ル	一一〇	一五

三〇	南元町ヨリ既橋通黒船町ニ至ル	二〇〇	一五
三一	深川公園前ヨリ砂町ニ至ル	一、五三〇	一二
三二	濱町三丁目ヨリ中洲町、石島町ヲ經テ砂町ニ至ル	二、一四〇	一二
三三	濱町三丁目ヨリ新大橋、菊川橋ヲ經テ大島町ニ至ル	一、七七〇	一二
三四	中ノ郷元町ヨリ寺島町ニ至ル	一、〇九〇	一二
三五	山ノ宿町ヨリ龜岡町ヲ經テ橋場町ニ至ル	八六〇	一二
三六	吉野橋ヨリ南千住町常盤線踏切ニ至ル	七七〇	一二
三七	大手町一丁目ヨリ北箱町、荒布橋、濱町一丁目ヲ經テ兩國橋西詰ニ至ル	一、六四〇	一二
三八	龍關橋北詰ヨリ紺屋町、美倉橋、竹町ヲ經テ入谷町ニ至ル	二、一八〇	一二
三九	道三町ヨリ鎌倉河岸、昌平橋、天神町二丁目ヲ經テ池ノ端七軒町ニ至ル	一、九二五	一二
四〇	巢鴨宮下ヨリ大塚辻町ヲ經テ池袋ニ至ル	一、〇二〇	一二
四一	霞町ヨリ廣尾町ヲ經テ惠比須驛前ニ至ル	一、四二〇	一二
四二	今入町ヨリ愛宕町ヲ經テ赤羽橋南詰ニ至ル	一、〇六〇	一二
四三	千束町一丁目ヨリ今入町ニ至ル	六三〇	一二
四四	入谷町ヨリ山ノ宿町、淺草驛前、本所驛脇ヲ經テ洲崎ニ至ル	三、八七〇	一二
四五	荒布橋東詰ヨリ思案橋ヲ經テ小網町四丁目ニ至ル	二一〇	一二
四六	西久保神谷町ヨリ宇田川町ニ至ル	五〇〇	一二

公園之部

名稱	坪	數	摘	要
隅田公園		四〇、〇〇〇	隅田川沿岸	
江東公園		四〇、〇〇〇	深川御料地附近	
日本橋公園		一〇、〇〇〇	日本橋區内	

港灣之部

第一 横濱港

税關設備ヲ復舊シ第三期擴張計畫ヲ遂行ス

第二 東京港

港門ヲ大森地先ニ設ケ航路ヲ芝浦地先ニ導キ繫船壁ヲ築造シ永代橋以下ヲ浚深シ船溜及船溜ヲ設ケ防波堤及導流柵ヲ配置ス

航路 延長約三千百間 幅員百間 水深湖岸千沙平均水面以下二十五尺

船溜 水深二十五尺 面積約五十六萬坪

解溜 水深十二尺 面積約十二萬坪

永代橋川口間 延長約千四百間 幅員八十間 水深二十尺

繫船岸壁 水深二十五尺 岸壁日ノ出町及芝浦町地先 延長約千三百間

物揚場 水深八尺 品川停車場地先 延長約八百四十間

防波堤 各砲臺ヲ連結シ月島地先ニ約千九十間ノ假防波堤ヲ設クルノ外砲臺外航路ヲ據シテ左ノ防波堤ヲ築造ス

南防波堤 延長千百間

北防波堤 延長千五百間

陸上設備 上屋約三千七百坪

運河之部

第一 京濱運河

神奈川縣鶴見地先ヨリ六郷川ヲ横斷シテ大森地先ニ至ル延長約八千九百間幅員五十間ヲ期望干潮平均水面以下十二尺ニ浚深ス

第二 市内運河

名稱	延長(間)	幅員(間)	深度(零點下尺)	備考
新鑿第一	三三〇	二二二	六	新鑿第二ト共ニ横十間川ヲ洲崎川ニ連絡スルモノ
同 第二	三五〇	同	同	新鑿第一ト共ニ洲崎川ヲ横十間川ニ連絡スルモノ
同 第三	一三〇	同	同	大島川ノ曲線部ヲ直鑿スルモノ
同 第四	一六〇	一八	同	築地川ト楓川ヲ連絡スルモノ

五	南吉田町南六ツ目ヨリ中村町、根岸町、瀧頭町八幡橋西詰ヲ經テ磯子町 郡市境界ニ至ル	二二三四〇	一一二
六	大江橋南詰ヨリ馬車道、尾上町西ノ橋西詰、元町、北方町ヲ經テ本牧町 原ニ至ル 内 大江橋南詰ヨリ西ノ橋北詰迄 譯 右終點ヨリ本牧町原ニ至ル	二二五九一 九一一 一六八〇	一二乃至一三五 一三五 一一二
七	神奈川陸橋ヨリ反町、神奈川町二ツ谷、東神奈川驛裏ヲ經テ郡市境界六 角橋ニ至ル 内 神奈川陸橋ヨリ神奈川町二ツ谷迄 譯 右終點ヨリ郡市境界六角橋迄	一一二〇〇 三四五 八五五	九乃至一三五 九
八	淺間町(國道横濱中野線)ヨリ西戸部町鹽田、藤柳南太田町、霞町、吉 岡町五丁目ヲ經テ中村町ニ至ル 内 淺間町ヨリ西戸部町(俗稱藤柳)迄 譯 右終點ヨリ霞町迄 右終點ヨリ吉岡町五丁目迄 右終點ヨリ中村町迄	二二一四〇 七五〇 七九〇 二四〇 三六〇	九乃至一二 一一 一〇 一一 九
九	神奈川町陸橋東詰ヨリ東輕井澤、淺間下ヲ經テ淺間町洪福寺前ニ至ル 内 神奈川町陸橋東詰ヨリ淺間下迄 譯 右終點ヨリ淺間町洪福寺前迄	一一四八七 八四七 六四〇	九乃至一二 九
一〇	國道第一號線輕井澤ヨリ反町ヲ經テ神奈川二ツ谷ニ至ル	九六二	一一
一一	國道第一號線子安町ヨリ神ノ木ニ至ル	七五〇	九
一二	西平沼町ヨリ伊勢町、野毛町、日ノ出町、長者橋ヲ經テ千秋橋南詰ニ至ル	一四五八	一〇乃至一二

一三	西平沼町ヨリ伊勢町ニ至ル 内 西平沼町ヨリ日ノ出町ニ至ル 譯 右終點ヨリ千秋橋南詰ニ至ル	六九二 三五〇 四一六	一一二 一〇 一一
一四	車橋ヨリ中村町字打越ヲ經テ山元町ニ至ル	一七二〇	九
一五	石川町一丁目ヨリ中村町中村橋ヲ經テ蒔田町六反目ニ至ル 内 蒔田町六反目ヨリ井土ヶ谷町法心下迄 譯 右終點ヨリ大岡川村永田迄 右終點ヨリ保土ヶ谷町岩間迄	一一三五五 六〇〇 四一五 三四〇	九乃至一二 九 一一 一〇
一六	櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目、日ノ出町、初音町、南太田町ヲ經テ井 土ヶ谷町ニ至ル	一七二〇	九
一七	西戸部町鹽田ヨリ同町反目ニ至ル	四七五	九
一八	千歳町二丁目ヨリ千歳橋ヲ經テ南吉田町字南七ツ目ニ至ル	一四六三	一一
一九	新横濱驛ヨリ平沼町三丁目ヲ經テ現横濱驛廣場ニ至ル	三三二	一一
二〇	國道第一號線神奈川町十番町ヨリ東神奈川驛ニ至ル	一一二六	一一
二一	平沼橋南詰ヨリ岡野町新田間橋ヲ經テ淺間下ニ至ル	三九〇	一一
二二	横濱枕關前	九七	一五
二三	北方町小港ヨリ新山下町ニ至ル	三三〇	一〇
合計		二九八九二	

横濱公園之部

名稱	坪數	摘要
日ノ出川公園	四、八〇〇	日ノ出川跡地
山下公園	二五、〇〇〇	山下町埋立地
野毛山公園	二〇、〇〇〇	野毛山貯水池跡及隣接地
神奈川公園	六、〇〇〇	神奈川區有水面埋立地
計	五三、八〇〇	四ヶ所

横濱運河之部

番號	運河(起終點及經過運河々川名)	延長(約)	幅員
山下橋ヨリ堀川、中村川及堀割川ヲ經テ八幡橋ニ至ル		二、九〇〇	一八

(乙)

帝都復興審議會議案

一 帝都復興計畫案ノ大綱ニ關スル件

大正十二年九月煥發セラレタル 詔書ノ 聖旨ヲ奉讀シ東京及横濱兩市ノ災後ニ善處スルト共ニ其ノ將來ノ發展ニ備フル爲メ帝都復興計畫ノ規模ヲ按スルニ其ノ計畫區域トシテハ各都市計畫區域ノ都市計畫法ニ依リテ確定シタルアリ共ニ社會上經濟上都府トシテ有機的生活ヲ營ムニ足ルノ地域ヲ包含シ今違ニ之ヲ變改スルノ必要ヲ認メス商工業及住居ノ地域ニ關スル制亦震災ノ直前ニ於テ都市計畫法ニ依リ夫々權限アル機關ノ議定ヲ經タルアリ之ヲ土地ノ狀況交通運輸ノ利便並災後ニ於ケル復興ノ趨向等ニ照ラシ大體ニ於テ則トルニ足ルモノト認ム依ツテ帝都ノ復興ニ關シテハ東京及横濱ノ兩市共ニ其ノ都市計畫區域内ニ健全ニシテ秩序アル都府ノ建設ヲ促進スルヲ主眼トシ民度ト財力ノ許ス範圍ニ於テ事ノ緩急ヲ稽ヘ序ヲ逐ヒテ案ヲ進メ交通衛生保安經濟教育等ニ關スル重要施設ノ整備ヲ圖リ永久ニ帝都ノ安寧ヲ維持シ福利ヲ増進スルノ基礎ヲ固ムル爲先ツ以テ主トシテ燒失地域ノ復興ニ必要ナル施設ノ遂行ヲ期シ其ノ國ニ於テ執行スルモノト地方ニ於テ執行スルモノトノ區分及其ノ負擔方法ハ別ニ定ムル所ニ依リ後者ニ對シテハ財政上ノ援助ヲ與ヘテ施行セシメント欲ス其ノ要綱左ノ如シ

第一 街路ノ規格及線路ノ系統

都市構築ノ規矩タル街路ニ付テハ大震火災ノ慘害ニ鑑ミ此際特ニ英斷スルノ要アリ乃專ラ交通幹線ノ配置ニ意ヲ用ヒ之カ規格ハ高速度鐵道ノ敷設ニ備フル爲幅員ヲ十五間以上三十間トシ幅員六間以上ノ街路ヲ之ニ配シ其ノ電氣軌道網ヲ構成スヘキ路線ノ規格ハ十一間以上トシ地域ノ狀況ト交通ノ系統ヲ案シテ主要路線ノ系統及其ノ規格等大要左ノ如ク定メ主要街路ノ交角並橋臺地等ニハ適當ナル廣場ヲ設ク

東京之部

番號	路	線	延長(約)	幅員
一	品川町ヨリ本芝一丁目、芝口一丁目、木挽町、江戸橋、和泉橋車坂町ヲ經テ三ノ輪町ニ至ル		七、四一〇	一八乃至二四
二	九段坂下ヨリ南神保町、兩國橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル		三、四一〇	一五乃至二四
三	吳服橋外ヨリ永代橋ヲ經テ砂町ニ至ル		二、九二〇	二〇
四	右樂町一丁目ヨリ尾張町、木挽町三丁目、築地三丁目ヲ經テ月島二號地ニ至ル(隅田川ヲ含マス)		一、二五〇	一五乃至二〇
五	築地三丁目ヨリ入船町、龜島町、濱町三丁目、淺草橋、南元町、北田原町ヲ經テ金杉下町ニ至ル		四、四二〇	一八
六	上野公園前ヨリ駒形町ヲ經テ押上町ニ至ル		二、〇〇〇	二〇
七	東京驛東口城邊河岸ヨリ下横町、龜島橋ヲ經テ新船松町ニ至ル		八三〇	一二乃至一八
八	永樂町一丁目淺草橋ヨリ元千代田町ニ至ル		一一〇	四〇
九	櫻田門外ヨリ新議事堂前ニ至ル		三三〇	三〇
一〇	相生橋南詰ヨリ和倉町、相生町ヲ經テ中ノ郷竹町ニ至ル		二、七八〇	一三、五乃至二〇
一一	東京驛北口錢瓶町ヨリ新常盤橋、小傳馬町一丁目ヲ經テ淺草橋ニ至ル		八七〇	一五
一二	神田橋内ヨリ淡路町一丁目ヲ經テ本郷三丁目ニ至ル		一、二九〇	一五乃至一八

一三	一ツ橋内ヨリ南神保町、水道橋ヲ經テ壹岐殿坂下ニ至ル		九二〇	一二乃至一五
一四	大手町一丁目ヨリ一ツ橋内雉子橋、新川橋ヲ經テ飯田橋ニ至ル		一、五四〇	一五乃至二〇
一五	虎ノ門ヨリ西久保神谷町ニ至ル		四八〇	一五
一六	櫻田本郷町ヨリ芝公園ニ至ル		五八〇	一八
一七	鍛冶橋外ヨリ柳町、彈正橋、高橋ヲ經テ箱崎町四丁目ニ至ル		八八二	一二乃至一八
一八	芝口一丁目ヨリ虎ノ門ヲ經テ赤坂見附ニ至ル		一、五一〇	一八
一九	一ツ橋外ヨリ鎌倉河岸、城邊河岸ヲ經テ新橋驛ニ至ル		二、〇五〇	一五
二〇	雉子橋内ヨリ九段坂下ヲ經テ飯田町三丁目ニ至ル		八四〇	一五
二一	九段坂下ヨリ富士見町一丁目、半藏門前ヲ經テ新議事堂前ニ至ル		一、三九五	一五
二二	龜殼町二丁目ヨリ人形町通ヲ經テ岩本町ニ至ル		八八〇	一五
二三	壹岐殿坂下ヨリ本郷一丁目、二長町、御藏前片町法恩寺橋ヲ經テ龜戸町ニ至ル		三、六九〇	一二乃至一五
二四	淺草區村木町ヨリ吉野橋ヲ經テ三ノ輪ニ至ル		一、四〇〇	一三、五
二五	兩國橋東詰ヨリ兩國驛ニ至ル		九五	一八
二六	木挽町九丁目ヨリ築地四丁目ニ至ル		一一〇	一五
二七	南元町ヨリ厩橋通黒船町ニ至ル		二〇〇	一五
二八	深川公園前ヨリ砂町ニ至ル		一、五三〇	一二
二九	濱町三丁目ヨリ中洲町、石島町ヲ經テ砂町ニ至ル		二、一四〇	一二

番號	路	線	延長(約)	幅員
三〇	濱町三丁目ヨリ新大橋菊川橋ヲ經テ大島町ニ至ル		一、七七〇	一、二
三一	中ノ郷元町ヨリ寺島町ニ至ル		一、〇九〇	一、二
三二	山ノ宿町ヨリ龜岡町ヲ經テ橋場町ニ至ル		八六〇	一、二
三三	吉野橋ヨリ南千住町常磐線踏切ニ至ル		七七〇	一、二
三四	大手町一丁目ヨリ北輔町、荒布橋、濱町一丁目ヲ經テ兩國橋西詰ニ至ル		一、六四〇	一、二
三五	龍岡橋北詰ヨリ紺屋町、美倉橋、竹町ヲ經テ入谷町ニ至ル		二、一八〇	一、二
三六	道三町ヨリ鎌倉河岸、昌平橋、天神町二丁目ヲ經テ池ノ端七軒町ニ至ル		一、九二五	一、二
三七	今入町ヨリ愛宕町ヲ經テ赤羽橋ニ至ル		一、〇六〇	一、二
三八	千束町一丁目ヨリ龜岡町ニ至ル		六三〇	一、二
三九	入谷町ヨリ山ノ宿町、淺草驛前、本所驛脇ヲ經テ洲崎ニ至ル		三、八七〇	一、二
四〇	荒布橋東詰ヨリ思案橋ヲ經テ小網町四丁目ニ至ル		二、一〇〇	一、二
四一	西久保神谷町ヨリ宇田川町ニ至ル		五〇〇	一、二

二六四

横濱之部

番號	路	線	延長(約)	幅員
一	國道一號線市郡境界子安町ヨリ東神奈川驛前、神奈川、現横濱驛前戸部六丁目、鹽田、久保町道上ヲ經テ保土ヶ谷町岩間ニ至ル		四、七六九	一〇乃至一八

二	現横濱驛廣場ヨリ花咲町、櫻木町驛前、辨天橋、本町四丁目ヲ經テ萬國橋南詰ニ至ル		一、二二一	九乃至一五
三	本町四丁目ヨリ本町一丁目ニ至ル		三三〇	一三五
四	本町三丁目ヨリ眞砂町、羽衣町、足曳町、南吉田町、蒔田町ヲ經テ大岡町高等工業學校前ニ至ル		二、四一六	一二乃至一三五
五	大江橋南詰ヨリ馬車道、尾上町西ノ橋西詰、元町、北方町ヲ經テ本牧町原ニ至ル		二、五九一	一二乃至一三五
六	神奈川陸橋ヨリ反町、神奈川町二ツ谷、東神奈川驛裏ヲ經テ郡市境界六角橋ニ至ル		一、二〇〇	九乃至一三五
七	淺間町(縣道横濱中野線)ヨリ西戸部町鹽田、藤棚南太田町、霞町、吉岡町五丁目ヲ經テ中村町ニ至ル		二、一四〇	九乃至一二
八	神奈川町陸橋東詰ヨリ東輕井澤淺間下ヲ經テ淺間町洪福寺前ニ至ル		一、四八七	九乃至一二
九	國道一號線輕井澤ヨリ反町ヲ經テ神奈川二ツ谷ニ至ル		九六二	一二
一〇	國道一號線子安町ヨリ神ノ木ニ至ル		七五〇	九
一一	西平沼町ヨリ伊勢町、野毛町、日ノ出町、長者橋ヲ經テ千秋橋南詰ニ至ル		一、四五八	一〇乃至一二
一二	車橋ヨリ中村町字打越ヲ經テ山元町ニ至ル		三三〇	一〇
一三	石川町一丁目ヨリ中村町、中村橋ヲ經テ蒔田町六反目ニ至ル		一、七二〇	九
一四	蒔田町、六反目ヨリ井土ヶ谷町、大岡川村永田ヲ經テ保土ヶ谷町岩間ニ至ル		一、三五五	九乃至一二

二六五

一五	櫻木町一丁目ヨリ野毛町三丁目、日ノ出町、初音町、南太田町ヲ經テ井土ヶ谷町ニ至ル	一、七二〇	九
一六	西戸部町鹽田ヨリ同町反目ニ至ル	四七五	九
一七	千歳町二丁目ヨリ千歳橋ヲ經テ南吉田町字南七ツ目ニ至ル	一、四六三	二
一八	新横濱驛ヨリ平沼町三丁目ヲ經テ現横濱驛廣場ニ至ル	三二二	一八
一九	國道一號線神奈川町十番町ヨリ東神奈川驛ニ至ル	一二六	一五
二〇	平沼橋南詰ヨリ岡野町新田間橋ヲ經テ淺間下ニ至ル	三九〇	二
二一	横濱税關前	九七	一五
二二	北方町小港ヨリ新山下町ニ至ル	三五〇	一〇

第二 公園ノ配置

公園ハ主トシテ官有地等ノ整理ニ伴ヒ漸ヲ逐ヒテ之カ配置ノ適切ナルヲ期シ取敢ス東京及横濱ニ各左ノ數公園ヲ開設スルト共ニ別ニ出來得ル限リ燒失地域内ニ於テ復興ヲ必要トスル小學校ノ附近ニ兒童遊園ヲ設クルヲ得シム

東京之部

隅田公園 約四萬坪

隅田川沿岸枕橋上ニ設ケ勝地ヲ保存ス

江東公園 約四萬坪

深川御料地附近ニ設ク

日本橋公園 約一萬坪

日本橋區内ノ適地ニ設ク

横濱之部

日ノ出公園 約四千四百坪

長者町日ノ出川ヲ埋築ス

山下町公園 約二萬五千坪

山下町海岸ヲ埋築ス

野毛山公園 約二萬坪

野毛山貯水池跡ニ設ク

青木町公園 約六千坪

神奈川區有水面ヲ埋築ス

第三 市場ノ配置

中央卸賣市場ノ位置ハ東京ニ在リテハ築地海軍省用地跡横濱ニ在リテハ高島町附近トシ市場設備ニ關スル市ノ經營ヲ助成ス蔬菜市場ハ中央市場以外ニ東京ニ在リテハ兩國及秋葉原兩驛ノ附近ニモ開設スルコトヲ得シム

第四 市街宅地割ノ整理

街路又ハ運河ノ類ノ施設ニ因リ建築敷地トシテノ利用ノ完カラサルモノヲ生シタルトキ其ノ他土地ノ情況ニ依リ必要アルモノニ付テハ土地區劃整理ヲ行フ

第五 防火措置

防火措置ニ關シテハ都市計畫法ニ依リ主要街路ノ沿道並中樞地區ニ對シ既ニ防火地區制ノ定メアルモ今同街路ノ新設擴張ヲ見ルヘキニ依リ新ニ計畫街路ノ沿道トナルヘキ一帶ノ土地ニ對シ路線形ニ防火地區ヲ指定スルノ外中樞地區ニ於テハ集團的防火地區ノ擴張ヲ圖ルト共ニ適當ナル方法ニ依リ防火地區内ニ於ケル不燃質建築物ノ築造ヲ助成ス

第六 京濱ノ關係並港灣及運河ノ施設
 京濱ノ關係ニ就テハ横濱港ヲ以テ帝都ノ外港トシ既成設備ノ回復ト第三期擴張計畫ノ促進ヲ期シ隅田川ノ河口ニ内港ノ設備ヲ施シ兩港ノ連絡ヲ完全ニシ且沿岸工業地域ノ開發ニ資スルカ爲神奈川縣鶴見地先ヨリ六郷川ノ流末部ヲ横斷シテ大森地先ニ至ル延長約八千五百間ノ間ニ幅員五十間水深八尺ノ運河ヲ開鑿シ港灣設備地、鐵道主要貨物驛及商工業地域相互ニ必要ナル運河ヲ新鑿又ハ改修シ水運ノ便ヲ増進スルト共ニ沿岸ニハ適當ナル倉庫地帯ヲ設クルヲ得ヘカラシム隅田川河口ニ於ケル内港設備ノ概要及市内運河ノ改修計畫ノ大要左ノ如シ

一 内港設備

港門ヲ大森地先ニ置キ延長約三千百間幅員百間水深二十五尺ノ航路ヲ芝浦地先ニ導キ永代橋以下ノ隅田川藩筋延長約千四百間ハ幅員八十間ヲ水深二十尺ニ浚渫ス芝浦地先ニ延長約五百間水深二十五尺ノ繫船岸壁及面積約五十二萬坪水深二十五尺ノ船溜ヲ設ケ品川驛地先ニ延長約八百四十間水深八尺ノ物揚場及面積約十六萬坪水深八尺乃至十二尺ノ船溜ヲ置キ之ヲ防護スルニ各砲臺ヲ連結シテ月島地先ニ至ル約千九百間ノ假防波堤ヲ以テスル外砲臺外航路ヲ擁シテ南ニ延長千五百間北ニ延長千五百間ノ兩防波堤ヲ築造シ陸上設備トシテ上屋約三千坪ヲ施設ス

二 市内運河
 東京之部

名稱	延長(約)	幅員	深度(零點下)	備考
新鑿 第一	一三〇	二二	六	大島川ノ曲線部ヲ直鑿ス
同 第二	一六〇	一八	六	築地川ト楓川ヲ連結ス
改修小名木川	一三五〇	三〇	七	
同 築地川	九二〇	一八乃至二六	六	隅田川合流ヨリ汐留川ニ連接スルノ間ハ二十六間トシ其他ハ十八間トス
向 神田川	七八〇	二六	六	
同 日本橋川	二六〇	二六	六	
同 横十間川	二〇二〇	二二	六	
同 大島川	一一一〇	二二	六	
同 汐留川	二二〇	一八	六	
同 楓川	六七〇	一八	六	
同 京橋川	三三〇	一八	六	
同 櫻川	四一〇	一八	六	

横濱之部

名	稱	延長(約)	幅員	深度(零點下)	備考
堀割川		一、二七二	一八	五	
中村川及堀川		一、七二八	一八	五	

一 帝都復興計畫事業年度及財政方針ニ關スル件

帝都復興計畫ハ本年度以降七年間ニ完成スルモノトシ之ニ要スル費用ハ必要ニ應シ公債ヲ以テ支辨シ地方財政ノ實情ニ顧ミ此際ニ於ケル非常ノ措置トシテ

- 第一 國ニ於テ執行スル事業費ニ對スル地方公共團體ノ分擔金ハ復興事業ノ繼續年期間其ノ徵收ヲ猶豫シ地方財力ノ恢復後相當ノ年期ヲ定メテ之ヲ分納セシムルコトトシ
- 第二 地方ニ於テ執行スル事業費中道路橋梁上下水道學校中央市場塵芥處分其ノ他衛生施設及社會事業並公園瓦斯及電氣事業等ノ施設ニ必要ナル費用ハ府縣ニ對シテハ復興事業ノ繼續年期間無利子ニテ之ヲ貸付シ市ニ對シテハ國ノ保證ニ依リ地方債ヲ起スコトヲ得シメ上水及電氣瓦斯ノ供給並軌道ノ如キ收益事業ニ要スルモノヲ除キ其ノ他ニ要スル起債ノ利息ハ年七分ヲ限度トシテ復興事業年度間國ヨリ補給スルモノトシ貸付金ハ復興事業完成後遅クモ三十年間ニ償還セシムルモノトシテ經理セントス

三 帝都復興計畫ノ統制及其ノ事業ノ執行ニ關スル件

東京及横濱ニ於ケル復興計畫ヲ統制シ及復興事業ヲ執行スル爲帝都復興計畫法ヲ制定セムト欲ス

其ノ要綱左ノ如シ

- 第一 復興計畫復興事業及復興計畫區域ハ帝都復興院評議會ノ意見ヲ聞キ帝都復興院總裁之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受ケシム
- 第二 主要ノ街路河川運河公園ノ新設改修及港灣ノ築設ノ如キ帝都構成ノ基幹タルヘキ重要ナル施設ニシテ國ノ行政官廳ニ於テ執行スルモノノ外復興事業ハ公共團體ヲ統轄スル行政官廳ヲシテ執行セシムルヲ原則トシ其ノ他ノ者ハ帝都復興院總裁ノ許可ヲ得テ執行セシム
- 第三 國ノ行政官廳ニ於テ執行スル復興事業ニ要スル費用ハ國庫ノ負擔トシ其ノ一部ハ事業地ノ屬スル公共團體ヲシテ分擔セシム
- 第四 公共團體ヲ統轄スル行政官廳ニ於テ執行スル復興事業ニ要スル費用ハ其ノ公共團體ノ負擔トシ其ノ一部ハ國庫ヨリ補助ス其ノ補助歩合ハ別ニ之ヲ定ム
- 第五 復興事業ニ要スル費用ヲ負擔スル公共團體ニハ該事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヨリ相當ノ金額ヲ受益者負擔金トシテ徵收スルヲ得シム
- 第六 市街地建築物法ニ依リハ該區域及地區ノ外復興計畫區域内ニ於テハ風致又ハ風紀ノ維持其ノ他經濟上特殊ノ目的ノ爲ニ地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル工作物又ハ土地ニ關スル工事又ハ權利ハ勅令ノ規定ニ依リ制限スルコトヲ得シム
- 前項地域及地區ノ指定ハ市街地建築物法ニ依ルモノト否トヲ問ハス帝都復興院評議會ノ意見ヲ聞キ帝都復興院總裁之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受ケシム

- 第七 復興事業ニ要スル土地ノ境域内ニ於ケル土地ノ變更、工作物ノ築造及竹木、土石ノ採取ニ付テハ禁止又ハ制限スルヲ得シム
- 第八 復興計畫復興事業又ハ地域地區ニ關スル調査又ハ工事ノ爲必要アルトキハ官吏又ハ吏員ヲシテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲シ障害ノ竹木、土石等ヲ移轉又ハ除却セシムルヲ得シム但シ之ニ因リ生シタル損害ハ補償セシム
- 第九 復興計畫區域内ニ於ケル土地ニ付テハ宅地トシテノ利用ヲ増進スル爲土地區劃整理ヲ行フモノトシ可成土地區劃整理組合ヲ設立セシメ之ヲ行ハシム
- 土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法ニ規定スル耕地整理ノ例ニ依ルモノトシ其ノ例ニ依リ難キ事項ニ關シテハ別段ノ定メヲ爲ス
- 第十 復興事業ニ要スル土地、物件及土地ニ關スル所有權以外ノ權利ハ之ヲ收用又ハ使用スルヲ得ルモノトシ土地收用ノ爲ニ一宅地ヲ爲スニ足ラサル殘地ヲ生スル場合ニハ併セ收用スルコトヲ得シム
- 收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ニ依ル土地收用ノ例ニ依ルモノトシ協議ヲ爲シ難キ場合ニ於ケル收用ノ時期、區域及損失補償等ニ付テハ補償審査會ヲ設ケ收用審査會ニ代ラシム
- 第十一 主務大臣復興事業ノ爲必要アリト認ムルトキハ公共團體ヲシテ其ノ公用又ハ公共用ノ土地ヲ事業執行者ニ供用セシム
- 第十二 土地區劃整理ノ爲又ハ一宅地ヲ爲スニ足ラサル爲收用シタル土地ニ付テハ買戻權ヲ認メス且復興事業ニ依リ生シタル設備ノ管理及歸屬ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム
- 第十三 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ノ強制訴願訴訟等ニ付テハ

都市計畫法ノ規定ニ準ス

帝都復興豫算

帝都復興院	二八、四〇〇、〇〇〇圓
俸給	一一、三六〇、〇〇〇圓
事務費	一七、〇四〇、〇〇〇圓
帝都復興事業費	五五四、五五二、〇〇〇圓
東京復興費	四八八、三七〇、〇〇〇圓
街路費	四〇六、四〇〇、〇〇〇圓
港灣費	三二、七五〇、〇〇〇圓
運河費	二八、五七〇、〇〇〇圓
公園費	一一、九〇〇、〇〇〇圓
土地整理費	八、七五〇、〇〇〇圓
橫濱復興費	五二、四三三、〇〇〇圓
街路費	四二、三〇〇、〇〇〇圓
運河費	五、六一二、〇〇〇圓
公園費	一、九五九、〇〇〇圓
土地整理費	二、五六一、〇〇〇圓
京濱運河費	一三、七五〇、〇〇〇圓

復興事業費貸付金

復興事業費貸付金

東京府復興事業費貸付金

神奈川県復興事業費貸付金

復興事業費補助

防火地区建築費補助

土地區劃整理費補助

地方復興事業費補助

東京府復興事業費補助

神奈川県復興事業費補助

東京市復興事業費補助

横浜市復興事業費補助

地方復興事業債利子補給

東京市復興事業債利子補給

横浜市復興事業債利子補給

合計

復興事業費貸付金	一〇、三二五、四〇二圓
復興事業費貸付金	一〇、三二五、四〇二圓
東京府復興事業費貸付金	七、七四九、六九八圓
神奈川県復興事業費貸付金	二、五七五、七〇四圓
復興事業費補助	一〇九、七〇〇、五七九圓
防火地区建築費補助	二〇、〇〇〇、〇〇〇圓
土地區劃整理費補助	二、七七五、〇〇〇圓
地方復興事業費補助	五八、一六六、五六九圓
東京府復興事業費補助	五、〇八三、五〇六圓
神奈川県復興事業費補助	七四二、三一七圓
東京市復興事業費補助	四一、五七九、二〇九圓
横浜市復興事業費補助	一〇、七六一、四八三圓
地方復興事業債利子補給	二八、七五九、〇一〇圓
東京市復興事業債利子補給	二一、九九〇、六八八圓
横浜市復興事業債利子補給	六、七六八、三二二圓
合計	七〇二、九七七、九八一圓